

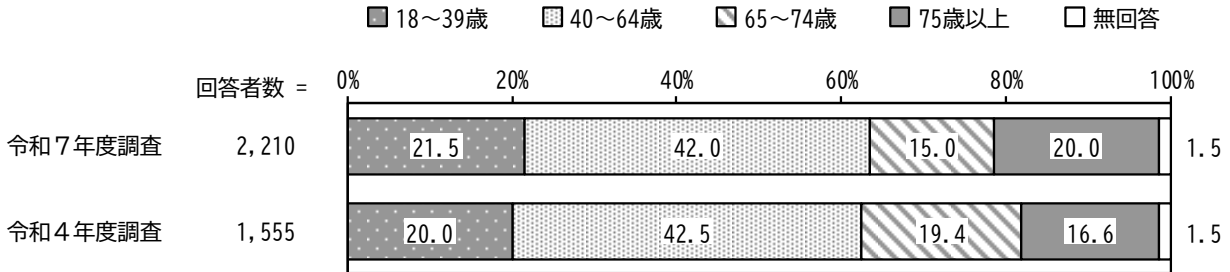
第 2 章

障害者調査

(1) ご本人の状況について

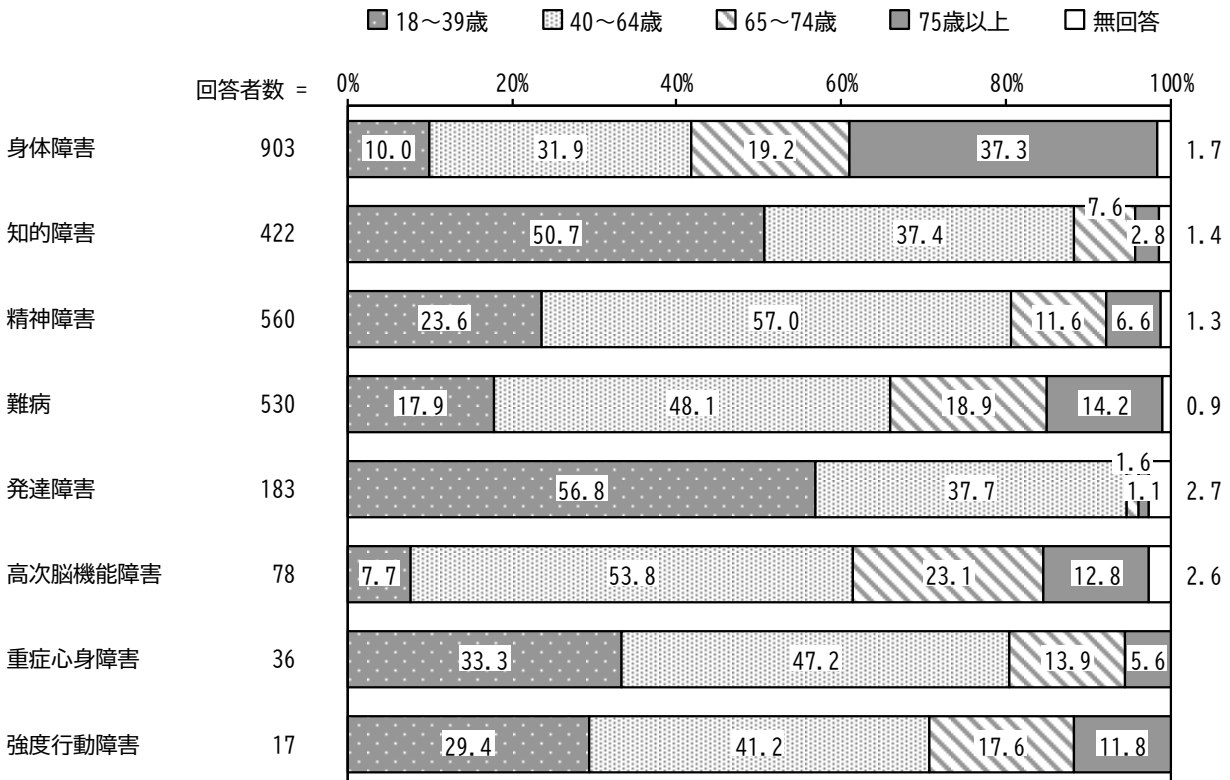
問1 あなた（ご本人）の年齢は、何歳ですか。令和7年9月1日現在の年齢を記入してください。

「40～64歳」の割合が42.0%と最も高く、次いで「18～39歳」の割合が21.5%、「75歳以上」の割合が20.0%となっています。



【障害種別】

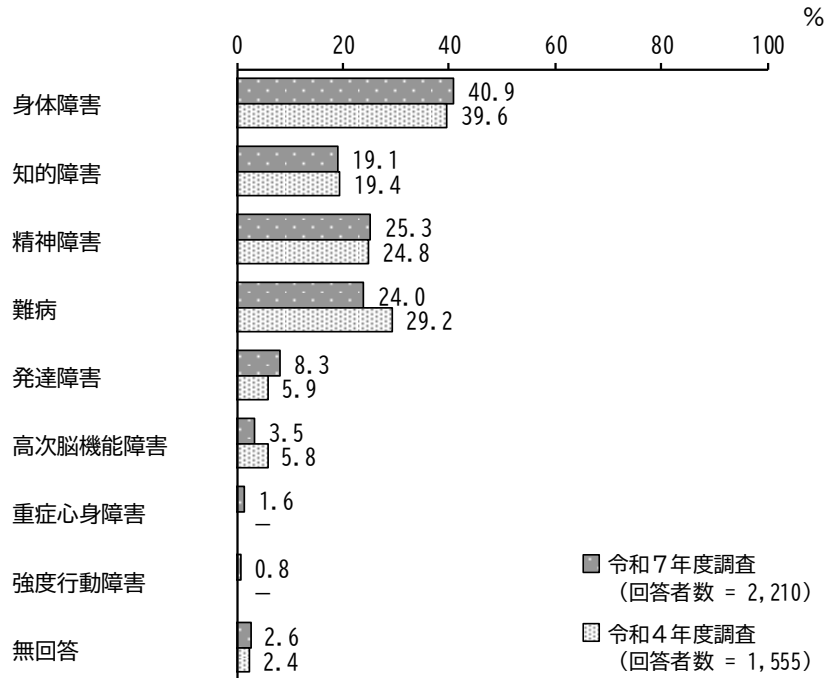
障害種別に見ると、発達障害で「18～39歳」、精神障害で「40～64歳」、身体障害で「75歳以上」の割合が高くなっています。



問2 あなた（ご本人）の障害について、お聞きします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「身体障害」の割合が40.9%と最も高く、次いで「精神障害」の割合が25.3%、「難病」の割合が24.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「難病」の割合が減少しています。



※「重症心身障害」、「強度行動障害」は令和7年度調査で追加した選択肢です。

【年齢別】

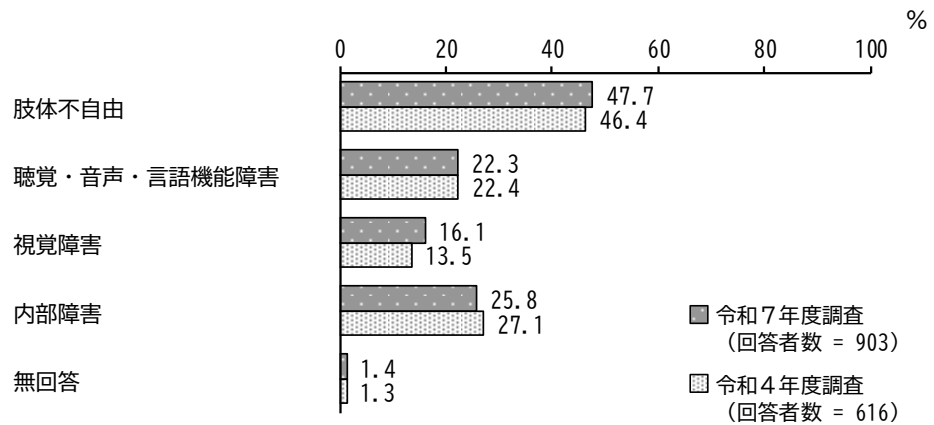
年齢別にみると、年齢が下がるほど「知的障害」「発達障害」の割合が高く、「身体障害」の割合が低くなっています。「75歳以上」から「40～64歳」まで年齢が下がるほど「精神障害」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	身体障害	知的障害	精神障害	難病	発達障害	高次脳機能障害	重症心身障害	強度行動障害	無回答
全体	2,210	40.9	19.1	25.3	24.0	8.3	3.5	1.6	0.8	2.6
18～39歳	476	18.9	45.0	27.7	20.0	21.8	1.3	2.5	1.1	1.1
40～64歳	929	31.0	17.0	34.3	27.4	7.4	4.5	1.8	0.8	1.4
65～74歳	331	52.3	9.7	19.6	30.2	0.9	5.4	1.5	0.9	3.0
75歳以上	441	76.4	2.7	8.4	17.0	0.5	2.3	0.5	0.5	5.7

身体障害の種類

「肢体不自由」の割合が47.7%と最も高く、次いで「内部障害」の割合が25.8%、「聴覚・音声・言語機能障害」の割合が22.3%となっています。



【年齢別】

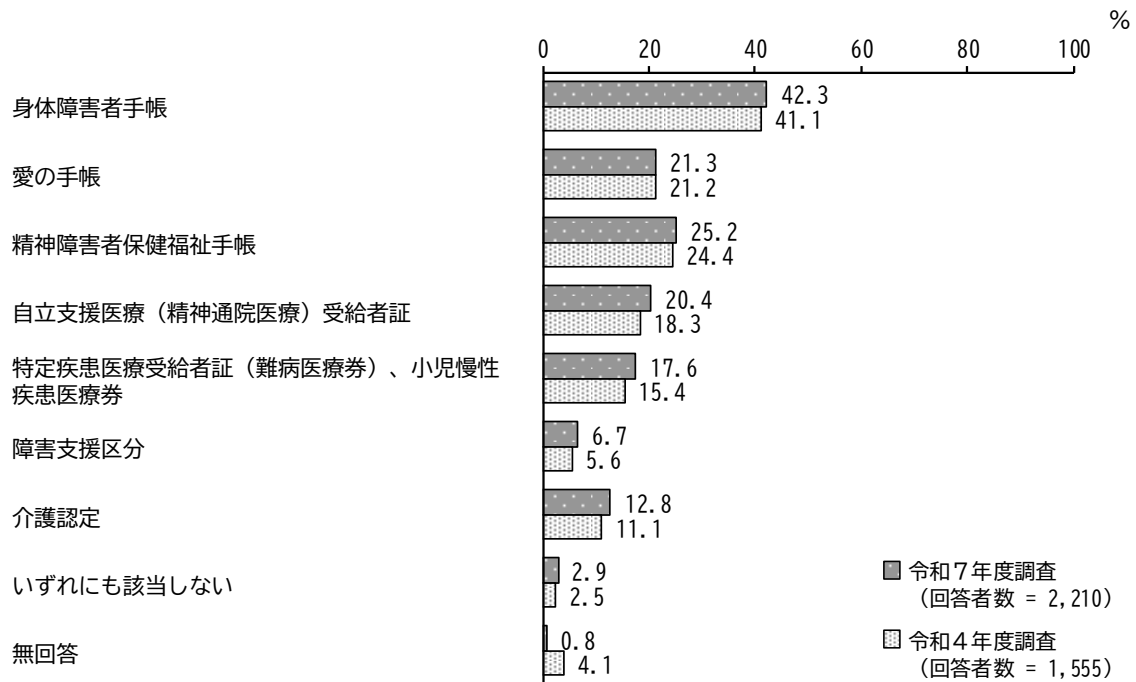
年齢別にみると、年齢が下がるほど「肢体不自由」の割合が高く、「18～39歳」から「65～74歳」まで年齢が上がるほど「視覚障害」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	肢体不自由	聴覚・音声・言語機能障害	視覚障害	内部障害	無回答
全体	903	47.7	22.3	16.1	25.8	1.4
18～39歳	90	56.7	20.0	4.4	28.9	2.2
40～64歳	288	50.3	19.8	16.3	23.3	1.4
65～74歳	173	44.5	18.5	20.2	30.1	1.7
75歳以上	337	44.2	27.0	16.6	25.8	0.9

問3 あなた（ご本人）がお持ちの障害者手帳などについて、お聞きします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「身体障害者手帳」の割合が42.3%と最も高く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」の割合が25.2%、「愛の手帳」の割合が21.3%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「愛の手帳」「自立支援医療（精神通院医療）受給者証」「障害支援区分」の割合が高く、「身体障害者手帳」「介護認定」の割合が低くなっています。「40歳以上」から年齢が上がるほど「精神障害者保健福祉手帳」「特定疾患医療受給者証（難病医療券）、小児慢性疾患医療券」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	自立支援医療（精神通院医療）受給者証	特定疾患医療受給者証（難病医療券）、小児慢性疾患医療券	障害支援区分	介護認定	いずれにも該当しない	無回答
全体	2,210	42.3	21.3	25.2	20.4	17.6	6.7	12.8	2.9	0.8
18～39歳	476	19.1	48.5	31.9	26.9	15.3	11.8	0.6	1.7	0.4
40～64歳	929	31.0	19.3	33.2	25.7	22.1	6.8	4.3	3.6	0.8
65～74歳	331	54.4	11.2	17.8	15.4	21.1	3.6	21.1	4.5	0.6
75歳以上	441	81.6	3.9	6.8	6.1	8.6	3.2	37.4	1.8	0.7

【障害種別】

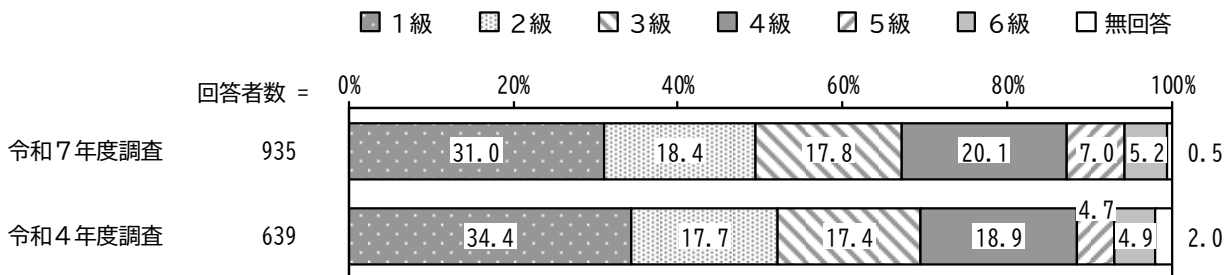
障害種別にみると、身体障害で「身体障害者手帳」、知的障害で「愛の手帳」、精神障害で「精神障害者保健福祉手帳」「自立支援医療（精神通院医療）受給者証」、難病で「特定疾患医療受給者証（難病医療券）、小児慢性疾患医療券」、重症心身障害で「障害支援区分」、高次脳機能障害で「介護認定」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	自立支援医療（精神通院医療）受給者証	特定疾患医療受給者証（難病医療券）、小児慢性疾患医療券	障害支援区分	介護認定	いずれにも該当しな	無回答
全体	2,210	42.3	21.3	25.2	20.4	17.6	6.7	12.8	2.9	0.8
身体障害	903	92.0	10.9	5.3	5.9	9.4	6.6	23.5	0.6	0.1
知的障害	422	20.4	96.4	9.7	15.2	1.4	23.0	4.7	0.0	0.0
精神障害	560	9.8	10.7	85.9	65.7	3.8	6.4	7.5	0.0	0.4
難病	530	24.9	4.0	4.3	5.3	67.2	3.6	13.4	10.9	0.4
発達障害	183	13.7	48.6	54.6	45.4	3.3	13.1	2.2	0.0	0.5
高次脳機能障害	78	65.4	10.3	34.6	21.8	19.2	10.3	35.9	2.6	0.0
重症心身障害	36	83.3	66.7	5.6	8.3	8.3	41.7	19.4	0.0	0.0
強度行動障害	17	64.7	58.8	17.6	11.8	5.9	29.4	17.6	0.0	0.0

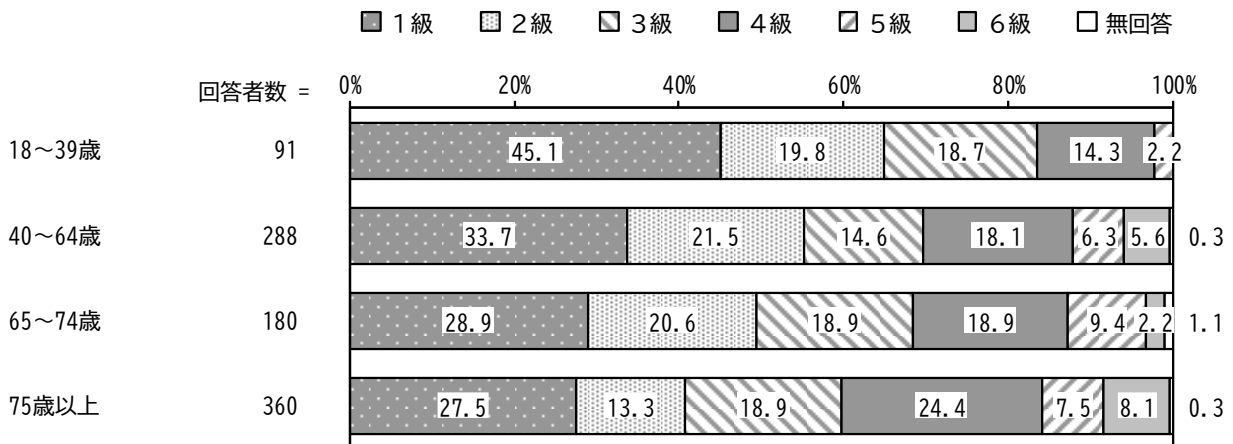
身体障害者手帳の等級

「1級」の割合が31.0%と最も高く、次いで「4級」の割合が20.1%、「2級」の割合が18.4%となっています。



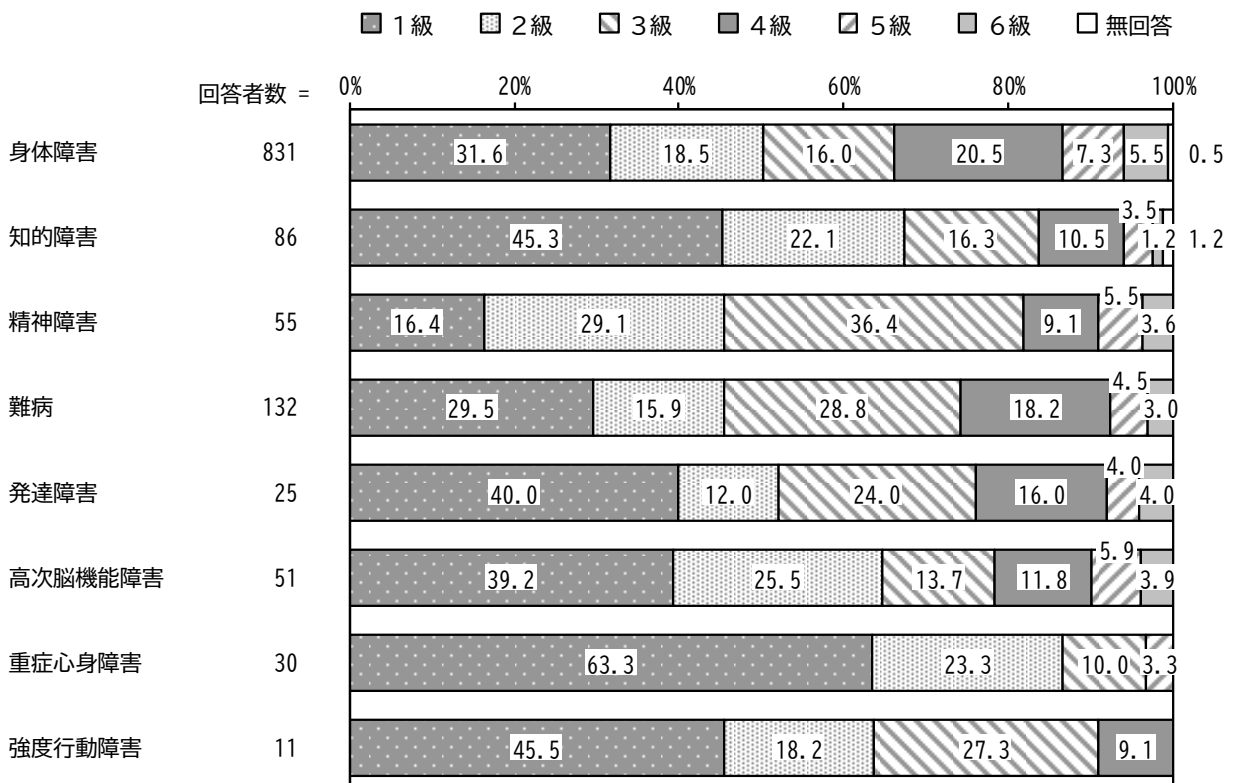
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「4級」の割合が高く、「1級」の割合が低く、「75歳以上」から「40～64歳」まで年齢が下がるほど「2級」の割合が高くなっています。



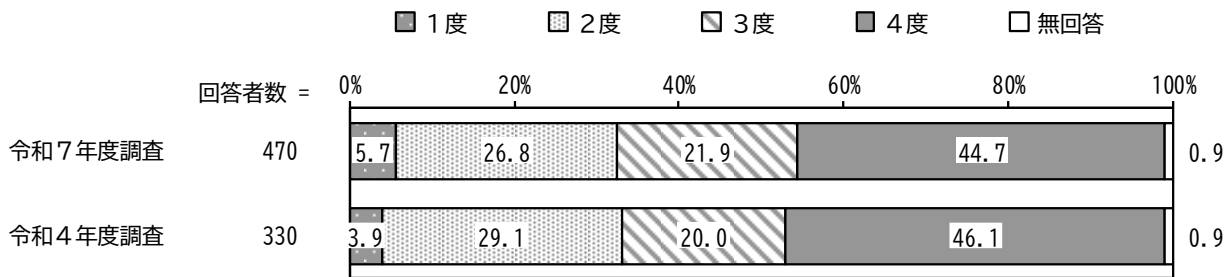
【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「1級」、精神障害で「2級」「3級」の割合が高くなっています。



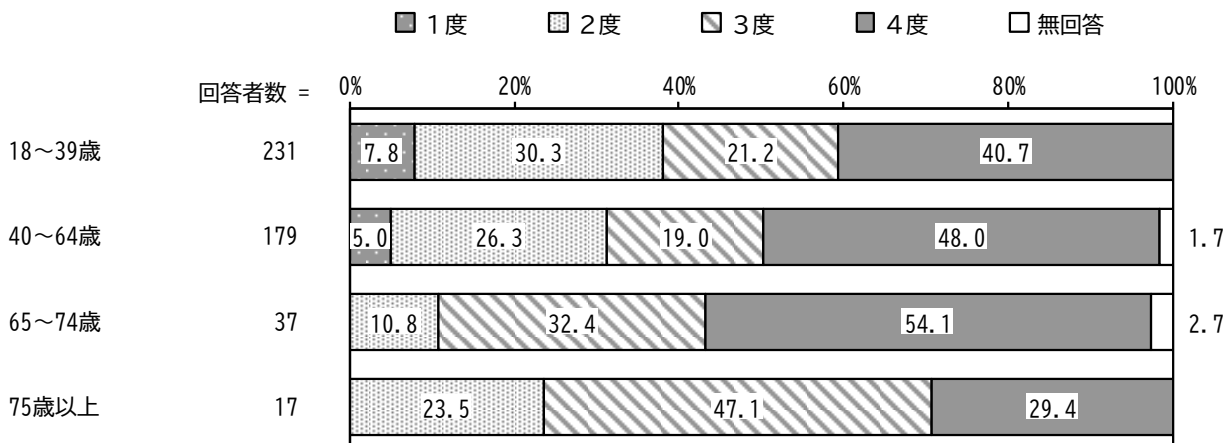
愛の手帳の程度

「4度」の割合が44.7%と最も高く、次いで「2度」の割合が26.8%、「3度」の割合が21.9%となっています。



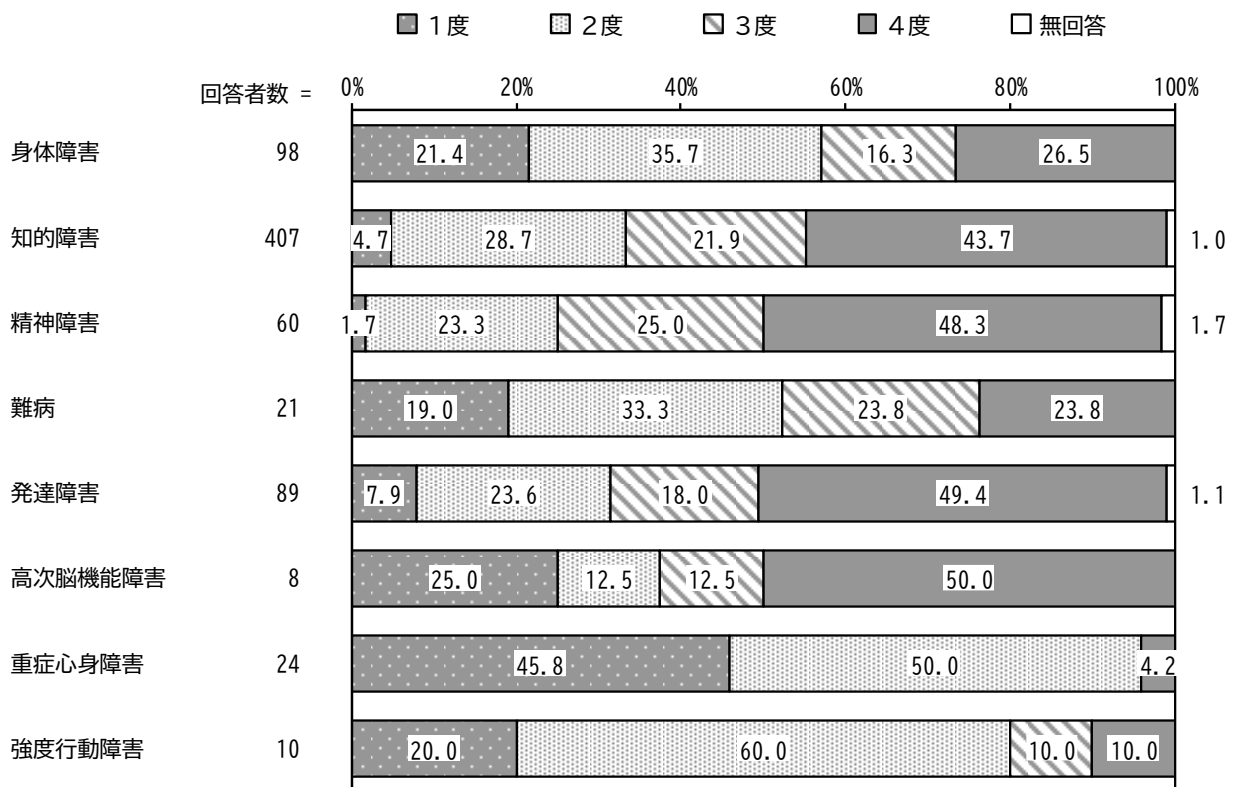
【年齢別】

年齢別にみると、「40～64歳」から「75歳以上」まで年齢が上がるほど「3度」の割合が高く、「18～39歳」から「65～74歳」まで年齢が上がるほど「4度」の割合が高く、「2度」の割合が低くなっています。



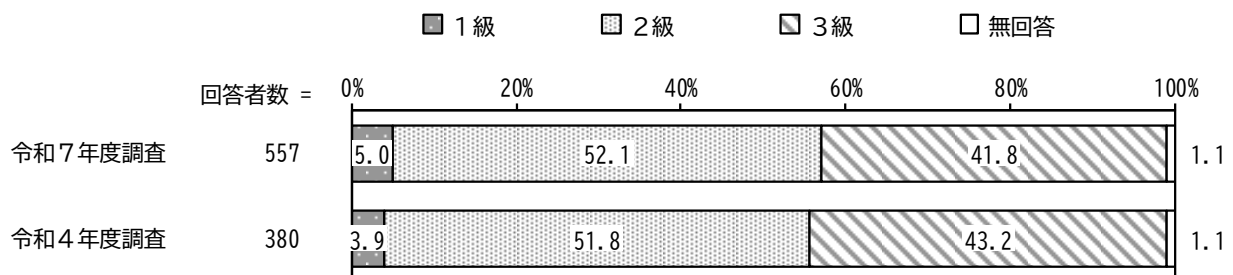
【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「1度」、強度行動障害で「2度」の割合が高くなっています。



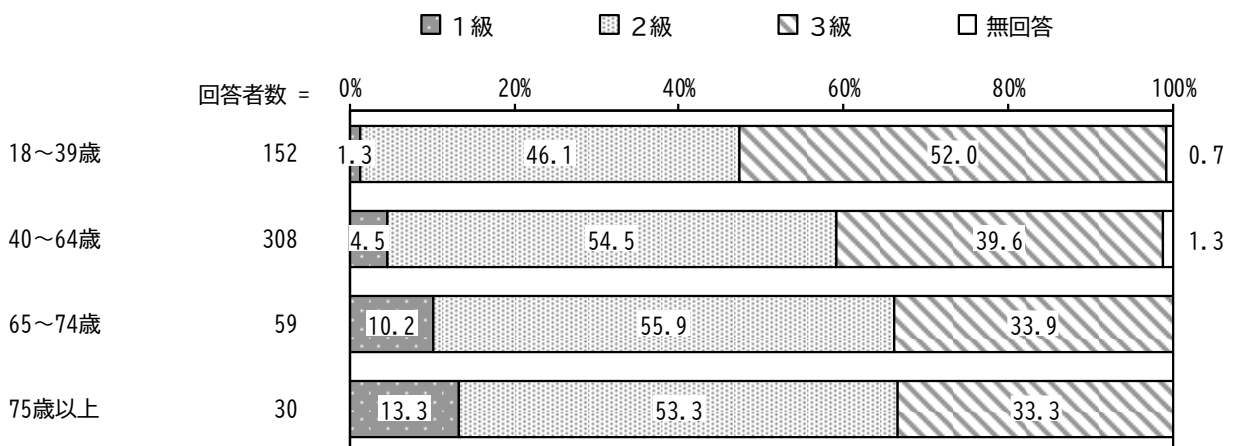
精神障害者保健福祉手帳の等級

「1級」の割合が5.0%、「2級」の割合が52.1%、「3級」の割合が41.8%となっています。



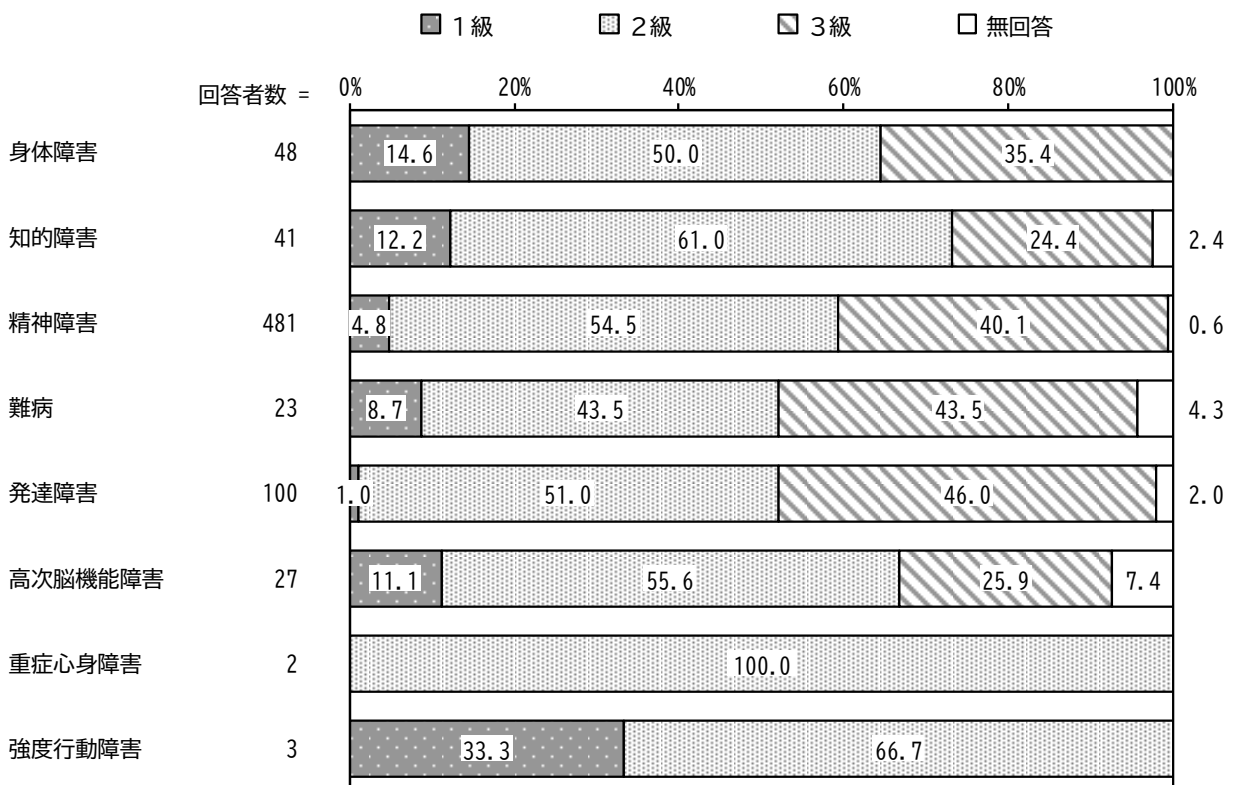
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「1級」の割合が高く、「3級」の割合が低くなっています。



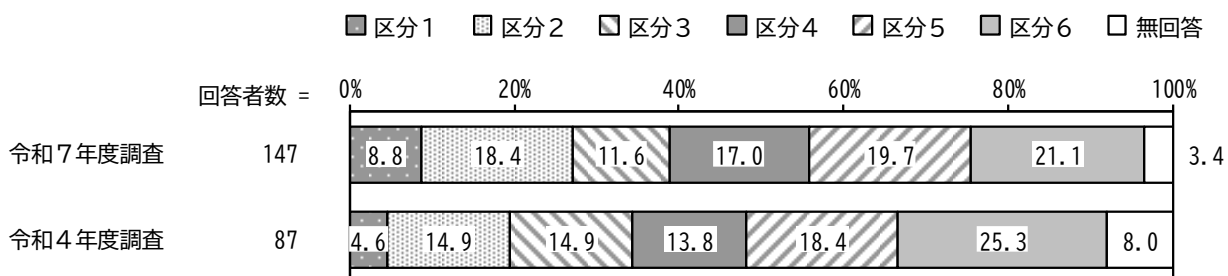
【障害種別】

障害種別にみると、身体障害、知的障害で「1級」、知的障害で「2級」の割合が高くなっています。



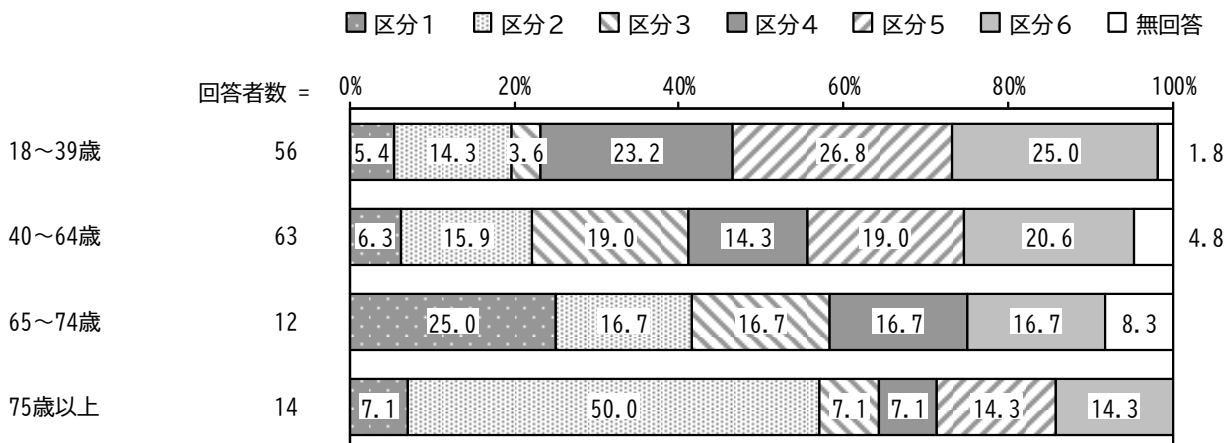
障害支援区分

「区分6」の割合が21.1%と最も高く、次いで「区分5」の割合が19.7%、「区分2」の割合が18.4%となっています。



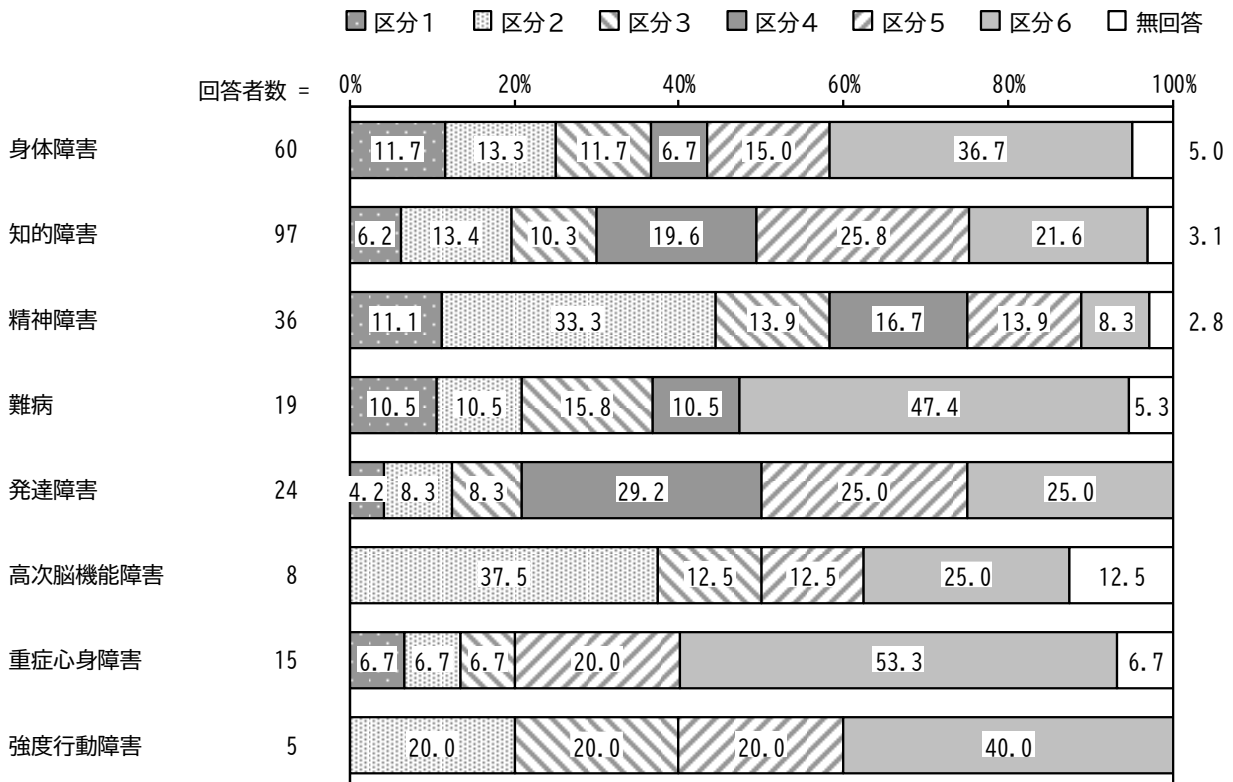
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「区分4」「区分6」の割合が高い傾向にあり、「40～64歳」から「75歳以上」まで年齢が上がるほど「区分2」の割合が高く、「区分3」の割合が低くなっています。



【障害種別】

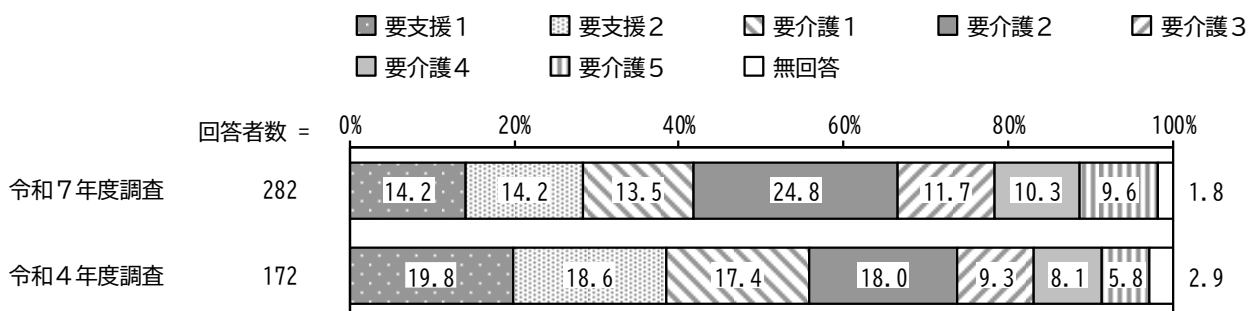
障害種別にみると、精神障害で「区分2」、発達障害で「区分4」、重症心身障害で「区分6」の割合が高くなっています。



介護認定の程度

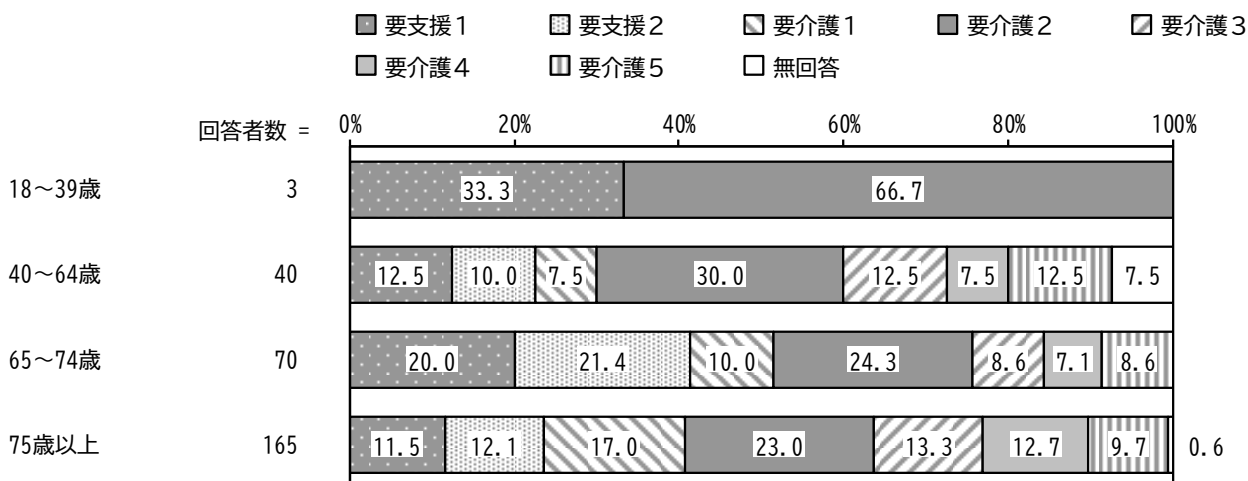
「要介護2」の割合が24.8%と最も高く、次いで「要支援1」、「要支援2」の割合が14.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「要介護2」の割合が増加しています。一方、「要支援1」の割合が減少しています。



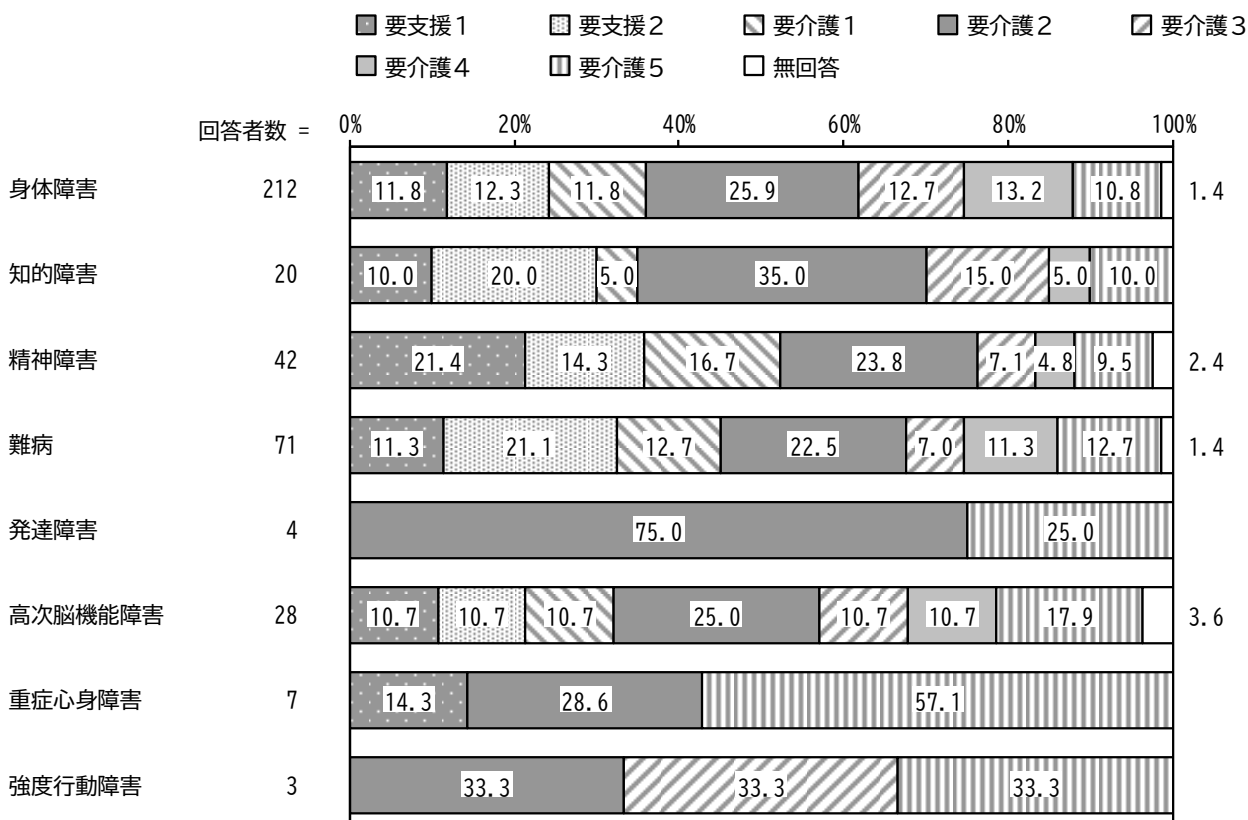
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「要介護1」「要介護4」の割合が高い傾向にあります。



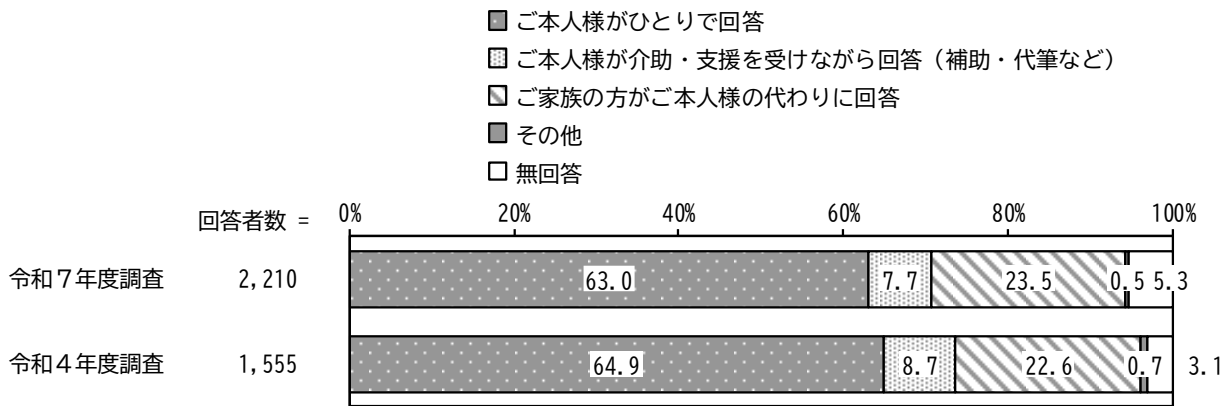
【障害種別】

障害種別にみると、精神障害で「要支援1」、知的障害、難病で「要支援2」、知的障害で「要介護2」、高次脳機能障害で「要介護5」の割合が高くなっています。



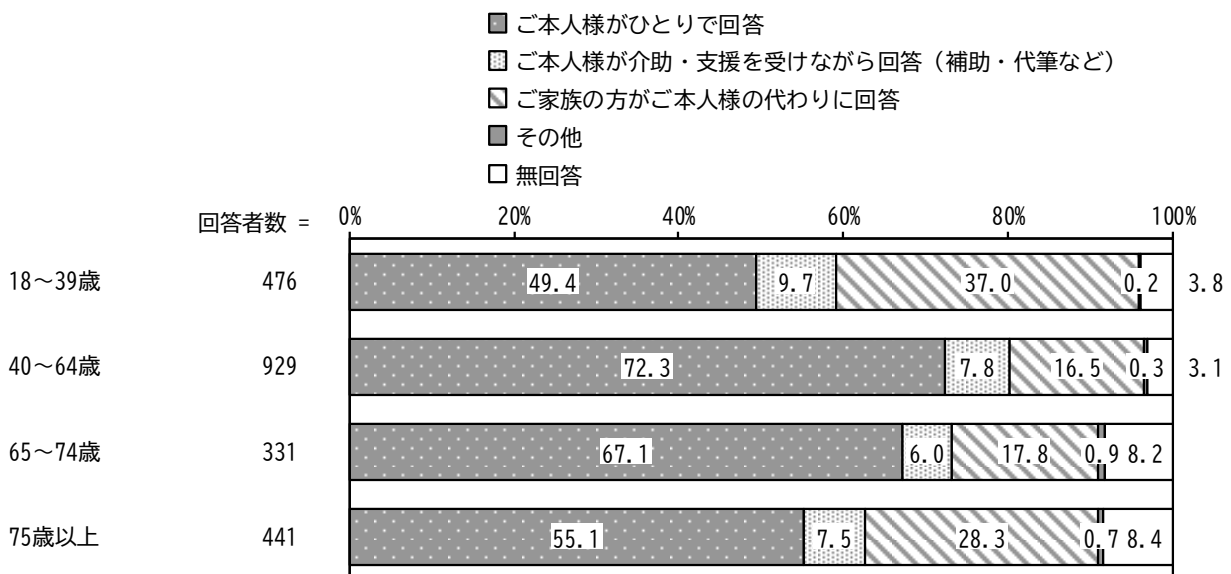
問4 調査にご回答いただいている方はどなたですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「ご本人様がひとりで回答」の割合が63.0%、「ご本人様が介助・支援を受けながら回答（補助・代筆など）」の割合が7.7%、「ご家族の方がご本人様の代わりに回答」の割合が23.5%となっています。



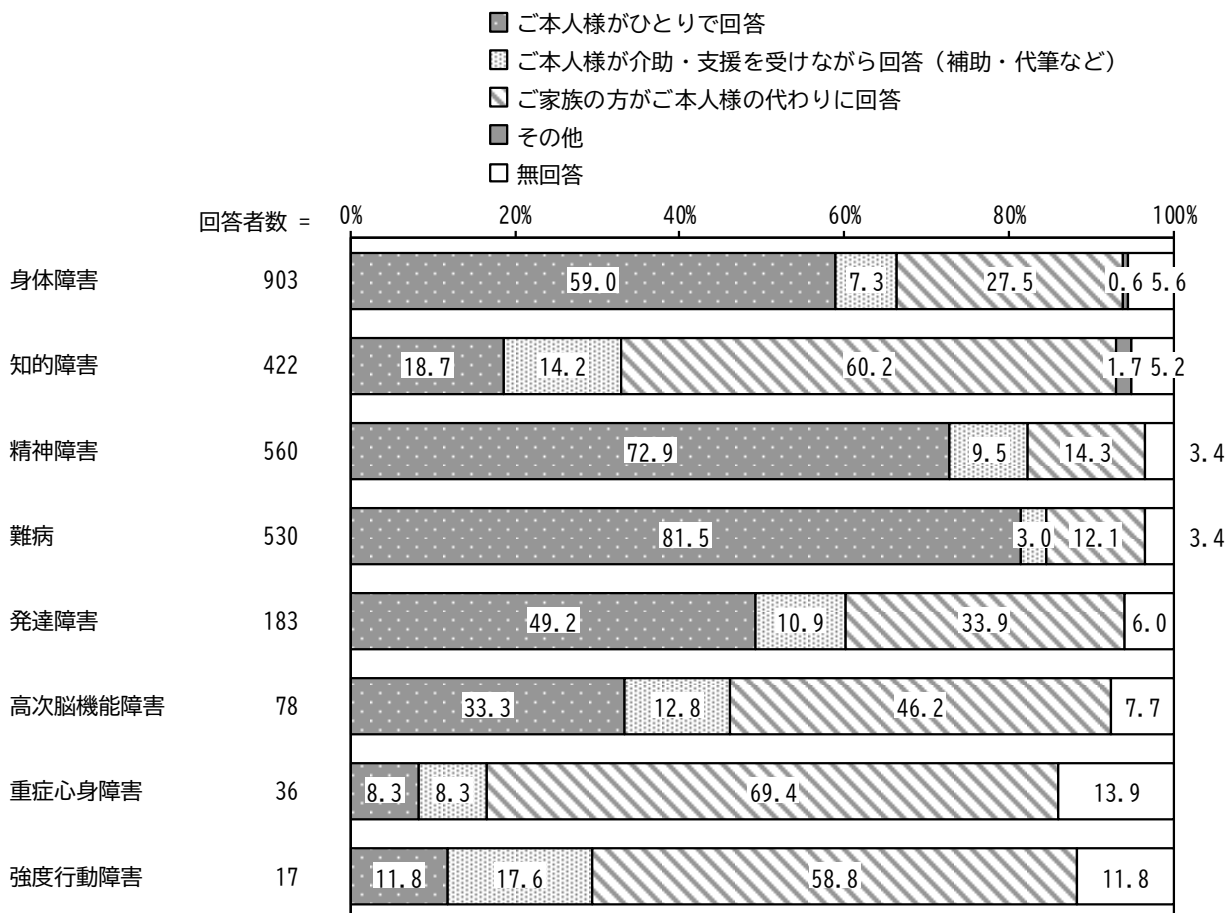
【年齢別】

年齢別にみると、「40～64歳」から「75歳以上」まで年齢が上がるほど「ご家族の方がご本人様の代わりに回答」の割合が高く、「ご本人様がひとりで回答」の割合が低くなっています。



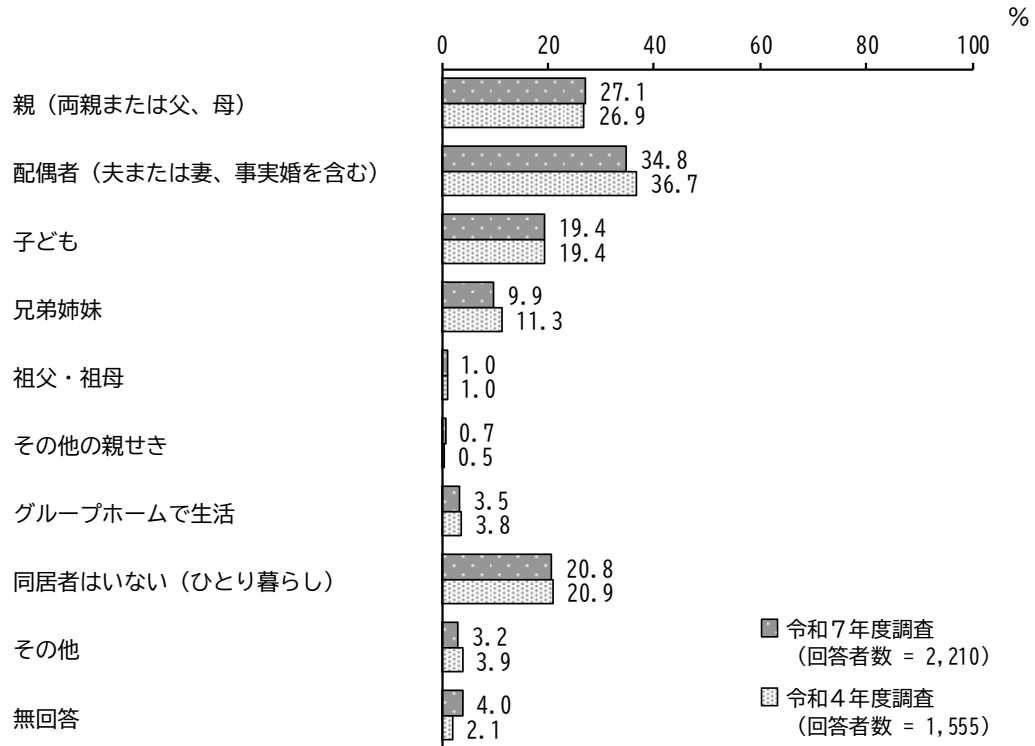
【障害種別】

障害種別にみると、難病で「ご本人様がひとりで回答」、重症心身障害で「ご家族の方がご本人様の代わりに回答」の割合が高くなっています。



問5 あなた（ご本人）は現在、どなたと一緒に暮らしていますか。一緒に生活されている方すべてに○をつけてください。

「配偶者（夫または妻、事実婚を含む）」の割合が 34.8%と最も高く、次いで「親（両親または父、母）」の割合が27.1%、「同居者はいない（ひとり暮らし）」の割合が20.8%となっています。



※令和4年度調査では、「配偶者（夫または妻、事実婚を含む）」が「配偶者（夫または妻）」となっていました。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「親（両親または父、母）」「兄弟姉妹」の割合が高く、「18～39歳」から「65～74歳」まで年齢が上がるほど「配偶者（夫または妻、事実婚を含む）」「同居者はいない（ひとり暮らし）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	親（両親または父、母）	配偶者（夫または妻、事実婚を含む）	子ども	兄弟姉妹	祖父・祖母	その他の親せき	グループホームで生活	同居者はいない（ひとり暮らし）	その他	無回答
全体	2,210	27.1	34.8	19.4	9.9	1.0	0.7	3.5	20.8	3.2	4.0
18～39歳	476	66.8	12.0	8.8	23.1	4.0	0.4	4.0	11.6	3.2	2.3
40～64歳	929	28.5	37.4	22.8	8.2	0.2	0.5	4.0	22.0	2.7	2.2
65～74歳	331	2.4	48.6	16.6	4.8	0.0	0.6	1.8	27.2	2.7	7.3
75歳以上	441	0.5	43.5	25.6	2.7	0.0	1.1	3.2	24.0	4.5	6.3

【障害種別】

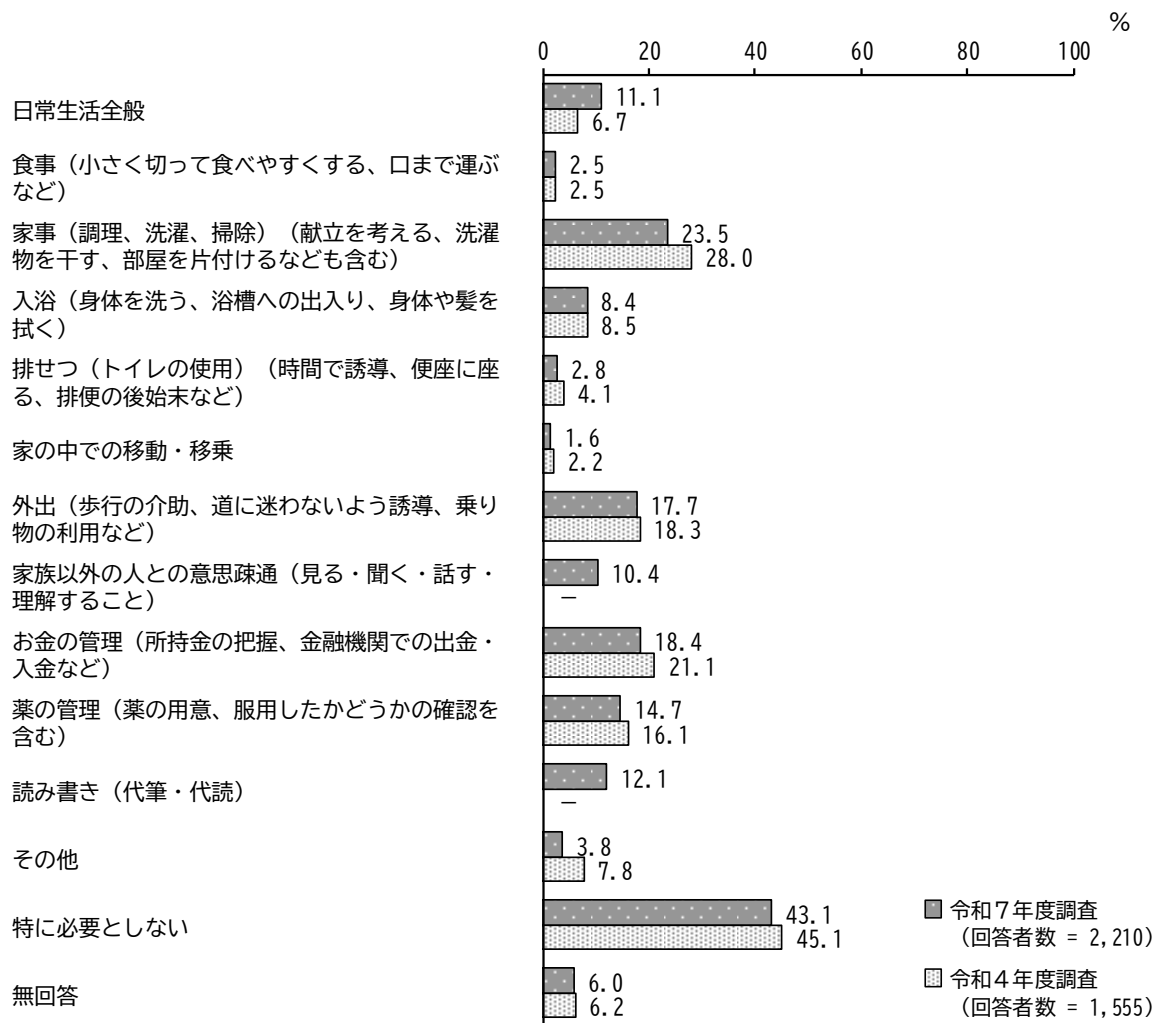
障害種別にみると、知的障害で「親（両親または父、母）」「兄弟姉妹」「グループホームで生活」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	親 (両親または父、 母)	配偶者（夫または 妻、事実婚を含む）	子ども	兄弟姉妹	祖父・祖母	その他の親せき	グループホームで 生活	同居者はいない（ひ とり暮らし）	その他	無回答
全 体	2,210	27.1	34.8	19.4	9.9	1.0	0.7	3.5	20.8	3.2	4.0
身体障害	903	16.6	42.6	22.1	5.8	0.4	0.8	1.7	21.2	4.4	5.0
知的障害	422	68.5	1.7	1.2	24.4	2.8	1.7	14.2	6.9	3.3	2.8
精神障害	560	31.8	26.4	15.7	10.2	0.7	0.7	2.3	28.8	3.8	3.0
難病	530	16.6	51.3	28.3	6.0	0.4	0.4	0.9	20.2	1.9	2.5
発達障害	183	64.5	8.7	4.9	25.1	2.7	2.2	3.8	14.8	3.8	3.3
高次脳機能障害	78	24.4	37.2	12.8	10.3	0.0	1.3	2.6	20.5	9.0	6.4
重症心身障害	36	44.4	2.8	5.6	19.4	2.8	2.8	8.3	13.9	11.1	11.1
強度行動障害	17	47.1	5.9	5.9	29.4	5.9	11.8	5.9	17.6	5.9	5.9

問6 あなた（ご本人）は、日常生活の中で介護や支援が必要です。また、どのようなことに介護などが必要です。あてはまるものすべてに○をつけてください。ただし、以下の「食事～読み書き」までのすべてで介護・支援が必要な場合、「日常生活全般」だけに○をつけてください。

「家事（調理、洗濯、掃除）（献立を考える、洗濯物を干す、部屋を片付けるなども含む）」の割合が23.5%と最も高く、次いで「お金の管理（所持金の把握、金融機関での出金・入金など）」の割合が18.4%、「外出（歩行の介助、道に迷わないよう誘導、乗り物の利用など）」の割合が17.7%となっています。



※「家族以外の人との意思疎通（見る・聞く・話す・理解すること）」、「読み書き（代筆・代読）」は令和7年度調査で追加した選択肢です。

【年齢別】

年齢別にみると、「40～64歳」から「75歳以上」まで年齢が上がるほど「入浴（身体を洗う、浴槽への出入り、身体や髪を拭く）」「外出（歩行の介助、道に迷わないよう誘導、乗り物の利用など）」「読み書き（代筆・代読）」の割合が高く、「65～74歳」から「18～39歳」まで年齢が下がるほど「日常生活全般」「家事（調理、洗濯、掃除）（献立を考える、洗濯物を干す、部屋を片付けるなども含む）」「家族以外の人との意思疎通（見る・聞く・話す・理解すること）」「お金の管理（所持金の把握、金融機関での出金・入金など）」「薬の管理（薬の用意、服用したかどうかの確認を含む）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	日常生活全般	食事（小さく切って食べやすくする、口まで運ぶなど）	家事（調理、洗濯、掃除）（献立を考える、洗濯物を干す、部屋を片付けるなども含む）	入浴（身体を洗う、浴槽への出入り、身体や髪を拭く）	排せつ（トイレの使用）（時間で誘導、便座に座る、排便の後始末など）	家の中での移動・移乗	外出（歩行の介助、道に迷わないよう誘導、乗り物の利用など）
全体	2,210	11.1	2.5	23.5	8.4	2.8	1.6	17.7
18～39歳	476	12.6	3.4	31.1	9.9	5.0	0.6	21.6
40～64歳	929	8.7	1.8	21.3	4.5	1.5	0.9	13.3
65～74歳	331	8.5	2.1	19.6	9.1	1.8	2.1	17.2
75歳以上	441	17.2	3.2	22.7	14.7	3.9	3.9	22.7

区分	家族以外の人との意思疎通（見る・聞く・話す・理解すること）	お金の管理（所持金の把握、金融機関での出金・入金など）	薬の管理（薬の用意、服用したかどうかの確認を含む）	読み書き（代筆・代読）	その他	特に必要としない	無回答
全体	10.4	18.4	14.7	12.1	3.8	43.1	6.0
18～39歳	19.1	32.4	25.2	17.2	4.0	36.6	2.9
40～64歳	8.2	14.5	10.9	8.8	4.5	49.9	4.2
65～74歳	7.9	13.0	9.4	11.8	3.3	46.8	9.1
75歳以上	7.5	15.6	15.2	14.1	2.5	33.6	10.2

【障害種別】

障害種別にみると、知的障害で「お金の管理（所持金の把握、金融機関での出金・入金など）」「薬の管理（薬の用意、服用したかどうかの確認を含む）」「読み書き（代筆・代読）」の割合が高くなっています。

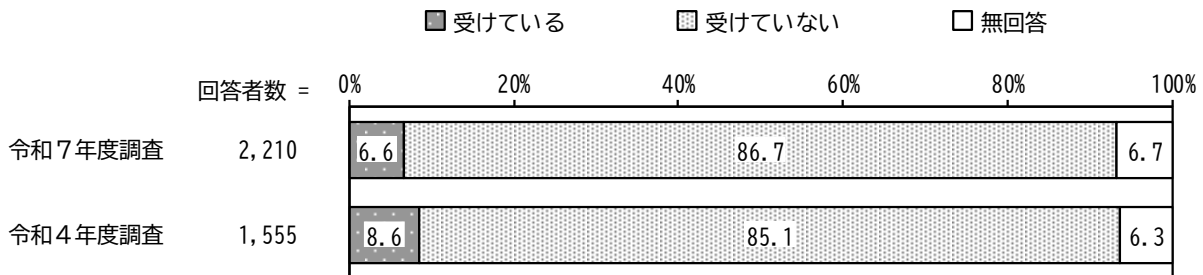
単位：％

区分	回答者数(件)	日常生活全般	食事(小さく切って食べやすくする、口まで運ぶなど)	家事(調理、洗濯、掃除)(献立を考える、洗濯物を干す、部屋を片付けるなども含む)	入浴(身体を洗う、浴槽への出入り、身体や髪を拭く)	排泄(トイレの使用)(時間で誘導、便座に座る、排便の後始末など)	家の中での移動・移乗	外出(歩行の介助、道に迷わないよう誘導、乗り物の利用など)
全体	2,210	11.1	2.5	23.5	8.4	2.8	1.6	17.7
身体障害	903	16.8	3.1	21.6	11.6	3.3	2.8	21.4
知的障害	422	22.7	5.2	38.6	13.5	8.1	0.9	27.3
精神障害	560	8.9	2.0	32.3	5.9	1.3	1.4	16.8
難病	530	8.1	1.9	10.9	5.8	1.1	1.9	10.9
発達障害	183	13.7	3.3	36.1	10.9	8.2	1.1	19.7
高次脳機能障害	78	21.8	6.4	30.8	11.5	3.8	3.8	30.8
重症心身障害	36	77.8	2.8	11.1	8.3	0.0	2.8	5.6
強度行動障害	17	47.1	17.6	35.3	29.4	17.6	5.9	23.5

区分	家族以外の人との意思疎通(見る・聞く・話す・理解すること)	お金の管理(所持金の把握、金融機関での出金・入金など)	薬の管理(薬の用意、服用したかどうかの確認を含む)	読み書き(代筆・代読)	その他	特に必要としない	無回答
全体	10.4	18.4	14.7	12.1	3.8	43.1	6.0
身体障害	7.6	13.7	12.1	13.5	4.9	37.7	6.3
知的障害	23.5	46.2	32.0	31.5	2.8	15.9	4.0
精神障害	13.9	20.4	19.1	6.4	3.8	36.6	4.8
難病	2.5	4.9	4.7	5.1	3.4	66.6	4.5
発達障害	25.1	38.3	26.8	19.1	6.6	25.7	3.8
高次脳機能障害	21.8	32.1	25.6	21.8	10.3	16.7	6.4
重症心身障害	2.8	5.6	5.6	2.8	0.0	0.0	5.6
強度行動障害	17.6	29.4	23.5	23.5	5.9	5.9	5.9

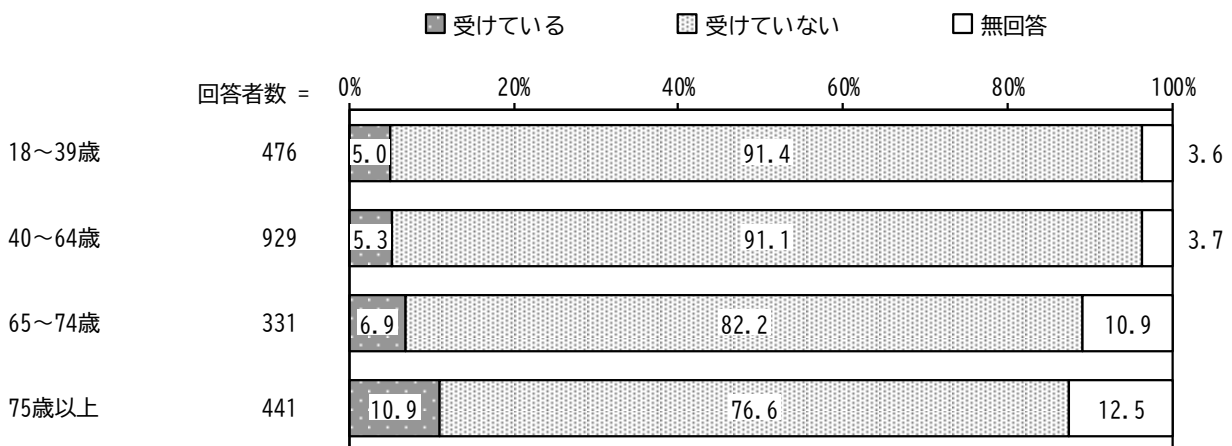
問7 あなた（ご本人）は、日常生活の中で、医療的なケア（在宅における医療的な支援）を受けていますか。受けている場合はどのような医療的なケアを受けていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「受けている」の割合が6.6%、「受けていない」の割合が86.7%となっています。



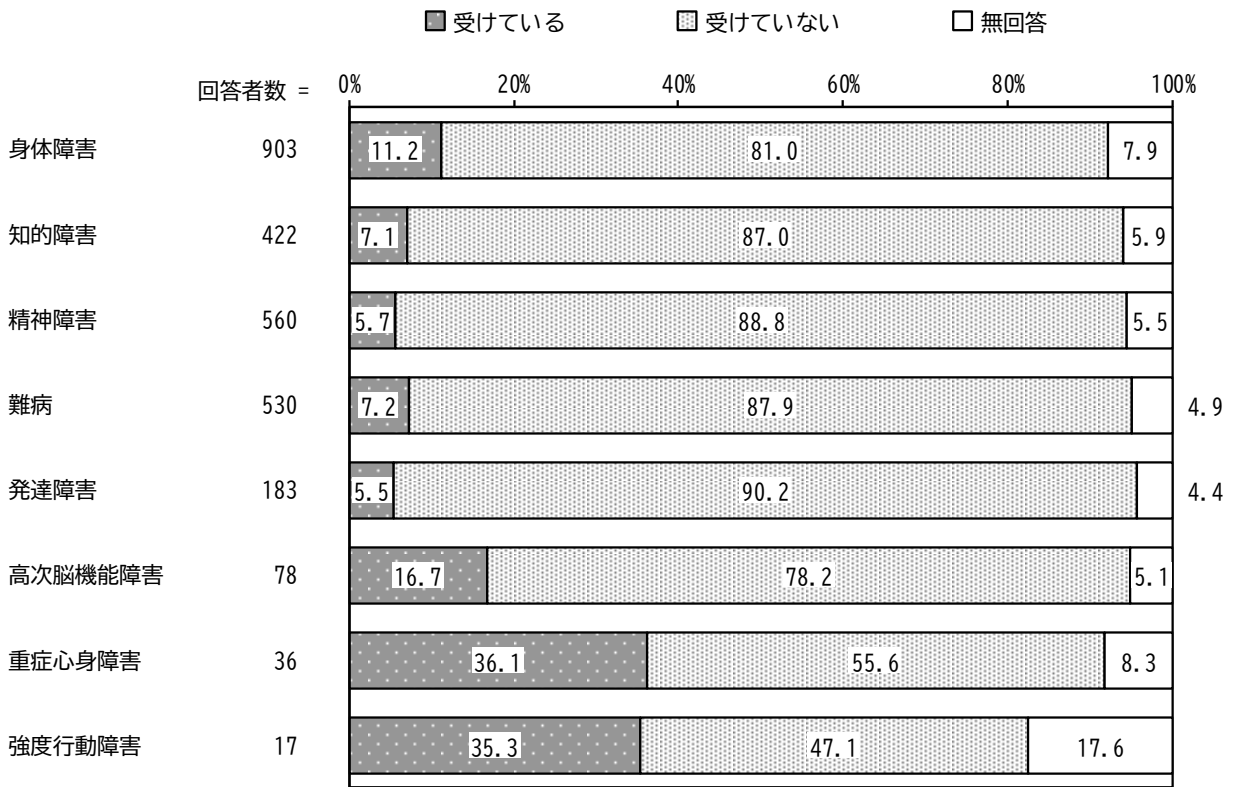
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「受けていない」の割合が高くなっています。



【障害種別】

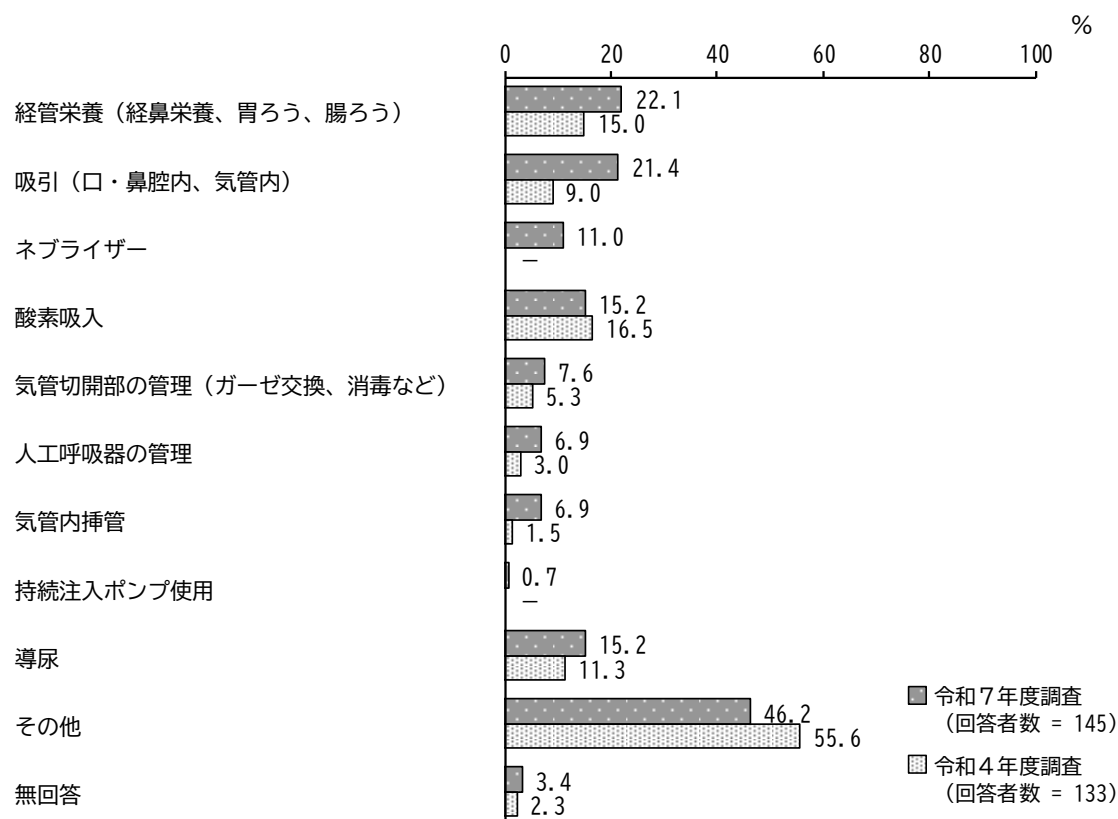
障害種別にみると、重症心身障害、強度行動障害で「受けている」の割合が高くなっています。



受けている医療的なケア

「経管栄養（経鼻栄養、胃ろう、腸ろう）」の割合が22.1%と最も高く、次いで「吸引（口・鼻腔内、気管内）」の割合が21.4%、「酸素吸入」、「導尿」の割合が15.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「経管栄養（経鼻栄養、胃ろう、腸ろう）」「吸引（口・鼻腔内、気管内）」「気管内挿管」の割合が増加しています。



※「ネブライザー」、「持続注入ポンプ使用」は令和7年度調査で追加した選択肢です。

【年齢別】

年齢別にみると、「18～39歳」で年齢が下がるほど「経管栄養（経鼻栄養、胃ろう、腸ろう）」「吸引（口・鼻腔内、気管内）」の割合が高い傾向にあります。また、「65～74歳」で「導尿」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	経管栄養（経鼻栄養、胃ろう、腸ろう）	吸引（口・鼻腔内、気管内）	ネブライザー	酸素吸入	気管切開部の管理（ガーゼ交換、消毒など）	人工呼吸器の管理	気管内挿管	持続注入ポンプ使用	導尿	その他	無回答
全体	145	22.1	21.4	11.0	15.2	7.6	6.9	6.9	0.7	15.2	46.2	3.4
18～39歳	24	45.8	41.7	25.0	16.7	20.8	20.8	12.5	0.0	16.7	29.2	0.0
40～64歳	49	24.5	20.4	12.2	12.2	4.1	6.1	4.1	0.0	2.0	53.1	4.1
65～74歳	23	17.4	21.7	0.0	21.7	8.7	0.0	13.0	4.3	30.4	47.8	0.0
75歳以上	48	10.4	10.4	8.3	14.6	4.2	4.2	4.2	0.0	20.8	47.9	6.3

【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害、知的障害、高次脳機能障害で、「経管栄養（経鼻栄養、胃ろう、腸ろう）」「吸引（口・鼻腔内、気管内）」の割合が高くなっています。

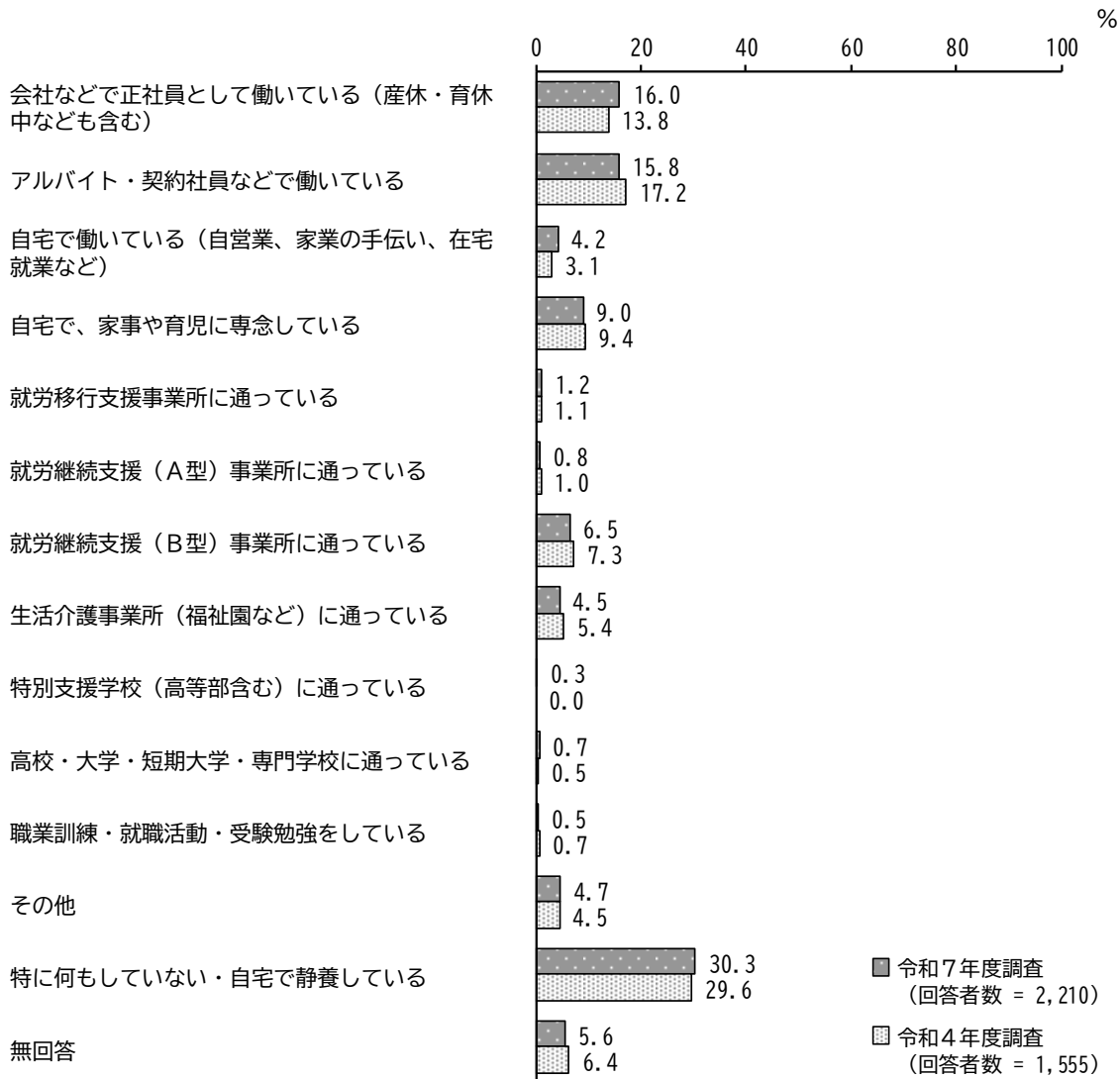
単位：％

区分	回答者数（件）	経管栄養（経鼻栄養、胃ろう、腸ろう）	吸引（口・鼻腔内、気管内）	ネブライザー	酸素吸入	気管切開部の管理（ガーゼ交換、消毒など）	人工呼吸器の管理	気管内挿管	持続注入ポンプ使用	導尿	その他	無回答
全体	145	22.1	21.4	11.0	15.2	7.6	6.9	6.9	0.7	15.2	46.2	3.4
身体障害	101	25.7	26.7	10.9	15.8	6.9	7.9	6.9	1.0	19.8	39.6	3.0
知的障害	30	53.3	36.7	30.0	16.7	16.7	13.3	13.3	0.0	3.3	30.0	3.3
精神障害	32	6.3	9.4	0.0	12.5	0.0	3.1	0.0	0.0	9.4	68.8	6.3
難病	38	36.8	23.7	10.5	23.7	15.8	15.8	10.5	0.0	10.5	42.1	2.6
発達障害	10	50.0	20.0	20.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	40.0	0.0
高次脳機能障害	13	53.8	46.2	15.4	15.4	23.1	15.4	23.1	0.0	23.1	38.5	0.0
重症心身障害	13	84.6	76.9	30.8	46.2	15.4	30.8	23.1	7.7	7.7	0.0	0.0
強度行動障害	6	83.3	66.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0

(2) 仕事や学校生活について

問8 あなた（ご本人）は、普段（休日以外）は、どのように過ごしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「会社などで正社員として働いている（産休・育休中なども含む）」の割合が16.0%と最も高く、次いで「アルバイト・契約社員などで働いている」の割合が15.8%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「会社などで正社員として働いている（産休・育休中なども含む）」「アルバイト・契約社員などで働いている」「就労継続支援（B型）事業所に通っている」の割合が高く、「18～39歳」から「65～74歳」まで年齢が上がるほど「自宅で、家事や育児に専念している」の割合が高く、「生活介護事業所（福祉園など）に通っている」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	会社などで正社員として働いている（産休・育休中なども含む）	アルバイト・契約社員などで働いている	自宅で働いている（自営業、家業の手伝い、在宅就業など）	自宅で、家事や育児に専念している	就労移行支援事業所に通っている	就労継続支援（A型）事業所に通っている	就労継続支援（B型）事業所に通っている
全体	2,210	16.0	15.8	4.2	9.0	1.2	0.8	6.5
18～39歳	476	24.4	21.8	1.7	3.2	4.0	0.6	12.6
40～64歳	929	22.5	19.8	5.8	10.2	0.5	1.0	7.1
65～74歳	331	6.3	11.5	4.5	15.7	0.0	0.3	3.3
75歳以上	441	1.1	3.9	2.7	7.5	0.5	0.2	1.4

区分	生活介護事業所（福祉園など）に通っている	特別支援学校（高等部含む）に通っている	高校・大学・短期大学・専門学校に通っている	職業訓練・就職活動・受験勉強をしている	その他	特に何もしていない・自宅で静養している	無回答
全体	4.5	0.3	0.7	0.5	4.7	30.3	5.6
18～39歳	11.6	1.5	3.2	0.8	2.9	10.1	1.7
40～64歳	3.1	0.0	0.1	0.6	4.3	21.4	3.4
65～74歳	0.6	0.0	0.0	0.0	5.7	46.5	5.4
75歳以上	2.9	0.0	0.0	0.0	7.0	59.4	13.4

【障害種別】

障害種別にみると、知的障害で「就労継続支援（B型）事業所に通っている」、発達障害で「アルバイト・契約社員などで働いている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	会社などで正社員として働いている（産休・育休中なども含む）	アルバイト・契約社員などで働いている	自宅で働いている（自営業、家業の手伝い、在宅就業など）	自宅で、家事や育児に専念している	就労移行支援事業所に通っている	就労継続支援（A型）事業所に通っている	就労継続支援（B型）事業所に通っている
全体	2,210	16.0	15.8	4.2	9.0	1.2	0.8	6.5
身体障害	903	14.5	8.7	4.2	8.1	0.2	0.4	2.9
知的障害	422	8.1	18.7	0.2	0.9	1.2	2.1	22.3
精神障害	560	12.3	17.3	3.9	9.3	2.3	1.1	7.1
難病	530	23.0	19.8	6.6	17.4	0.6	0.2	1.1
発達障害	183	19.7	20.2	2.7	4.4	4.9	0.0	13.1
高次脳機能障害	78	5.1	11.5	3.8	2.6	0.0	0.0	14.1
重症心身障害	36	0.0	2.8	2.8	0.0	0.0	2.8	2.8
強度行動障害	17	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0

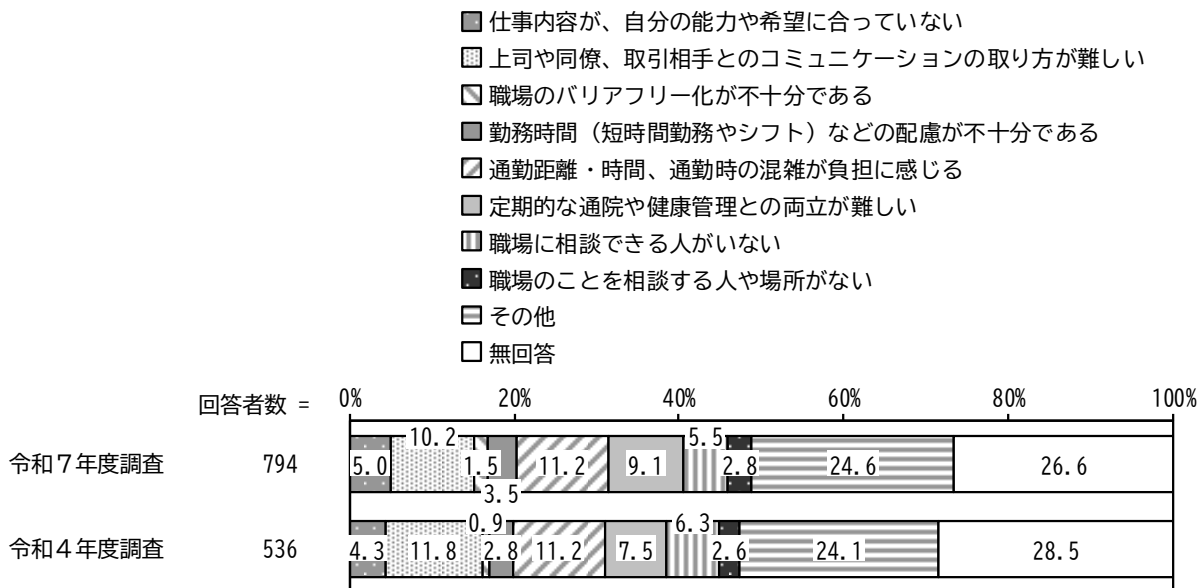
区分	生活介護事業所（福祉園など）に通っている	特別支援学校（高等部含む）に通っている	高校・大学・短期大学・専門学校に通っている	職業訓練・就職活動・受験勉強をしている	その他	特に何もしていない・自宅で静養している	無回答
全体	4.5	0.3	0.7	0.5	4.7	30.3	5.6
身体障害	5.8	0.0	0.3	0.1	7.5	40.2	7.0
知的障害	17.8	1.4	1.2	0.0	4.5	15.4	6.2
精神障害	1.4	0.4	0.4	1.3	4.1	35.5	3.6
難病	2.3	0.0	0.8	0.4	2.6	22.5	2.8
発達障害	6.6	1.6	2.2	0.5	4.9	15.3	3.8
高次脳機能障害	5.1	0.0	0.0	1.3	9.0	39.7	7.7
重症心身障害	33.3	0.0	0.0	0.0	13.9	22.2	19.4
強度行動障害	47.1	0.0	0.0	0.0	0.0	41.2	5.9

問8で「会社などで正社員として働いている（産休・育休中なども含む）」～「自宅で働いている（自営業、家業の手伝い、在宅就業など）」に○をつけた方にうかがいます。

問9 仕事をする上で困っていることはありますか。また、今後どのような希望がありますか。それぞれもっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

<困っていること>

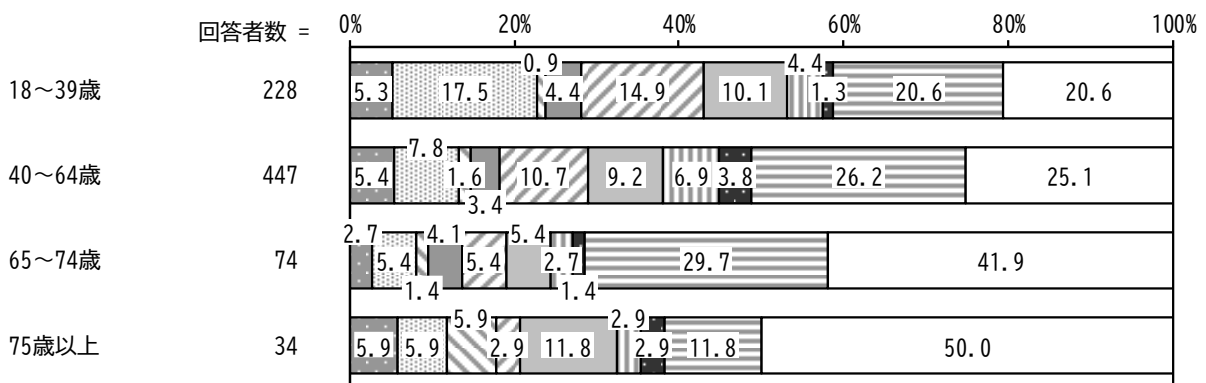
「通勤距離・時間、通勤時の混雑が負担に感じる」の割合が11.2%と最も高く、次いで「上司や同僚、取引相手とのコミュニケーションの取り方が難しい」の割合が10.2%となっています。



【年齢別】

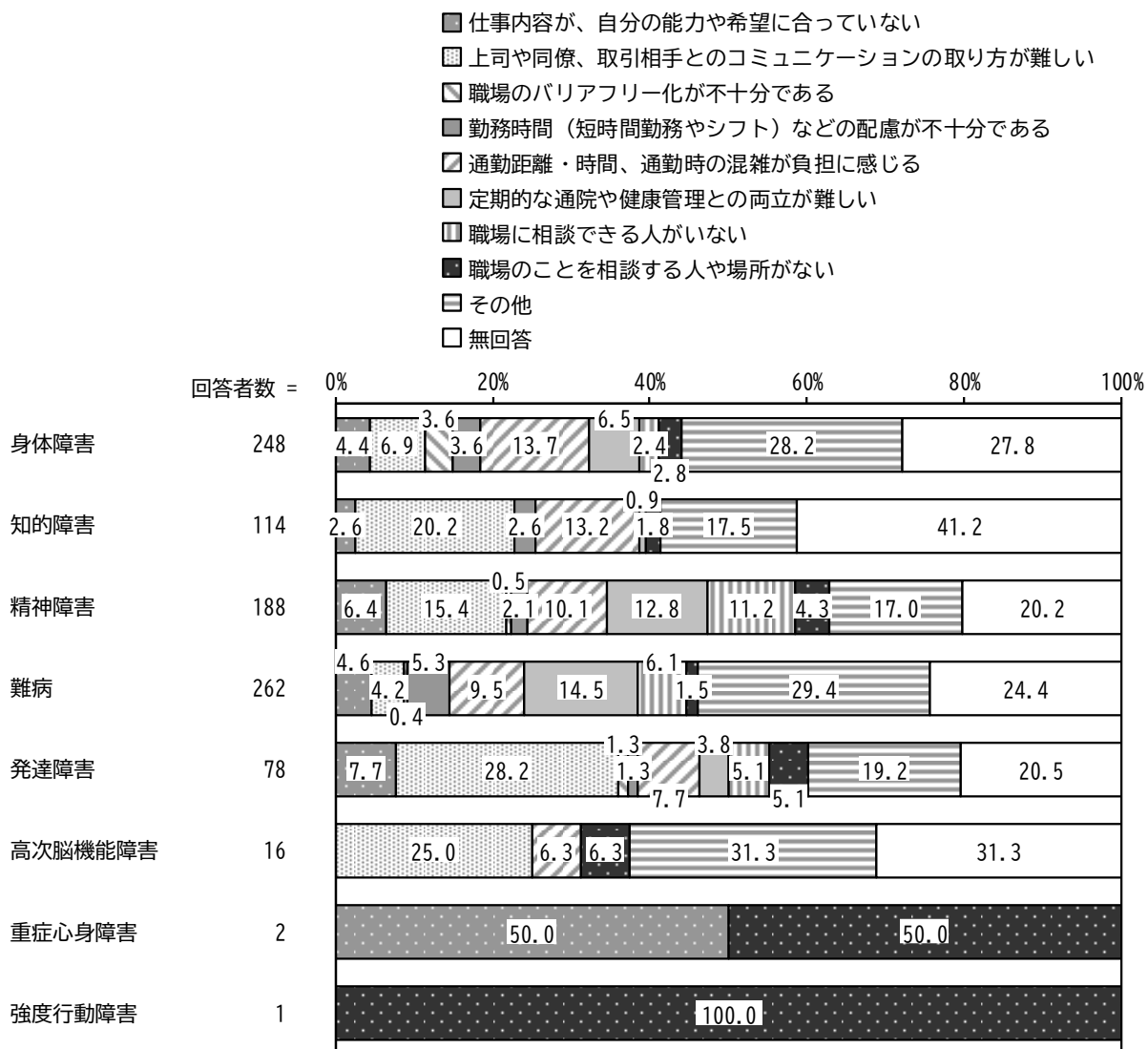
年齢別にみると、年齢が下がるほど「通勤距離・時間、通勤時の混雑が負担に感じる」の割合が高く、「65～74歳」から「18～39歳」まで年齢が下がるほど「上司や同僚、取引相手とのコミュニケーションの取り方が難しい」「定期的な通院や健康管理との両立が難しい」の割合が高くなっています。

- 仕事内容が、自分の能力や希望に合っていない
- ▨ 上司や同僚、取引相手とのコミュニケーションの取り方が難しい
- ▩ 職場のバリアフリー化が不十分である
- 勤務時間（短時間勤務やシフト）などの配慮が不十分である
- ▨ 通勤距離・時間、通勤時の混雑が負担に感じる
- ▩ 定期的な通院や健康管理との両立が難しい
- ▩ 職場に相談できる人がいない
- 職場のことを相談する人や場所がない
- ▩ その他
- 無回答



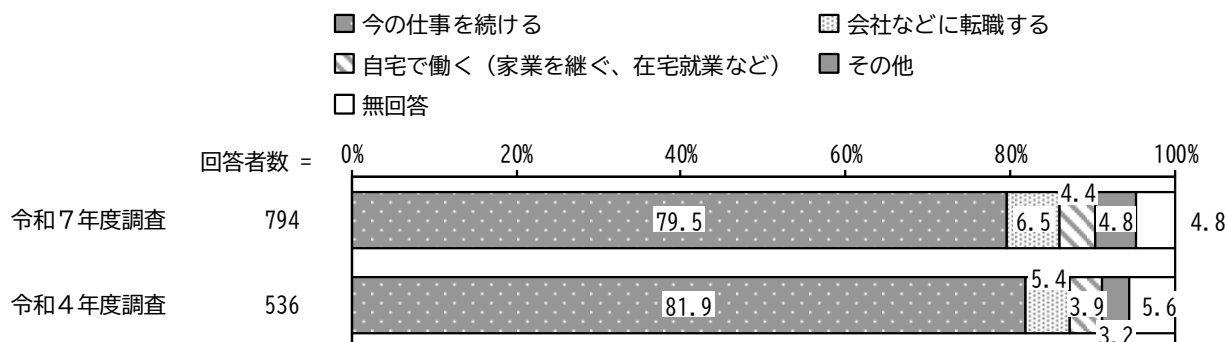
【障害種別】

障害種別にみると、知的障害、精神障害、発達障害、高次脳機能障害で「上司や同僚、取引相手とのコミュニケーションの取り方が難しい」、難病で「定期的な通院や健康管理との両立が難しい」割合が高くなっています。



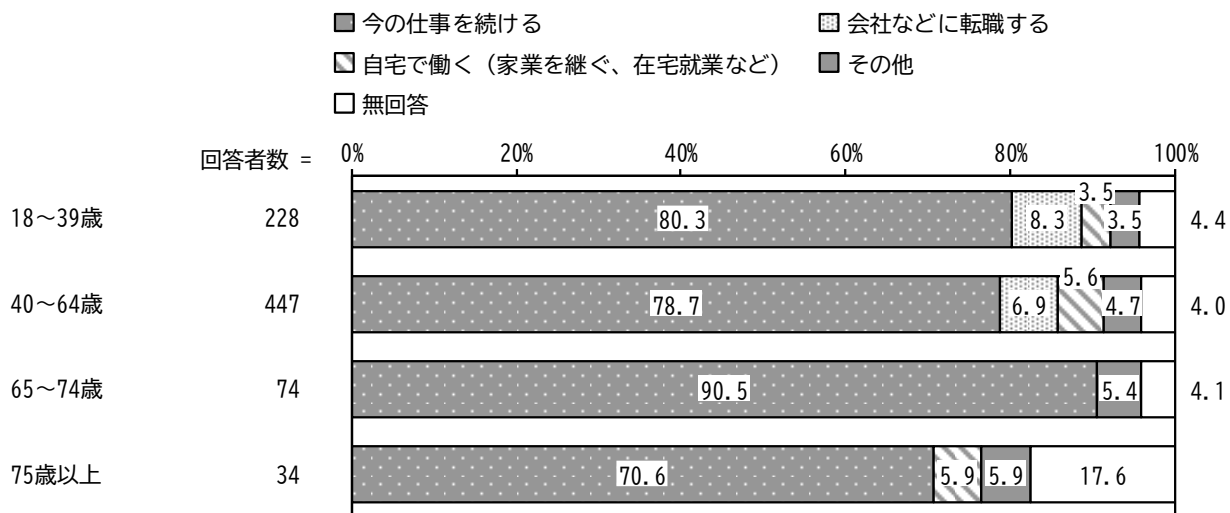
<今後の希望>

「今の仕事を続ける」の割合が79.5%、「会社などに転職する」の割合が6.5%、「自宅で働く（家業を継ぐ、在宅就業など）」の割合が4.4%となっています。



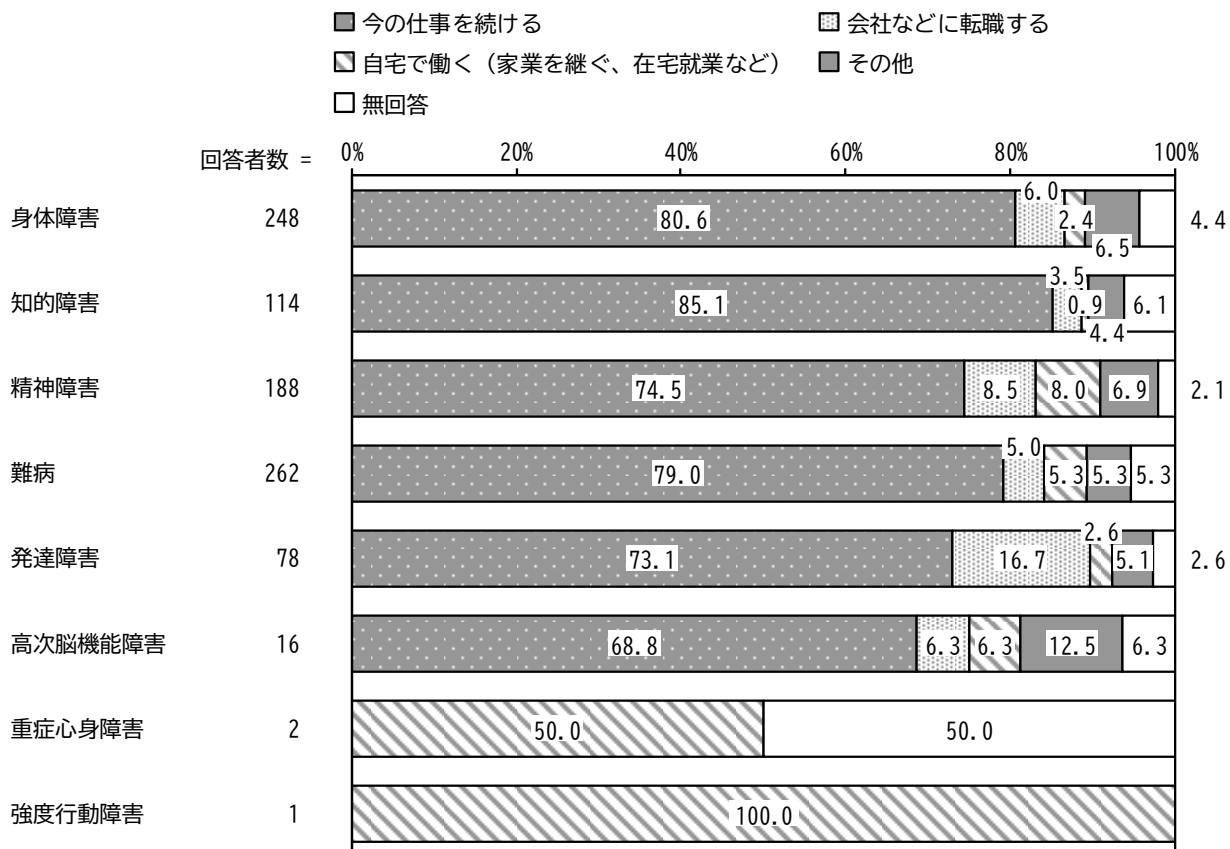
【年齢別】

年齢別にみると、「65～74歳」で「今の仕事を続ける」の割合が高くなっています。



【障害種別】

障害種別にみると、発達障害で「会社などに転職する」の割合が他の障害に比べて高くなっています。

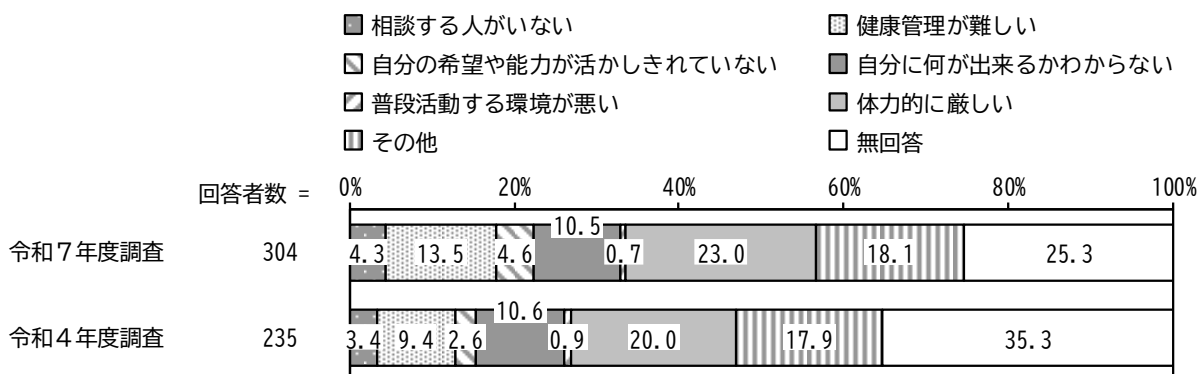


問8で「自宅で、家事や育児に専念している」、「その他」に○をつけた方にうかがいます。

問10 現在困っていることはありますか。また、今後どのような希望がありますか。それぞれもっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

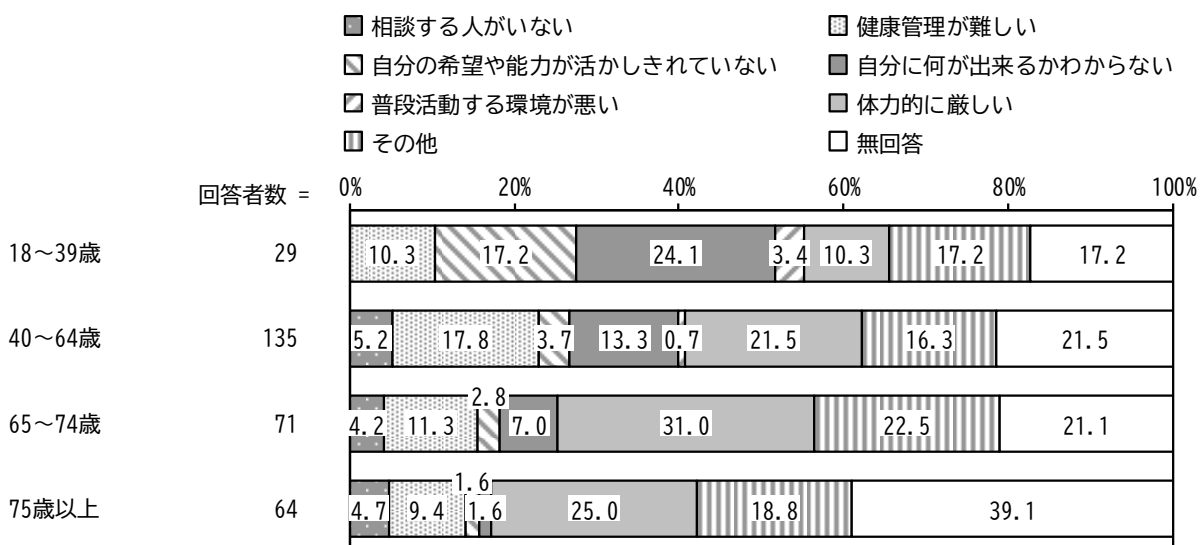
<困っていること>

「体力的に厳しい」の割合が23.0%と最も高く、次いで「健康管理が難しい」の割合が13.5%、「自分に何が出来るかわからない」の割合が10.5%となっています。



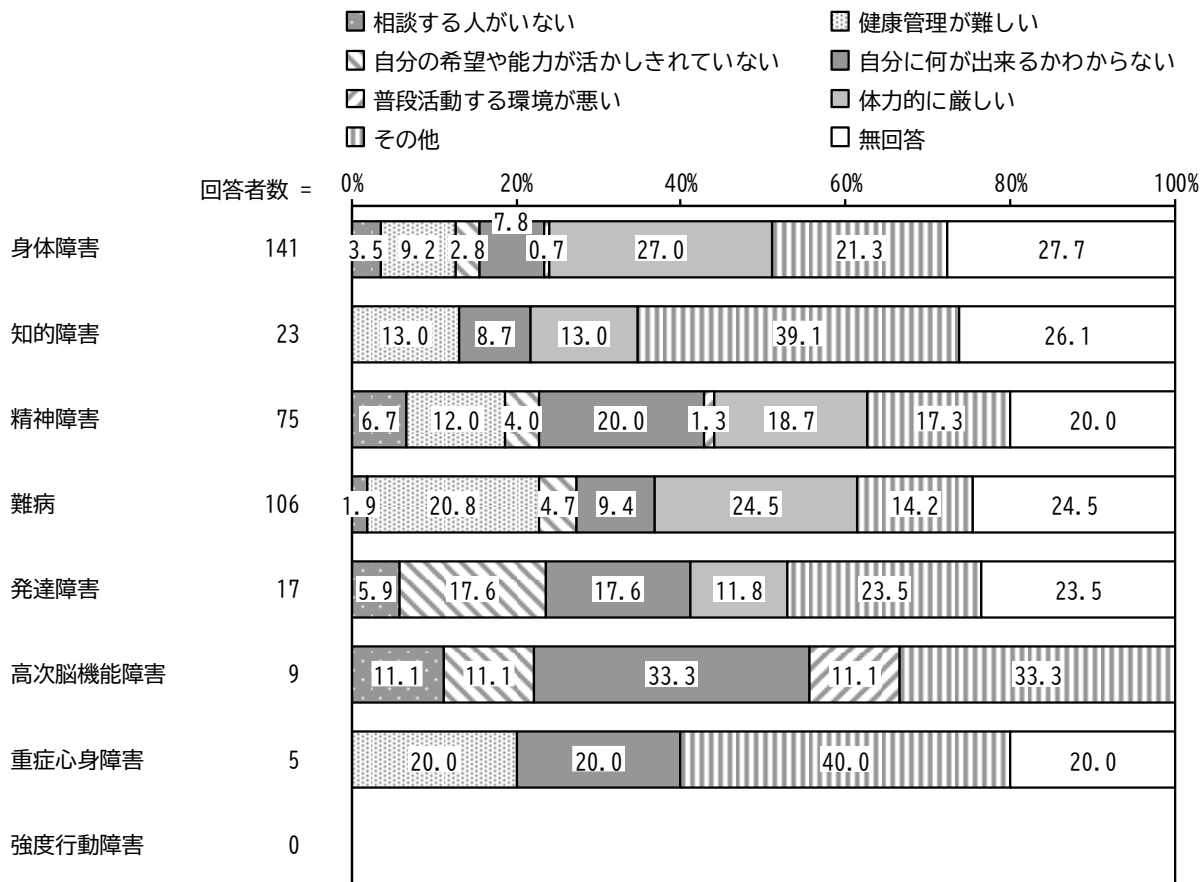
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「自分の希望や能力が活かしきれていない」「自分に何が出来るかわからない」の割合が高い傾向にあり、「75歳以上」から「40～64歳」まで年齢が下がるほど「健康管理が難しい」の割合が高くなっています。また、「18～39歳」で「体力的に厳しい」の割合が低くなっています。



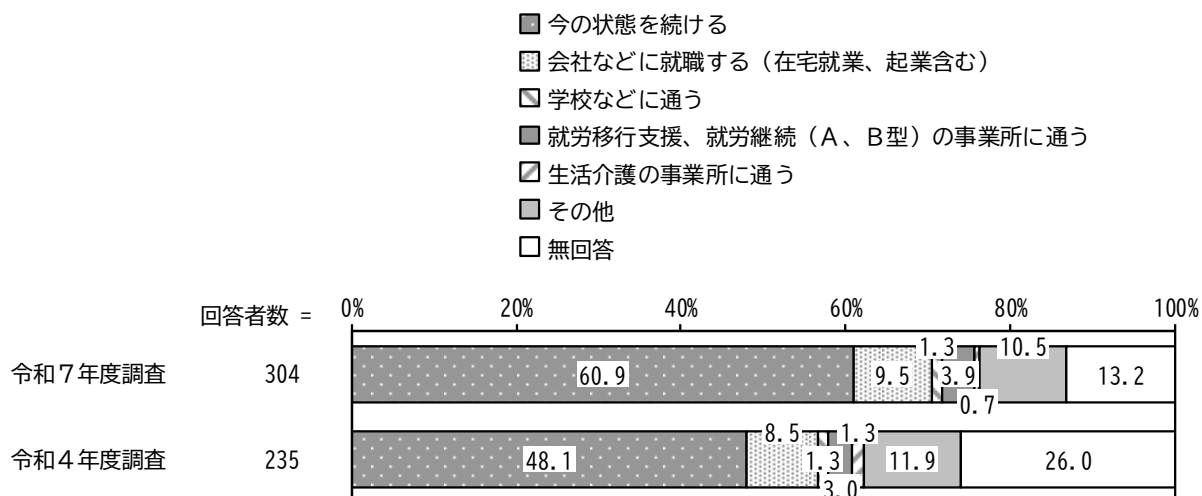
【障害種別】

障害種別にみると、身体障害、難病で「体力的に厳しい」が高く、発達障害で「自分の希望や能力が活かしきれていない」、「自分に何が出来るかわからない」の割合が高くなっています。



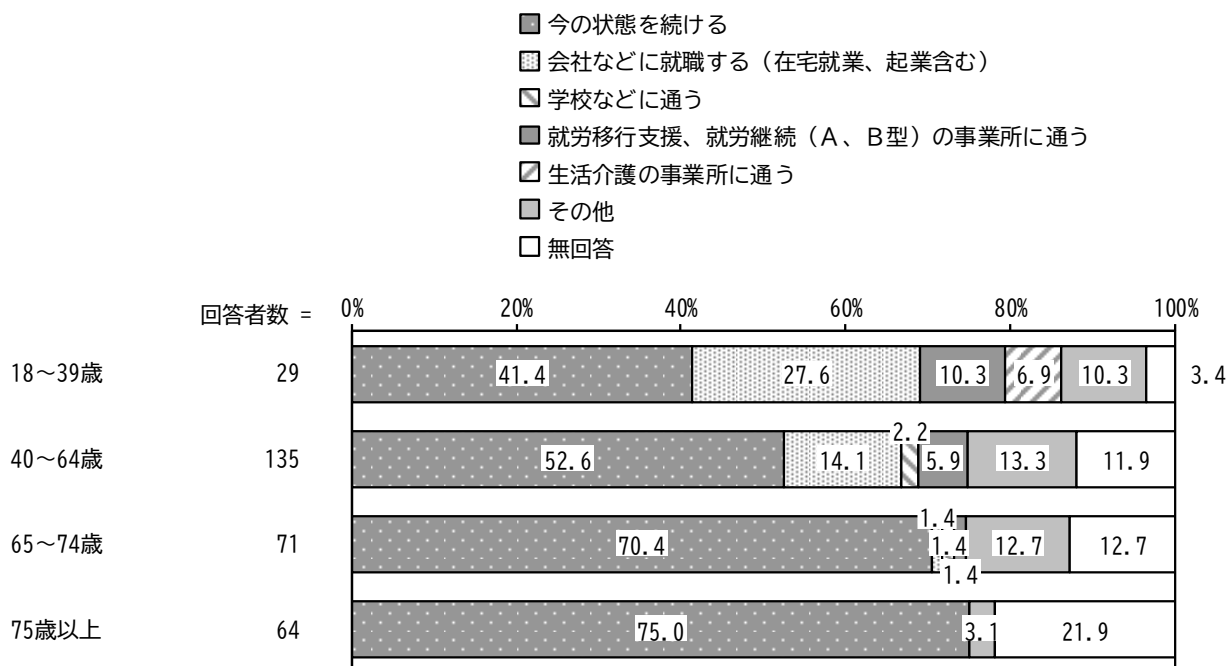
<今後の希望>

「今の状態を続ける」の割合が60.9%と最も高くなっています。
令和4年度調査と比較すると、「今の状態を続ける」の割合が増加しています。



【年齢別】

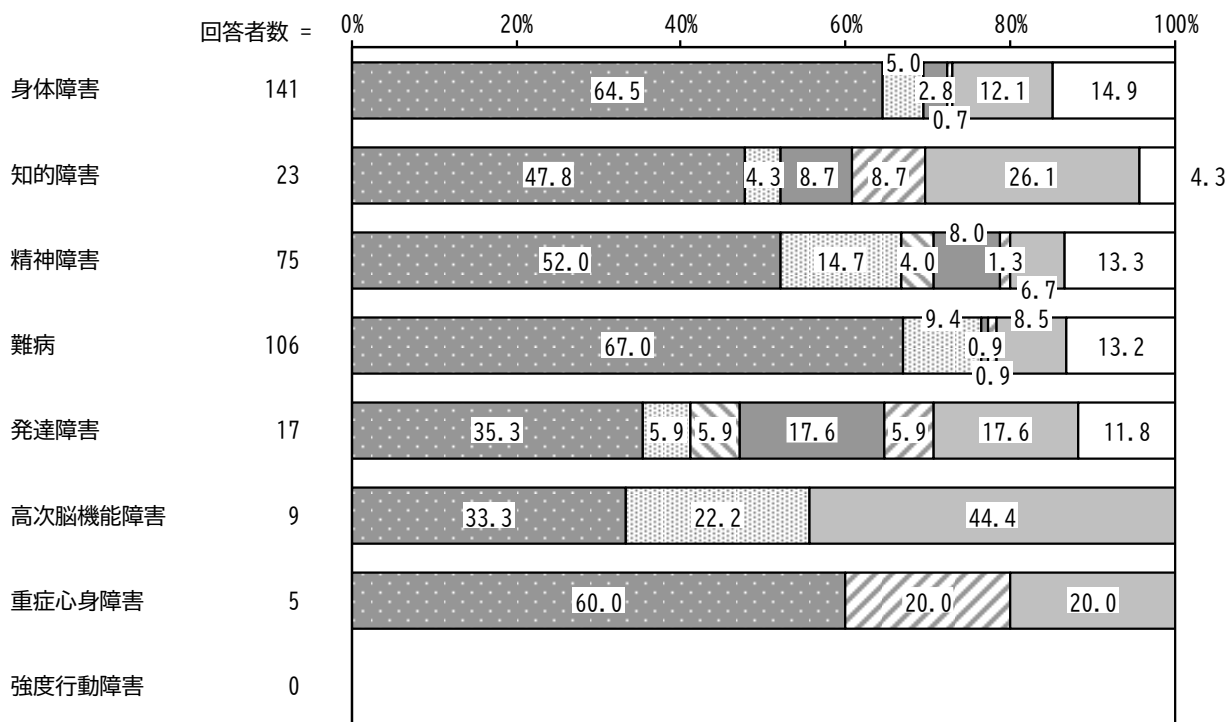
年齢別にみると、年齢が下がるほど「会社などに就職する（在宅就業、起業含む）」「就労移行支援、就労継続（A、B型）の事業所に通う」の割合が高く、「今の状態を続ける」の割合が低くなっています。



【障害種別】

障害種別にみると、精神障害で「会社などに就職する（在宅就業、起業含む）」、発達障害で「就労移行支援、就労継続（A、B型）の事業所に通う」、知的障害、発達障害で「生活介護の事業所に通う」の割合が高くなっています。

- 今の状態を続ける
- 会社などに就職する（在宅就業、起業含む）
- 学校などに通う
- 就労移行支援、就労継続（A、B型）の事業所に通う
- 生活介護の事業所に通う
- その他
- 無回答



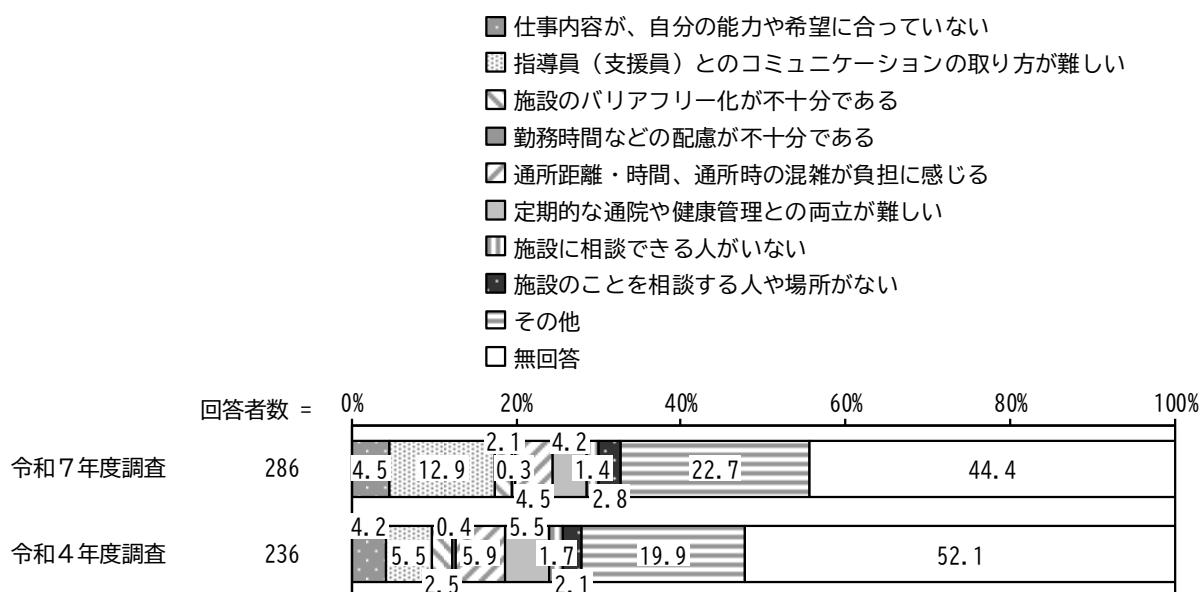
問8で「就労移行支援事業所に通っている」～「生活介護事業所（福祉園など）に通っている」に○をつけた方にうかがいます。

問11 現在困っていることはありますか。また、今後どのような希望がありますか。それぞれもっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

<困っていること>

「指導員（支援員）とのコミュニケーションの取り方が難しい」の割合が12.9%と最も高くなっています。

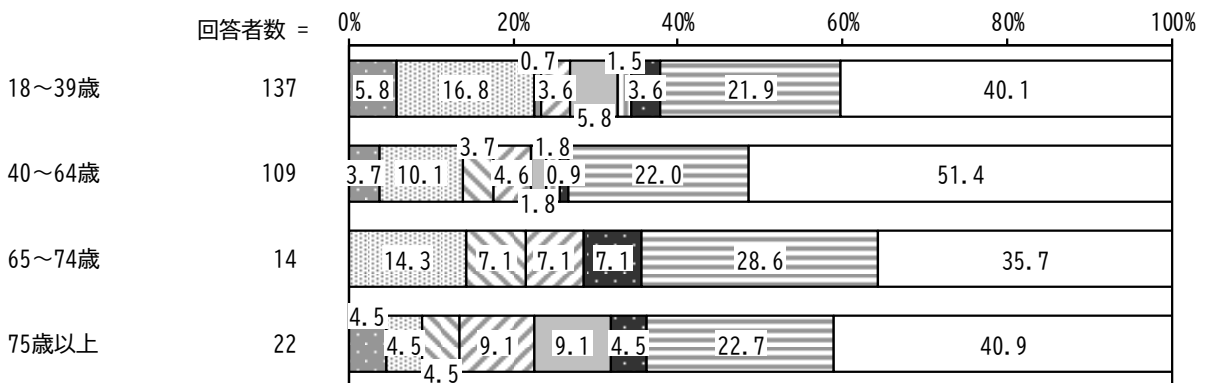
令和4年度調査と比較すると、「指導員（支援員）とのコミュニケーションの取り方が難しい」の割合が増加しています。



【年齢別】

年齢別にみると、65～74歳で「施設のバリアフリー化が不十分である」の割合が高く、75歳以上で「指導員（支援員）とのコミュニケーションの取り方が難しい」の割合が低くなっています。

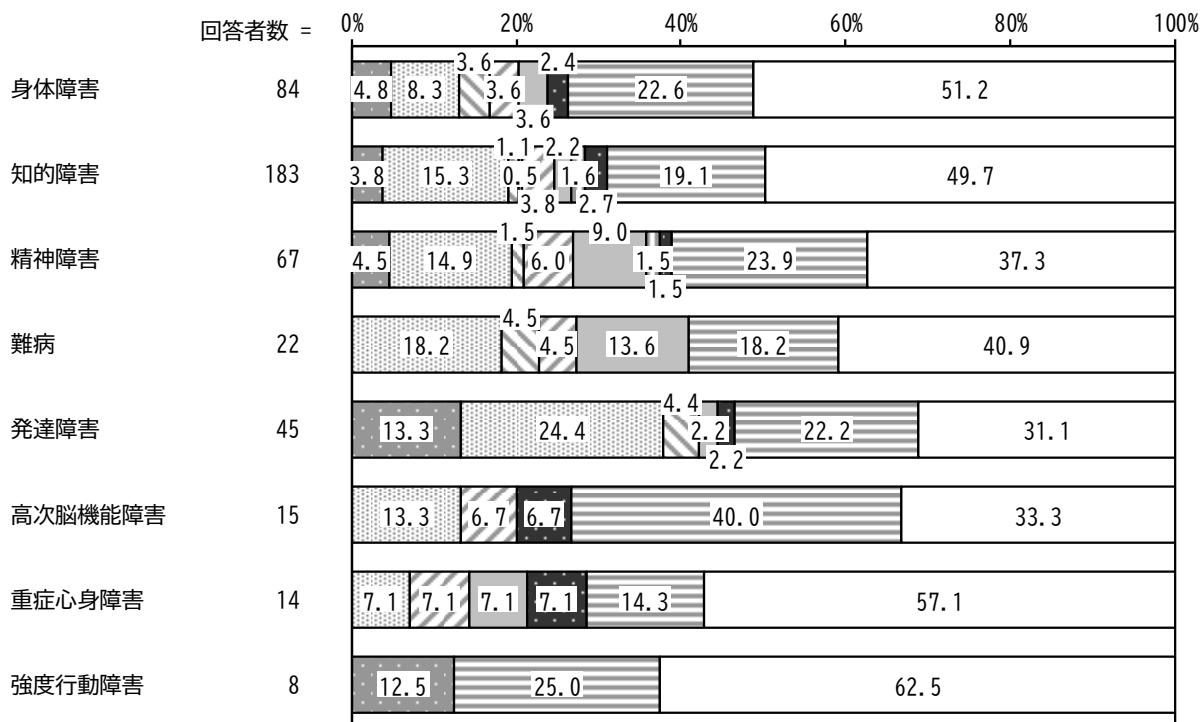
- 仕事内容が、自分の能力や希望に合っていない
- 指導員（支援員）とのコミュニケーションの取り方が難しい
- 施設のバリアフリー化が不十分である
- 勤務時間などの配慮が不十分である
- 通所距離・時間、通所時の混雑が負担に感じる
- 定期的な通院や健康管理との両立が難しい
- 施設に相談できる人がいない
- 施設のことを相談する人や場所がない
- その他
- 無回答



【障害種別】

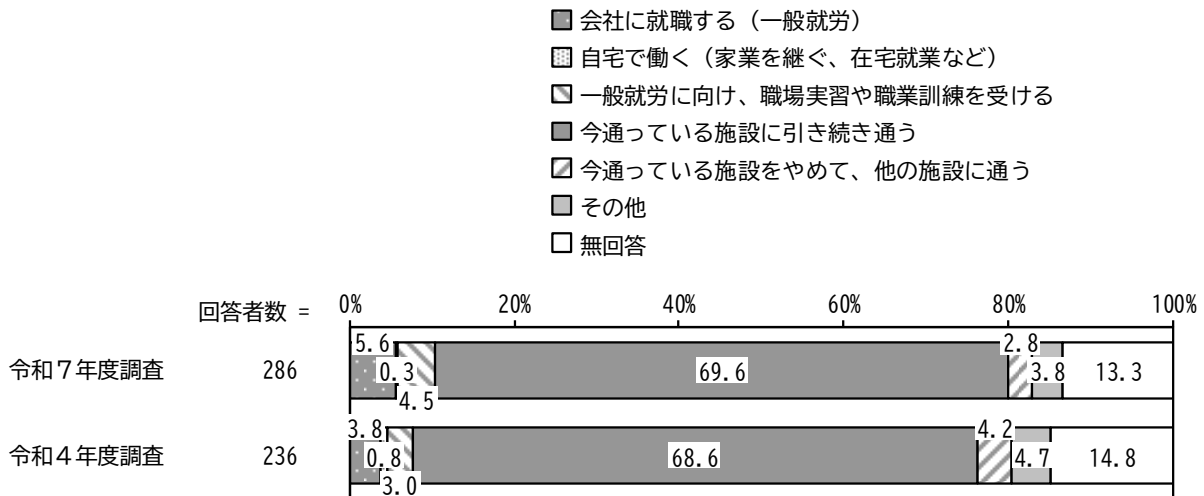
障害種別にみると、発達障害で「仕事内容が、自分の能力や希望に合っていない」の割合が高くなっています。

- 仕事内容が、自分の能力や希望に合っていない
- ▨ 指導員（支援員）とのコミュニケーションの取り方が難しい
- ▧ 施設のバリアフリー化が不十分である
- 勤務時間などの配慮が不十分である
- ▨ 通所距離・時間、通所時の混雑が負担に感じる
- ▧ 定期的な通院や健康管理との両立が難しい
- 施設に相談できる人がいない
- 施設のことを相談する人や場所がない
- ▨ その他
- 無回答



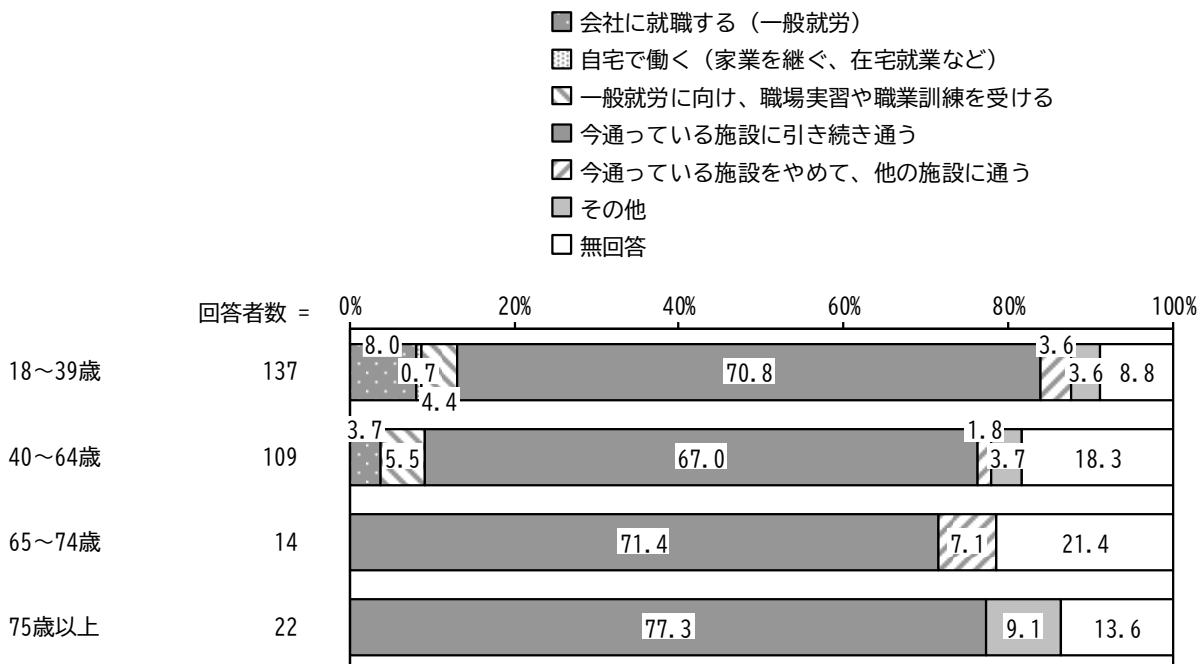
<今後の希望>

「今通っている施設に引き続き通う」の割合が69.6%と最も高くなっています。



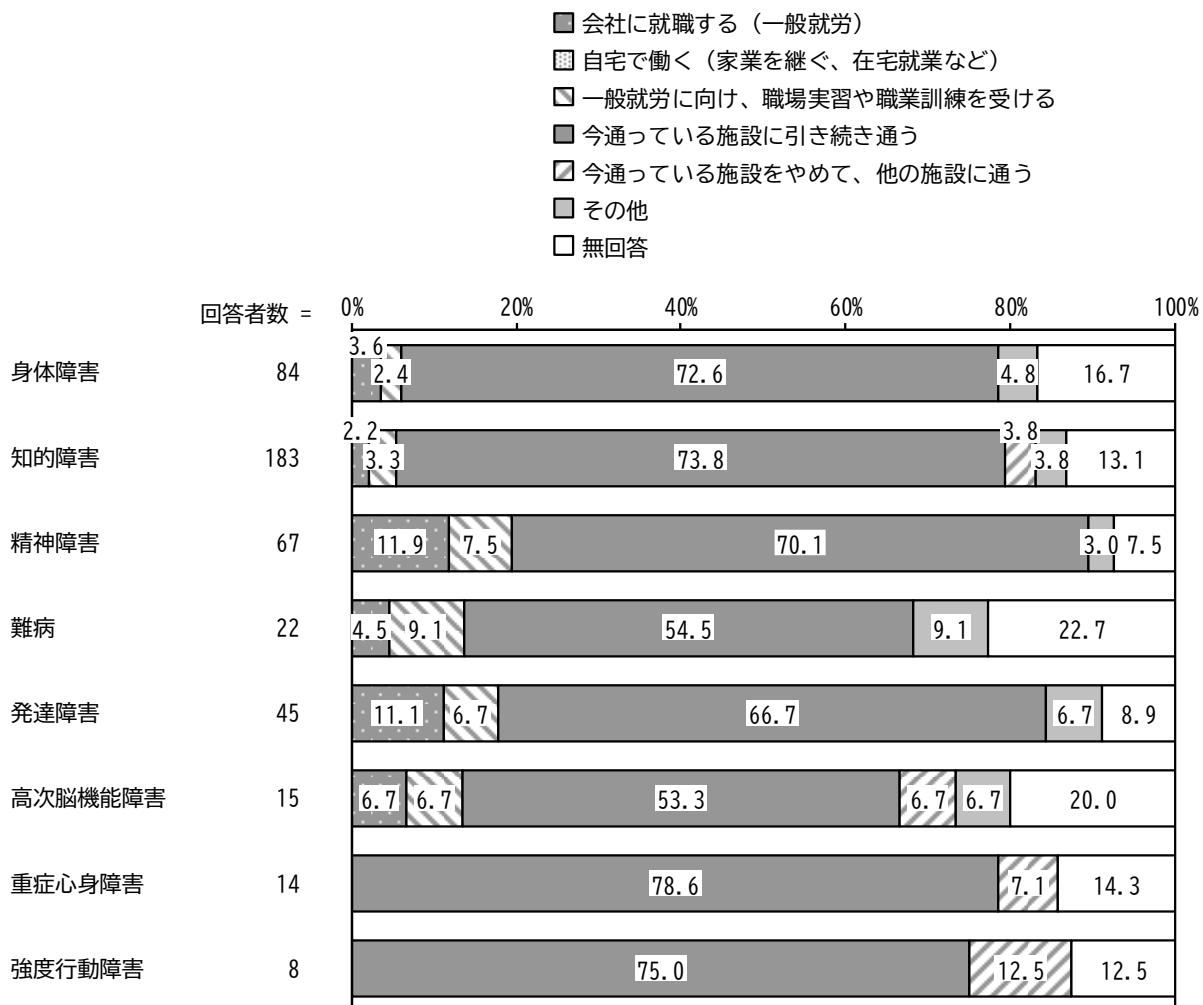
【年齢別】

年齢別にみると、「40～64歳」から「75歳以上」まで年齢が上がるほど「今通っている施設に引き続き通う」の割合が高くなっています。



【障害種別】

障害種別にみると、精神障害、発達障害で「会社に就職する（一般就労）」の割合が、他の障害種別に比べ高くなっています。



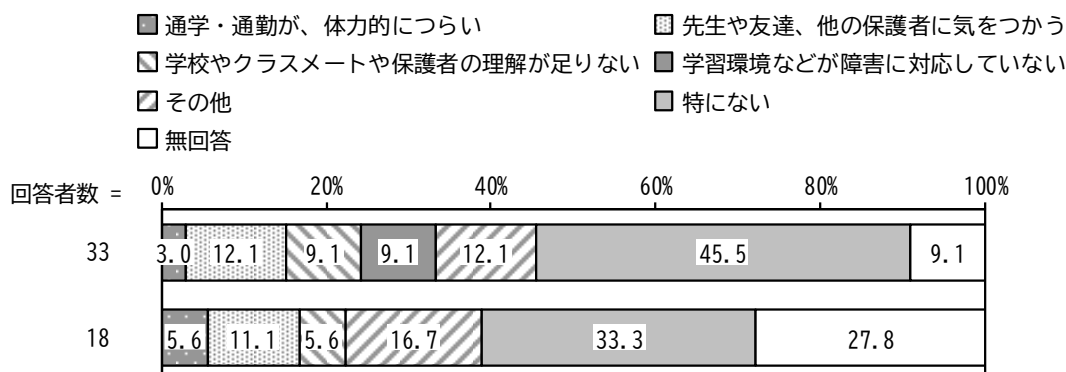
問8で「特別支援学校（高等部含む）に通っている」～「職業訓練・就職活動・受験勉強をしている」に○をつけた方にうかがいます。

問12 学校などで、困っていることはありますか。また、学校（高校）卒業後は、どのような進路を希望していますか。それぞれもっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

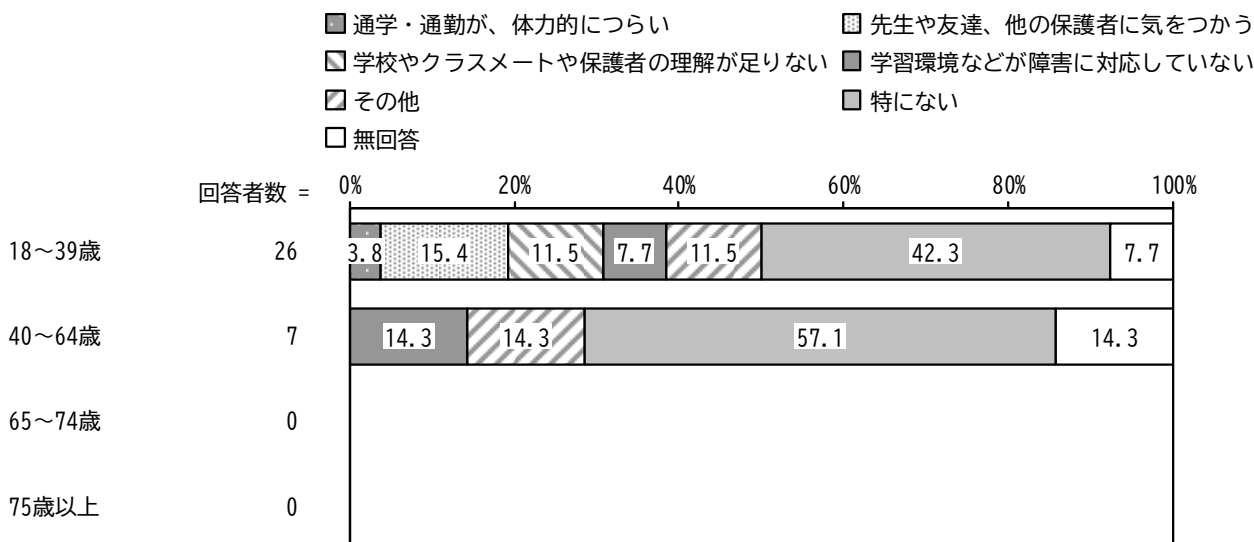
<困っていること>

「先生や友達、他の保護者に気をつかう」の割合が12.1%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、「学習環境などが障害に対応していない」の割合が増加しています。

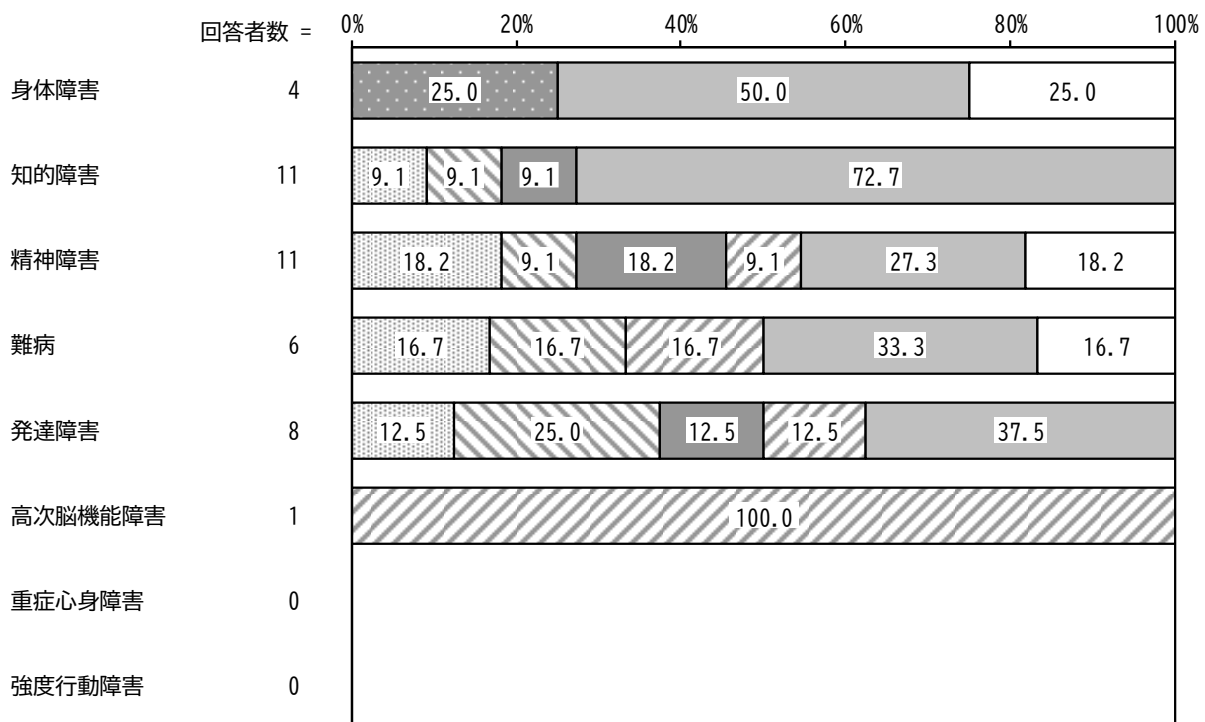


【年齢別】



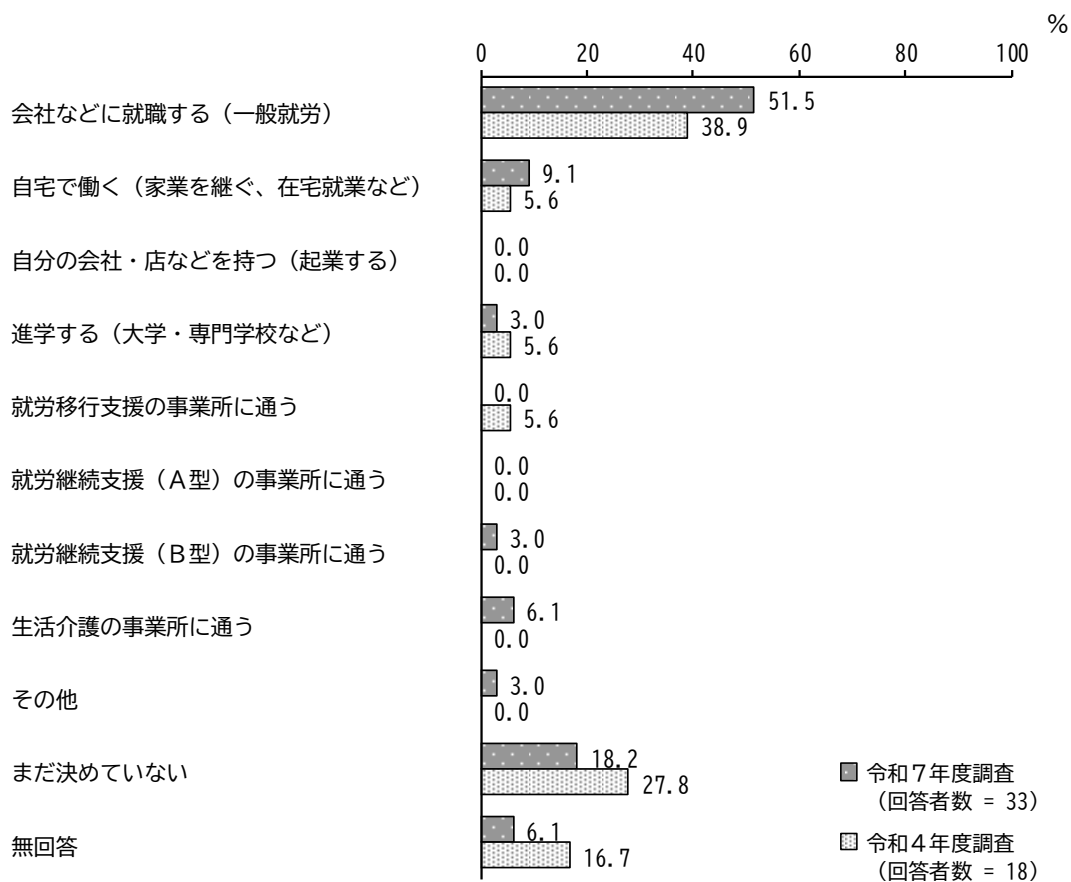
【障害種別】

- 通学・通勤が、体力的につらい
- 先生や友達、他の保護者に気をつかう
- 学校やクラスメートや保護者の理解が足りない
- 学習環境などが障害に対応していない
- その他
- 特にない
- 無回答



<卒業後の希望する進路>

「会社などに就職する（一般就労）」の割合が51.5%と最も高くなっています。



【年齢別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	会社などに就職する (一般就労)	自宅で働く (家業を継ぐ、在宅就業など)	自分の会社・店などを持つ (起業する)	進学する (大学・専門学校など)	就労移行支援の事業所に通う	就労継続支援 (A型) の事業所に通う	就労継続支援 (B型) の事業所に通う	生活介護の事業所に通う	その他	まだ決めていない	無回答
全体	33	51.5	9.1	0.0	3.0	0.0	0.0	3.0	6.1	3.0	18.2	6.1
18～39歳	26	57.7	3.8	0.0	3.8	0.0	0.0	3.8	7.7	3.8	15.4	3.8
40～64歳	7	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3
65～74歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
75歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

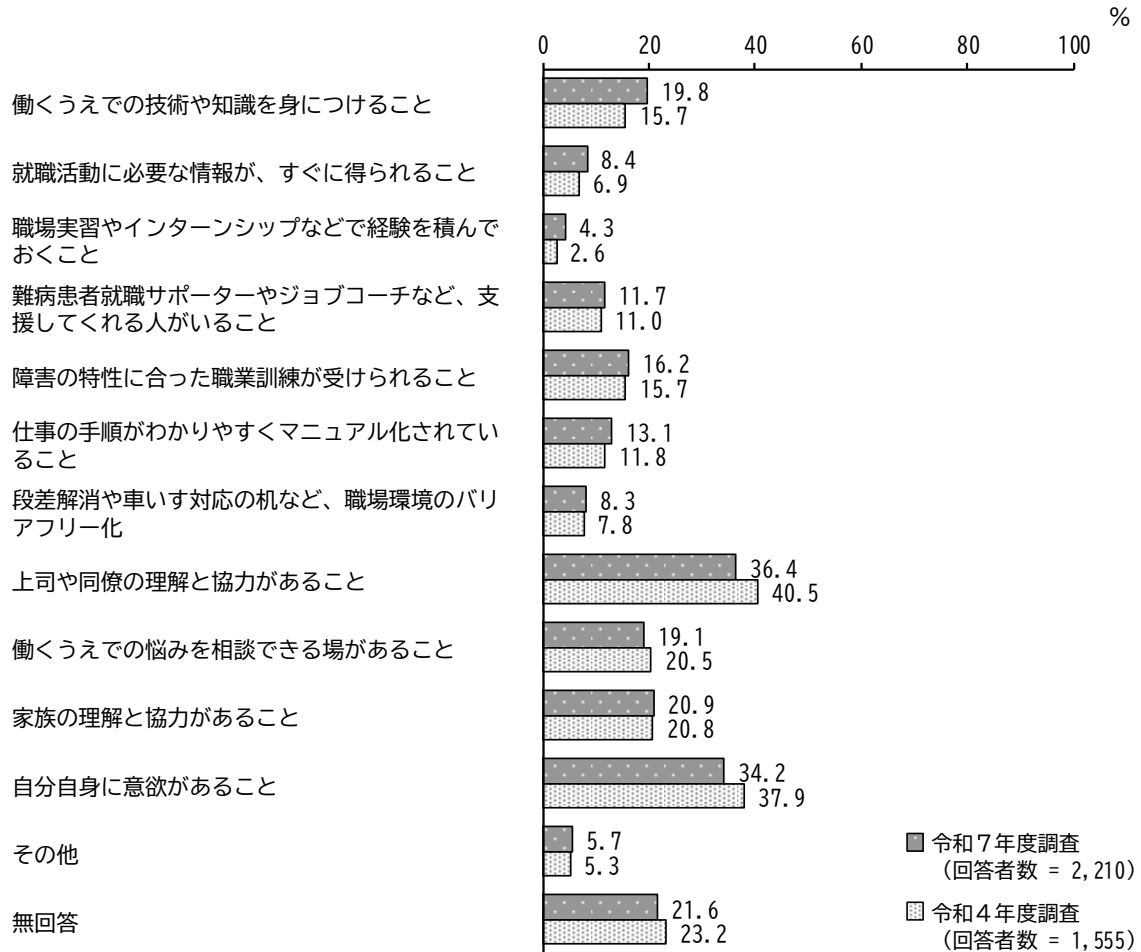
【障害種別】

単位：％

区分	回答者数(件)	会社などに就職する (一般就労)	自宅で働く(家業を継 ぐ、在宅就業など)	自分の会社・店などを 持つ(起業する)	進学する(大学・専門 学校など)	就労移行支援の事業 所に通う	就労継続支援(A型) の事業所に通う	就労継続支援(B型) の事業所に通う	生活介護の事業所に 通う	その他	まだ決めていない	無回答
全 体	33	51.5	9.1	0.0	3.0	0.0	0.0	3.0	6.1	3.0	18.2	6.1
身体障害	4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
知的障害	11	63.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	18.2	0.0
精神障害	11	63.6	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	18.2
難病	6	50.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
発達障害	8	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
高次脳機能障害	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
重症心身障害	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
強度行動障害	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問13 障害（難病）のある方が仕事をしていくためには、どのようなことが必要だと思えますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「上司や同僚の理解と協力があること」の割合が36.4%と最も高く、次いで「自分自身に意欲があること」の割合が34.2%、「家族の理解と協力があること」の割合が20.9%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「働くうえでの技術や知識を身につけること」「難病患者就職サポーターやジョブコーチなど、支援してくれる人がいること」「仕事の手順がわかりやすくマニュアル化されていること」「上司や同僚の理解と協力があること」「働くうえでの悩みを相談できる場があること」の割合が高く、「75歳以上」から「40～64歳」まで年齢が下がるほど「就職活動に必要な情報が、すぐに得られること」「障害の特性に合った職業訓練が受けられること」の割合が高くなっています。また、「65～74歳」で「自分自身に意欲があること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	働くうえでの技術や知識を身につけること	就職活動に必要な情報が、すぐに得られること	職場実習やインターンシップなどで経験を積んでおくこと	難病患者就職サポーターやジョブコーチなど、支援してくれる人がいること	障害の特性に合った職業訓練が受けられること	仕事の手順がわかりやすくマニュアル化されていること	段差解消や車いす対応の机など、職場環境のバリアフリー化	上司や同僚の理解と協力があること	働くうえでの悩みを相談できる場があること	家族の理解と協力があること	自分自身に意欲があること	その他	無回答
全体	2,210	19.8	8.4	4.3	11.7	16.2	13.1	8.3	36.4	19.1	20.9	34.2	5.7	21.6
18～39歳	476	23.9	8.6	9.0	14.3	18.5	23.5	6.1	48.1	28.2	20.2	29.6	4.2	13.4
40～64歳	929	23.5	11.0	4.2	12.6	17.4	13.5	8.4	43.5	22.3	21.3	34.3	6.7	14.5
65～74歳	331	17.8	8.5	2.1	10.9	14.5	7.3	10.9	27.2	14.2	23.0	47.4	4.5	22.1
75歳以上	441	8.8	2.9	0.9	8.2	12.7	5.4	8.6	16.6	7.5	19.3	29.3	6.3	43.5

【障害種別】

障害種別にみると、発達障害で「仕事の手順がわかりやすくマニュアル化されていること」高くなっています。

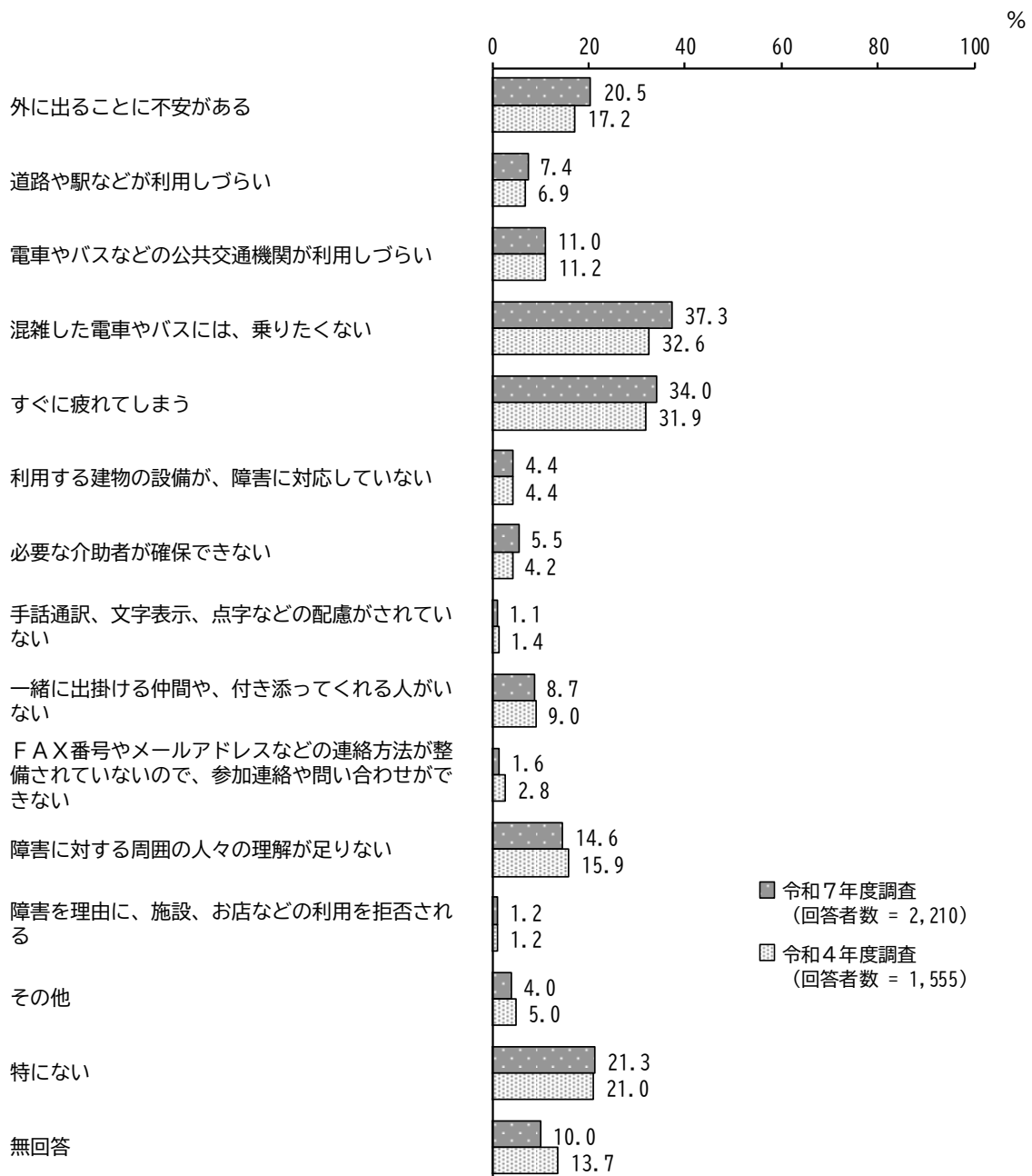
単位：％

区分	回答者数(件)	働くうえで の技術や知識を 身につけること	就職活動に 必要な情報が、 すぐに得られる こと	職場実習や インターンシップ などで経験を積 んでおくこと	難病患者就 職サポーターや ジョブコーチなど、 支援してくれる 人がいること	障害の特性に 合った職業訓練 が受けられる こと	仕事の手順が わかりやすくマ ニュアル化されて いること	段差解消や車 いす対応の机な ど、職場環境の バリアフリー化	上司や同僚の 理解と協力があ ること	働くうえで の悩みを相談で きる場がある こと	家族の理解と 協力があること	自分自身に 意欲があること	その他	無回答
全体	2,210	19.8	8.4	4.3	11.7	16.2	13.1	8.3	36.4	19.1	20.9	34.2	5.7	21.6
身体障害	903	18.7	7.2	2.5	9.1	15.6	9.0	14.0	28.1	12.7	17.9	35.5	6.3	28.8
知的障害	422	15.2	5.5	7.1	11.8	20.1	21.6	6.4	36.5	17.8	16.8	25.8	3.8	26.8
精神障害	560	24.6	11.3	5.9	10.4	18.6	17.9	3.2	37.0	30.2	17.0	33.4	7.7	16.3
難病	530	18.7	9.1	2.5	20.8	9.6	5.7	8.9	48.7	19.8	29.4	40.9	4.5	13.4
発達障害	183	25.1	10.9	7.1	11.5	23.0	30.1	3.8	44.3	25.1	13.1	23.0	7.7	18.0
高次脳機能障害	78	6.4	10.3	2.6	14.1	25.6	11.5	14.1	32.1	10.3	19.2	30.8	12.8	23.1
重症心身障害	36	13.9	0.0	0.0	5.6	13.9	5.6	13.9	22.2	13.9	13.9	22.2	11.1	44.4
強度行動障害	17	0.0	0.0	0.0	0.0	23.5	17.6	5.9	5.9	17.6	29.4	23.5	0.0	52.9

(3) 社会参加やコミュニケーションについて

問14 あなた（ご本人）が、社会参加や余暇活動などで外出をするとき、困ることはありますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「混雑した電車やバスには、乗りたくない」の割合が37.3%と最も高く、次いで「すぐに疲れてしまう」の割合が34.0%、「外に出ることに不安がある」の割合が20.5%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「障害に対する周囲の人々の理解が足りない」の割合が高く、「75歳以上」から「40～64歳」まで年齢が下がるほど「混雑した電車やバスには、乗りたくない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	外に出ることに不安がある	道路や駅などが利用しづらい	電車やバスなどの公共交通機関が利用しづらい	混雑した電車やバスには、乗りたくない	すぐに疲れてしまう	利用する建物の設備が、障害に対応していない	必要な介助者が確保できない
全体	2,210	20.5	7.4	11.0	37.3	34.0	4.4	5.5
18～39歳	476	18.1	5.3	11.3	38.9	31.7	4.8	8.0
40～64歳	929	21.2	6.6	9.8	40.3	38.4	3.1	4.2
65～74歳	331	20.2	10.9	7.9	34.4	29.6	8.2	4.8
75歳以上	441	22.4	8.2	15.0	32.2	31.5	3.6	5.9

区分	手話通訳、文字表示、点字などの配慮がされていない	一緒に出掛ける仲間や、付き添ってくれる人がいない	FAX番号やメールアドレスなどの連絡方法が整備されていないので、参加連絡や問い合わせができない	障害に対する周囲の人々の理解が足りない	障害を理由に、施設、お店などの利用を拒否される	その他	特にな	無回答
全体	1.1	8.7	1.6	14.6	1.2	4.0	21.3	10.0
18～39歳	1.3	12.4	1.3	21.4	1.9	6.3	22.7	4.0
40～64歳	1.5	8.5	1.3	17.2	1.2	3.4	21.0	8.8
65～74歳	0.3	6.6	1.8	10.6	0.6	3.0	24.5	10.3
75歳以上	0.7	6.6	2.5	5.2	1.1	3.9	18.8	17.5

【障害種別】

障害種別にみると、精神障害で「すぐに疲れてしまう」、重症心身障害で「必要な介助者が確保できない」の割合が高くなっています。

単位：％

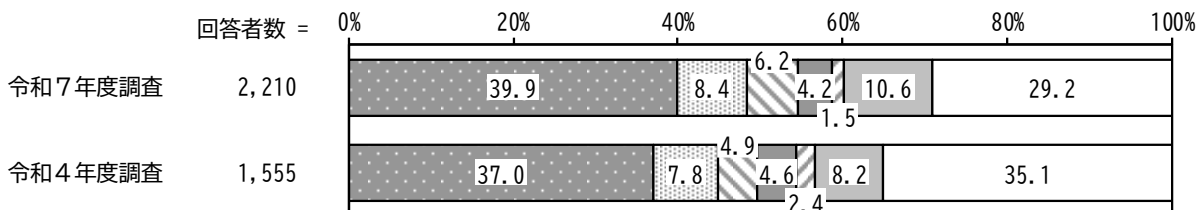
区分	回答者数(件)	外に出ることに不安がある	道路や駅などが利用しづらい	電車やバスなどの公共交通機関が利用しづらい	混雑した電車やバスには、乗りたくない	すぐに疲れてしまう	利用する建物の設備が、障害に対応していない	必要な介助者が確保できない
全体	2,210	20.5	7.4	11.0	37.3	34.0	4.4	5.5
身体障害	903	19.9	12.1	13.6	35.2	29.1	8.2	7.1
知的障害	422	11.6	5.2	11.4	29.9	14.5	3.8	12.8
精神障害	560	35.2	4.1	11.3	46.8	48.2	2.0	2.5
難病	530	16.8	7.2	9.1	39.1	39.4	4.2	3.0
発達障害	183	20.2	2.7	10.9	40.4	33.9	2.7	8.2
高次脳機能障害	78	23.1	7.7	19.2	35.9	34.6	11.5	6.4
重症心身障害	36	0.0	16.7	11.1	19.4	16.7	19.4	22.2
強度行動障害	17	23.5	0.0	5.9	29.4	23.5	0.0	11.8

区分	手話通訳、文字表示、点字などの配慮がされていない	一緒に出掛ける仲間や、付き添ってくれる人がいない	FAX番号やメールアドレスなどの連絡方法が整備されていないので、参加連絡や問い合わせができない	障害に対する周囲の人々の理解が足りない	障害を理由に、施設、お店などの利用を拒否される	その他	特になし	無回答
全体	1.1	8.7	1.6	14.6	1.2	4.0	21.3	10.0
身体障害	2.5	7.8	2.3	12.7	1.2	4.1	18.7	11.8
知的障害	0.0	19.2	1.7	23.9	1.7	4.5	20.9	14.2
精神障害	0.0	9.1	0.5	17.5	1.4	4.5	12.1	9.1
難病	0.0	3.2	0.4	8.9	0.8	4.7	29.1	5.8
発達障害	0.5	14.8	0.0	24.6	1.1	5.5	19.7	8.2
高次脳機能障害	0.0	9.0	0.0	15.4	1.3	7.7	16.7	14.1
重症心身障害	0.0	11.1	0.0	19.4	2.8	2.8	13.9	30.6
強度行動障害	0.0	17.6	0.0	11.8	0.0	5.9	5.9	41.2

問 15 社会参加の支援サービスについてどのような要望がありますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

「利用しやすくしてほしい（利用の条件や手続きなど）」の割合が 39.9%と最も高くなっています。

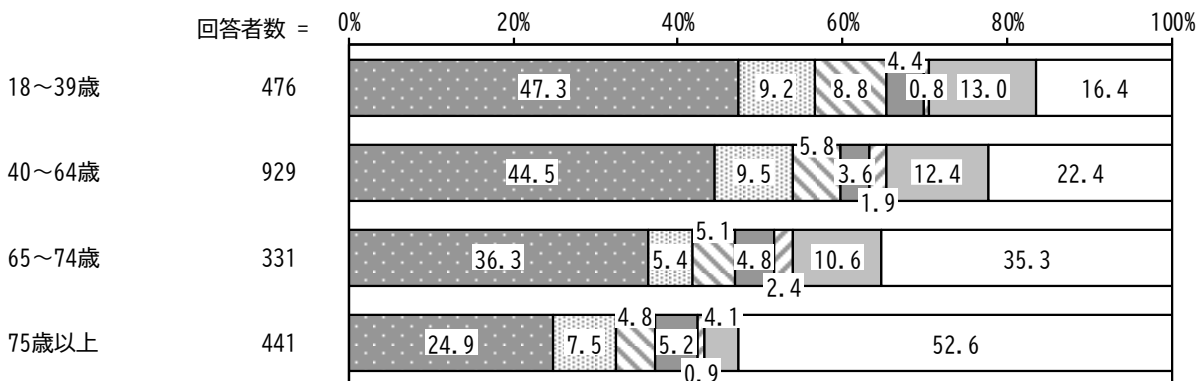
- 利用しやすくしてほしい（利用の条件や手続きなど）
- ▨ 利用できる時間帯を増やしてほしい
- ▩ ヘルパー事業所が増えてほしい
- ヘルパーの質を上げてほしい
- ▨ 手話通訳や点訳・音訳などができる人が増えてほしい
- その他
- 無回答



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用しやすくしてほしい（利用の条件や手続きなど）」の割合が高くなっています。

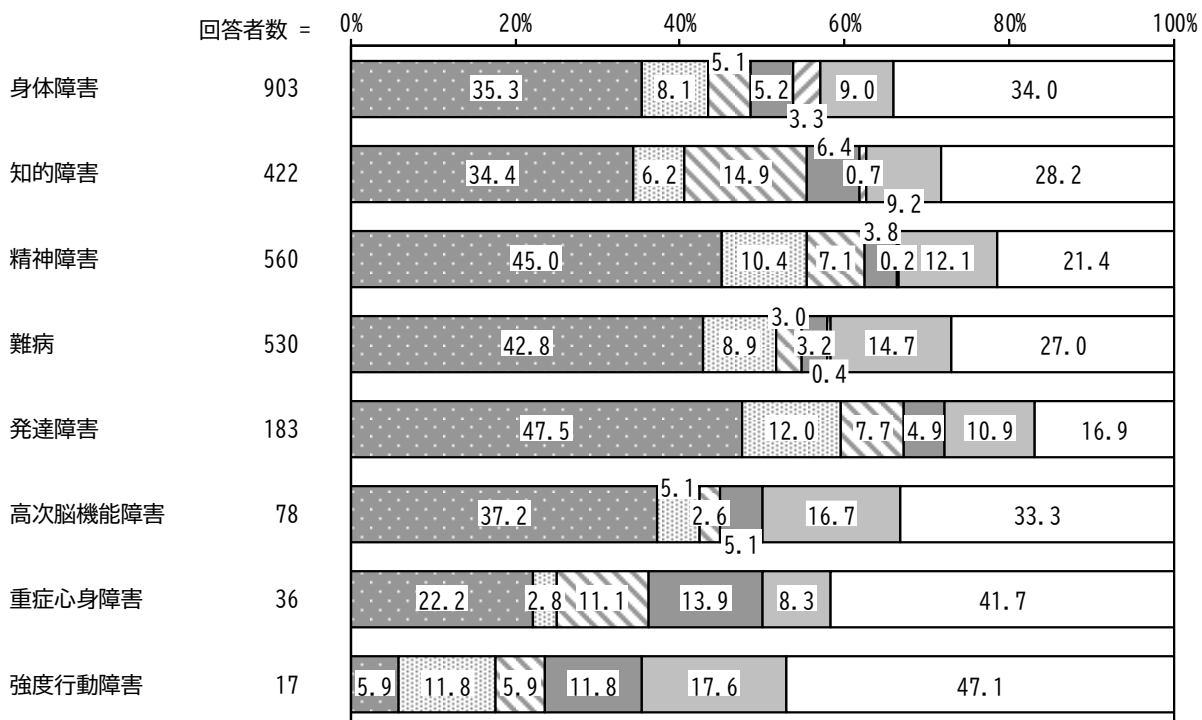
- 利用しやすくしてほしい（利用の条件や手続きなど）
- ▨ 利用できる時間帯を増やしてほしい
- ▩ ヘルパー事業所が増えてほしい
- ヘルパーの質を上げてほしい
- ▨ 手話通訳や点訳・音訳などができる人が増えてほしい
- その他
- 無回答



【障害種別】

障害種別にみると、知的障害で「ヘルパー事業所が増えてほしい」、重症心身障害、強度行動障害で「ヘルパーの質を上げてほしい」の割合が他の障害と比べて高くなっています。

- 利用しやすくしてほしい（利用の条件や手続きなど）
- ▨ 利用できる時間帯を増やしてほしい
- ▩ ヘルパー事業所が増えてほしい
- ヘルパーの質を上げてほしい
- ▨ 手話通訳や点訳・音訳などができる人が増えてほしい
- その他
- 無回答



問16 余暇（主に休日）は、どのように過ごしていますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

「家でくつろぐ」の割合が40.8%と最も高くなっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「家でくつろぐ」の割合が高く、「75歳以上」から「40～64歳」まで年齢が下がるほど「買い物」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家でくつろぐ	買い物	近所の散歩	趣味や学習活動	友人・知人と会う	読書	飲食店に行く	旅行	演劇や映画の鑑賞	スポーツ・運動	加地域の行事への参	ボランティア活動	その他	特に何もしない	無回答
全体	2,210	40.8	8.7	6.4	5.8	3.2	1.3	1.7	0.7	1.3	3.1	0.4	0.3	3.9	11.0	11.3
18～39歳	476	46.8	7.1	6.1	7.8	5.9	0.4	3.2	1.1	2.1	3.6	0.4	0.0	4.4	5.0	6.1
40～64歳	929	42.3	11.0	6.4	5.6	2.9	1.4	2.0	0.5	1.3	3.7	0.2	0.2	4.8	8.7	8.9
65～74歳	331	39.3	9.4	6.6	6.0	2.1	0.9	0.9	0.9	0.9	2.4	0.3	0.3	3.3	14.5	12.1
75歳以上	441	33.1	5.2	6.8	4.1	2.0	2.3	0.2	0.5	0.9	1.6	0.9	0.9	1.8	20.0	19.7

【障害種別】

障害種別にみると、発達障害、強度行動障害で「趣味や学習活動」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家でくつろぐ	買い物	近所の散歩	趣味や学習活動	友人・知人と会う	読書	飲食店に行く
全体	2,210	40.8	8.7	6.4	5.8	3.2	1.3	1.7
身体障害	903	38.9	7.9	6.8	6.4	2.2	1.6	0.9
知的障害	422	39.8	10.7	7.8	4.5	2.8	0.0	3.3
精神障害	560	41.8	5.5	5.5	4.3	3.8	1.4	1.6
難病	530	48.5	10.0	6.0	6.8	3.4	2.1	1.3
発達障害	183	37.2	8.2	6.0	12.6	3.8	1.6	4.4
高次脳機能障害	78	35.9	5.1	10.3	3.8	1.3	0.0	1.3
重症心身障害	36	38.9	2.8	0.0	2.8	2.8	0.0	0.0
強度行動障害	17	23.5	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0

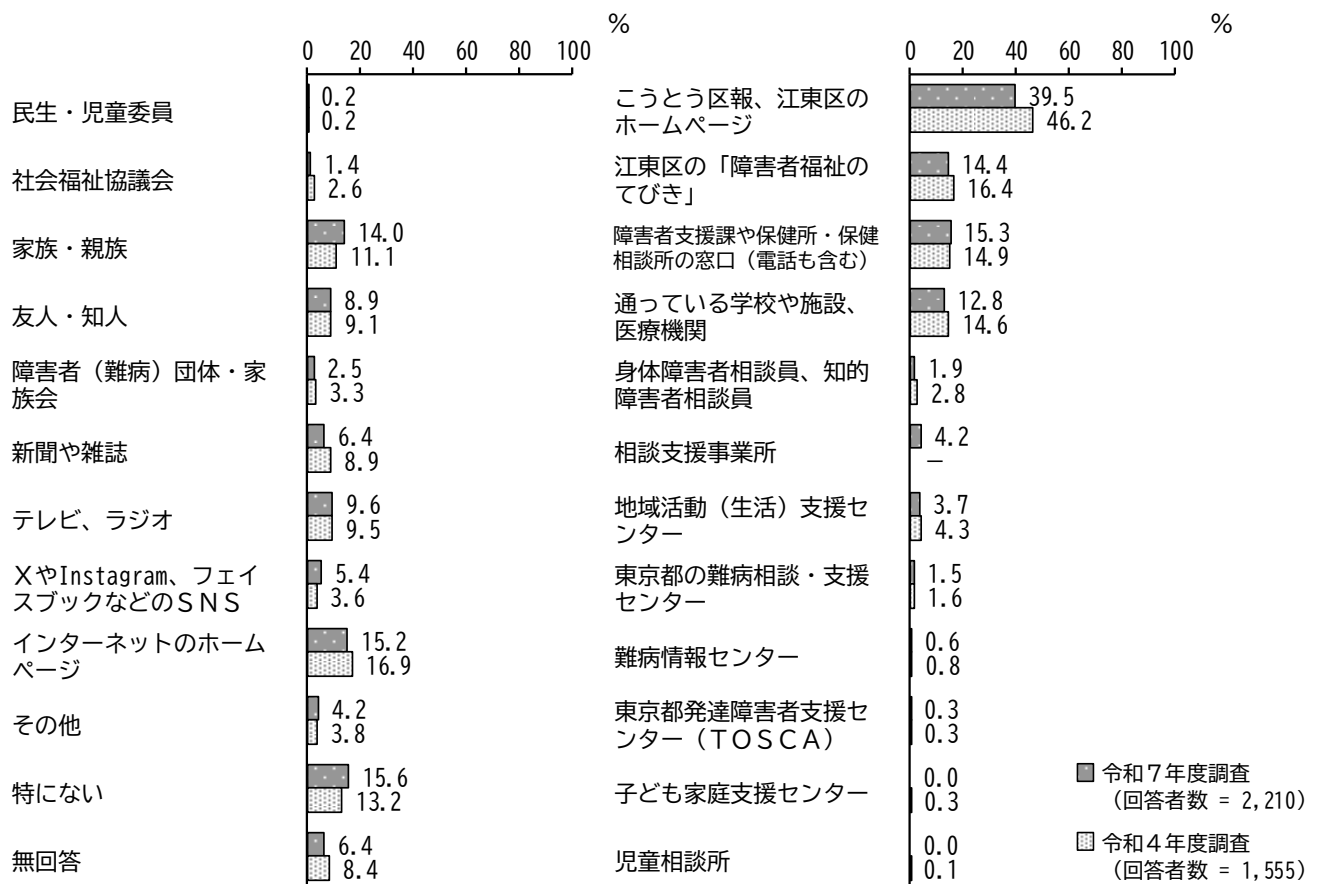
区分	旅行	演劇や映画の鑑賞	スポーツ・運動	加地域の行事への参	ボランティア活動	その他	特に何もしない	無回答
全体	0.7	1.3	3.1	0.4	0.3	3.9	11.0	11.3
身体障害	0.7	0.8	3.2	0.6	0.6	3.7	12.7	13.3
知的障害	0.7	1.4	4.0	0.5	0.0	5.0	6.6	12.8
精神障害	0.9	1.6	2.1	0.4	0.2	5.0	15.5	10.4
難病	0.4	1.5	2.5	0.0	0.2	3.4	6.8	7.2
発達障害	0.0	1.1	3.3	0.0	0.0	5.5	6.0	10.4
高次脳機能障害	0.0	0.0	2.6	1.3	0.0	11.5	10.3	16.7
重症心身障害	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	5.6	13.9	30.6
強度行動障害	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	11.8	0.0	47.1

(4) 情報・相談先について

問 17 福祉に関する情報をどこから得ていますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「こうとう区報、江東区のホームページ」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「障害者支援課や保健所・保健相談所の窓口（電話も含む）」の割合が 15.3%、「インターネットのホームページ」の割合が 15.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「こうとう区報、江東区のホームページ」の割合が減少しています。



※令和4年度調査における選択肢「ツイッターやフェイスブックなどのSNS」は令和7年度調査で「XやInstagram、フェイスブックなどのSNS」に変更しました。また、「相談支援事業所」は令和7年度調査で追加した選択肢です。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「新聞や雑誌」「テレビ、ラジオ」の割合が高く、「通っている学校や施設、医療機関」の割合が低く、「75歳以上」から「40～64歳」まで年齢が下がるほど「障害者支援課や保健所・保健相談所の窓口（電話も含む）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	こうとう区報、江東区のホームページ	江東区の「障害者福祉のてびき」	障害者支援課や保健所・保健相談所の窓口(電話も含む)	通っている学校や施設、医療機関	身体障害者相談員、知的障害者相談員	相談支援事業所	地域活動(生活)支援センター	東京都の難病相談・支援センター	難病情報センター	東京都発達障害者支援センター(TOSCA)	子ども家庭支援センター	児童相談所
全体	2,210	39.5	14.4	15.3	12.8	1.9	4.2	3.7	1.5	0.6	0.3	0.0	0.0
18～39歳	476	32.6	16.6	17.2	25.8	2.7	7.6	3.4	0.6	0.4	0.2	0.0	0.0
40～64歳	929	41.3	12.5	16.6	12.4	1.8	3.7	2.4	1.9	1.0	0.5	0.0	0.0
65～74歳	331	43.8	13.9	13.0	7.3	0.9	1.5	4.2	2.1	0.3	0.0	0.0	0.0
75歳以上	441	40.8	16.3	12.0	4.5	1.8	3.4	6.6	1.1	0.5	0.0	0.0	0.0

区分	民生・児童委員	社会福祉協議会	家族・親族	友人・知人	障害者(難病)団体・家族会	新聞や雑誌	テレビ、ラジオ	XやInstagram、フェイスブックなどのSNS	インターネットのホームページ	その他	特にない	無回答
全体	0.2	1.4	14.0	8.9	2.5	6.4	9.6	5.4	15.2	4.2	15.6	6.4
18～39歳	0.0	0.2	20.2	11.6	3.8	1.1	2.7	8.0	18.9	3.8	15.1	1.7
40～64歳	0.0	1.5	9.6	7.5	2.7	5.1	8.4	7.5	19.2	4.5	17.0	5.2
65～74歳	0.6	1.8	13.3	8.5	2.7	8.2	15.4	2.4	14.2	4.5	16.3	7.3
75歳以上	0.5	2.5	17.2	9.5	0.9	14.1	15.9	0.0	3.6	4.1	12.9	12.2

【障害種別】

障害種別にみると、いずれの障害においても「こうとう区報、江東区のホームページ」の割合が高くなっています。また、重症心身障害で「友人・知人」の割合が他の障害に比べて高くなっています。

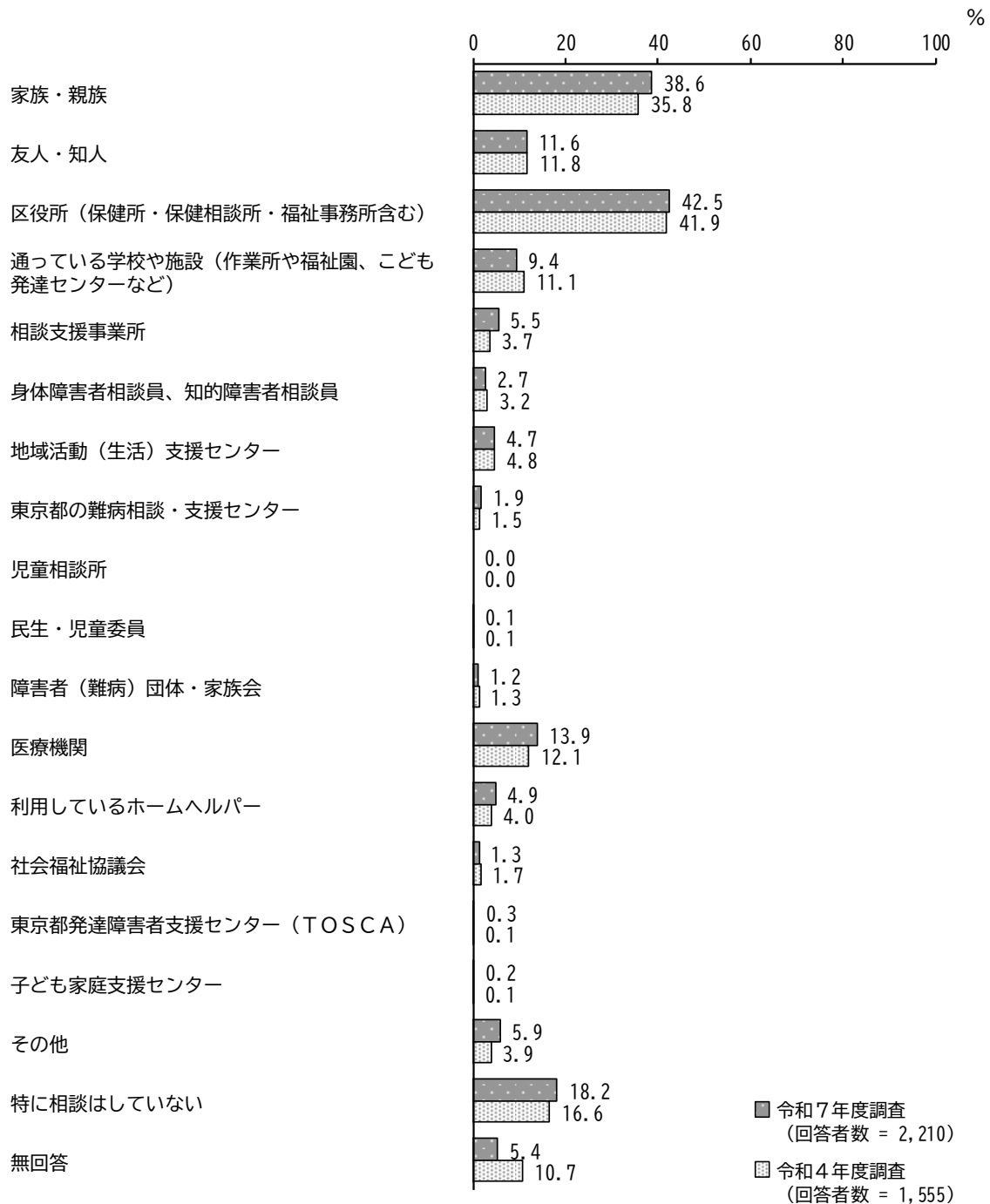
単位：％

区分	回答者数(件)	こうとう区報、江東区のホームページ	江東区の「障害者福祉のてびき」	障害者支援課や保健所・保健相談所の窓口(電話も含む)	通っている学校や施設、医療機関	身体障害者相談員、知的障害者相談員	相談支援事業所	地域活動(生活)支援センター	東京都の難病相談・支援センター	難病情報センター	東京都発達障害者支援センター(TOSCA)	子ども家庭支援センター	児童相談所
全体	2,210	39.5	14.4	15.3	12.8	1.9	4.2	3.7	1.5	0.6	0.3	0.0	0.0
身体障害	903	42.4	20.3	14.2	9.3	2.0	4.1	4.8	0.9	0.6	0.1	0.0	0.0
知的障害	422	28.2	20.6	13.7	27.5	5.7	9.7	3.6	0.2	0.0	0.7	0.0	0.0
精神障害	560	35.4	11.4	22.7	15.9	1.1	3.8	4.5	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0
難病	530	46.2	7.9	16.6	8.9	1.1	1.7	2.3	5.7	2.6	0.0	0.0	0.0
発達障害	183	31.7	14.8	19.1	24.0	3.8	10.9	4.9	1.1	0.0	1.1	0.0	0.0
高次脳機能障害	78	26.9	15.4	20.5	14.1	2.6	6.4	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	36	16.7	30.6	8.3	19.4	0.0	11.1	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
強度行動障害	17	35.3	5.9	17.6	11.8	11.8	11.8	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	民生・児童委員	社会福祉協議会	家族・親族	友人・知人	障害者(難病)団体・家族会	新聞や雑誌	テレビ、ラジオ	XやInstagram、フェイスブックなどのSNS	インターネットのホームページ	その他	特にない	無回答
全体	0.2	1.4	14.0	8.9	2.5	6.4	9.6	5.4	15.2	4.2	15.6	6.4
身体障害	0.2	1.3	14.8	10.7	2.3	8.1	12.2	3.8	13.2	5.0	13.6	7.0
知的障害	0.0	1.9	20.4	13.3	6.2	1.7	8.3	1.4	6.9	2.6	13.5	7.6
精神障害	0.2	1.6	12.3	7.3	1.1	4.6	8.4	8.0	17.7	6.1	15.4	5.9
難病	0.2	0.6	9.1	5.8	2.3	7.2	9.1	6.6	20.8	3.0	17.9	4.2
発達障害	0.0	2.2	17.5	8.7	4.4	3.8	3.8	5.5	19.7	4.9	9.8	5.5
高次脳機能障害	0.0	1.3	16.7	5.1	2.6	3.8	9.0	6.4	14.1	14.1	10.3	7.7
重症心身障害	0.0	0.0	2.8	30.6	8.3	0.0	11.1	0.0	8.3	11.1	13.9	13.9
強度行動障害	0.0	0.0	11.8	11.8	5.9	0.0	17.6	0.0	0.0	0.0	5.9	23.5

問18 福祉サービスの利用で困ったとき、誰（どこ）に相談しますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「区役所（保健所・保健相談所・福祉事務所含む）」の割合が42.5%と最も高く、次いで「家族・親族」の割合が38.6%、「医療機関」の割合が13.9%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「通っている学校や施設（作業所や福祉園、こども発達センターなど）」の割合が高く、「75歳以上」から「40～64歳」まで年齢が下がるほど「区役所（保健所・保健相談所・福祉事務所含む）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族・親族	友人・知人	区役所(保健所・保健相談所・福祉事務所含む)	通っている学校や施設(作業所や福祉園、こども発達センターなど)	相談支援事業所	身体障害者相談員 知的障害者相談員	地域活動(生活)支援センター	東京都の難病相談・支援センター	児童相談所
全体	2,210	38.6	11.6	42.5	9.4	5.5	2.7	4.7	1.9	0.0
18～39歳	476	45.0	13.4	42.4	21.8	12.2	3.2	2.9	1.3	0.0
40～64歳	929	35.1	11.6	47.4	8.5	4.0	2.9	3.2	2.8	0.1
65～74歳	331	33.5	11.8	41.7	3.3	1.8	2.7	5.4	1.8	0.0
75歳以上	441	43.3	9.3	33.3	2.3	3.9	1.8	9.1	0.9	0.0

区分	民生・児童委員	障害者(難病)団体・家族会	医療機関	利用しているホームヘルパー	社会福祉協議会	東京都発達障害者支援センター(TOSCA)	子ども家庭支援センター	その他	特に相談はしていない	無回答
全体	0.1	1.2	13.9	4.9	1.3	0.3	0.2	5.9	18.2	5.4
18～39歳	0.2	1.1	14.1	2.9	0.0	0.2	0.4	5.5	15.3	1.9
40～64歳	0.0	1.2	17.0	3.6	1.4	0.6	0.3	5.6	20.5	3.0
65～74歳	0.0	1.5	12.7	6.3	0.9	0.0	0.0	7.3	22.7	6.9
75歳以上	0.2	1.4	9.1	9.1	2.9	0.0	0.0	5.9	14.3	12.0

【障害種別】

障害種別にみると、いずれの障害においても「家族・親族」「区役所」の割合が高くなっています。

単位：％

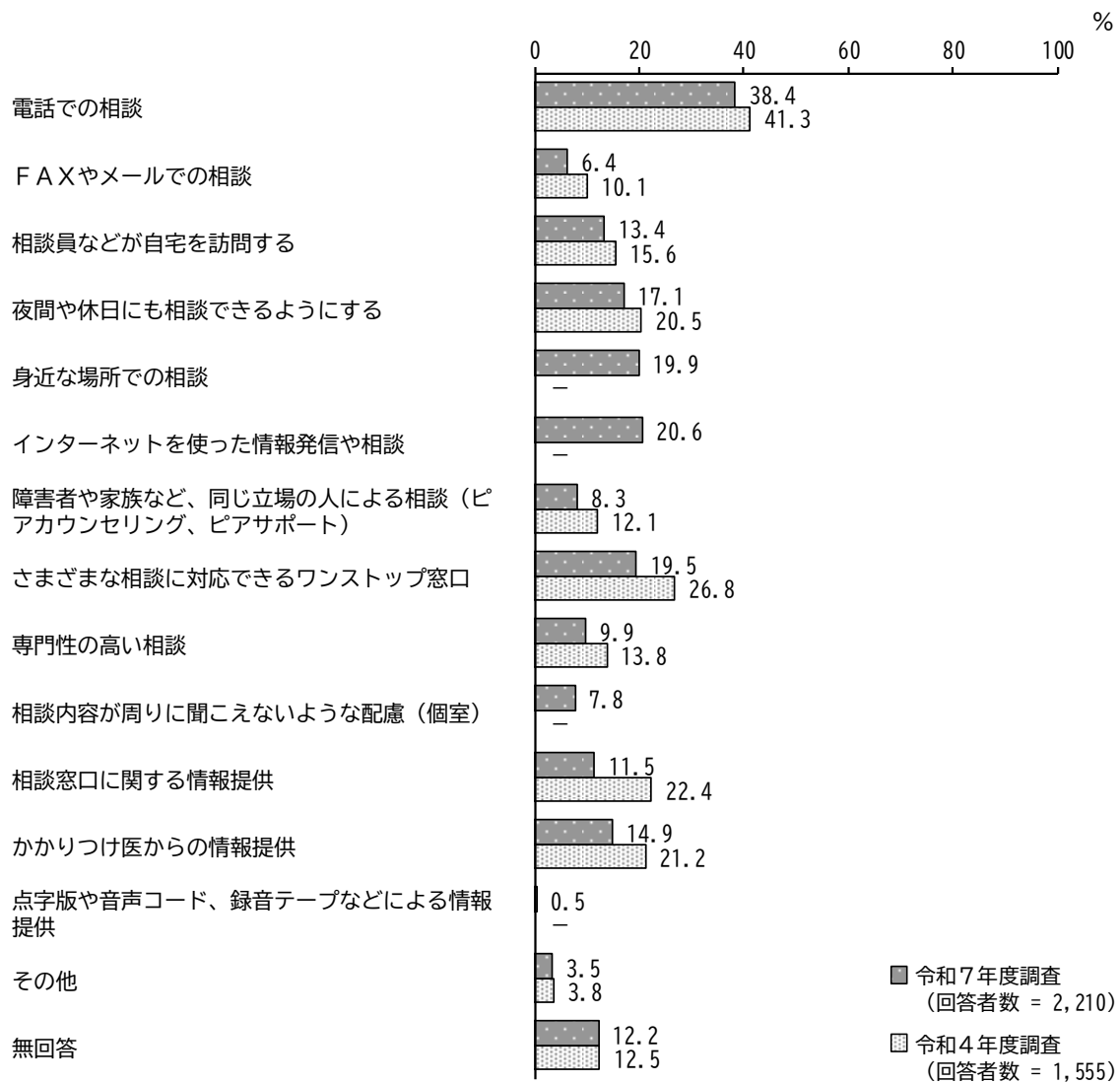
区分	回答者数(件)	家族・親族	友人・知人	区役所(保健所・保健相談所・福祉事務所含む)	通っている学校や施設(作業所や福祉園、こども発達センターなど)	相談支援事業所	身体障害者相談員 知的障害者相談員	地域活動(生活)支援センター	東京都の難病相談・支援センター	児童相談所
全体	2,210	38.6	11.6	42.5	9.4	5.5	2.7	4.7	1.9	0.0
身体障害	903	40.0	11.8	42.2	6.4	3.8	3.0	6.3	0.8	0.1
知的障害	422	41.0	14.2	33.9	33.4	13.5	6.9	4.0	0.0	0.0
精神障害	560	35.5	11.1	47.0	8.2	7.0	1.3	4.6	1.1	0.2
難病	530	34.5	9.2	47.2	2.6	1.7	0.8	3.4	6.8	0.0
発達障害	183	43.7	10.4	43.7	17.5	15.3	3.8	6.0	0.0	0.0
高次脳機能障害	78	39.7	10.3	46.2	9.0	3.8	3.8	10.3	0.0	0.0
重症心身障害	36	13.9	27.8	33.3	33.3	8.3	5.6	5.6	0.0	0.0
強度行動障害	17	35.3	17.6	23.5	35.3	11.8	5.9	5.9	0.0	0.0

区分	民生・児童委員	障害者(難病)団体・家族会	医療機関	利用しているホームヘルパー	社会福祉協議会	東京都発達障害者支援センター(TOSCA)	子ども家庭支援センター	その他	特に相談はしていない	無回答
全体	0.1	1.2	13.9	4.9	1.3	0.3	0.2	5.9	18.2	5.4
身体障害	0.1	1.1	10.6	7.0	1.2	0.3	0.2	6.0	18.1	7.1
知的障害	0.0	1.7	4.5	4.5	0.9	0.7	0.2	5.5	11.4	5.5
精神障害	0.0	0.5	26.1	4.6	1.8	0.4	0.7	8.2	14.5	3.9
難病	0.0	1.5	14.7	4.2	0.8	0.0	0.0	3.6	25.3	3.8
発達障害	0.5	2.2	16.9	4.4	1.6	1.1	0.5	7.7	14.2	2.2
高次脳機能障害	0.0	3.8	14.1	10.3	0.0	0.0	0.0	14.1	12.8	3.8
重症心身障害	0.0	2.8	11.1	13.9	0.0	0.0	0.0	13.9	5.6	8.3
強度行動障害	0.0	0.0	11.8	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9

問 19 福祉サービスの利用について、区役所などへ相談しやすくするには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「電話での相談」の割合が 38.4%と最も高く、次いで「インターネットを使った情報発信や相談」の割合が 20.6%、「身近な場所での相談」の割合が 19.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口」「相談窓口に関する情報提供」「かかりつけ医からの情報提供」の割合が減少しています。



※「身近な場所での相談」、「インターネットを使った情報発信や相談」、「相談内容が周りに聞こえないような配慮（個室）」、「点字版や音声コード、録音テープなどによる情報提供」は令和7年度調査で追加した選択肢です。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「夜間や休日にも相談できるようにする」「インターネットを使った情報発信や相談」「障害者や家族など、同じ立場の人による相談（ピアカウンセリング、ピアサポート）」「さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口」「専門性の高い相談」「相談内容が周りに聞こえないような配慮（個室）」の割合が高く、「相談員などが自宅を訪問する」の割合が低い傾向にあり、「18～39歳」から「65～74歳」まで年齢が上がるほど「電話での相談」の割合が高く、「身近な場所での相談」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	電話での相談	FAXやメールでの相談	相談員などが自宅を訪問する	夜間や休日にも相談できるようにする	身近な場所での相談	インターネットを使った情報発信や相談	障害者や家族など、同じ立場の人による相談（ピアカウンセリング、ピアサポート）
全体	2,210	38.4	6.4	13.4	17.1	19.9	20.6	8.3
18～39歳	476	26.3	7.8	8.8	25.8	22.5	30.7	12.2
40～64歳	929	40.0	7.4	13.3	18.7	19.8	25.9	8.6
65～74歳	331	44.4	6.0	12.1	10.3	16.6	11.8	6.9
75歳以上	441	42.9	3.6	19.3	9.5	20.4	5.0	5.2

区分	さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口	専門性の高い相談	相談内容が周りに聞こえないような配慮（個室）	相談窓口に関する情報提供	かかりつけ医からの情報提供	点字版や音声コード、録音テープなどによる情報提供	その他	無回答
全体	19.5	9.9	7.8	11.5	14.9	0.5	3.5	12.2
18～39歳	23.9	13.0	11.3	13.4	14.5	0.4	4.4	5.3
40～64歳	19.5	10.9	9.6	11.8	14.0	0.2	3.4	8.5
65～74歳	19.3	6.6	6.3	10.3	14.2	1.5	4.2	15.4
75歳以上	16.1	6.3	1.8	10.2	17.9	0.7	2.5	23.8

【障害種別】

障害種別にみると、いずれの障害においても「電話での相談」の割合が高くなっています。

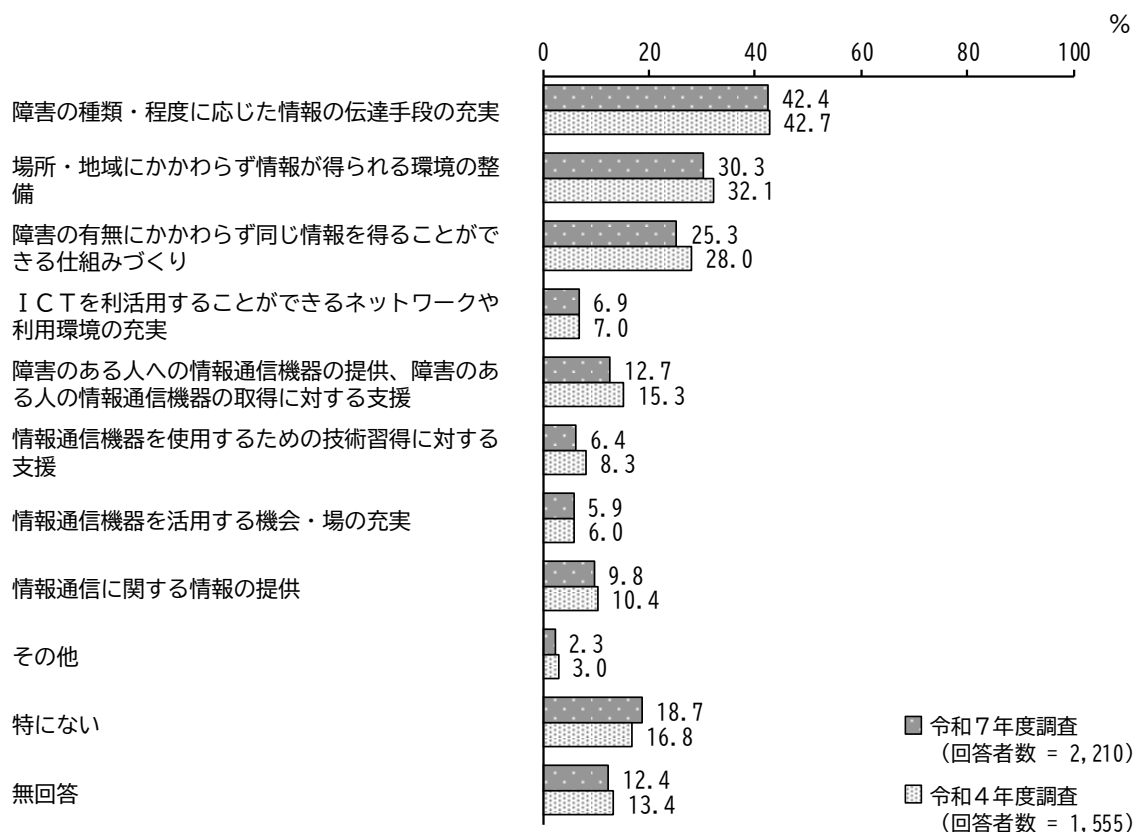
単位：％

区分	回答者数(件)	電話での相談	FAXやメールでの相談	相談員などが自宅を訪問する	夜間や休日にも相談できるよつにける	身近な場所での相談	インターネットを使った情報発信や相談	障害者や家族など、同じ立場の人による相談(ピアカウンセリング、ピアサポート)
全体	2,210	38.4	6.4	13.4	17.1	19.9	20.6	8.3
身体障害	903	41.5	6.6	15.5	11.7	19.0	17.4	8.3
知的障害	422	30.8	4.0	14.7	16.6	23.2	11.1	12.6
精神障害	560	40.0	5.5	15.4	23.2	18.2	24.1	9.5
難病	530	40.6	6.8	8.5	16.6	17.2	26.6	6.8
発達障害	183	34.4	4.4	14.2	24.6	21.9	25.1	10.4
高次脳機能障害	78	26.9	1.3	21.8	16.7	21.8	12.8	12.8
重症心身障害	36	41.7	0.0	11.1	8.3	22.2	5.6	8.3
強度行動障害	17	29.4	0.0	29.4	5.9	11.8	5.9	5.9

区分	さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口	専門性の高い相談	相談内容が周りに聞こえないような配慮(個室)	相談窓口に関する情報提供	かかりつけ医からの情報提供	点字版や音声コード、録音テープなどによる情報提供	その他	無回答
全体	19.5	9.9	7.8	11.5	14.9	0.5	3.5	12.2
身体障害	20.4	8.5	5.1	10.2	13.4	1.2	4.1	14.8
知的障害	28.4	10.2	7.8	14.9	9.0	0.0	3.8	13.5
精神障害	17.7	13.2	12.3	11.1	18.6	0.2	3.8	9.3
難病	16.6	11.3	7.9	11.3	17.5	0.8	3.2	9.2
発達障害	23.0	13.1	13.1	15.8	16.9	0.5	4.9	7.7
高次脳機能障害	30.8	19.2	10.3	15.4	17.9	0.0	6.4	6.4
重症心身障害	22.2	13.9	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	19.4
強度行動障害	11.8	11.8	0.0	5.9	5.9	5.9	5.9	29.4

問 20 「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」では、障害のある人が情報を十分に取得して利用し、スムーズな意思疎通を図れることが重要とされています。あなた（ご本人）は、情報の取得利用や意思疎通において、どのような施策が江東区で特に必要であるとお考えですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「障害の種類・程度に応じた情報の伝達手段の充実」の割合が 42.4%と最も高く、次いで「場所・地域にかかわらず情報が得られる環境の整備」の割合が 30.3%、「障害の有無にかかわらず同じ情報を得ることができる仕組みづくり」の割合が 25.3%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「場所・地域にかかわらず情報が得られる環境の整備」の割合が高い傾向にあり、「75歳以上」から「40～64歳」まで年齢が下がるほど「障害の種類・程度に応じた情報の伝達手段の充実」「障害のある人への情報通信機器の提供、障害のある人の情報通信機器の取得に対する支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	障害の種類・程度に応じた情報の伝達手段の充実	場所・地域にかかわらず情報が得られる環境の整備	障害の有無にかかわらず同じ情報を得ることができる仕組みづくり	ICTを活用することが出来るネットワークや利用環境の充実	障害のある人への情報通信機器の提供、障害のある人の情報通信機器の取得に対する支援
全体	2,210	42.4	30.3	25.3	6.9	12.7
18～39歳	476	44.7	33.4	26.3	11.8	13.7
40～64歳	929	47.5	33.4	26.8	8.5	14.0
65～74歳	331	36.6	27.5	22.4	2.1	12.4
75歳以上	441	33.8	23.6	23.6	2.3	9.8

区分	情報通信機器を使用するための技術習得に対する支援	情報通信機器を活用する機会・場の充実	情報通信に関する情報の提供	その他	特にない	無回答
全体	6.4	5.9	9.8	2.3	18.7	12.4
18～39歳	6.7	7.4	9.0	3.2	18.5	5.7
40～64歳	6.7	6.7	11.1	2.6	15.8	9.7
65～74歳	8.2	4.8	11.5	1.2	21.5	14.8
75歳以上	4.5	3.4	6.6	1.6	22.9	22.2

【障害種別】

障害種別にみると、いずれの障害においても「障害の種類・程度に応じた情報の伝達手段の充実」の割合が高くなっています。また、発達障害で「ICTを利活用することができるネットワークや利用環境の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

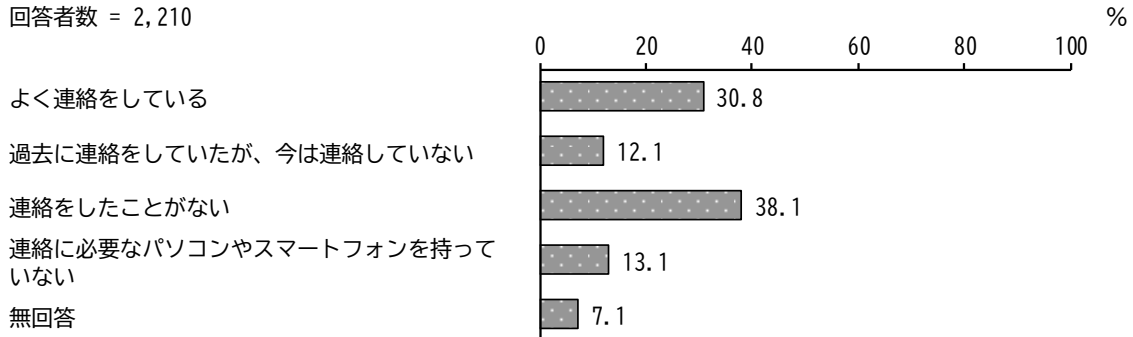
区分	回答者数(件)	障害の種類・程度に応じた情報の伝達手段の充実	場所・地域にかかわらず情報が得られる環境の整備	障害の有無にかかわらず同じ情報を得ることができる仕組みづくり	ICTを利活用することが出来るネットワークや利用環境の充実	障害のある人への情報通信機器の提供、障害のある人の情報通信機器の取得に対する支援
全体	2,210	42.4	30.3	25.3	6.9	12.7
身体障害	903	42.6	28.6	26.5	6.5	14.4
知的障害	422	45.0	27.7	19.7	4.7	13.0
精神障害	560	44.6	30.4	25.5	8.9	14.3
難病	530	39.2	33.4	26.2	6.6	10.0
発達障害	183	55.2	33.9	25.7	13.1	19.1
高次脳機能障害	78	48.7	30.8	25.6	7.7	14.1
重症心身障害	36	44.4	25.0	25.0	5.6	16.7
強度行動障害	17	35.3	29.4	23.5	5.9	23.5

区分	情報通信機器を使用するための技術習得に対する支援	情報通信機器を活用する機会・場の充実	情報通信に関する情報の提供	その他	特にない	無回答
全体	6.4	5.9	9.8	2.3	18.7	12.4
身体障害	7.0	5.2	9.0	1.7	16.9	14.4
知的障害	4.7	3.1	8.3	3.1	20.9	14.9
精神障害	8.0	7.3	11.3	3.8	17.0	9.8
難病	5.8	6.4	11.1	1.7	21.1	9.6
発達障害	7.1	8.2	11.5	2.7	13.1	6.6
高次脳機能障害	12.8	7.7	5.1	5.1	9.0	19.2
重症心身障害	0.0	0.0	16.7	5.6	13.9	25.0
強度行動障害	0.0	0.0	0.0	11.8	17.6	23.5

問 21 あなたは、パソコンやスマートフォン、タブレットの機能を使って、共通の趣味や関心をもつ人とオンライン上で連絡をとることがありますか。音声だけでなく、メールやSNSなどの文字だけでの連絡も含みます。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「連絡をしたことがない」の割合が 38.1%と最も高く、次いで「よく連絡をしている」の割合が 30.8%、「連絡に必要なパソコンやスマートフォンを持っていない」の割合が 13.1%となっています。

回答者数 = 2,210



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「よく連絡をしている」「過去に連絡をしていたが、今は連絡していない」の割合が高く、「40～64歳」から「75歳以上」まで年齢が上がるほど「連絡に必要なパソコンやスマートフォンを持っていない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	よく連絡をしている	過去に連絡をしていたが、今は連絡していない	連絡をしたことがない	連絡に必要なパソコンやスマートフォンを持っていない	無回答
全体	2,210	30.8	12.1	38.1	13.1	7.1
18～39歳	476	38.4	15.1	35.9	9.0	2.7
40～64歳	929	34.3	13.3	40.2	8.8	4.6
65～74歳	331	26.3	11.5	37.8	16.0	9.1
75歳以上	441	18.1	6.6	37.0	24.9	14.5

【障害種別】

障害種別にみると、精神障害で「よく連絡をしている」知的障害、難病で「連絡をしたことがない」の割合が高くなっています。

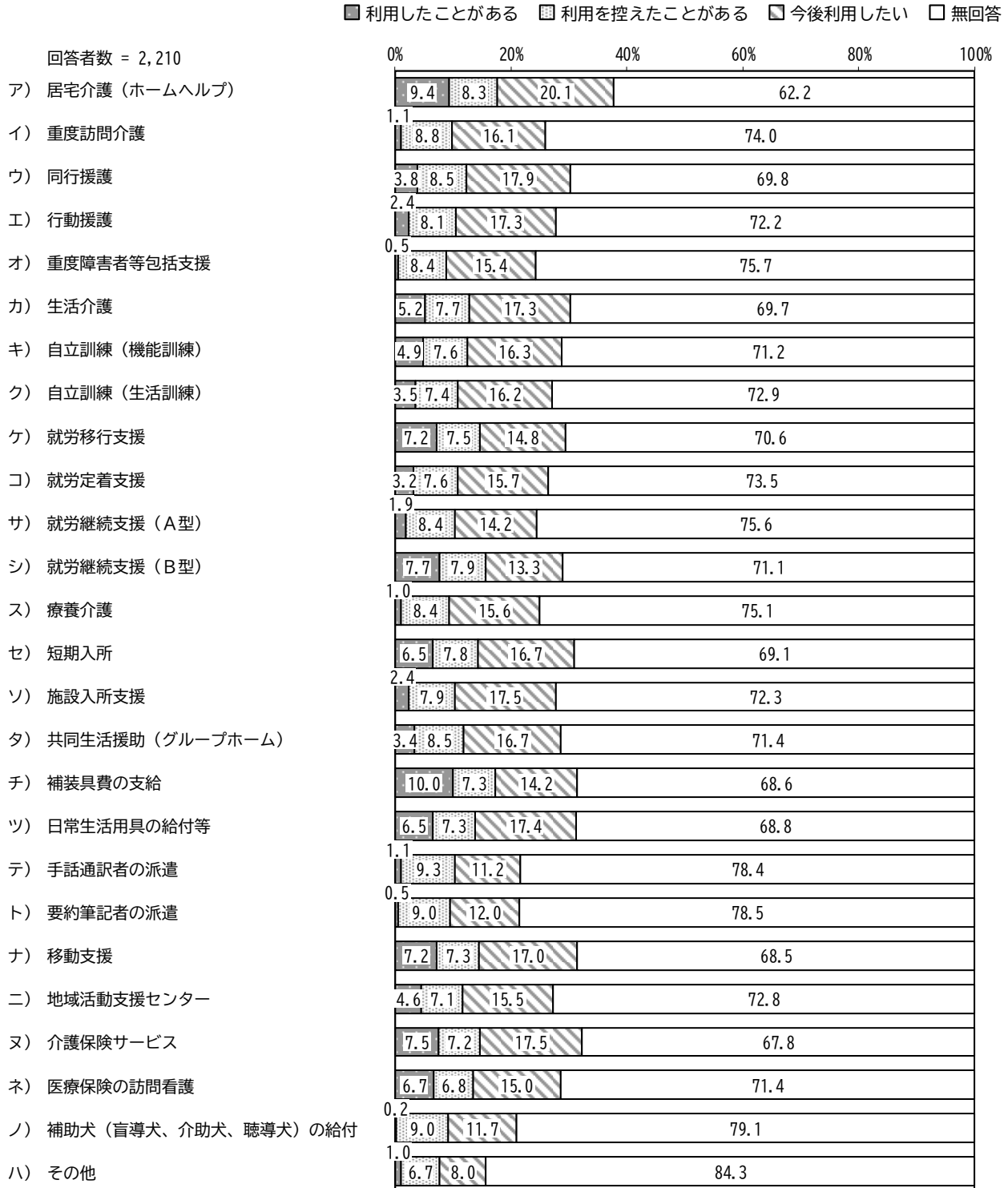
単位：%

区分	回答者数(件)	よく連絡をしている	過去に連絡をしたが、今は連絡していない	連絡をしたことがない	連絡に必要なパソコンやスマートフォンを持っていない	無回答
全体	2,210	30.8	12.1	38.1	13.1	7.1
身体障害	903	27.9	10.5	36.5	17.1	9.0
知的障害	422	16.8	6.6	43.6	25.6	8.8
精神障害	560	37.7	18.8	31.4	8.8	5.2
難病	530	33.8	12.1	44.3	5.1	5.3
発達障害	183	33.9	12.0	42.6	9.8	3.8
高次脳機能障害	78	25.6	16.7	37.2	10.3	11.5
重症心身障害	36	11.1	8.3	30.6	30.6	22.2
強度行動障害	17	5.9	11.8	35.3	23.5	29.4

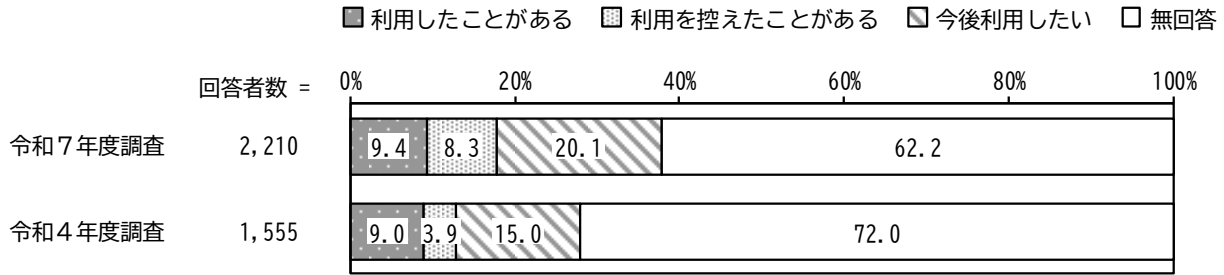
(5) サービスの利用について

問22 あなた（ご本人）の福祉サービスの利用についてお答えください。それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

『チ) 補装具費の支給』で「利用したことがある」が、『テ) 手話通訳者の派遣』で「利用を控えたことがある」が、『ア) 居宅介護（ホームヘルプ）』で「今後利用したい」が高くなっています。

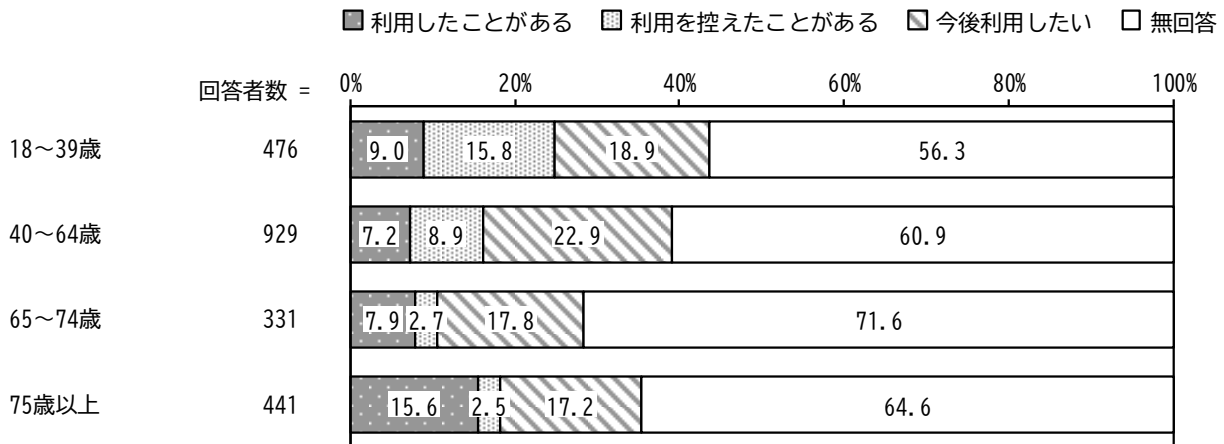


ア) 居宅介護（ホームヘルプ）



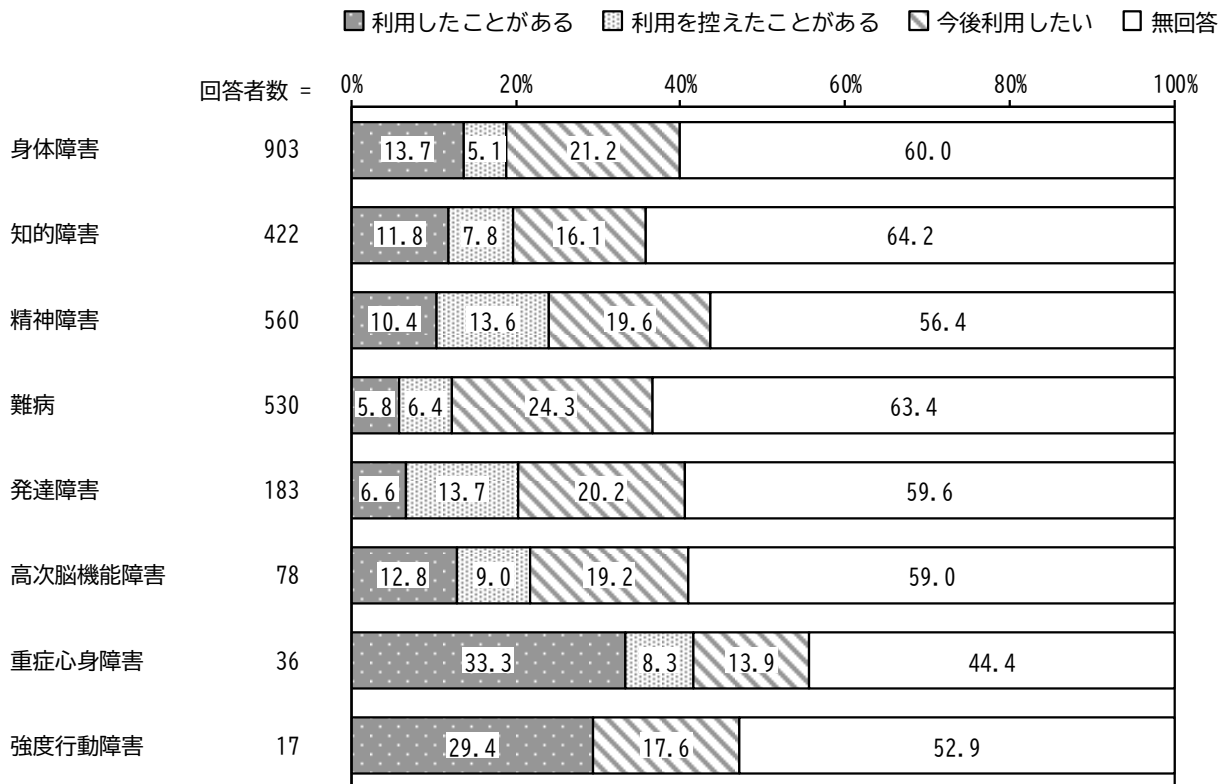
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用を控えたことがある」の割合が高くなっています。

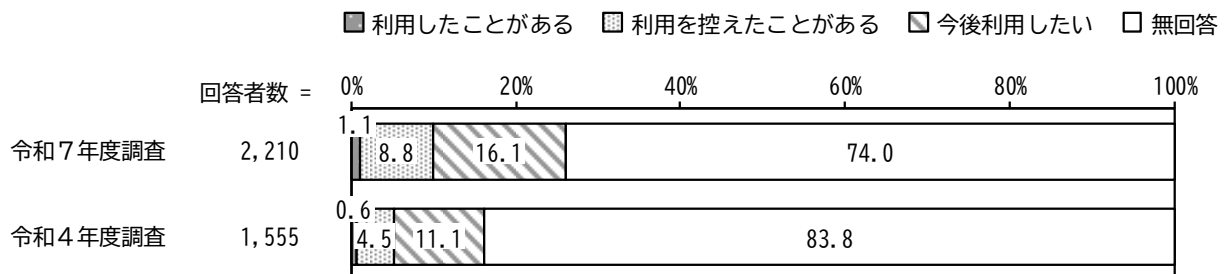


【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

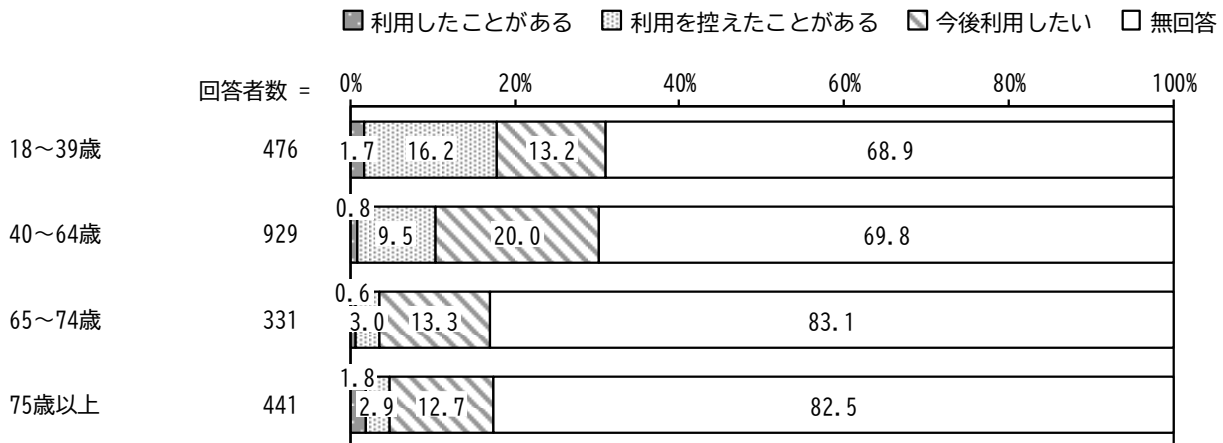


イ) 重度訪問介護



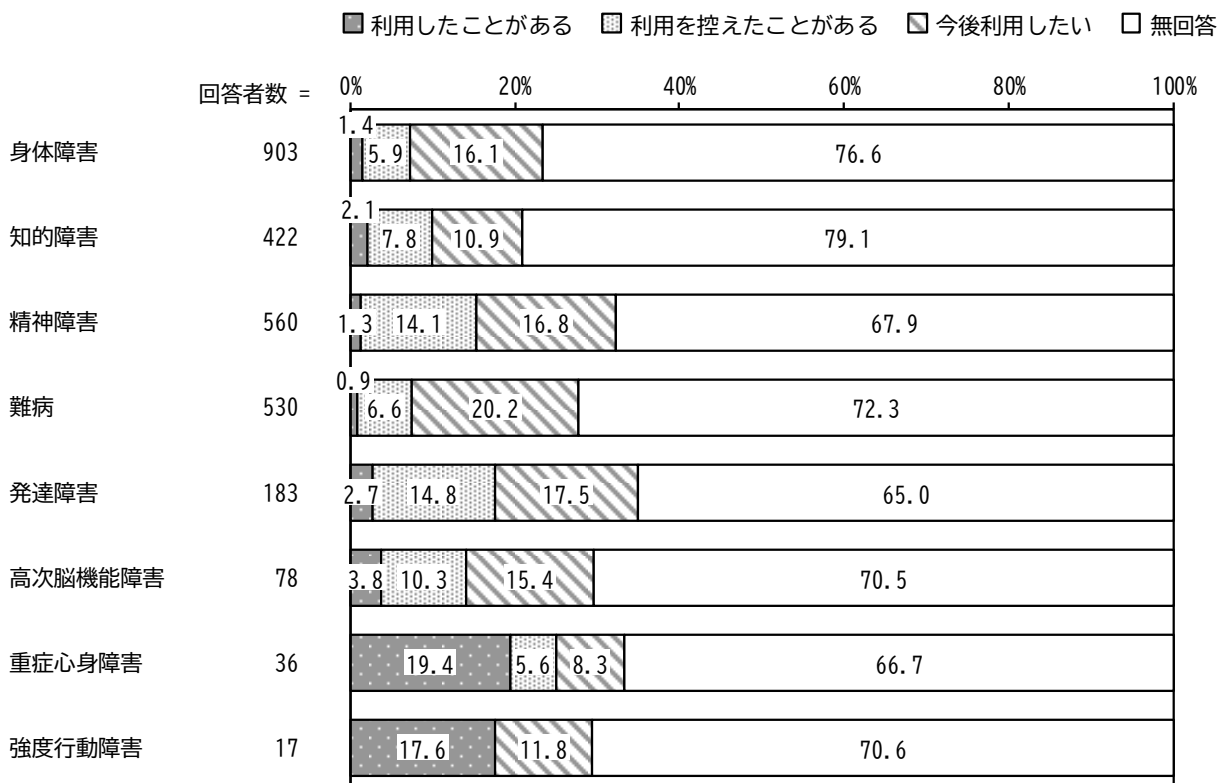
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用を控えたことがある」の割合が高くなっています。

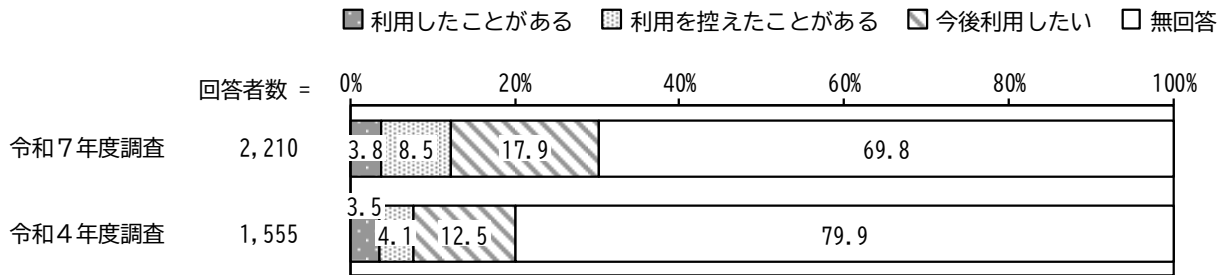


【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害、強度行動障害で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

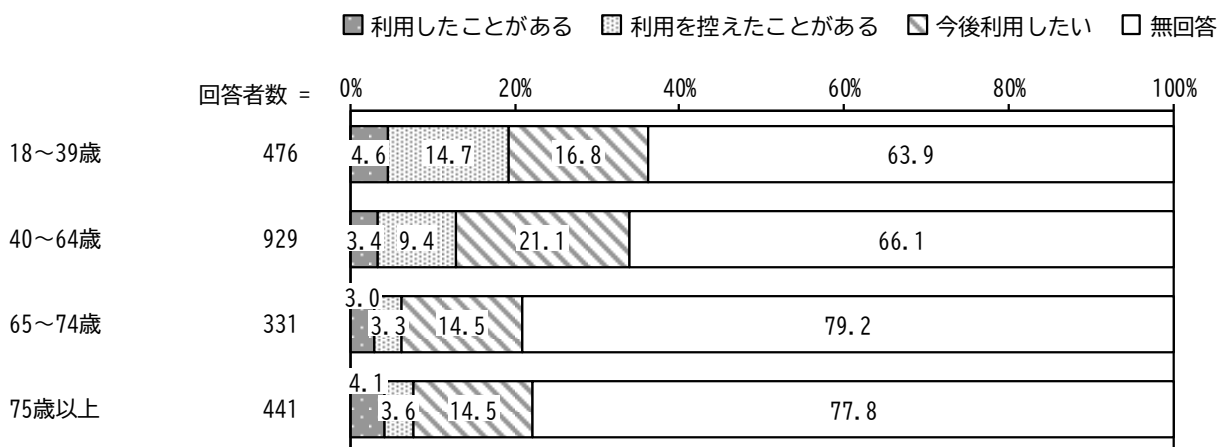


ウ) 同行援護



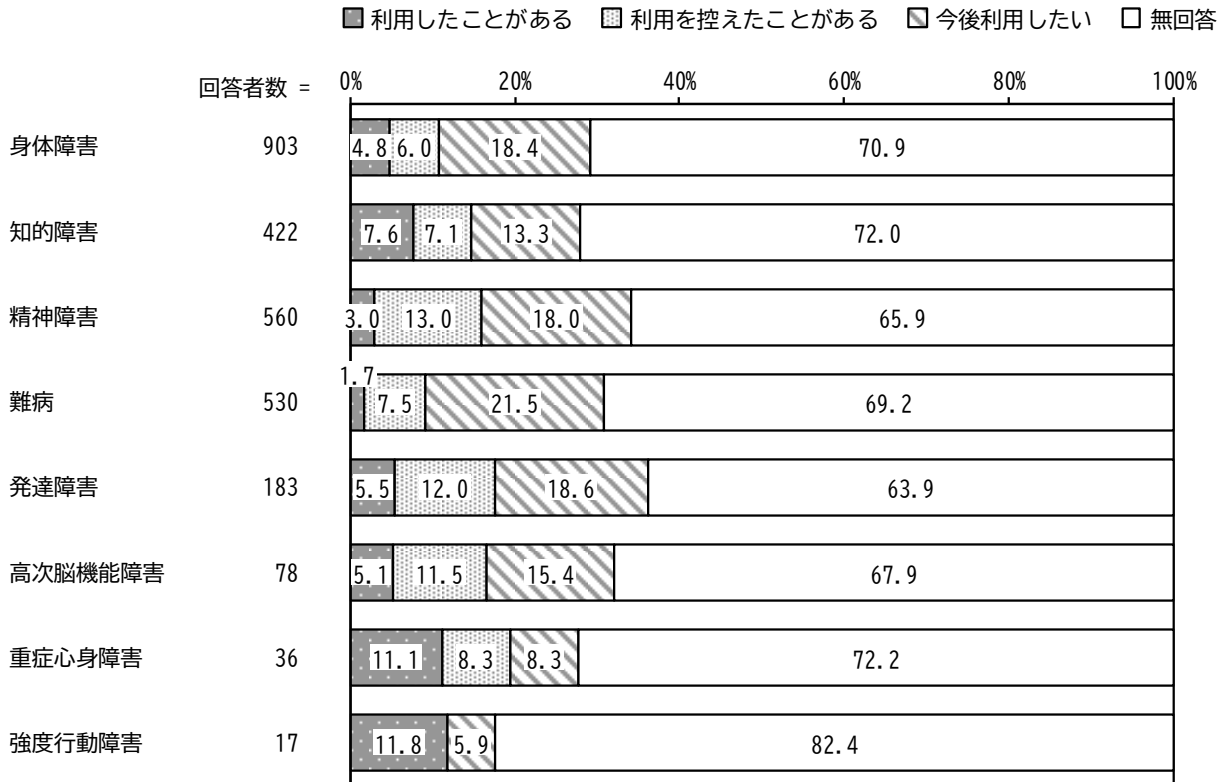
【年齢別】

年齢別にみると、「65～74歳」から「18～39歳」まで年齢が下がるほど「利用を控えたことがある」の割合が高くなっています。

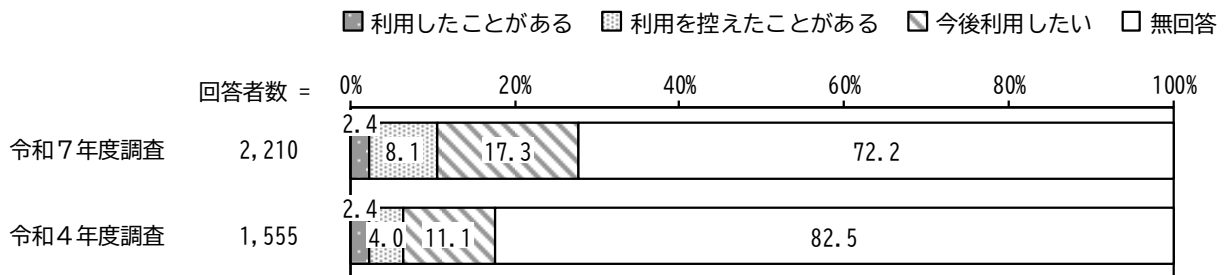


【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害、強度行動障害で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

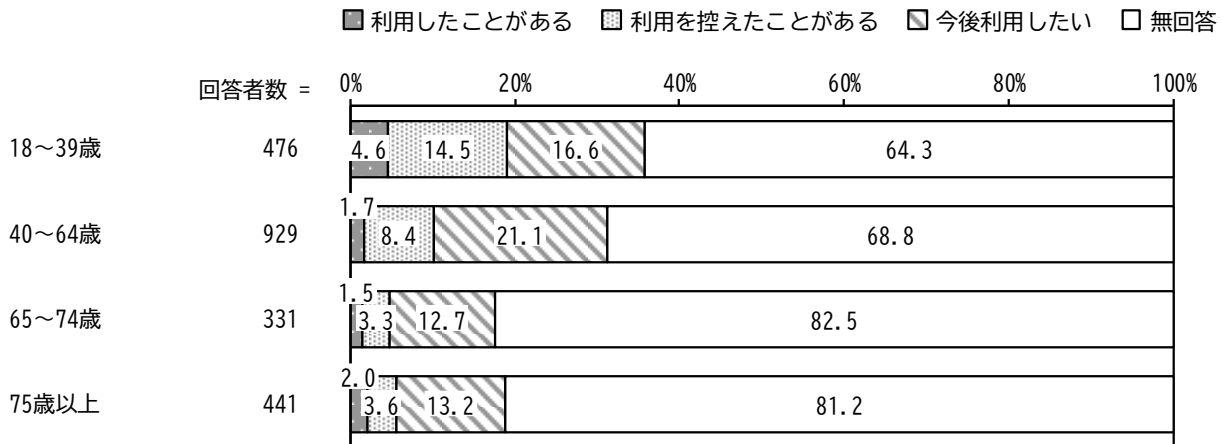


工) 行動援護



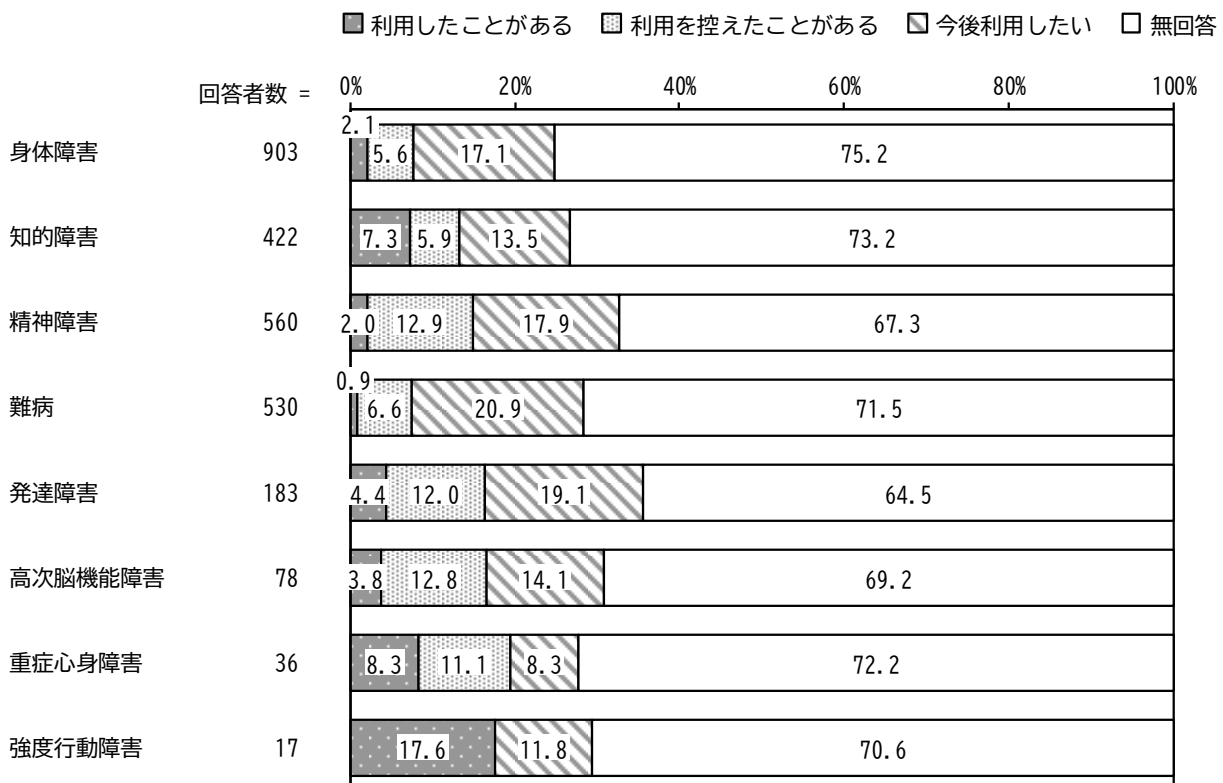
【年齢別】

年齢別にみると、「65～74歳」から「18～39歳」まで年齢が下がるほど「利用を控えたことがある」の割合が高くなっています。

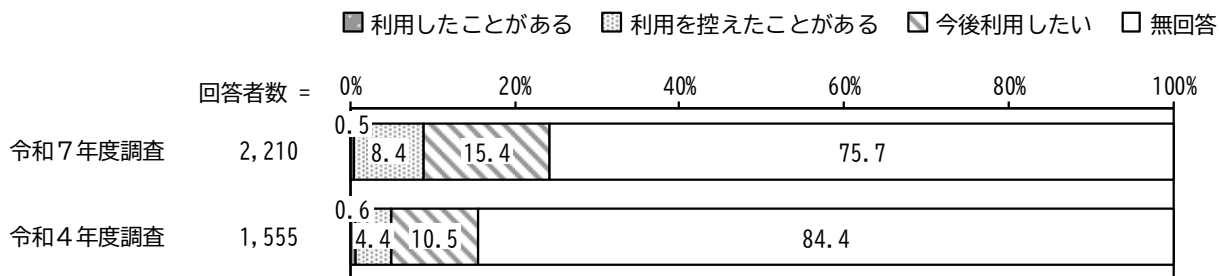


【障害種別】

障害種別にみると、強度行動障害で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

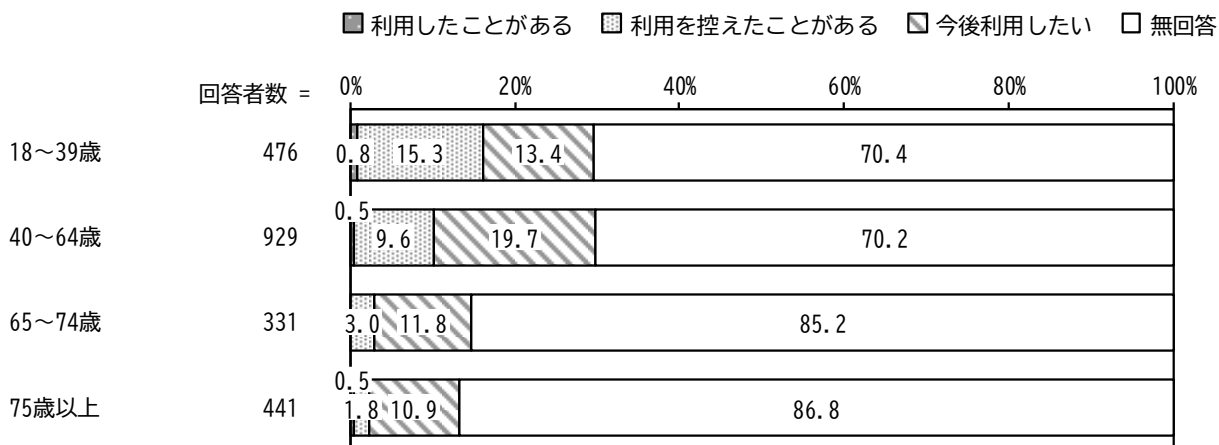


オ) 重度障害者等包括支援



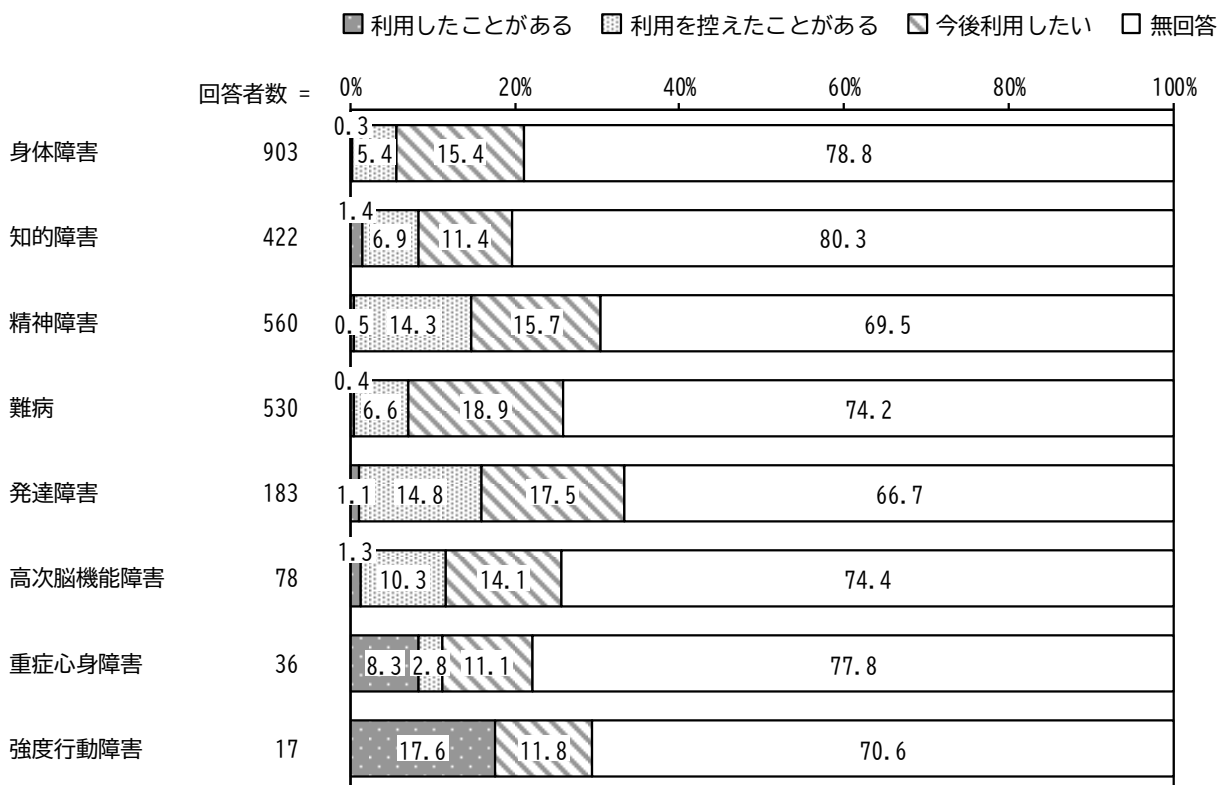
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用を控えたことがある」の割合が高くなっています。

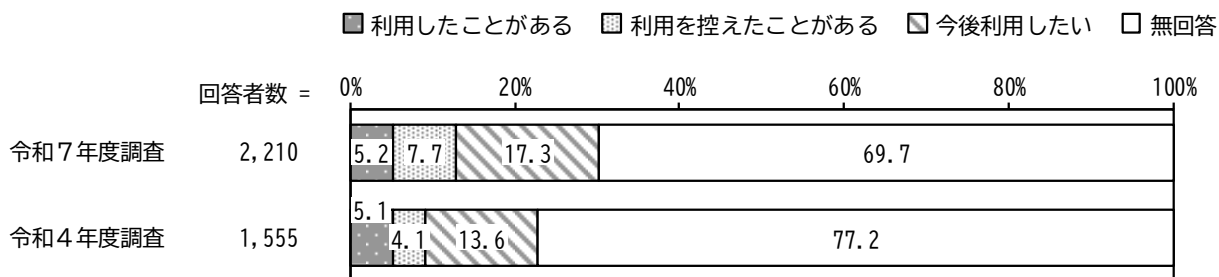


【障害種別】

障害種別にみると、強度行動障害で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

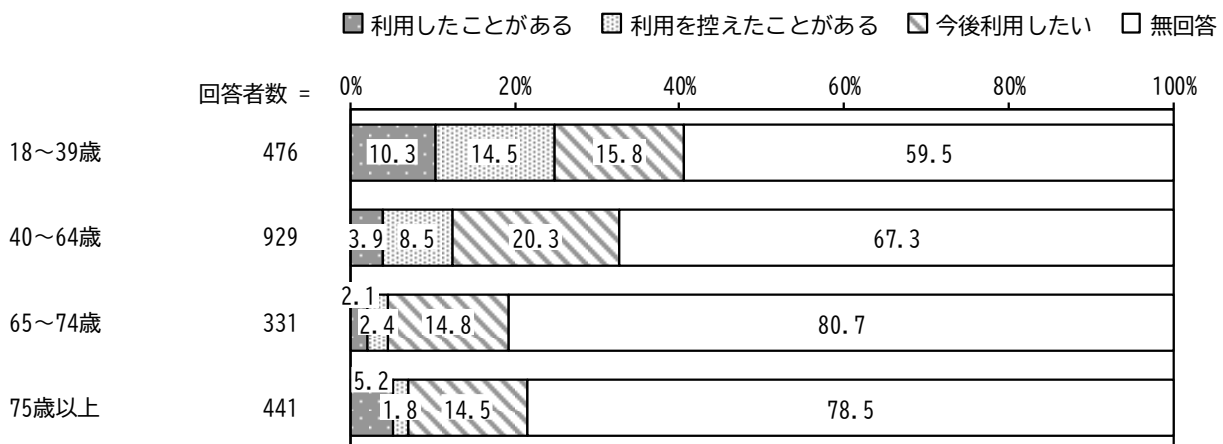


カ) 生活介護



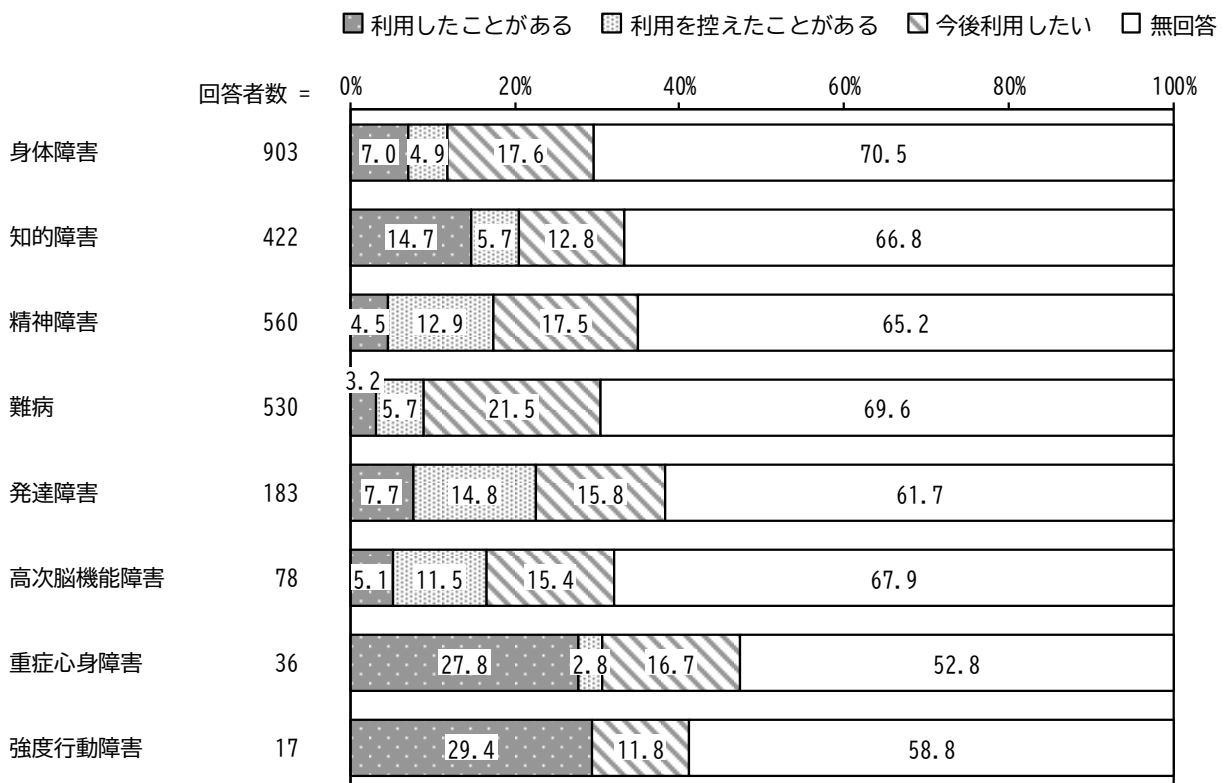
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用を控えたことがある」の割合が高くなっています。

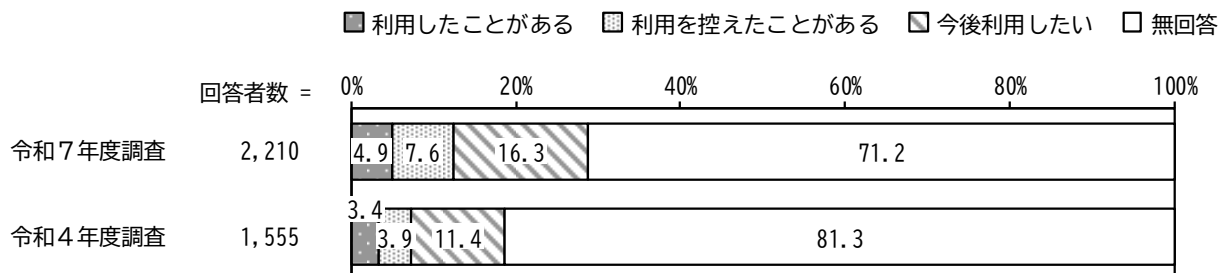


【障害種別】

障害種別にみると、知的障害、重症心身障害、強度行動障害で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

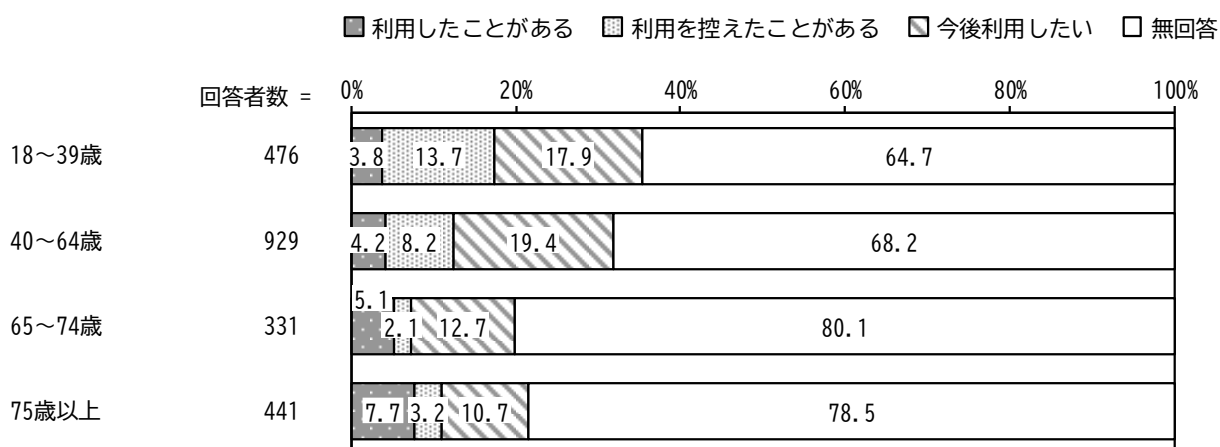


キ) 自立訓練（機能訓練）



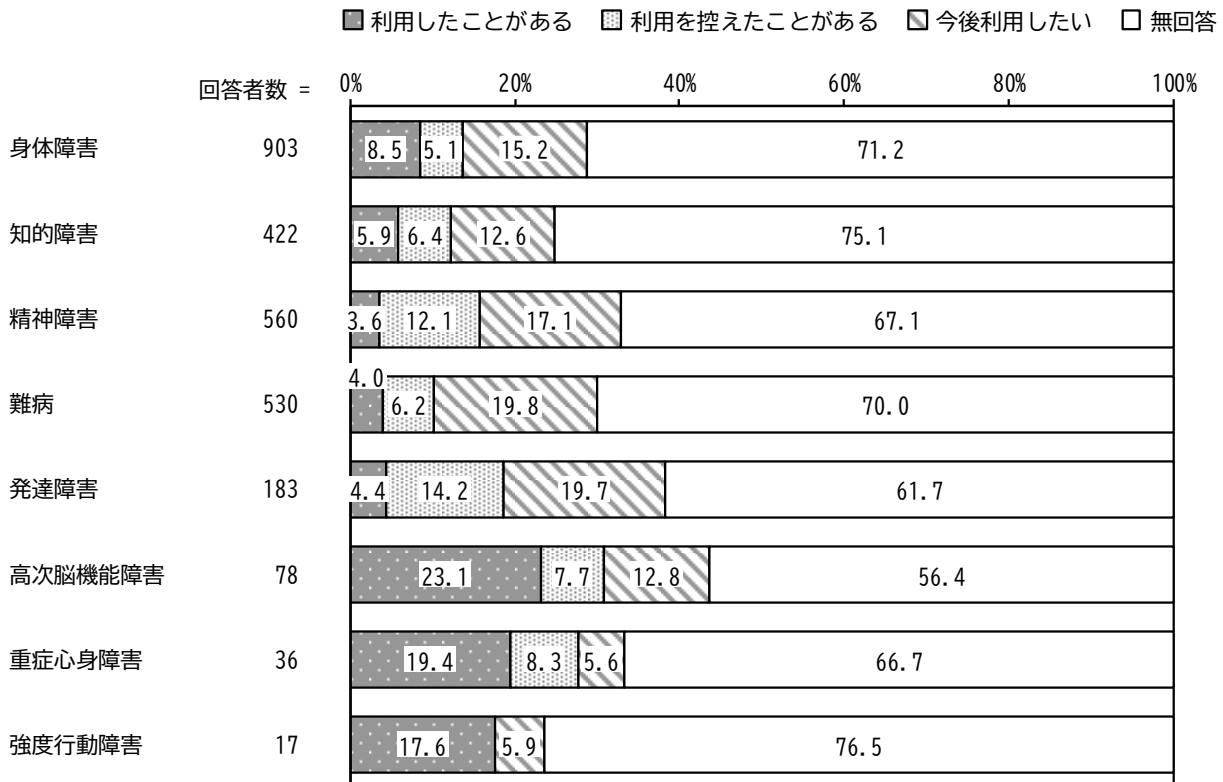
【年齢別】

年齢別にみると、「75歳以上」から「40～64歳」まで年齢が下がるほど「今後利用したい」の割合が高くなっています。

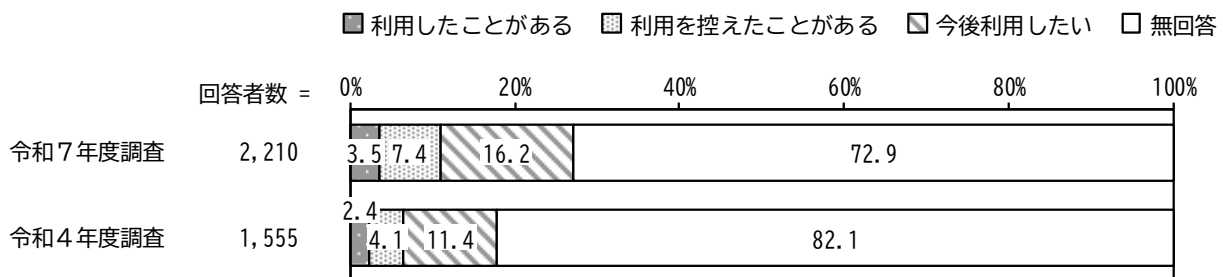


【障害種別】

障害種別にみると、高次脳機能障害、重症心身障害、強度行動障害で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

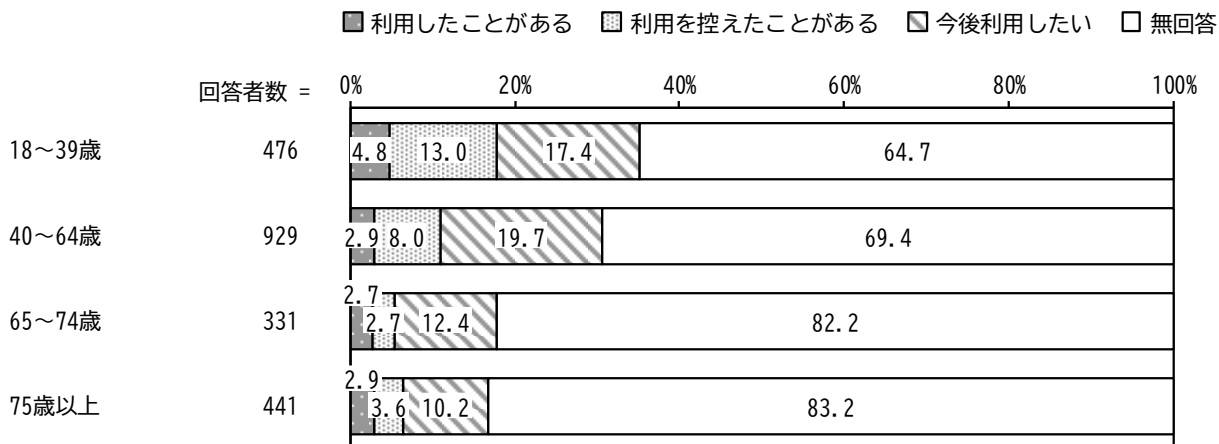


ク) 自立訓練（生活訓練）



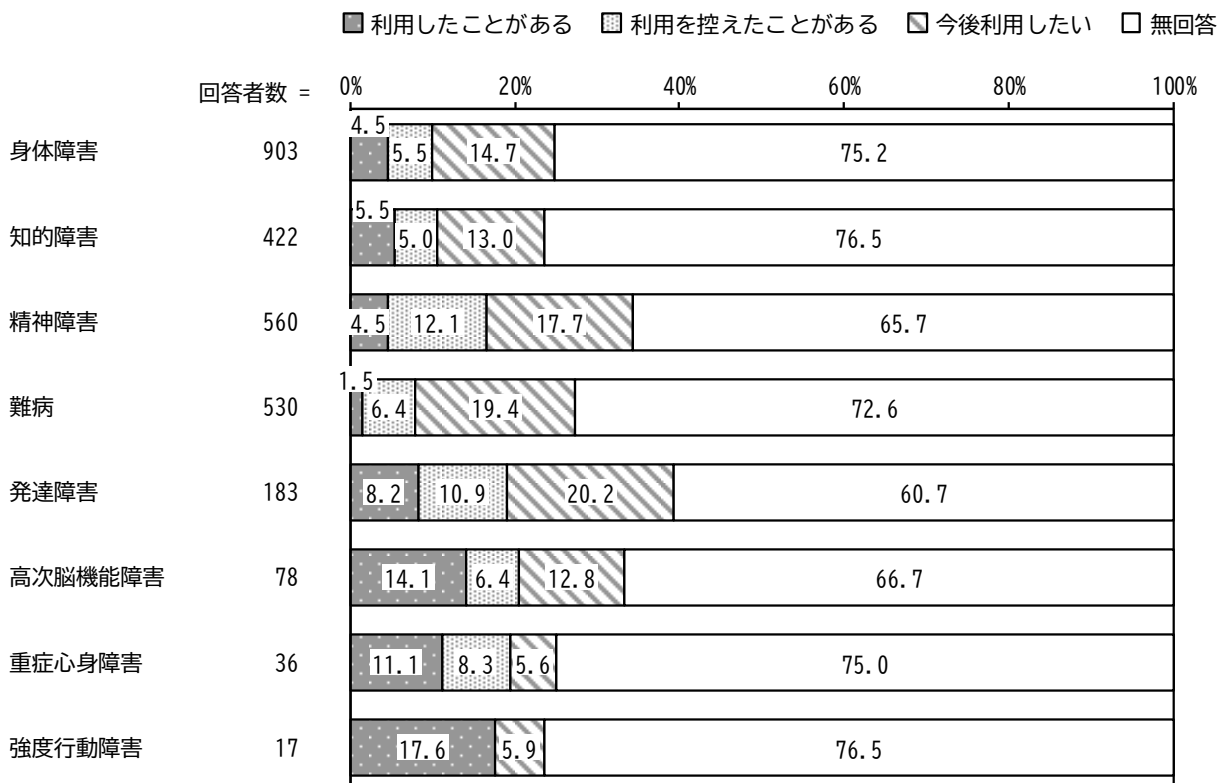
【年齢別】

年齢別にみると、「75歳以上」から「40～64歳」まで年齢が下がるほど「今後利用したい」の割合が高くなっています。

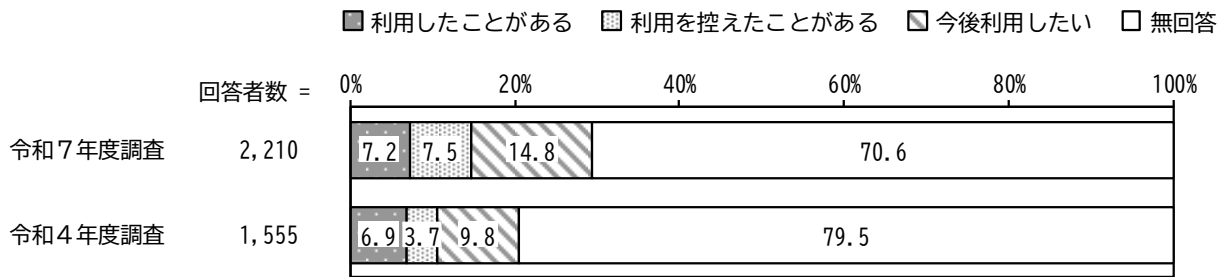


【障害種別】

障害種別にみると、高次脳機能障害、強度行動障害で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

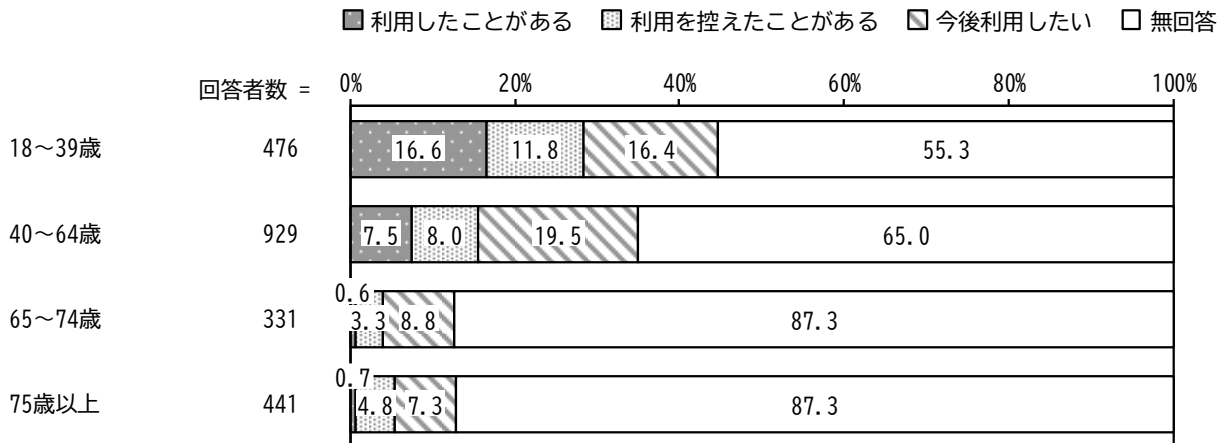


ケ) 就労移行支援



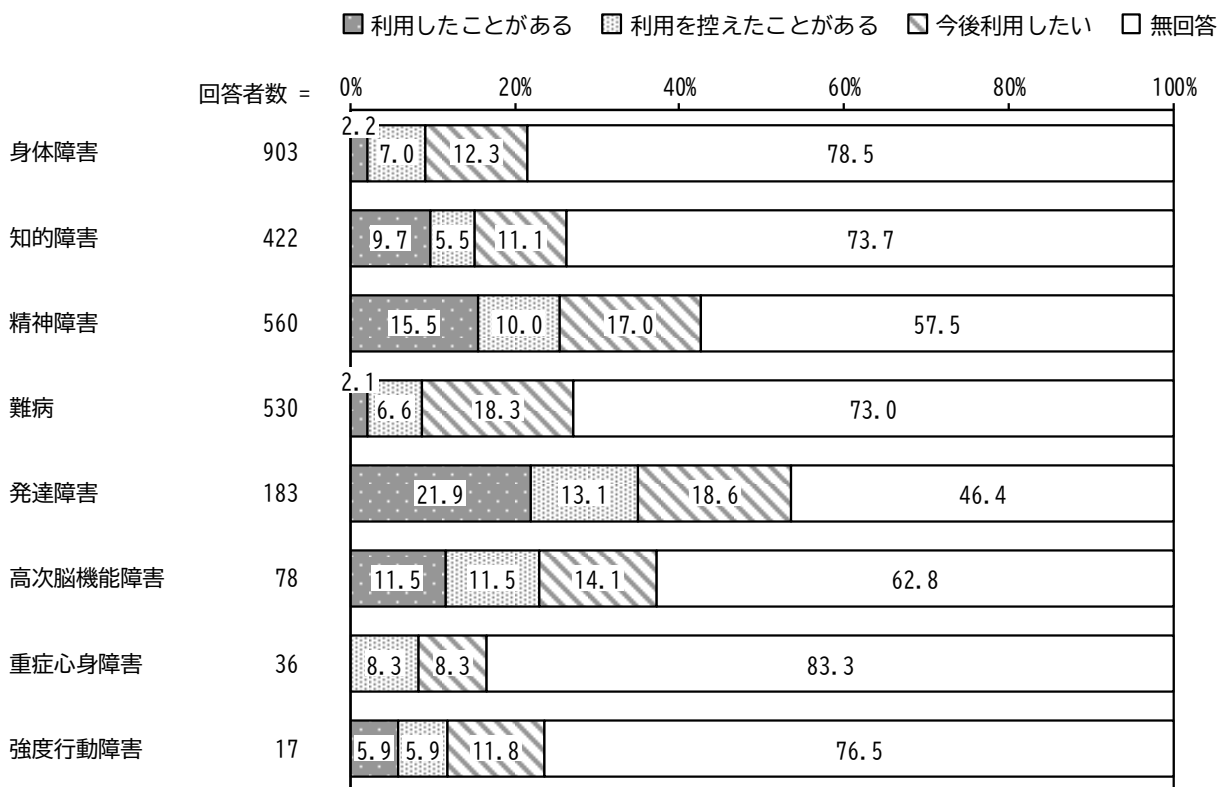
【年齢別】

年齢別にみると、「75歳以上」から「40～64歳」まで年齢が下がるほど「今後利用したい」の割合が高くなっています。

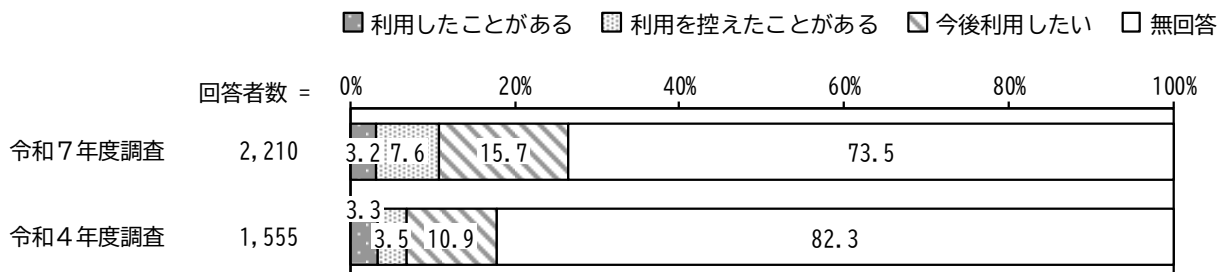


【障害種別】

障害種別にみると、発達障害で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

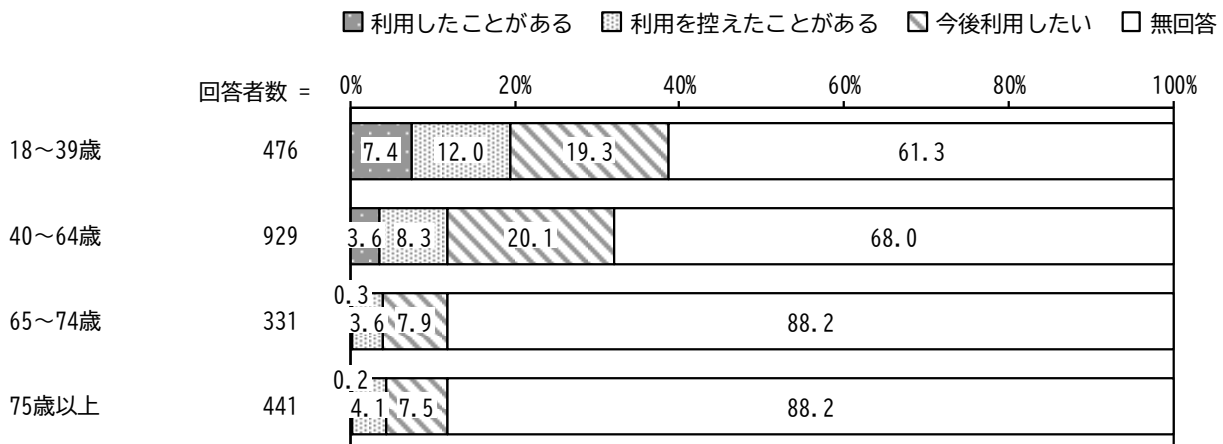


コ) 就労定着支援



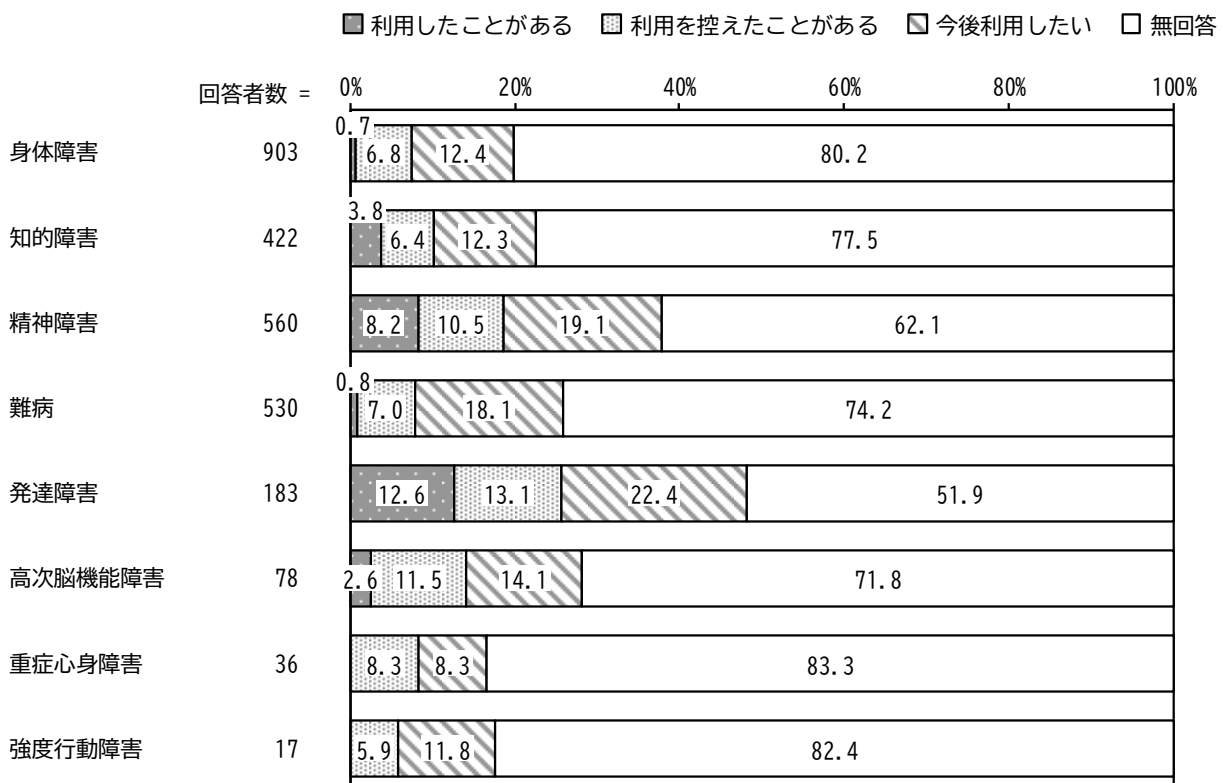
【年齢別】

年齢別にみると、「75歳以上」から「40～64歳」まで年齢が下がるほど「今後利用したい」の割合が高くなっています。



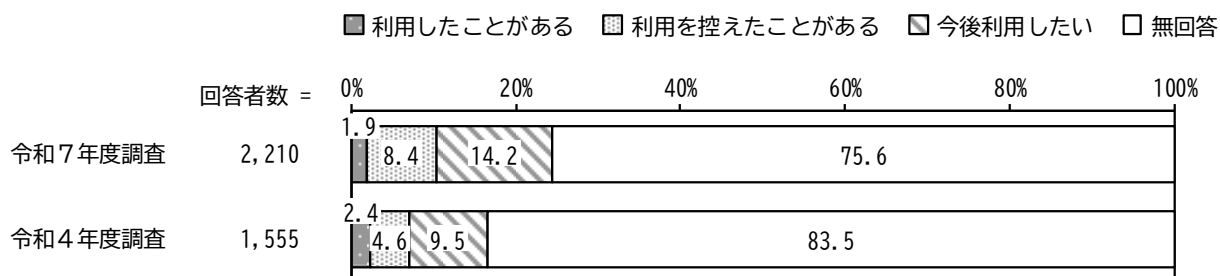
【障害種別】

障害種別にみると、精神障害、発達障害で「今後利用したい」の割合が高くなっています。



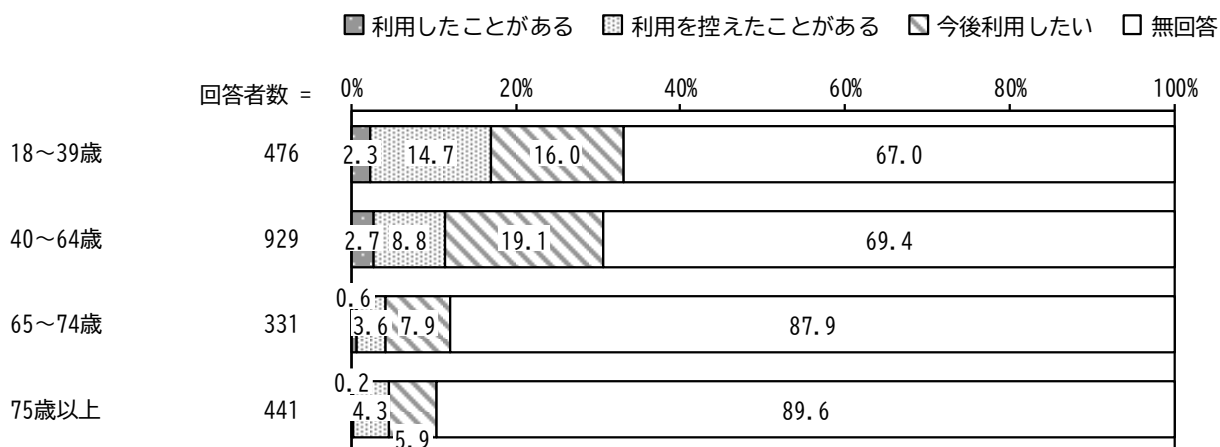
サ) 就労継続支援（A型）

【経年比較】



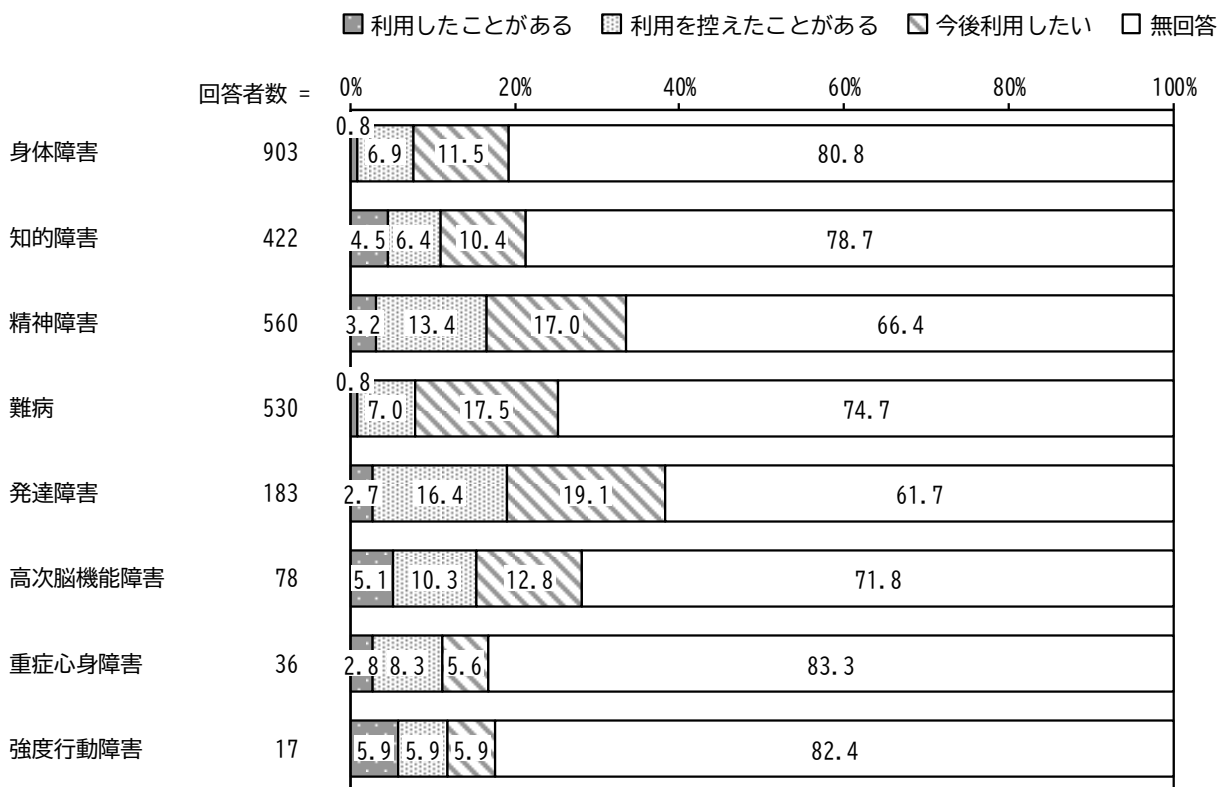
【年齢別】

年齢別にみると、「75歳以上」から「40～64歳」まで年齢が下がるほど「今後利用したい」の割合が高くなっています。

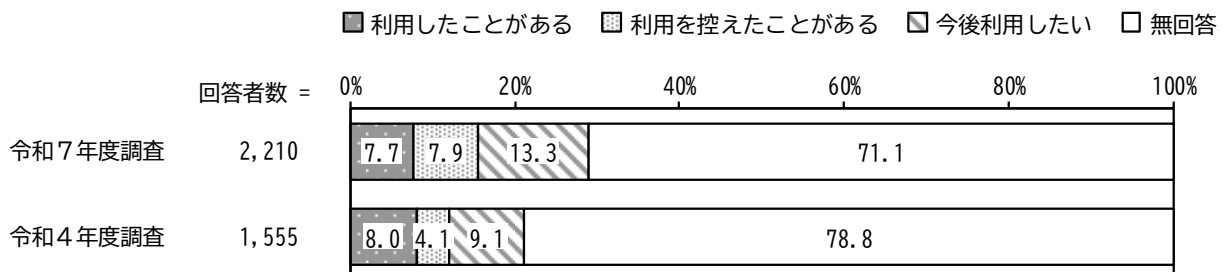


【障害種別】

障害種別にみると、精神障害、難病、発達障害で「今後利用したい」の割合が高くなっています。

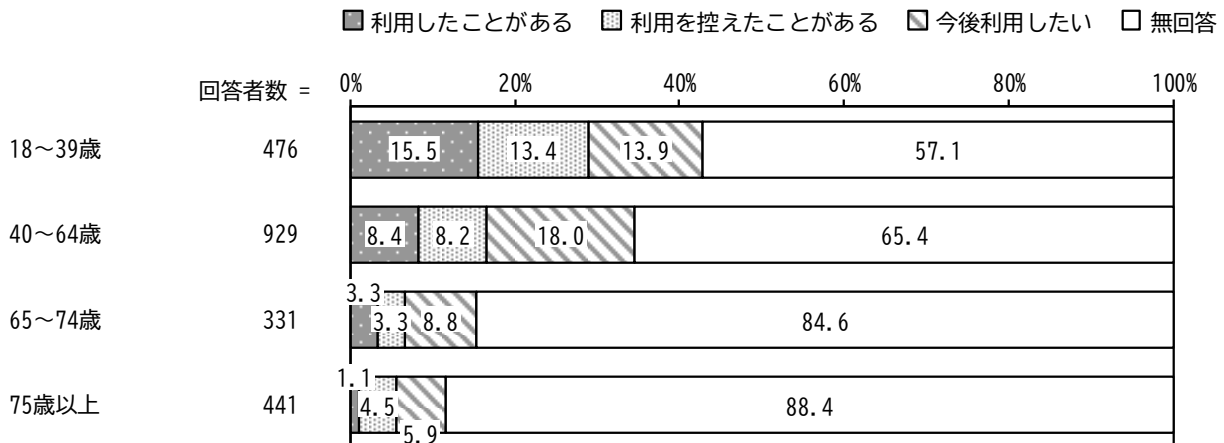


シ) 就労継続支援（B型）



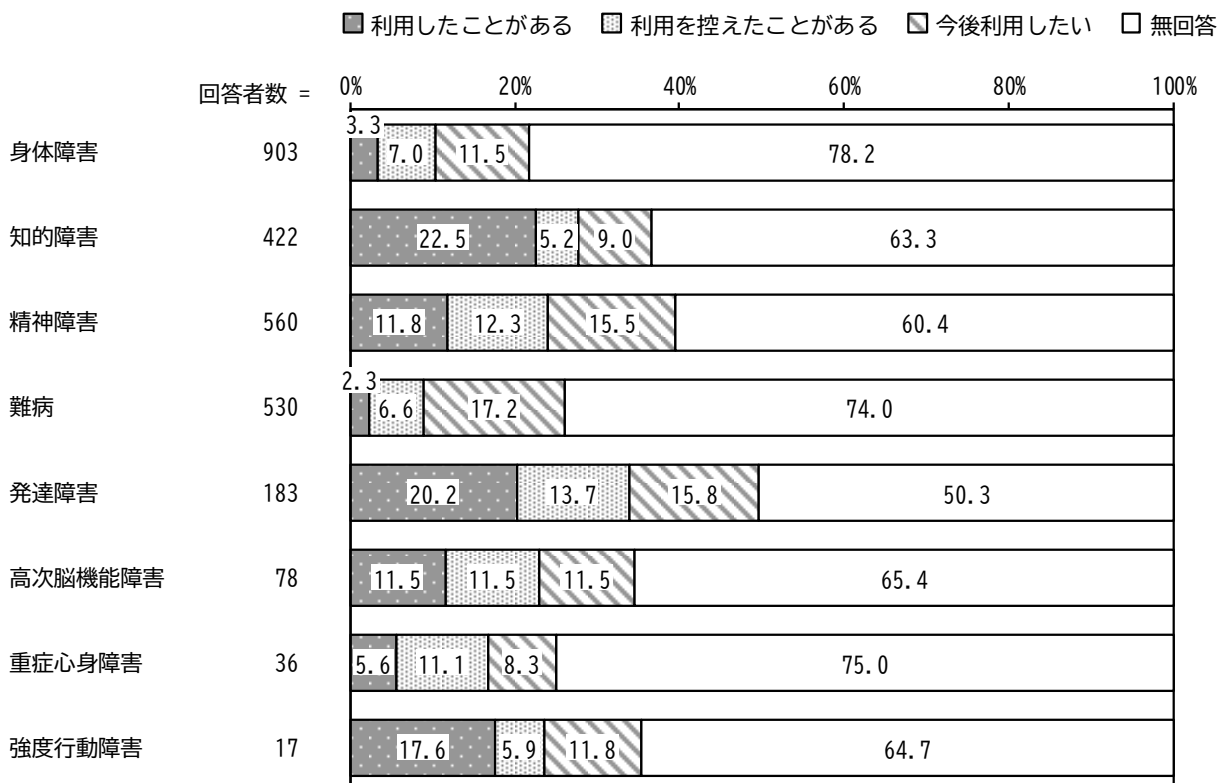
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用したことがある」の割合が高くなっています。

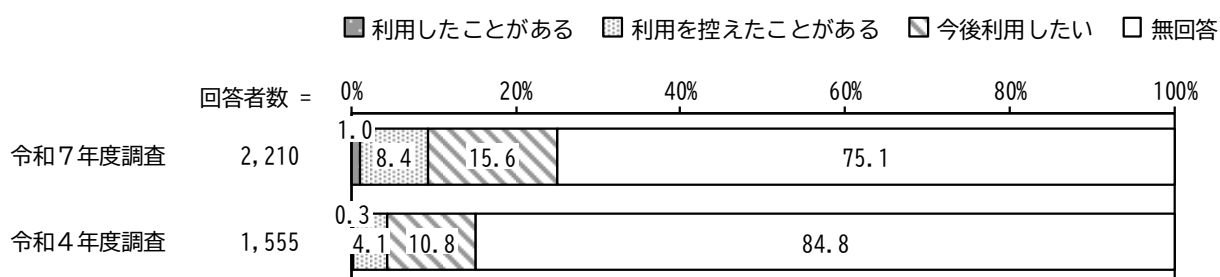


【障害種別】

障害種別にみると、知的障害、発達障害、強度行動障害で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

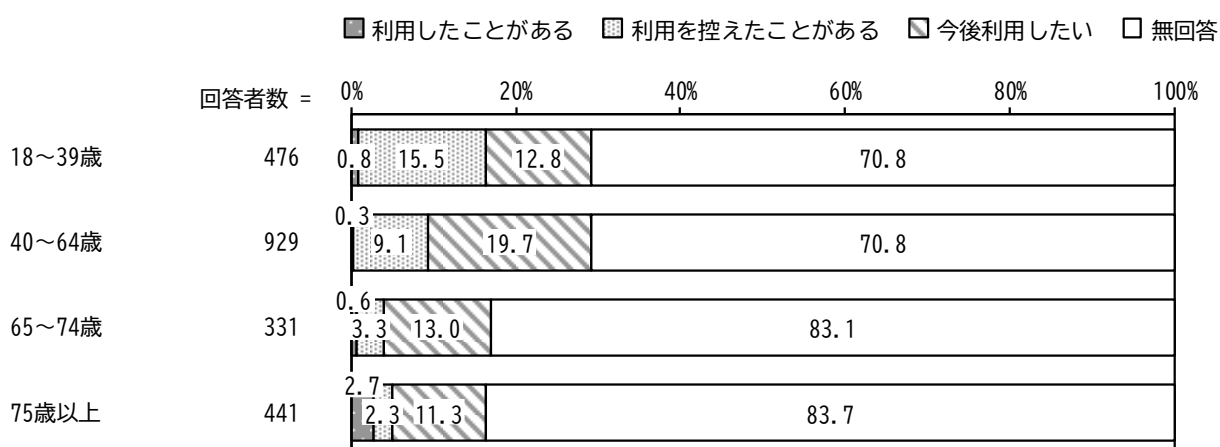


ス) 療養介護



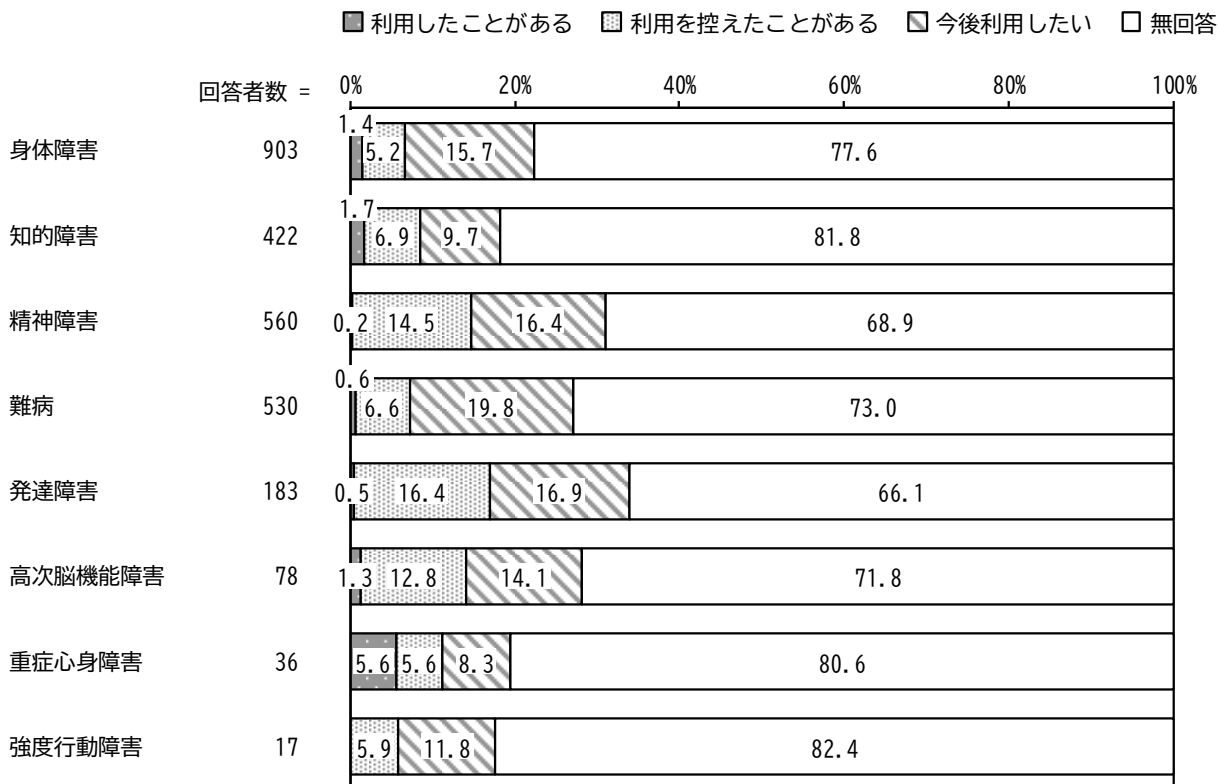
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用を控えたことがある」の割合が高くなっています。

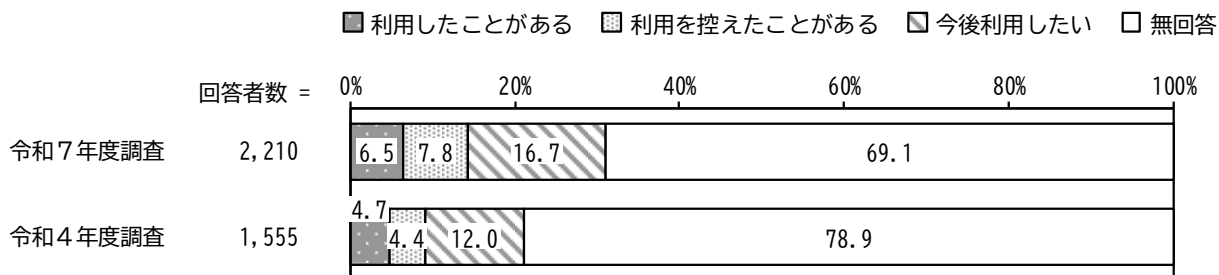


【障害種別】

障害種別にみると、精神障害、発達障害、高次脳機能障害で「利用を控えたことがある」の割合が高くなっています。

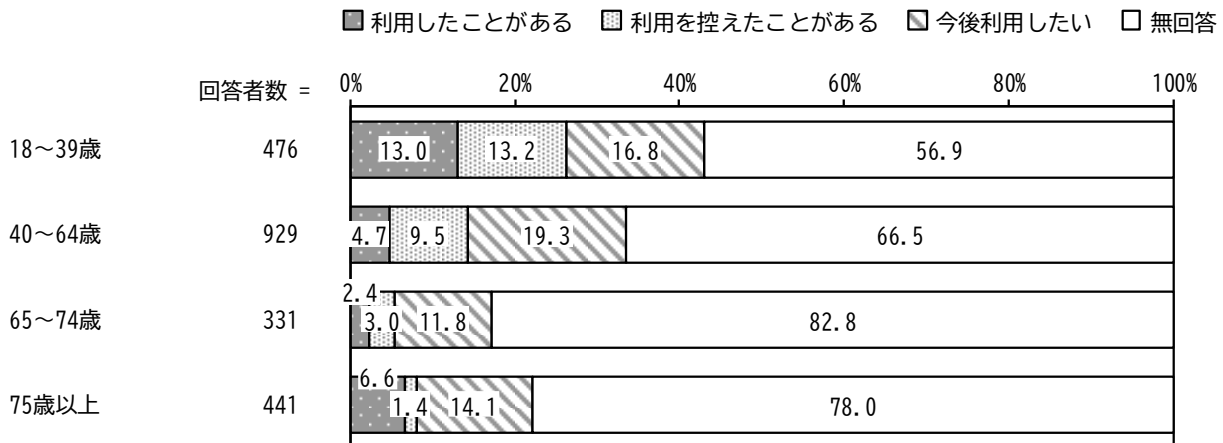


セ) 短期入所



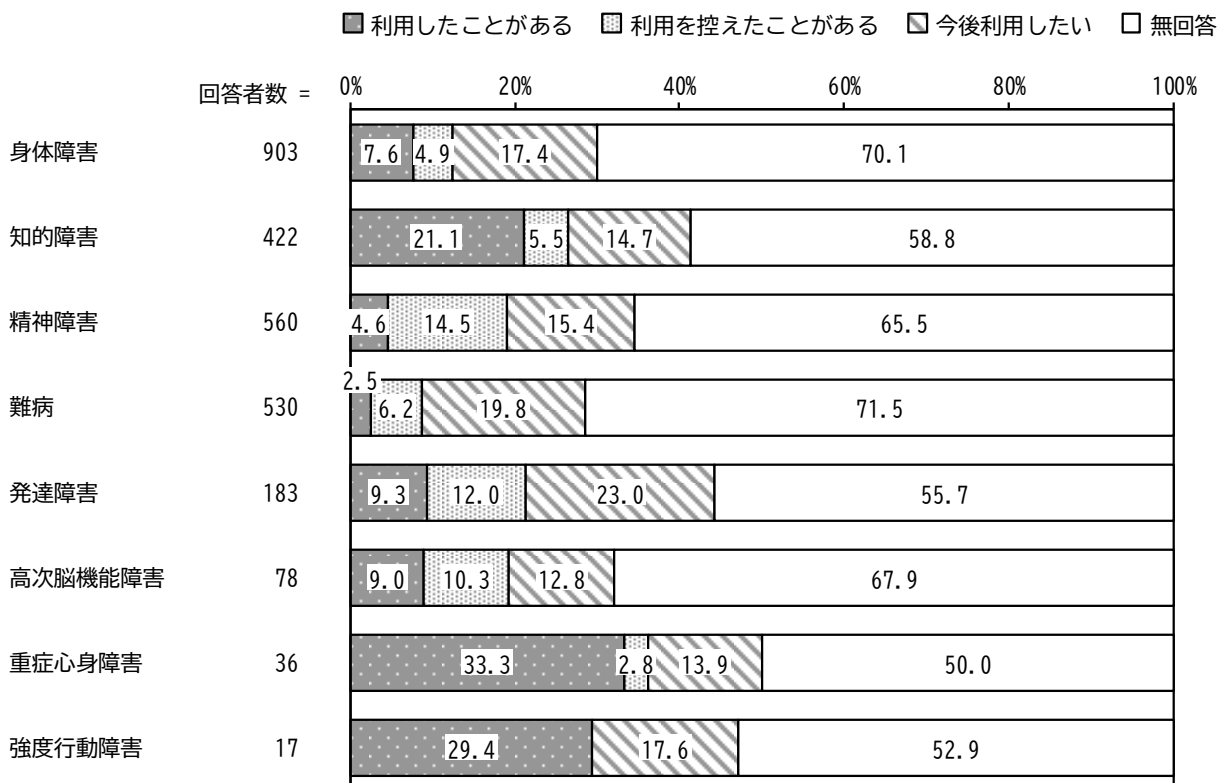
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用を控えたことがある」の割合が高くなっています。

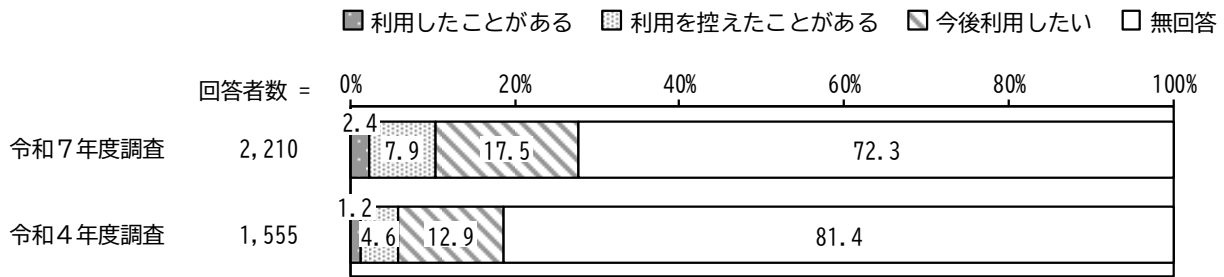


【障害種別】

障害種別にみると、知的障害、重症心身障害、強度行動障害で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

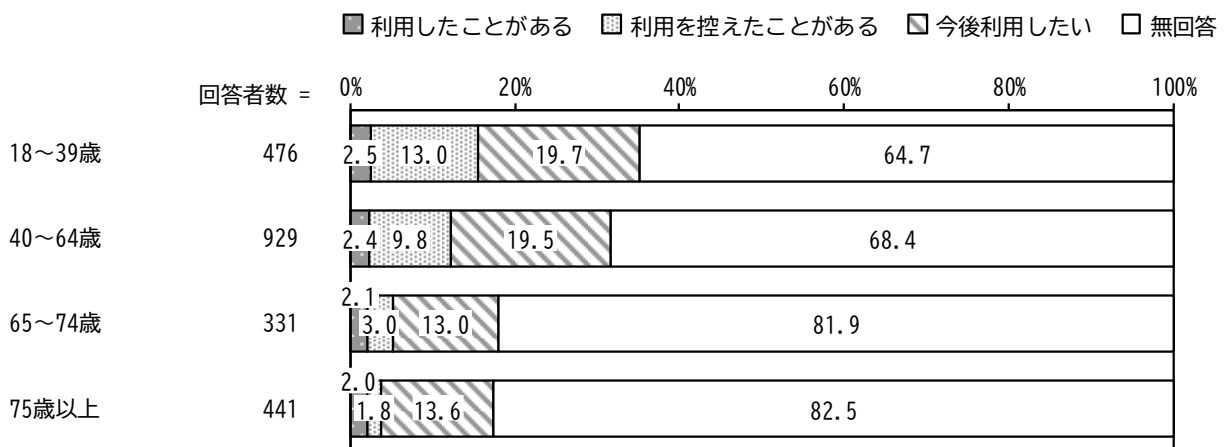


ソ) 施設入所支援



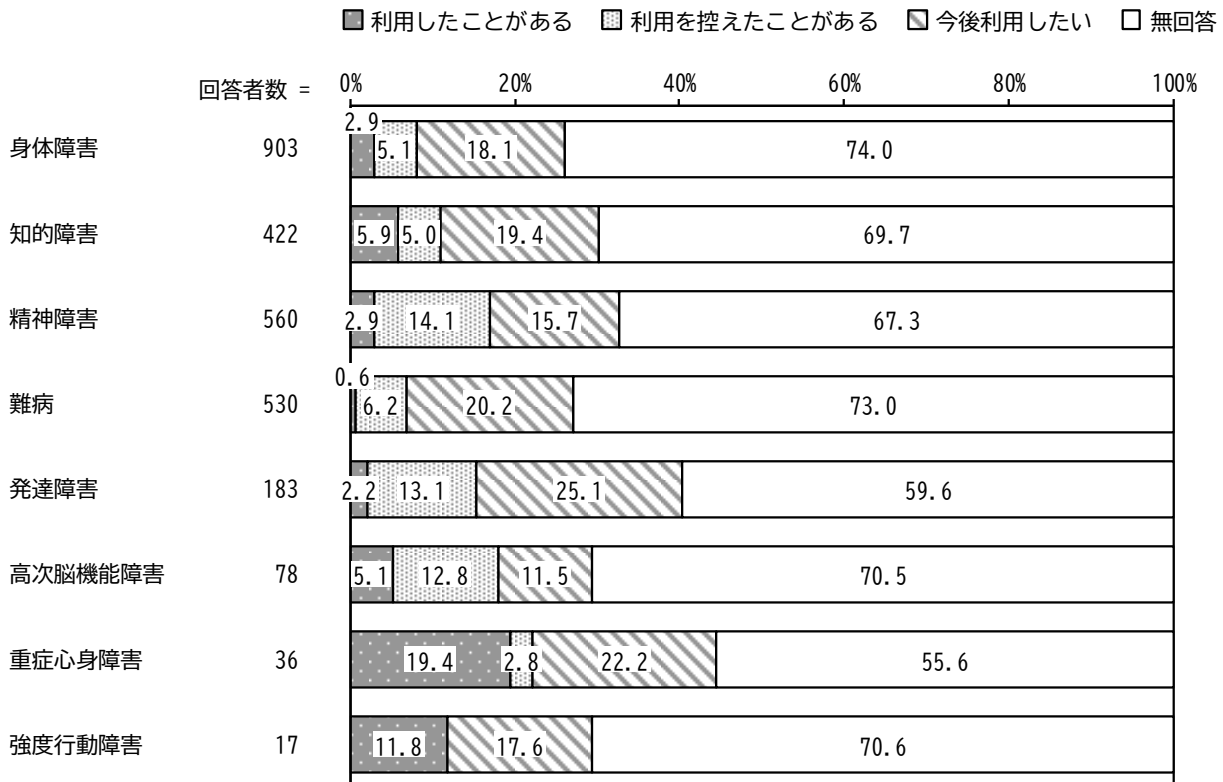
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用を控えたことがある」の割合が高くなっています。

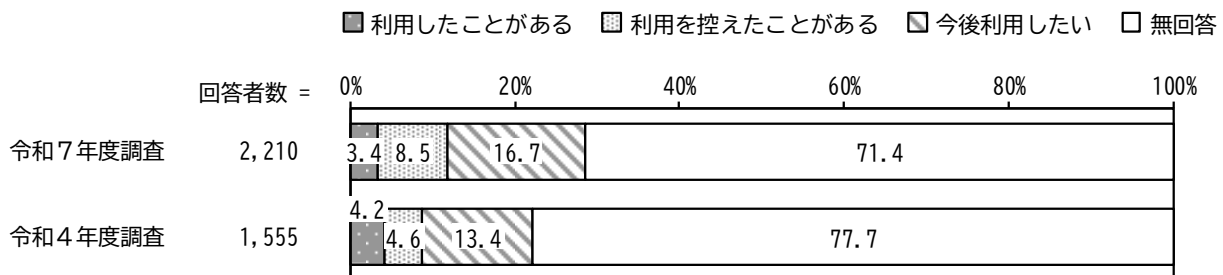


【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「利用したことがある」、「今後利用したい」の割合が高くなっています。また、発達障害で「今後利用したい」の割合が高くなっています。

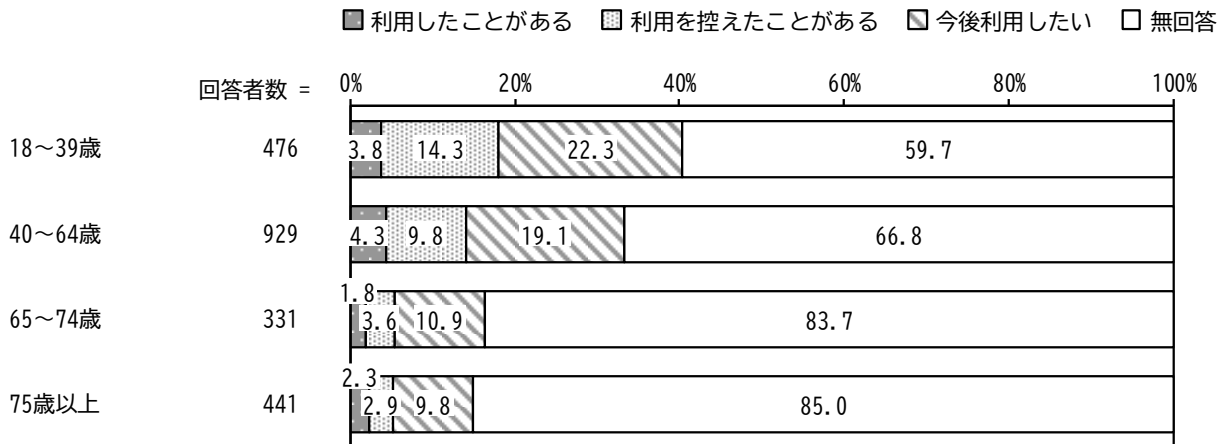


タ) 共同生活援助（グループホーム）



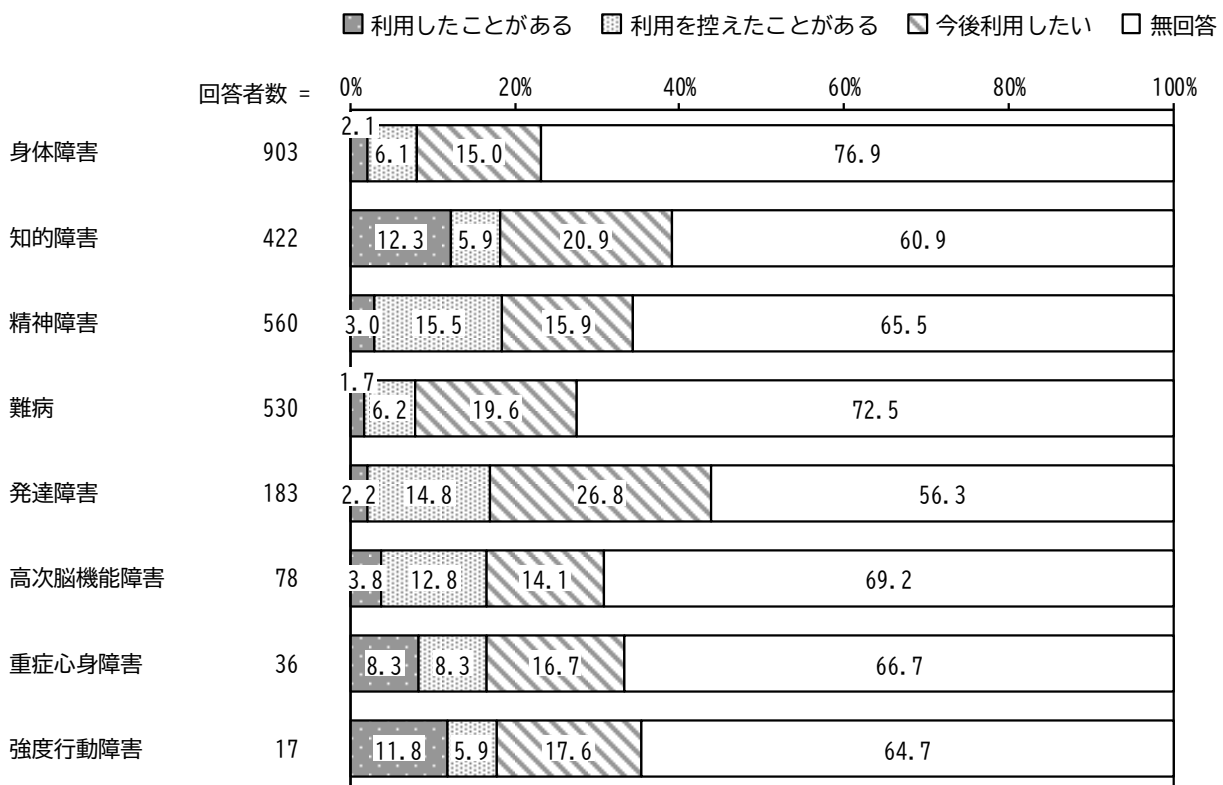
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用を控えたことがある」「今後利用したい」の割合が高くなっています。

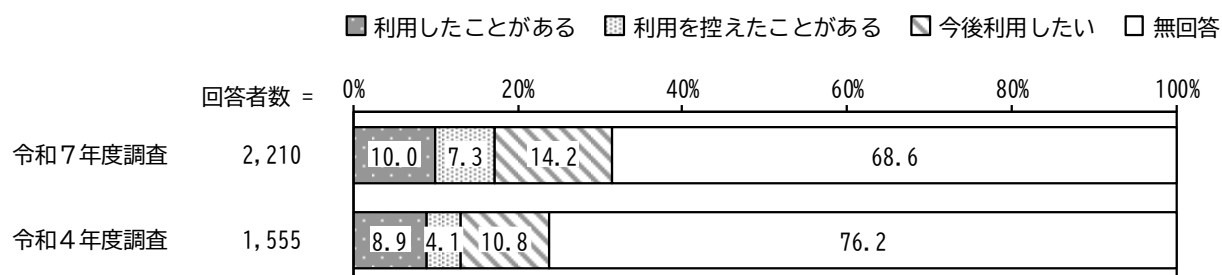


【障害種別】

障害種別にみると、知的障害、発達障害で「今後利用したい」の割合が高くなっています。

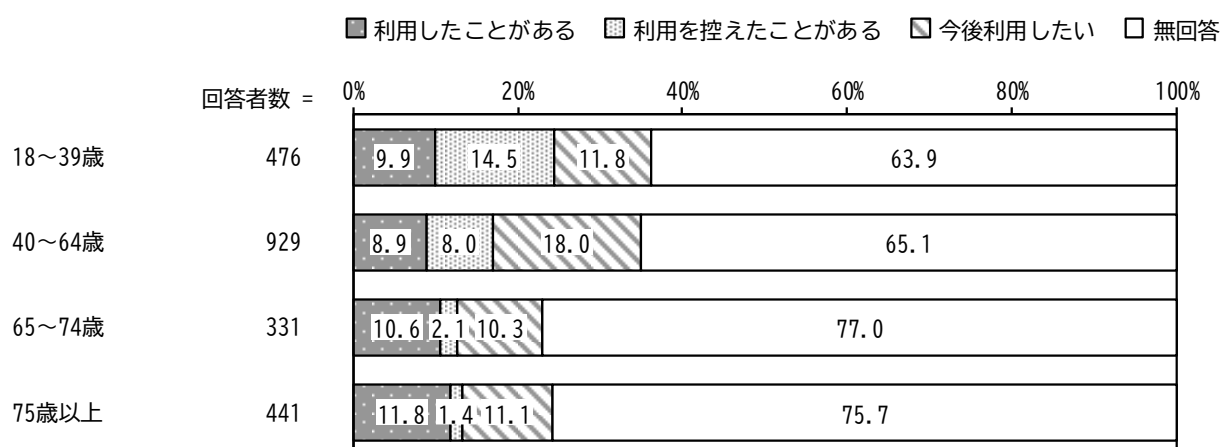


チ) 補装具費の支給



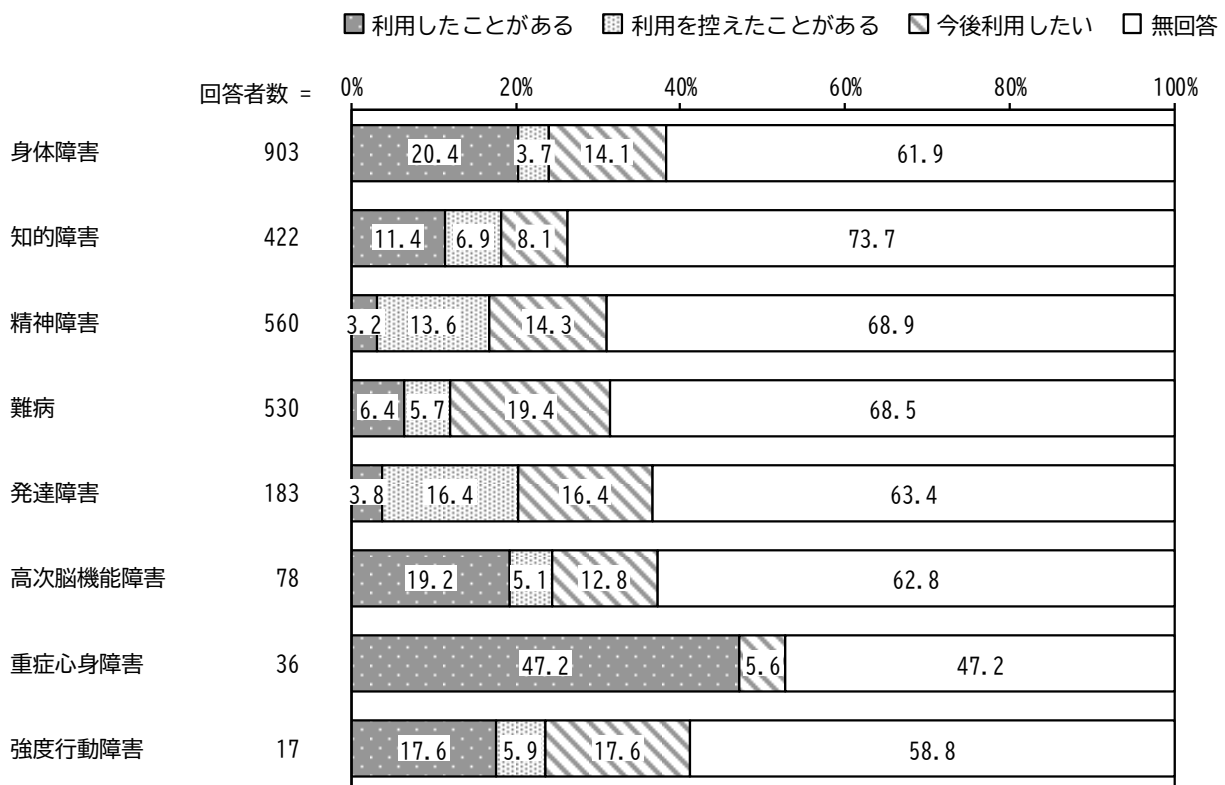
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用を控えたことがある」の割合が高くなっています。

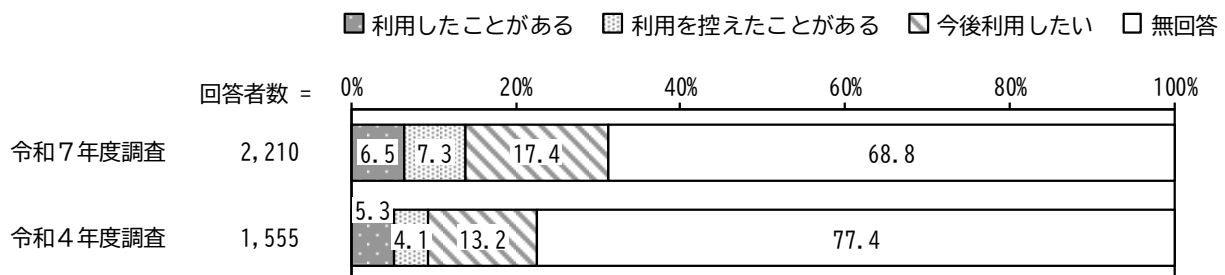


【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

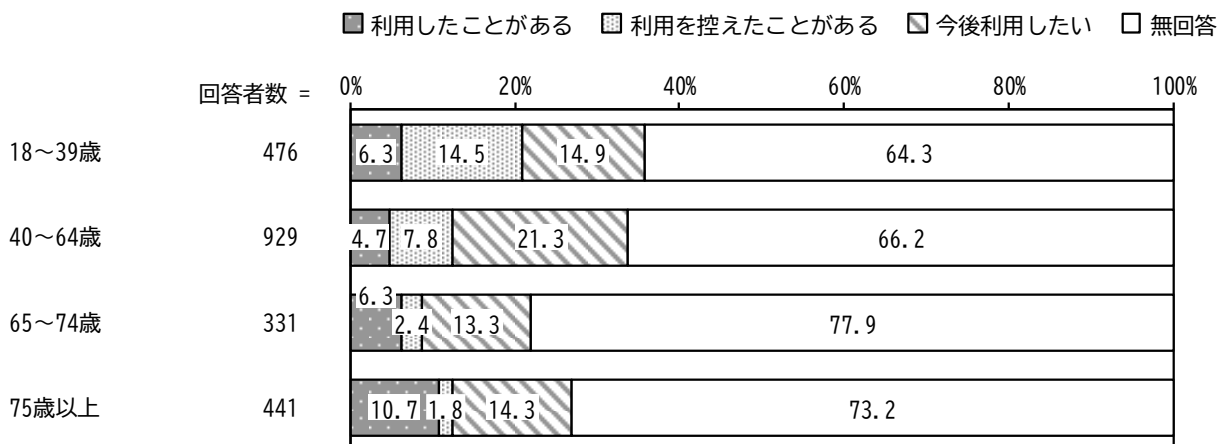


ツ) 日常生活用具の給付等



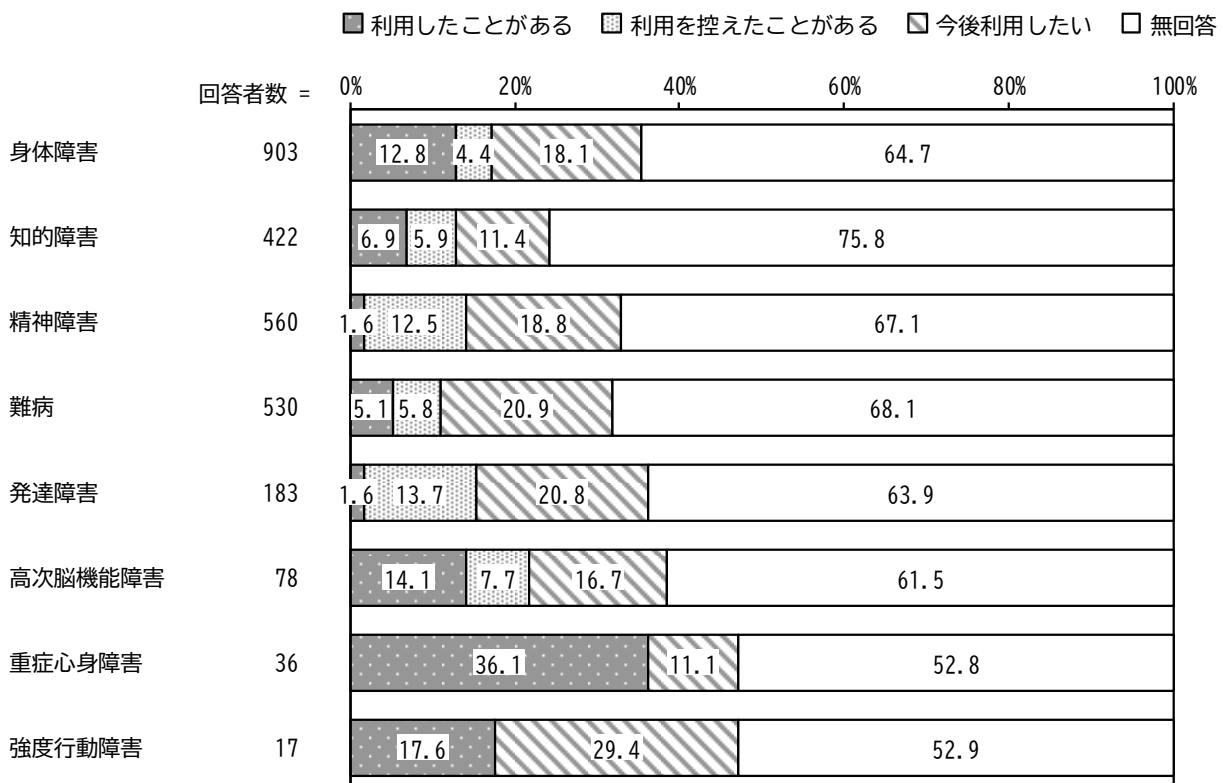
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用を控えたことがある」の割合が高くなっています。

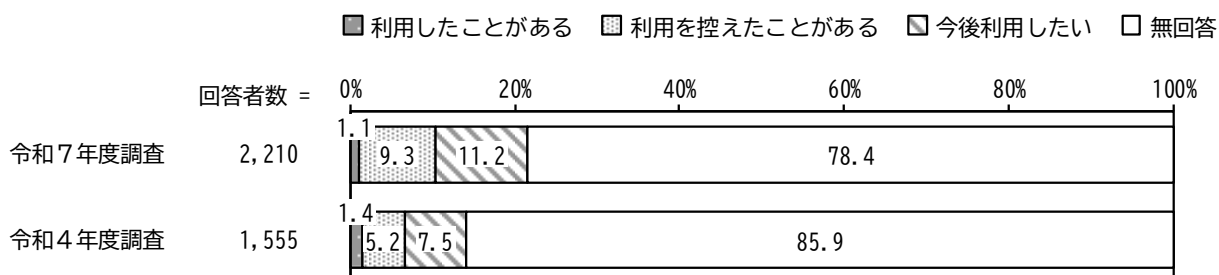


【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「利用したことがある」、強度行動障害で「今後利用したい」の割合が高くなっています。

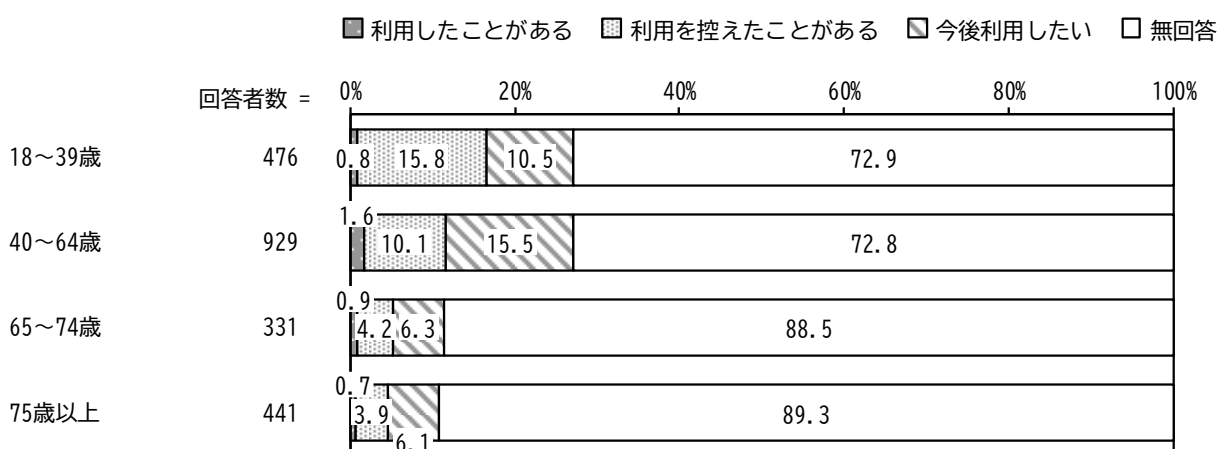


テ) 手話通訳者の派遣

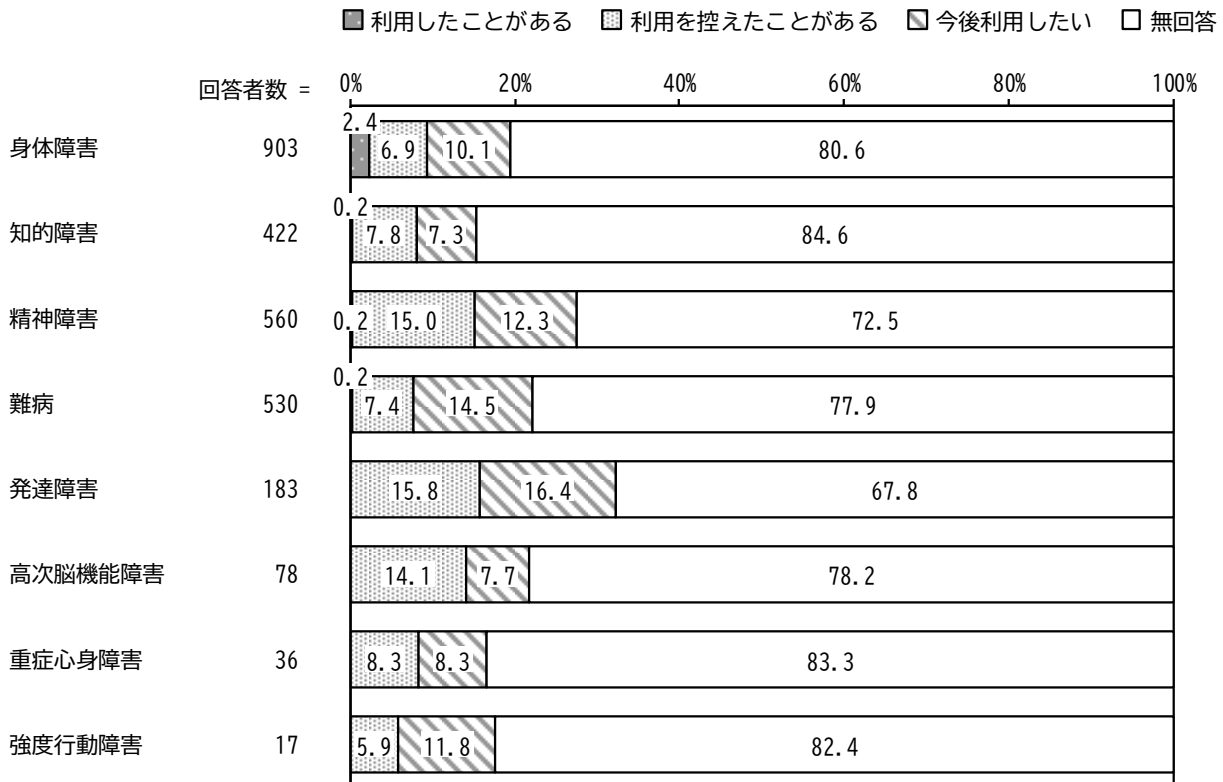


【年齢別】

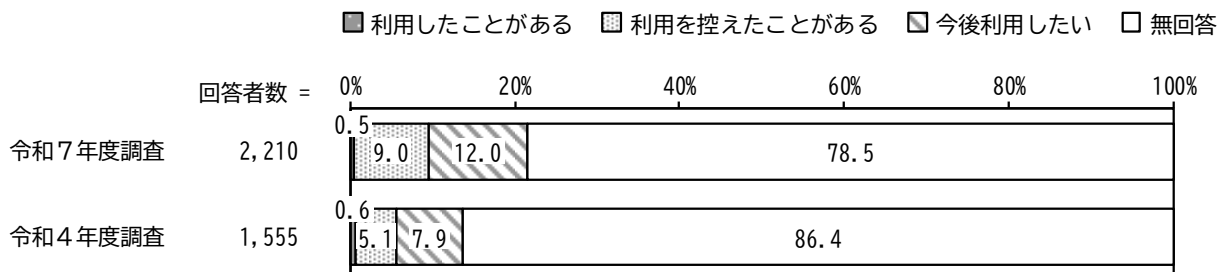
年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用を控えたことがある」の割合が高くなっています。



【障害種別】

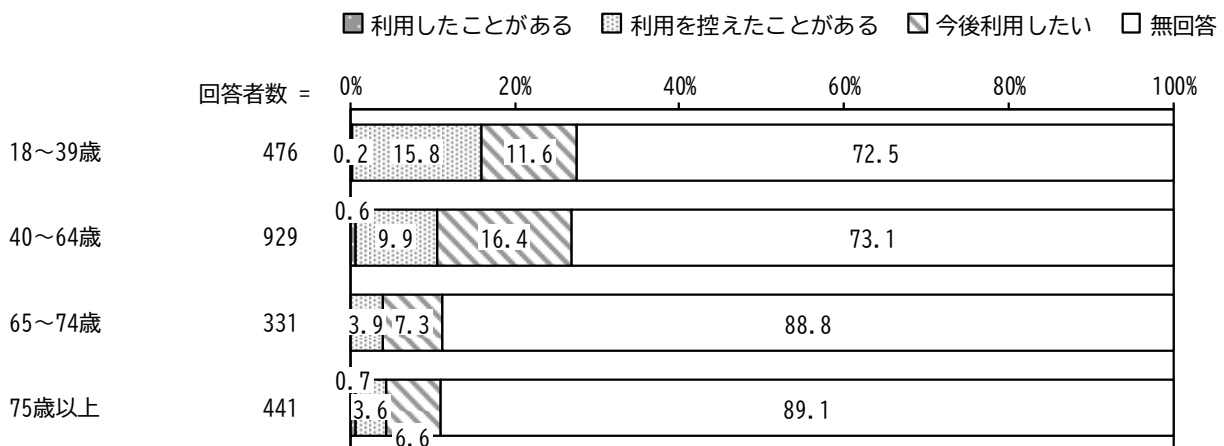


ト) 要約筆記者の派遣

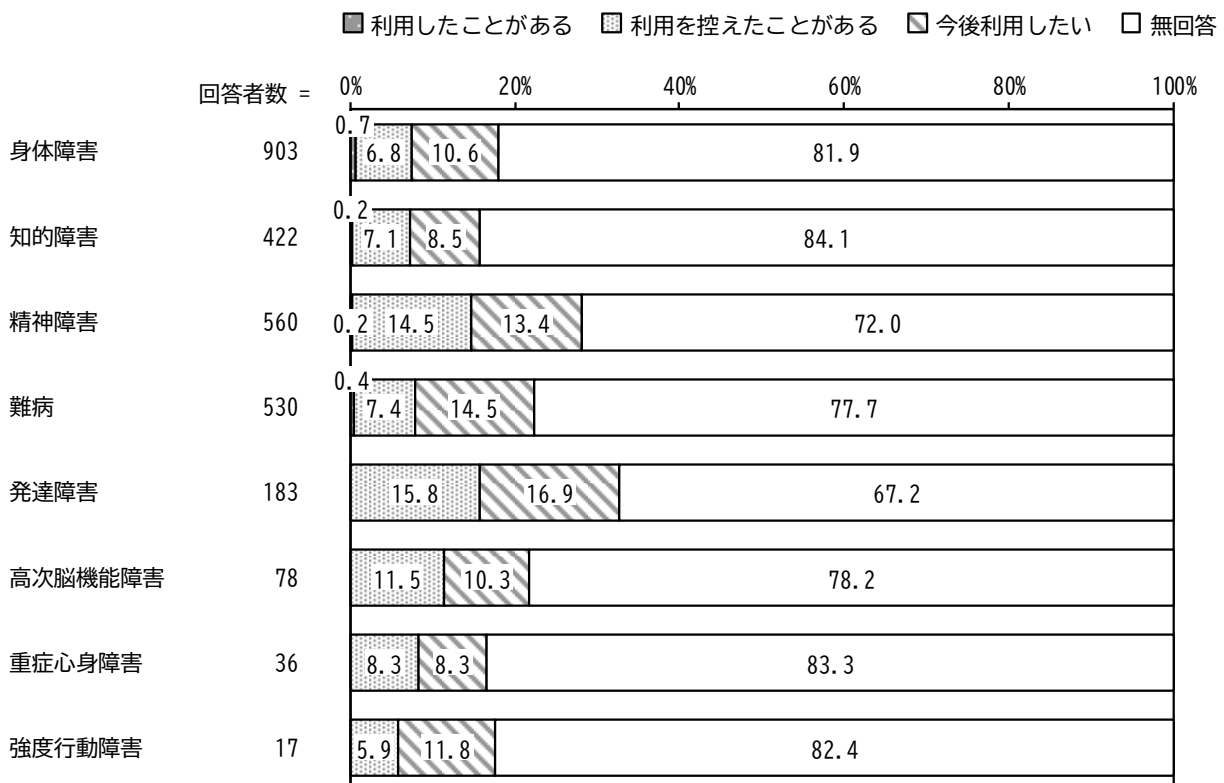


【年齢別】

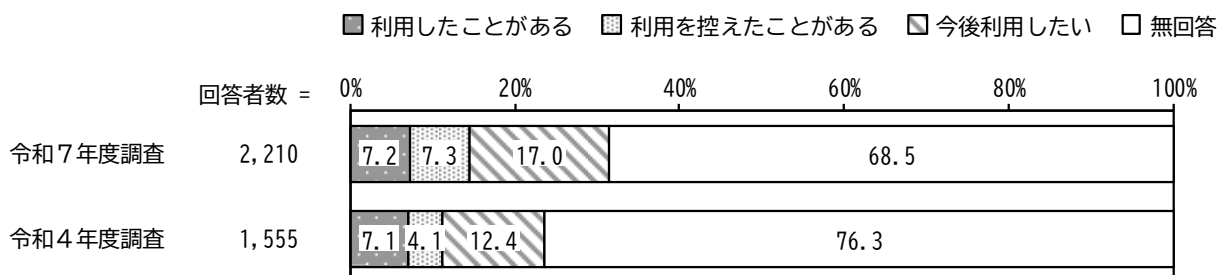
年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用を控えたことがある」の割合が高くなっています。



【障害種別】

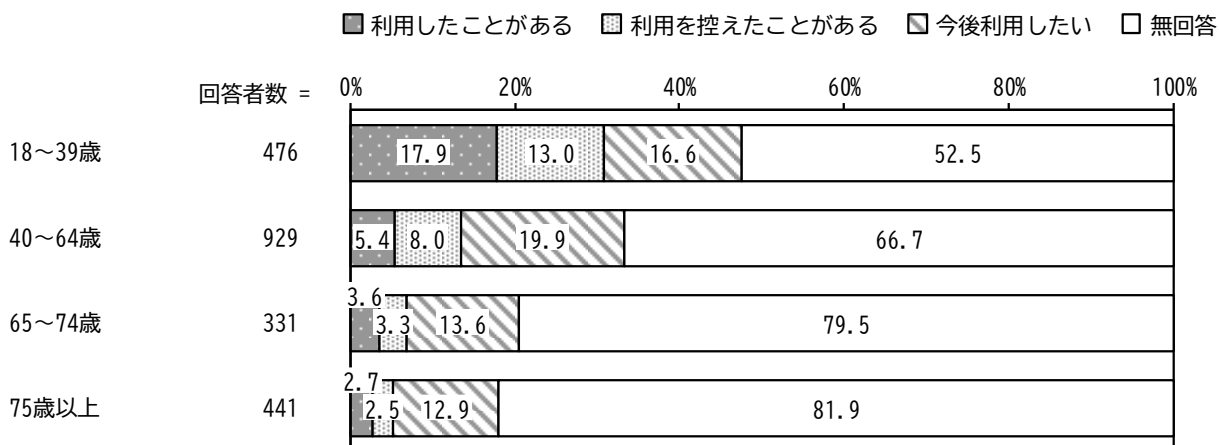


ナ) 移動支援



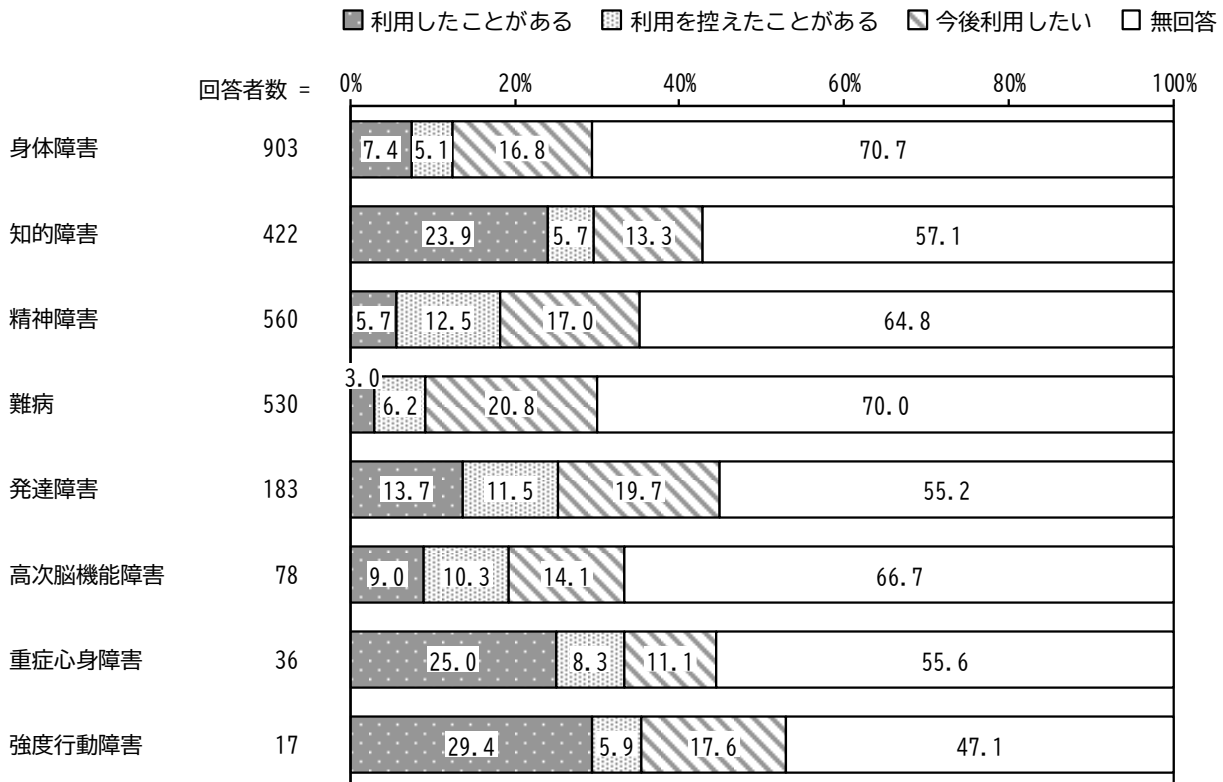
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用したことがある」「利用を控えたことがある」の割合が高い傾向にあります。

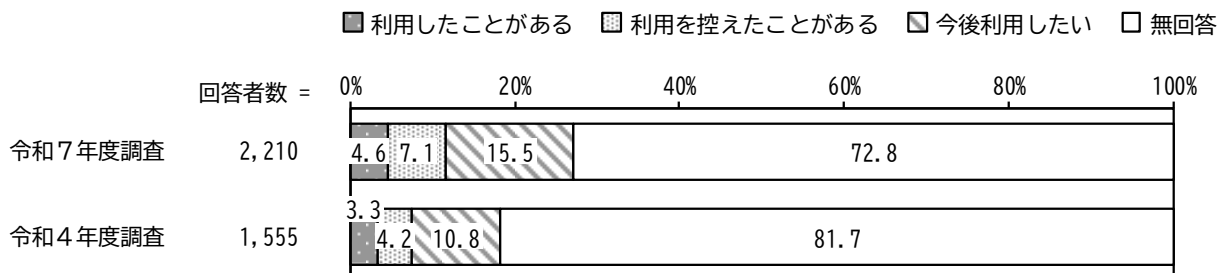


【障害種別】

障害種別にみると、知的障害、重症心身障害、強度行動障害で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

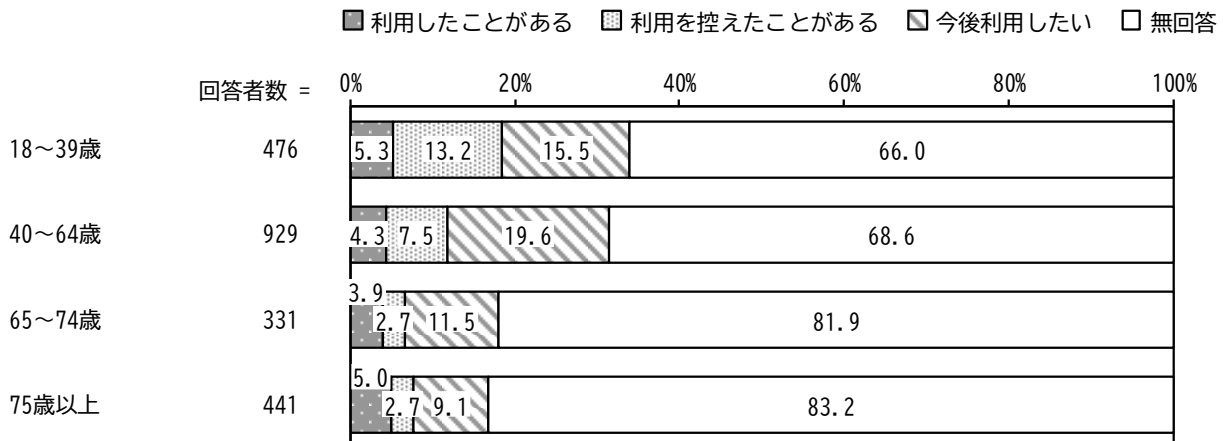


二) 地域活動支援センター



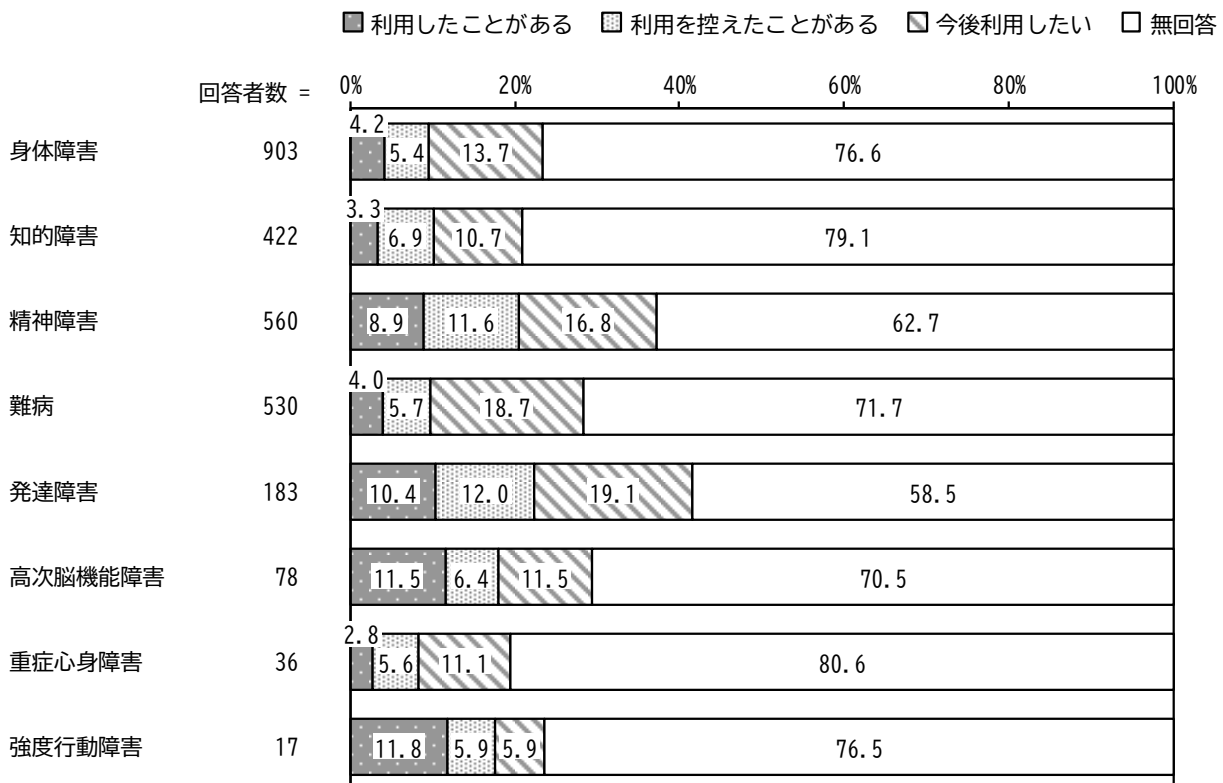
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用を控えたことがある」の割合が高い傾向にあります。

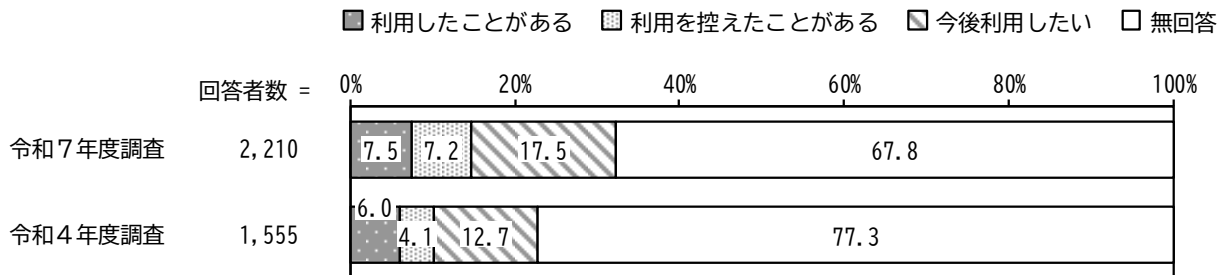


【障害種別】

障害種別にみると、精神障害、発達障害、難病で「今後利用したい」の割合が高くなっています。

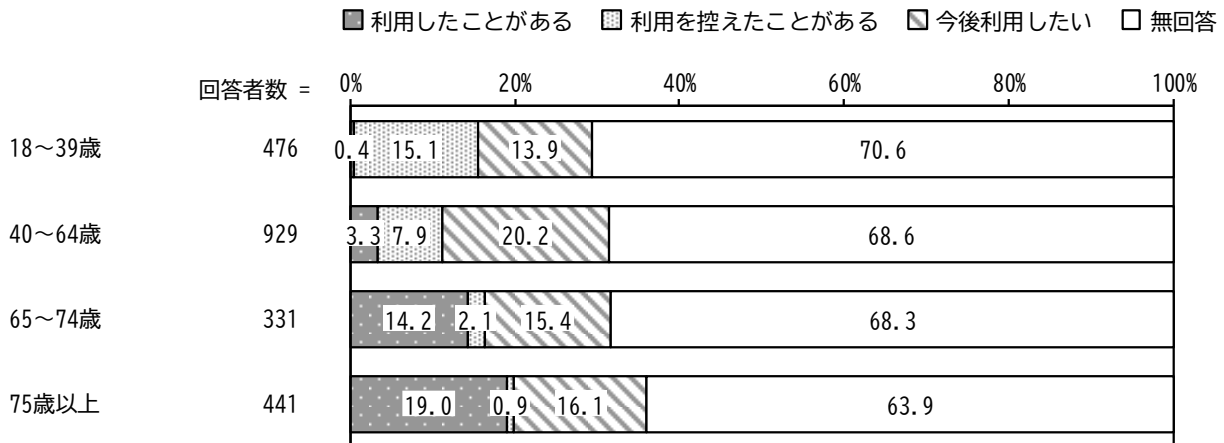


又) 介護保険サービス



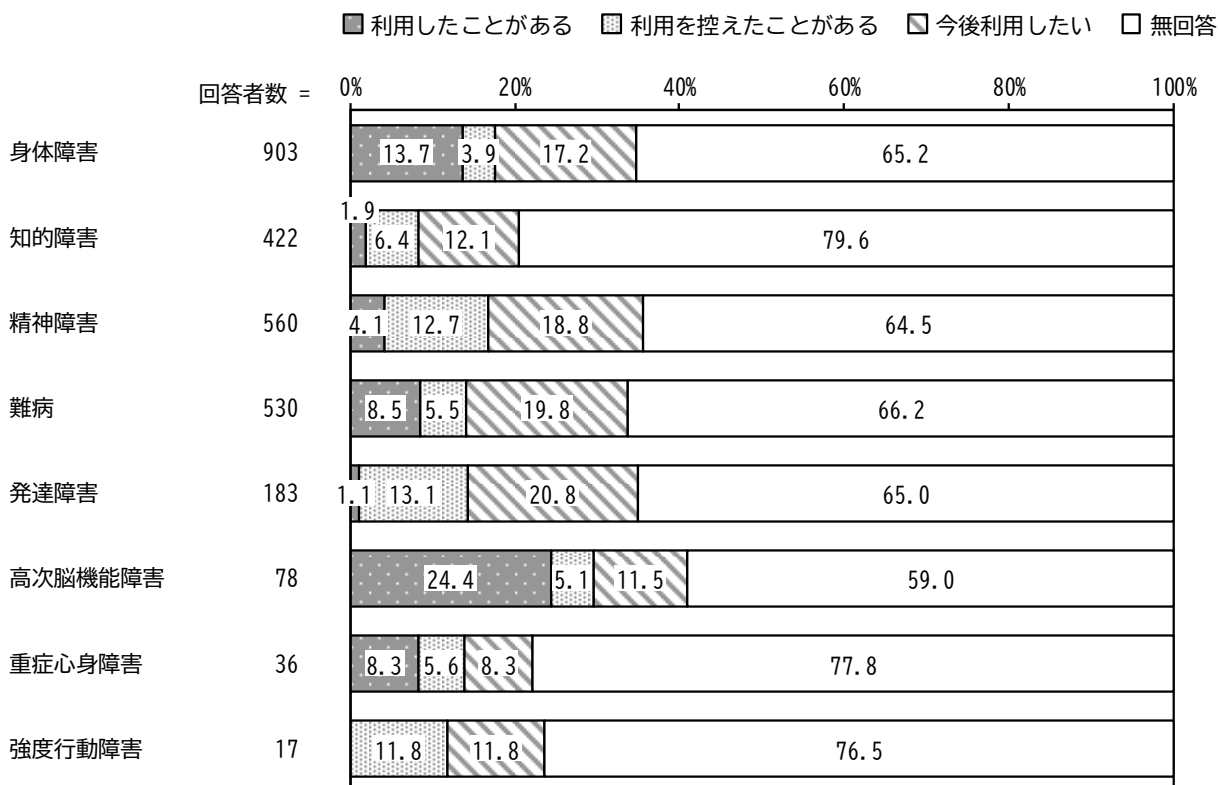
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「利用したことがある」の割合が高く、「利用を控えたことがある」の割合が低くなっています。

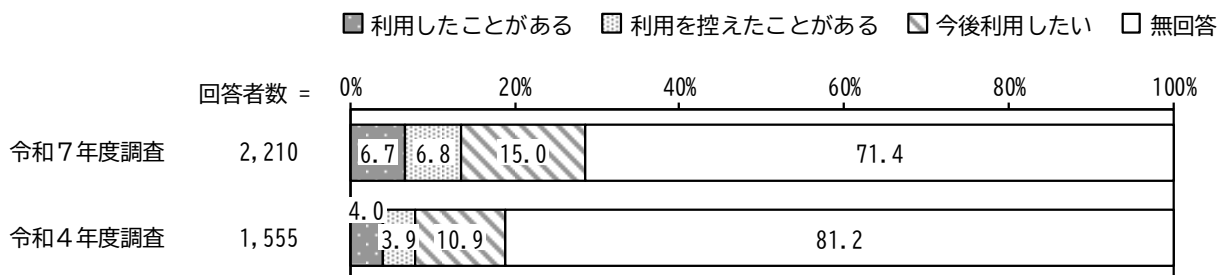


【障害種別】

障害種別にみると、高次脳機能障害で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

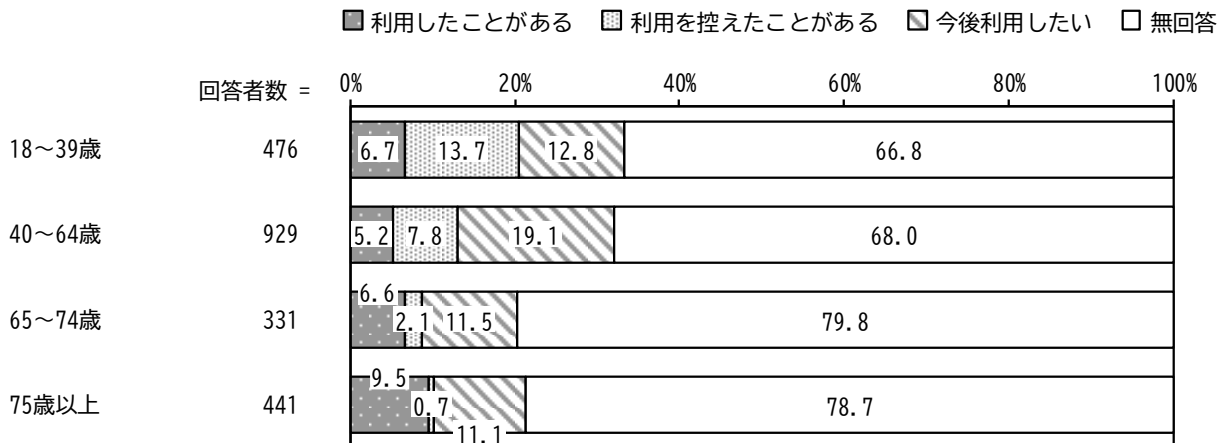


ネ) 医療保険の訪問看護



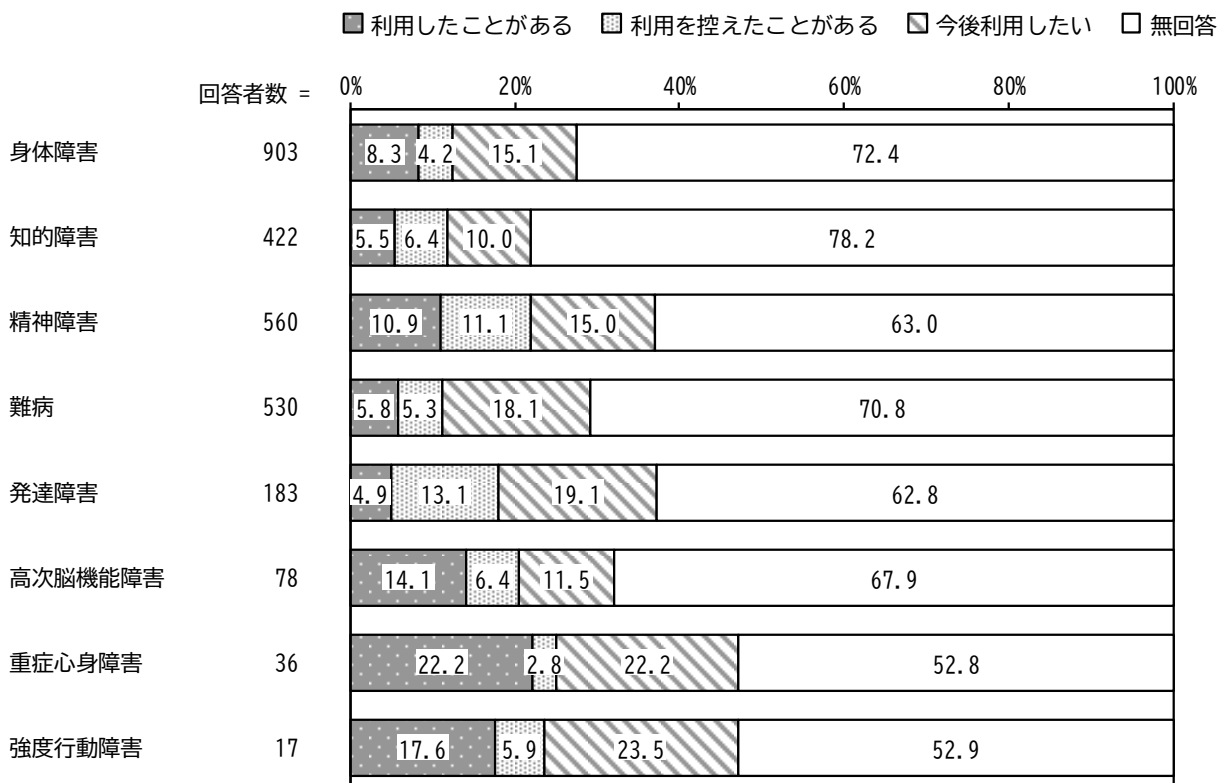
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用を控えたことがある」の割合が高くなっています。

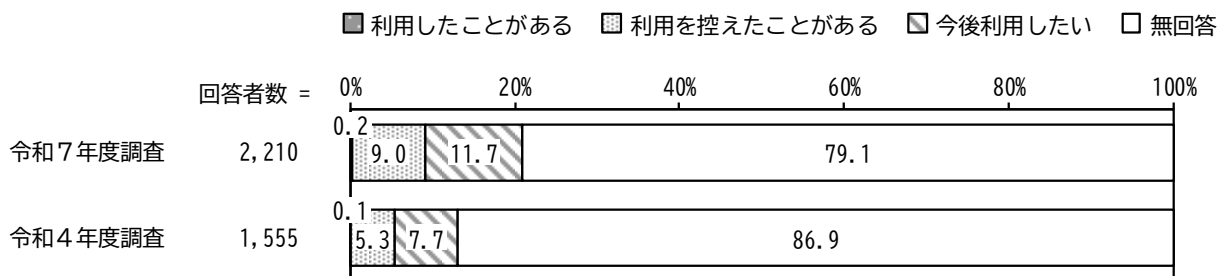


【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害、強度行動障害で「利用したことがある」、「今後利用したい」の割合が高くなっています。

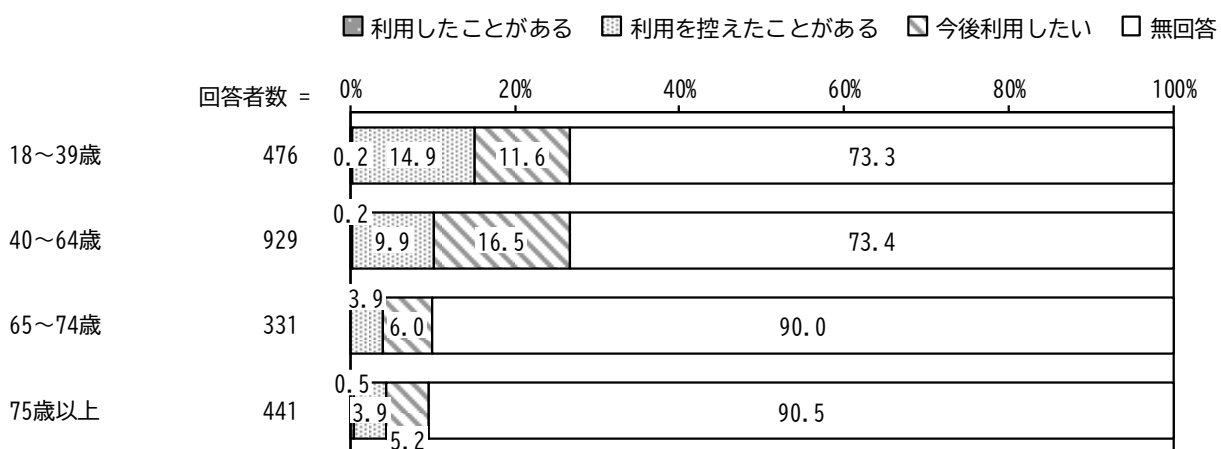


ノ) 補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）の給付

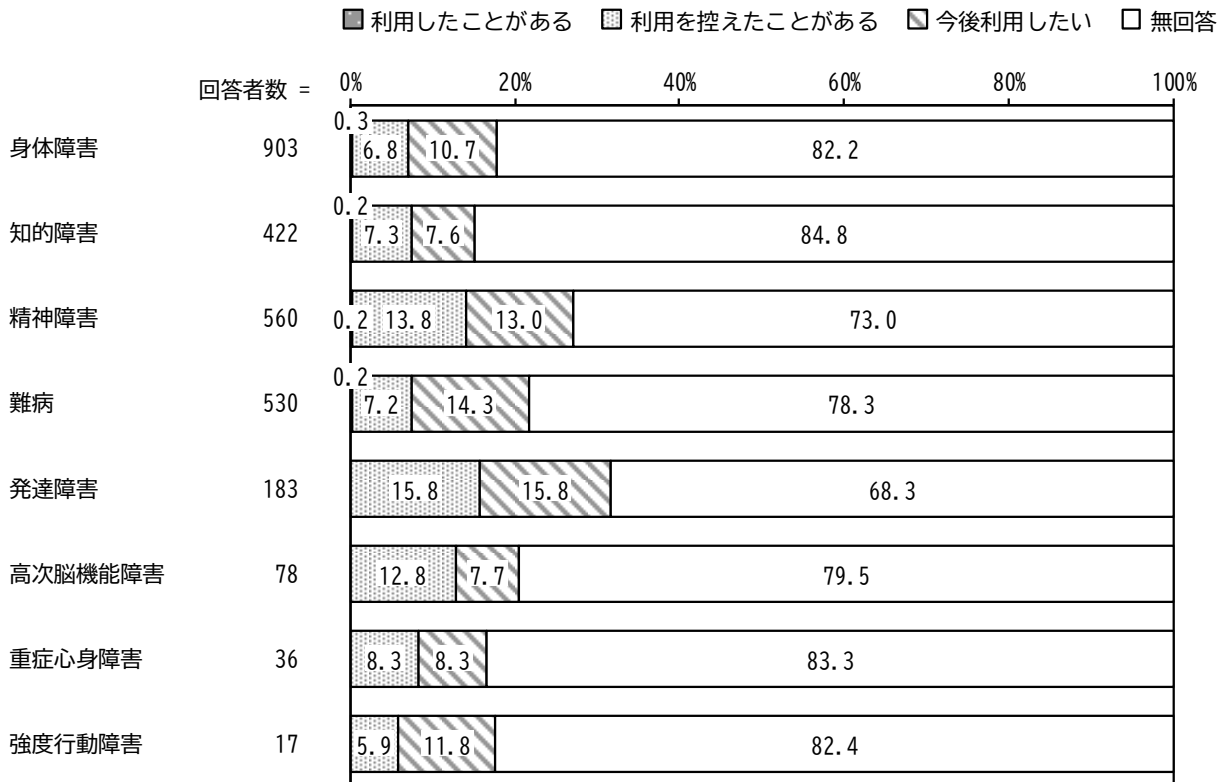


【年齢別】

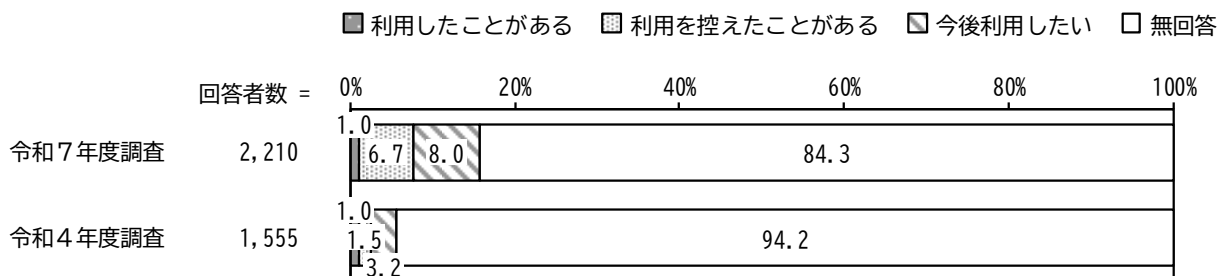
年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用を控えたことがある」の割合が高い傾向にあります。



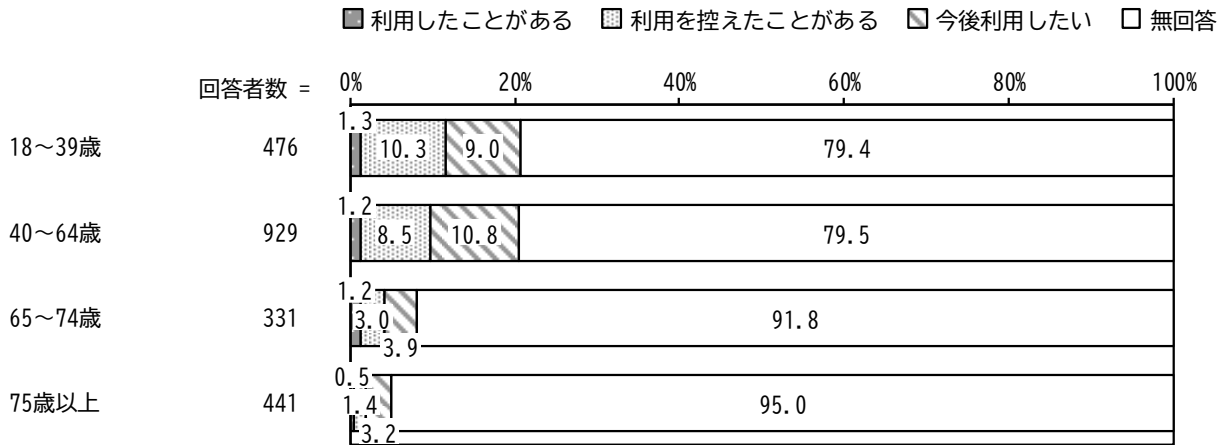
【障害種別】



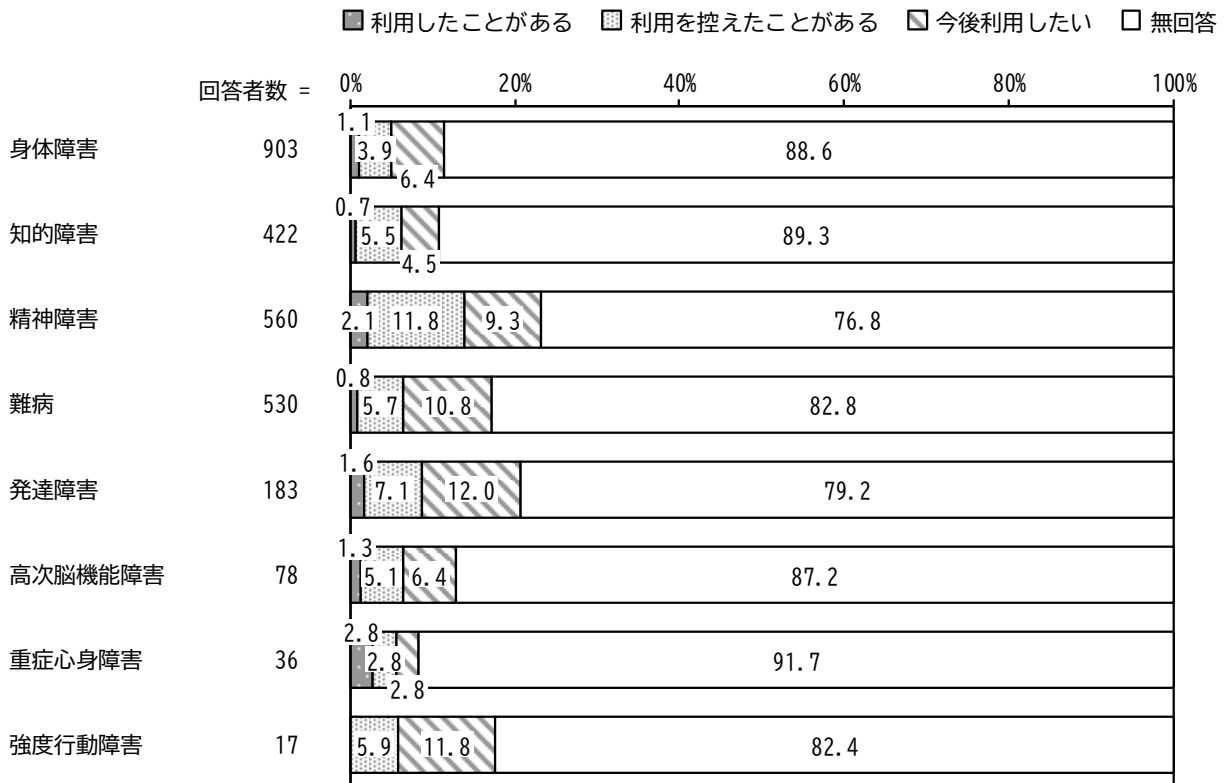
八) その他



【年齢別】



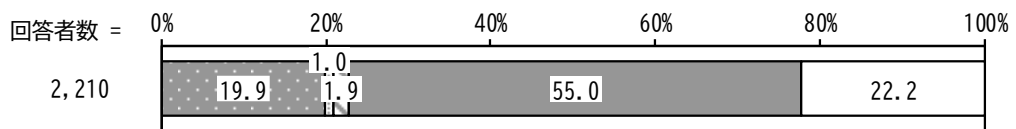
【障害種別】



問 23 障害福祉サービスを利用するにあたっては、サービス等利用計画の作成が必要になります。あなたは、どのようにサービス等利用計画を作成していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「現在、相談支援専門員に作成してもらっている」の割合が19.9%、「以前、相談支援専門員に作成してもらったことがあるが、現在は自分で作成している（セルフプラン）」の割合が1.0%、「以前から、自分で作成している（セルフプラン）」の割合が1.9%、「わからない」の割合が55.0%、「無回答」の割合が22.2%となっています。

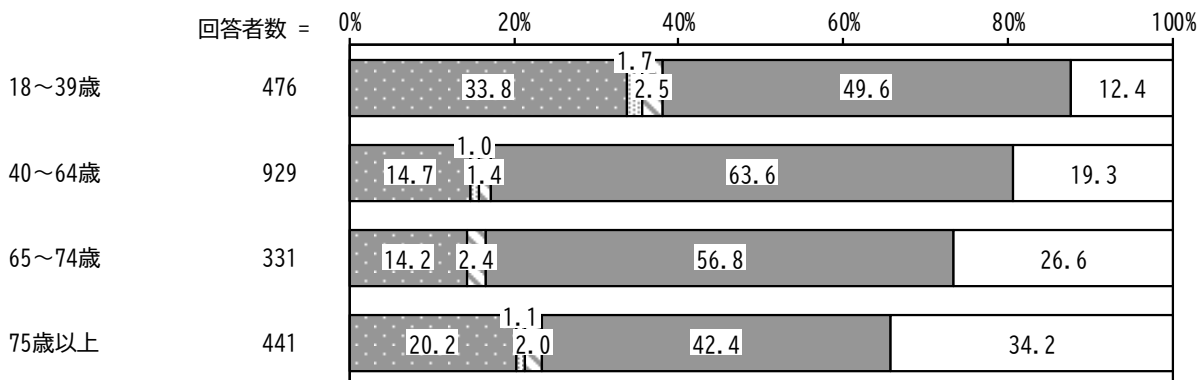
- 現在、相談支援専門員に作成してもらっている
- ▨ 以前、相談支援専門員に作成してもらったことがあるが、現在は自分で作成している（セルフプラン）
- ▤ 以前から、自分で作成している（セルフプラン）
- わからない
- 無回答



【年齢別】

年齢別にみると、「65～74歳」から「18～39歳」まで年齢が下がるほど「現在、相談支援専門員に作成してもらっている」の割合が高くなっています。

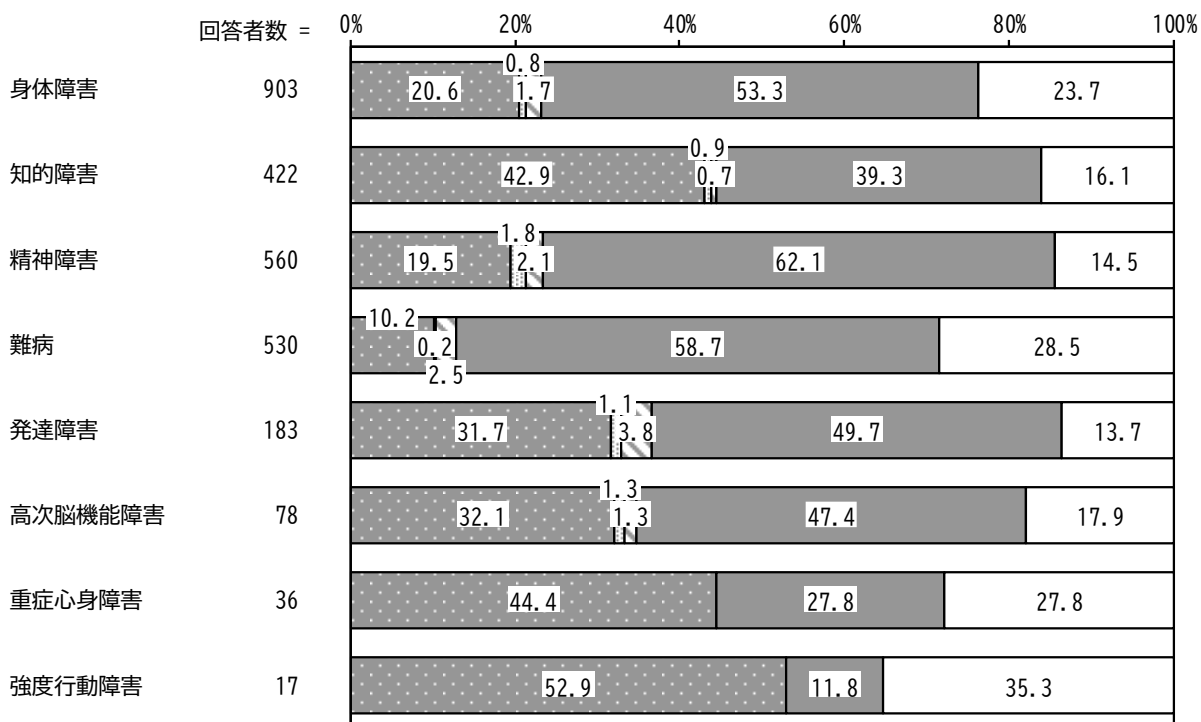
- 現在、相談支援専門員に作成してもらっている
- ▨ 以前、相談支援専門員に作成してもらったことがあるが、現在は自分で作成している（セルフプラン）
- ▤ 以前から、自分で作成している（セルフプラン）
- わからない
- 無回答



【障害種別】

障害種別にみると、強度行動障害で「現在、相談支援専門員に作成してもらっている」の割合が高くなっています。

- 現在、相談支援専門員に作成してもらっている
- ▨ 以前、相談支援専門員に作成してもらったことがあるが、現在は自分で作成している（セルフプラン）
- ▩ 以前から、自分で作成している（セルフプラン）
- わからない
- 無回答

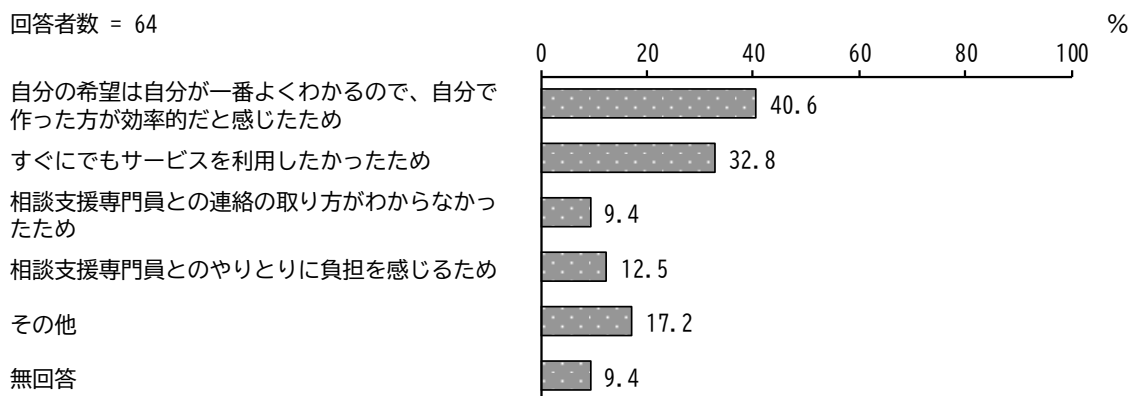


問 23 で「以前、相談支援専門員に作成してもらったことがあるが、現在は自分で作成している（セルフプラン）」、「以前から、自分で作成している（セルフプラン）」に○をつけた方がいます。

問 23-1 サービス等利用計画を自分で作成している（セルフプラン）理由としてあてはまるものすべてに○をつけてください。

「自分の希望は自分が一番よくわかるので、自分で作った方が効率的だと感じたため」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「すぐにでもサービスを利用したかったため」の割合が 32.8%、「相談支援専門員とのやりとりに負担を感じるため」の割合が 12.5%となっています。

回答者数 = 64



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「自分の希望は自分が一番よくわかるので、自分で作った方が効率的だと感じたため」の割合が高く、「すぐにでもサービスを利用したかったため」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自分の希望は自分が一番よくわかるので、自分で作った方が効率的だと感じたため	すぐにでもサービスを利用したかったため	相談支援専門員との連絡の取り方がわからなかったため	相談支援専門員とのやりとりに負担を感じるため	その他	無回答
全体	64	40.6	32.8	9.4	12.5	17.2	9.4
18～39歳	20	30.0	55.0	10.0	10.0	25.0	5.0
40～64歳	22	31.8	31.8	0.0	18.2	9.1	18.2
65～74歳	8	50.0	25.0	12.5	0.0	25.0	0.0
75歳以上	14	64.3	7.1	21.4	14.3	14.3	7.1

【障害種別】

障害種別にみると、いずれの障害においても「自分の希望は自分が一番よくわかるので、自分で作った方が効率的だと感じたため」「すぐにでもサービスを利用したかったため」の割合が高くなっています。

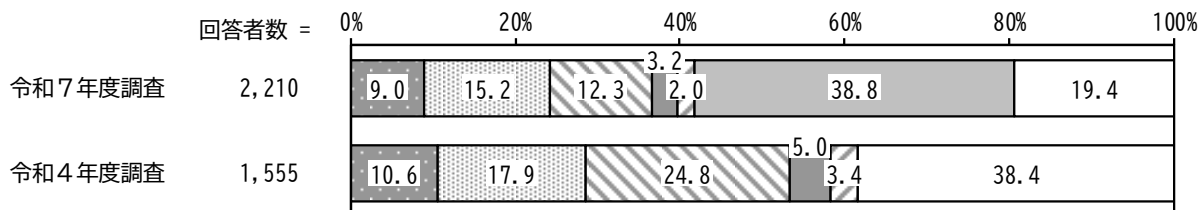
単位：%

区分	回答者数(件)	自分の希望は自分が一番よくわかるので、自分で作った方が効率的だと感じたため	すぐにでもサービスを利用したかったため	相談支援専門員との連絡の取り方がわからなかったため	相談支援専門員とのやりとりに負担を感じるため	その他	無回答
全体	64	40.6	32.8	9.4	12.5	17.2	9.4
身体障害	22	40.9	40.9	13.6	13.6	13.6	9.1
知的障害	7	0.0	42.9	14.3	0.0	42.9	0.0
精神障害	22	45.5	36.4	0.0	9.1	22.7	9.1
難病	14	57.1	14.3	21.4	28.6	7.1	0.0
発達障害	9	33.3	55.6	0.0	0.0	22.2	22.2
高次脳機能障害	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
強度行動障害	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 24 利用しているサービスの量や質に満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「満足している」「ほぼ満足している」を合わせた“満足している”の割合が24.2%、「やや不満である」「不満である」を合わせた“不満である”の割合が5.2%となっています。

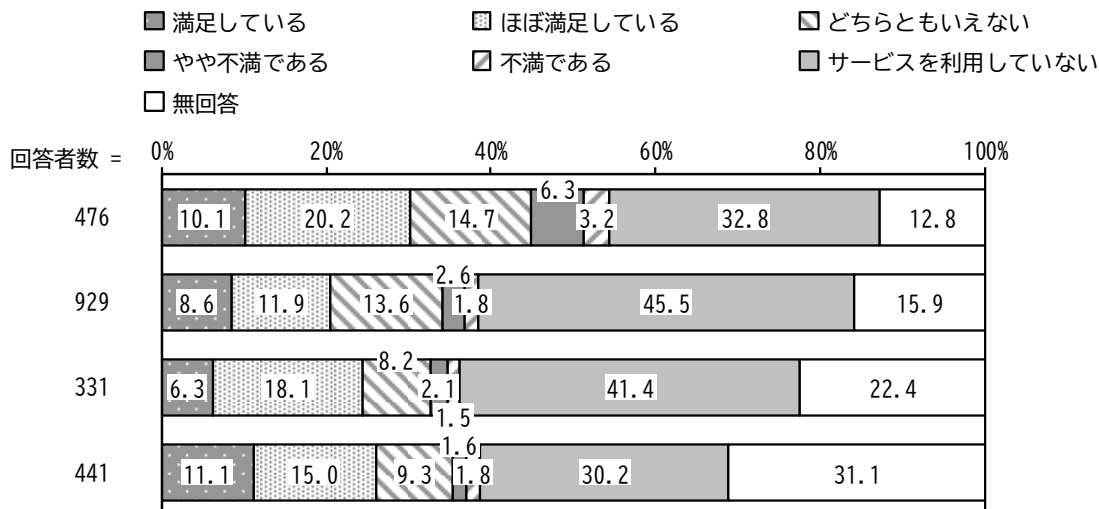
- 満足している
- やや不満である
- 無回答
- ほぼ満足している
- 不満である
- どちらともいえない
- サービスを利用していない



※「サービスを利用していない」は令和7年度調査で追加した選択肢です。

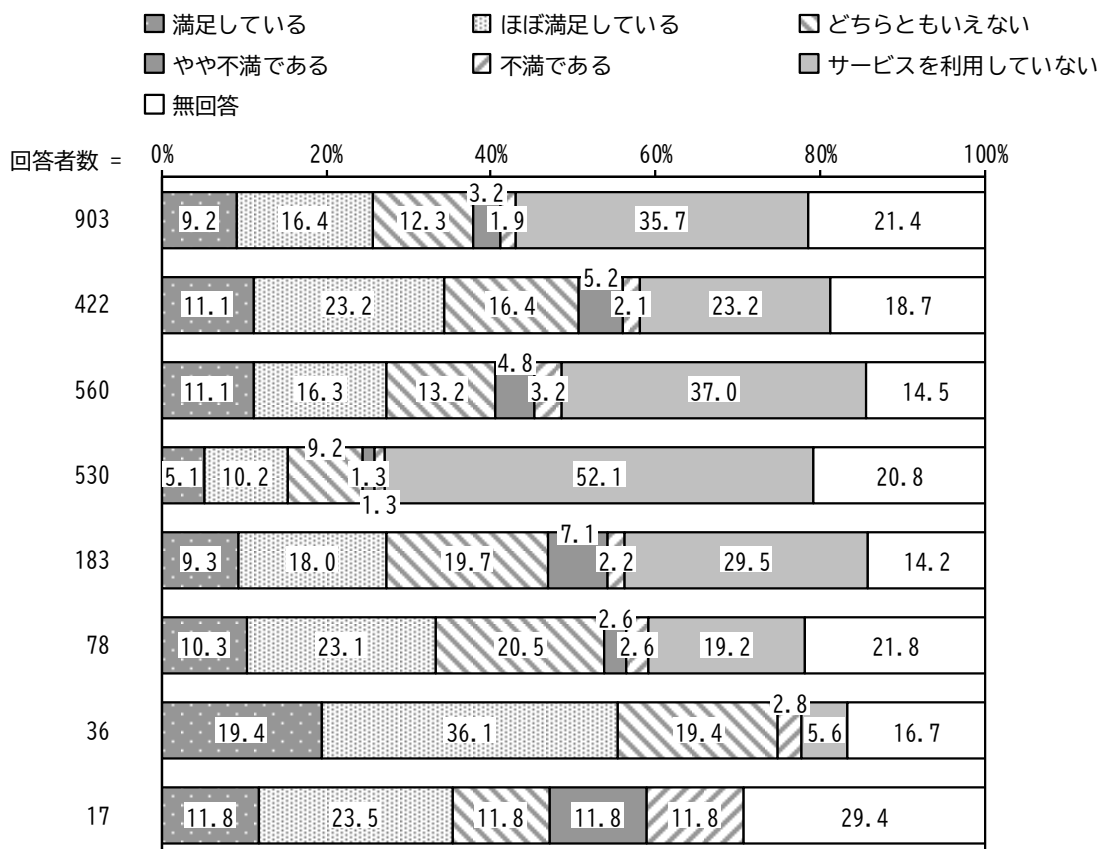
【年齢別】

年齢別にみると、「40～64歳」から「75歳以上」まで年齢が上がるほど“満足している”の割合が高くなっています。



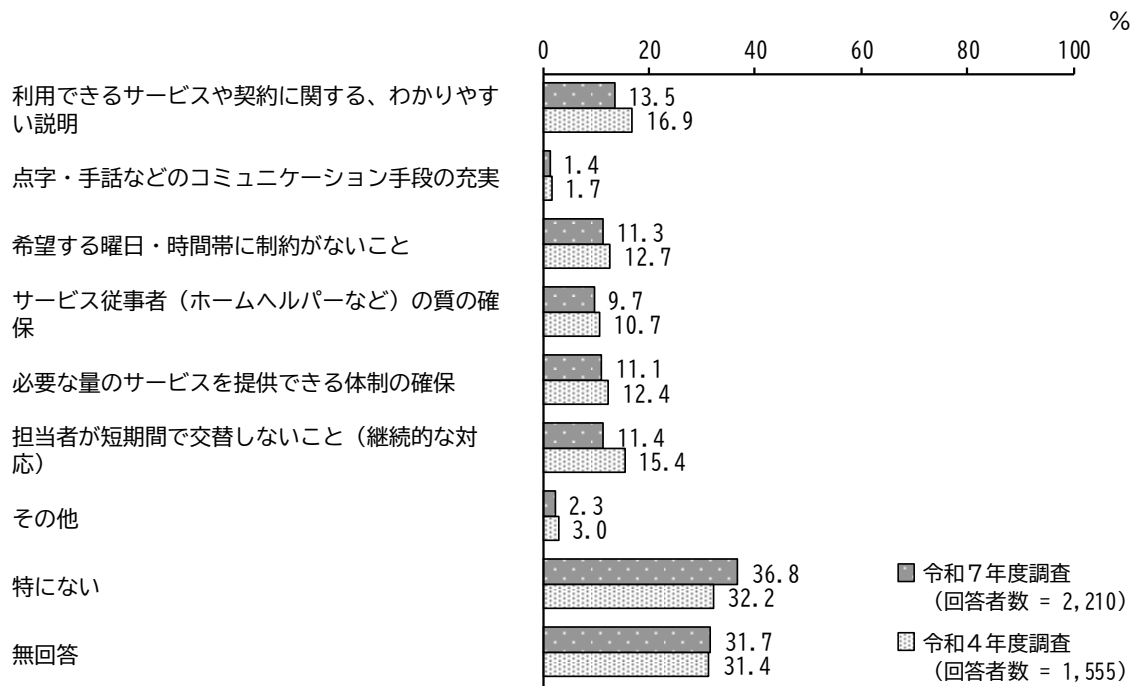
【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で“満足している”の割合が高くなっています。



問 25 現在利用しているサービス提供事業者に対して、どのようなことを望んでいますか。
 あてはまるものすべてに○をつけてください。

「利用できるサービスや契約に関する、わかりやすい説明」の割合が13.5%と最も高く、次いで「担当者が短期間で交替しないこと（継続的な対応）」の割合が11.4%、「希望する曜日・時間帯に制約がないこと」の割合が11.3%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用できるサービスや契約に関する、わかりやすい説明」の割合が高く、「65～74歳」から「18～39歳」まで年齢が下がるほど「希望する曜日・時間帯に制約がないこと」「サービス従事者（ホームヘルパーなど）の質の確保」「必要な量のサービスを提供できる体制の確保」「担当者が短期間で交替しないこと（継続的な対応）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	利用できるサービスや契約に関する、わかりやすい説明	点字・手話などのコミュニケーション手段の充実	希望する曜日・時間帯に制約がないこと	サービス従事者（ホームヘルパーなど）の質の確保	必要な量のサービスを提供できる体制の確保	継続的な対応（担当者が短期間で交替しないこと）	その他	特になし	無回答
全体	2,210	13.5	1.4	11.3	9.7	11.1	11.4	2.3	36.8	31.7
18～39歳	476	19.1	1.5	18.1	14.7	19.3	16.0	2.9	35.7	20.4
40～64歳	929	14.2	1.5	11.0	8.4	9.8	9.9	2.7	41.2	29.0
65～74歳	331	9.7	1.8	6.9	5.7	6.9	9.4	1.5	35.3	40.5
75歳以上	441	9.1	0.9	8.4	10.2	8.4	11.3	1.6	30.4	42.4

【障害種別】

障害種別にみると、強度行動障害で「サービス従事者（ホームヘルパーなど）の質の確保」「担当者が短期間で交替しないこと（継続的な対応）」の割合が高くなっています。

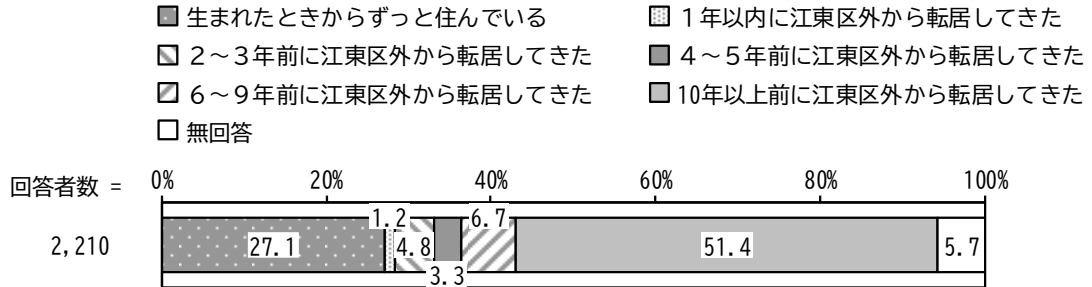
単位：％

区分	回答者数（件）	わかりやすい説明 利用できるサービスや契約に関する	点字・手話などのコミュニケーション手段の充実	希望する曜日・時間帯に制約がないこと	サービス従事者（ホームヘルパーなど）の質の確保	必要な量のサービスを提供できる体制の確保	担当者 交替しないこと（継続的な対応）	その他	特 に ない	無 回 答
全 体	2,210	13.5	1.4	11.3	9.7	11.1	11.4	2.3	36.8	31.7
身体障害	903	12.1	2.8	10.9	10.7	12.2	11.2	1.7	36.4	31.7
知的障害	422	17.1	0.7	17.5	17.3	17.8	16.1	3.1	29.1	27.7
精神障害	560	18.2	0.4	14.6	10.0	12.3	15.2	4.5	36.8	23.8
難病	530	8.3	0.8	5.5	5.5	6.4	6.0	1.7	42.3	36.8
発達障害	183	19.7	1.6	20.2	17.5	19.7	18.6	4.9	30.6	23.0
高次脳機能障害	78	17.9	0.0	17.9	16.7	23.1	23.1	2.6	25.6	29.5
重症心身障害	36	13.9	0.0	13.9	27.8	22.2	22.2	2.8	30.6	22.2
強度行動障害	17	23.5	0.0	29.4	35.3	29.4	35.3	5.9	5.9	29.4

(6) 暮らしについて

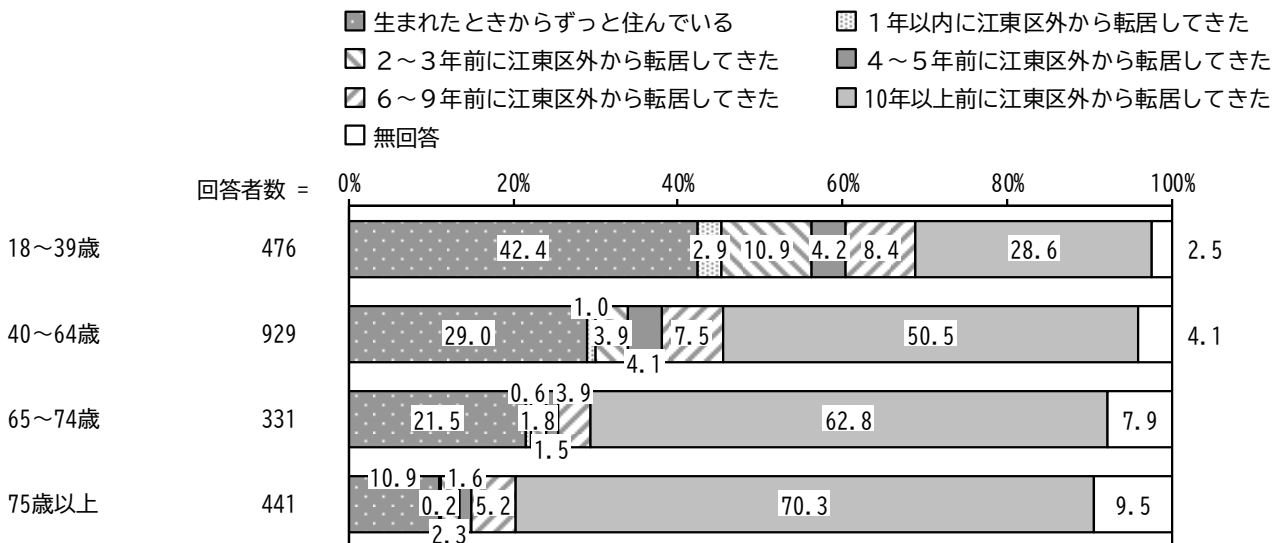
問26 江東区には、いつからお住まいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「10年以上前に江東区外から転居してきた」の割合が51.4%と最も高く、次いで「生まれたときからずっと住んでいる」の割合が27.1%となっています。



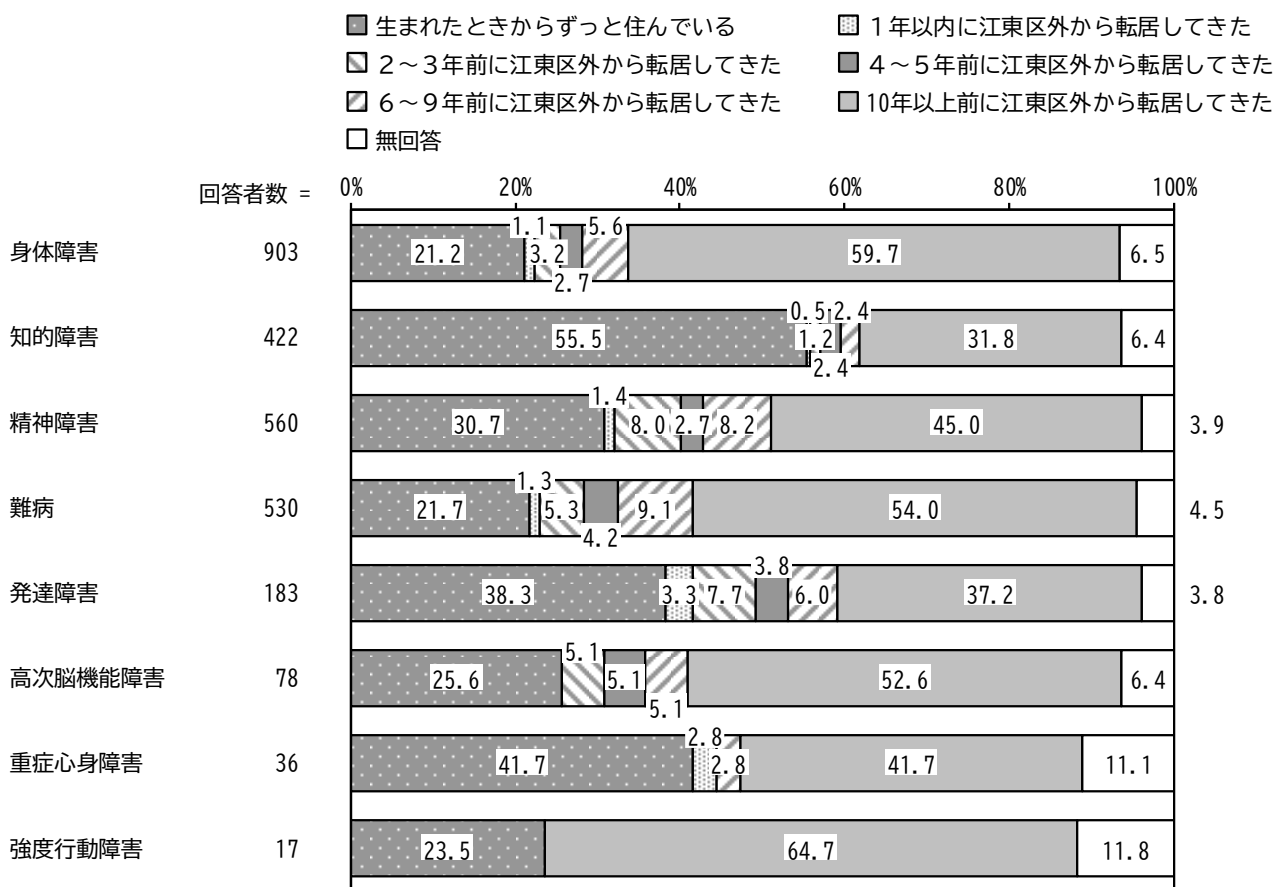
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「10年以上前に江東区外から転居してきた」の割合が高く、「生まれたときからずっと住んでいる」の割合が低く、「65～74歳」から「18～39歳」まで年齢が下がるほど「2～3年前に江東区外から転居してきた」の割合が高くなっています。



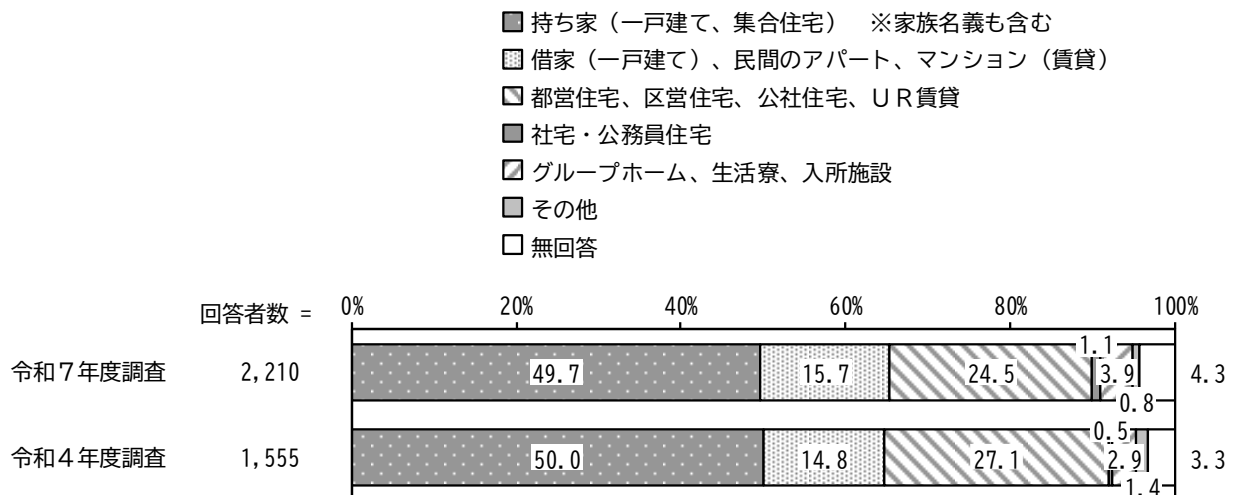
【障害種別】

障害種別にみると、知的障害で「生まれたときからずっと住んでいる」の割合が高くなっています。



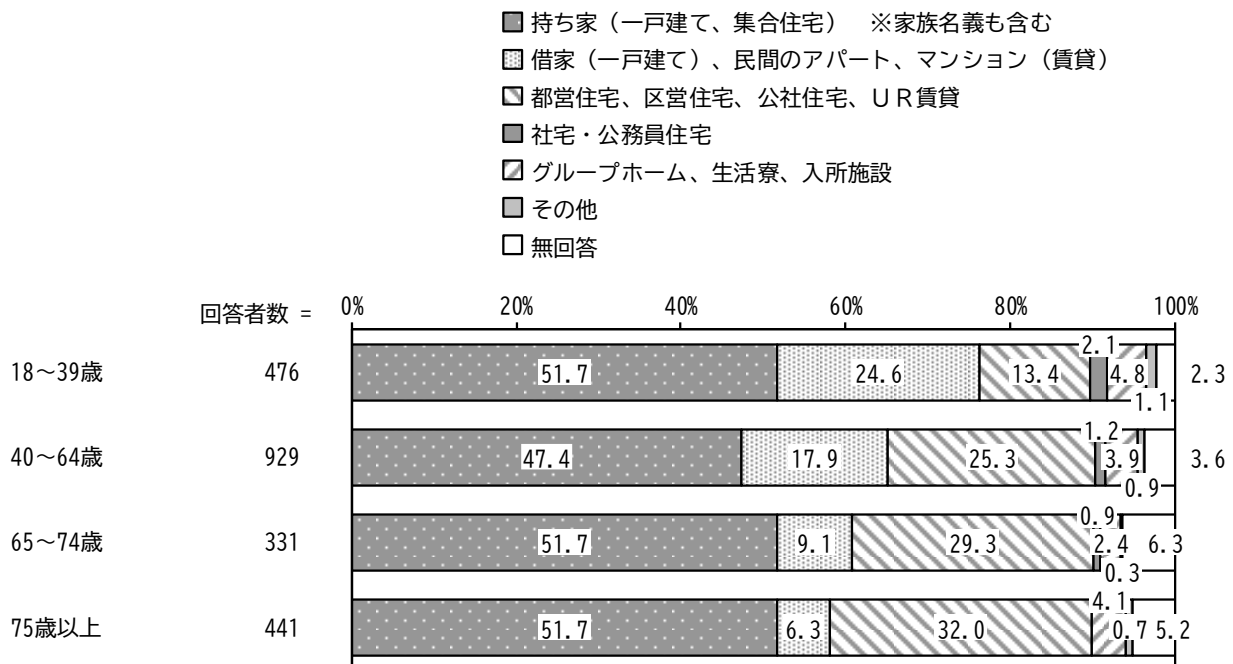
問 27 あなた（ご本人）の現在のお住まいはどのような形態ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「持ち家（一戸建て、集合住宅） ※家族名義も含む」の割合が 49.7%と最も高く、次いで「都営住宅、区営住宅、公社住宅、UR賃貸」の割合が 24.5%、「借家（一戸建て）、民間のアパート、マンション（賃貸）」の割合が 15.7%となっています。



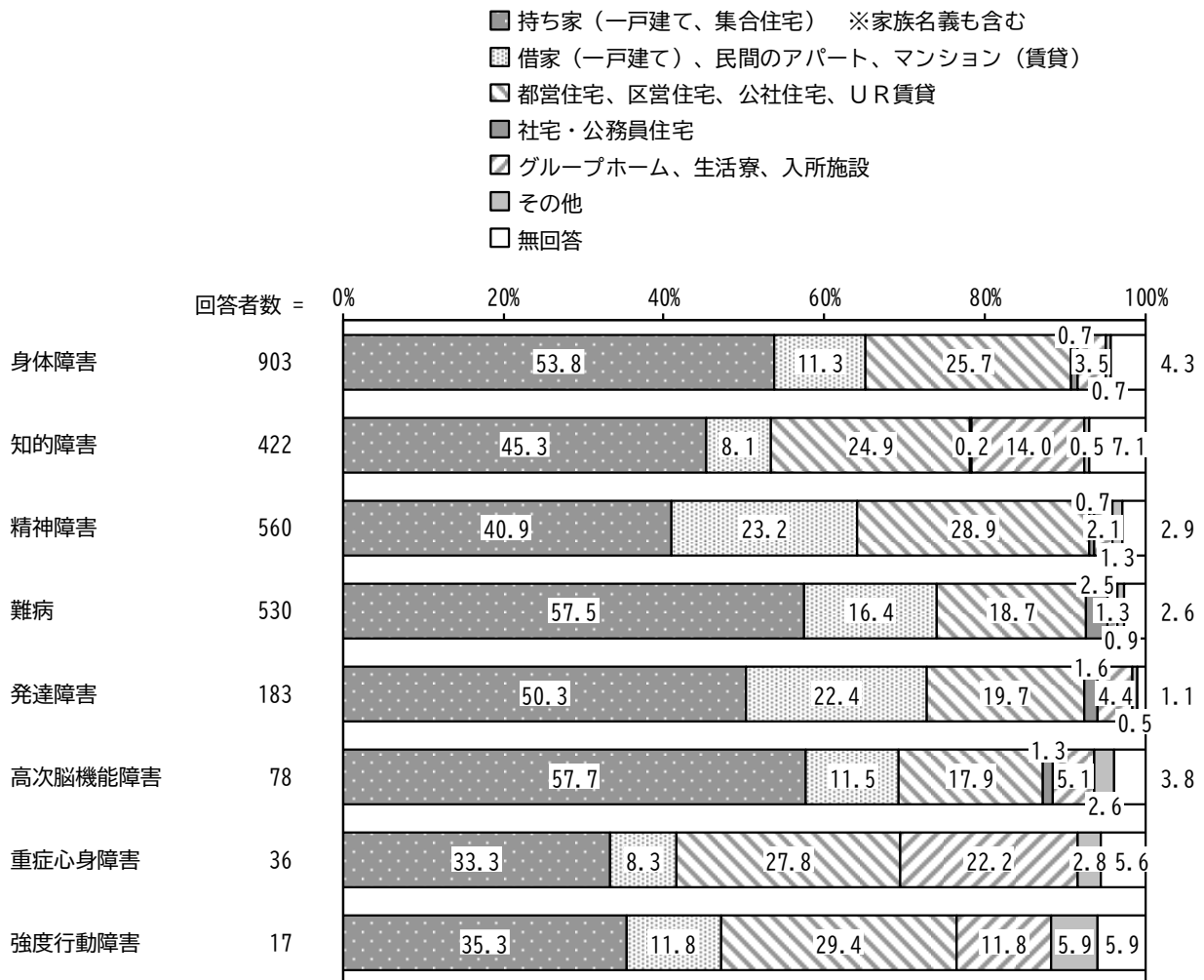
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「都営住宅、区営住宅、公社住宅、UR賃貸」の割合が高く、「借家（一戸建て）、民間のアパート、マンション（賃貸）」の割合が低くなっています。



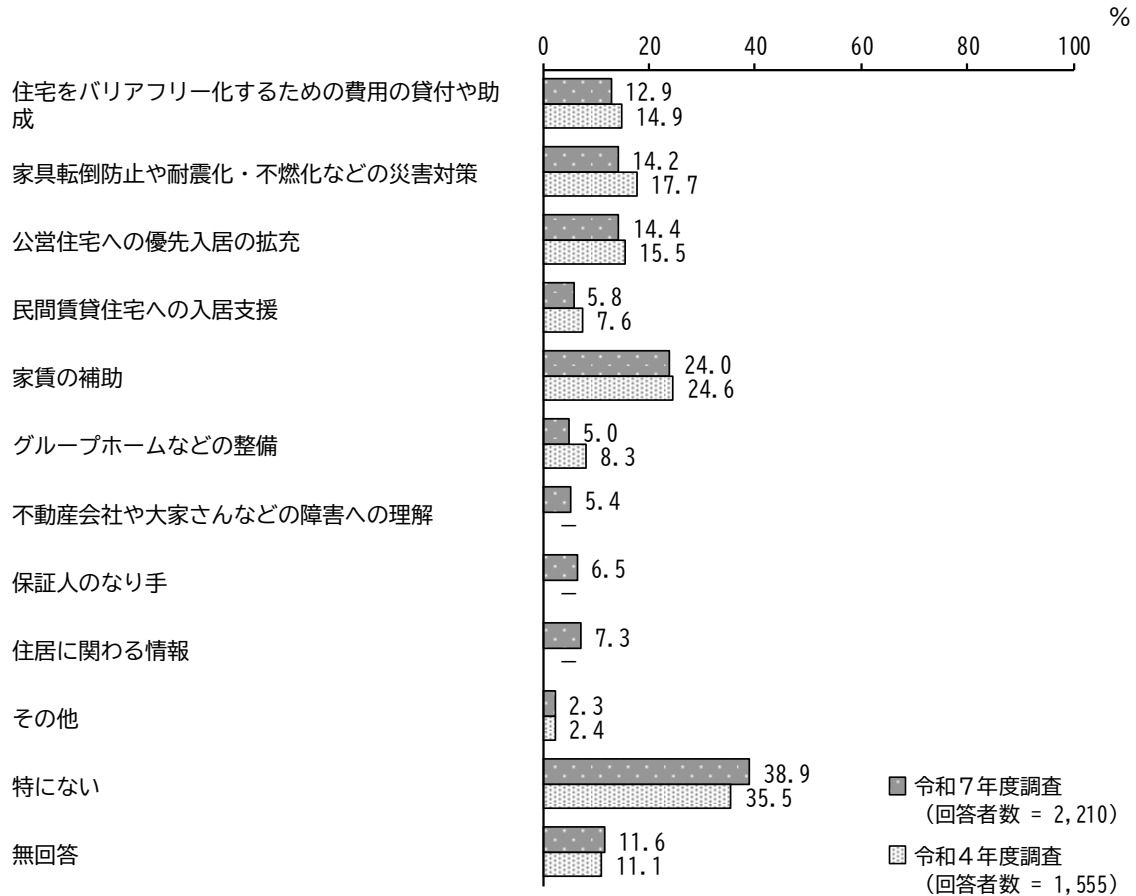
【障害種別】

障害種別にみると、難病、高次脳機能障害で「持ち家（一戸建て、集合住宅） ※家族名義も含む」、精神障害、発達障害で「借家（一戸建て）、民間のアパート、マンション（賃貸）」、重症心身障害で「グループホーム、生活寮、入所施設」の割合が高くなっています。



問 28 あなた（ご本人）は、お住まいに関し、どのような支援を必要としていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「家賃の補助」の割合が 24.0%と最も高く、次いで「公営住宅への優先入居の拡充」の割合が 14.4%、「家具転倒防止や耐震化・不燃化などの災害対策」の割合が 14.2%となっています。



※「不動産会社や大家さんなどの障害への理解」、「保証人のなり手」、「住居に関わる情報」は令和7年度調査で追加した選択肢です。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「住宅をバリアフリー化するための費用の貸付や助成」「家具転倒防止や耐震化・不燃化などの災害対策」の割合が高く、「家賃の補助」の割合が低い傾向にあり、「75歳以上」から「40～64歳」まで年齢が下がるほど「公営住宅への優先入居の拡充」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	住宅をバリアフリー化するための費用の貸付や助成	家具転倒防止や耐震化・不燃化などの災害対策	公営住宅への優先入居の拡充	民間賃貸住宅への入居支援	家賃の補助	グループホームなどの整備	不動産会社や大家さんなどの障害への理解	保証人のなり手	住居に関する情報	その他	特にない	無回答
全体	2,210	12.9	14.2	14.4	5.8	24.0	5.0	5.4	6.5	7.3	2.3	38.9	11.6
18～39歳	476	8.6	10.7	15.1	7.6	30.7	12.4	8.6	5.9	8.8	1.3	41.0	6.7
40～64歳	929	11.7	14.0	18.8	7.3	28.3	4.0	5.8	9.1	8.4	2.9	39.1	8.7
65～74歳	331	13.0	15.1	10.3	3.3	15.1	1.5	4.2	3.9	6.0	2.4	41.4	14.8
75歳以上	441	20.4	17.7	7.3	2.3	14.7	2.0	1.8	3.6	4.5	2.0	34.9	19.5

【障害種別】

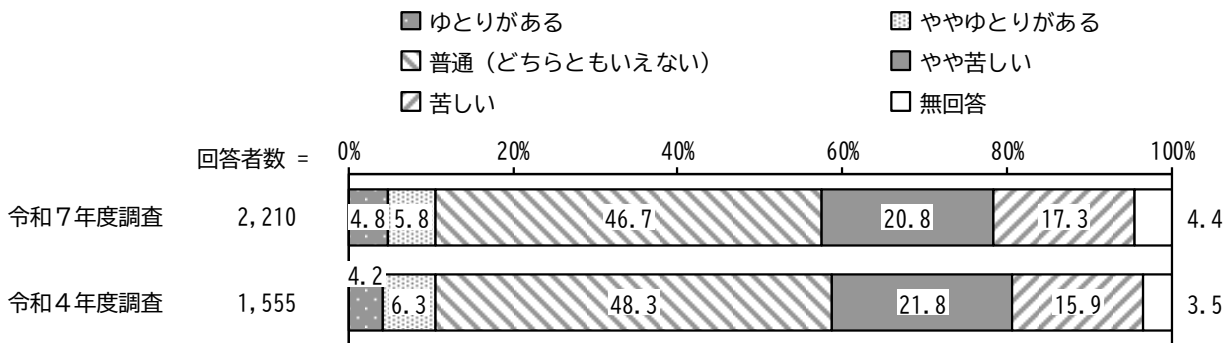
障害種別にみると、身体障害、重症心身障害で「住宅をバリアフリー化するための費用の貸付や助成」、強度行動障害で「家具転倒防止や耐震化・不燃化などの災害対策」、発達障害、重症心身障害で「公営住宅への優先入居の拡充」、重症心身障害で「民間賃貸住宅への入居支援」、精神障害、発達障害で「家賃の補助」、知的障害、強度行動障害で「グループホームなどの整備」、発達障害で「不動産会社や大家さんなどの障害への理解」「保証人のなり手」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	住宅をバリアフリー化するための費用の貸付や助成	家具転倒防止や耐震化・不燃化などの災害対策	公営住宅への優先入居の拡充	民間賃貸住宅への入居支援	家賃の補助	グループホームなどの整備	不動産会社や大家さんなどの障害への理解	保証人のなり手	住居に関する情報	その他	特にない	無回答
全体	2,210	12.9	14.2	14.4	5.8	24.0	5.0	5.4	6.5	7.3	2.3	38.9	11.6
身体障害	903	20.0	17.3	12.2	4.7	20.0	3.7	3.8	5.2	7.0	2.3	36.4	13.5
知的障害	422	8.5	12.6	10.0	3.6	18.5	18.5	6.9	5.7	6.2	1.9	35.5	17.5
精神障害	560	5.7	13.9	21.3	8.6	34.8	3.6	9.1	12.3	11.6	3.4	35.7	8.9
難病	530	15.1	13.6	13.4	5.3	22.1	1.3	3.4	4.0	6.0	1.9	45.3	7.9
発達障害	183	6.0	10.9	22.4	9.3	32.2	13.1	13.7	15.3	10.4	2.2	37.2	9.8
高次脳機能障害	78	17.9	17.9	21.8	9.0	29.5	9.0	9.0	10.3	11.5	2.6	38.5	6.4
重症心身障害	36	22.2	13.9	25.0	13.9	25.0	2.8	8.3	5.6	5.6	2.8	27.8	30.6
強度行動障害	17	5.9	23.5	17.6	5.9	23.5	17.6	5.9	5.9	11.8	11.8	23.5	23.5

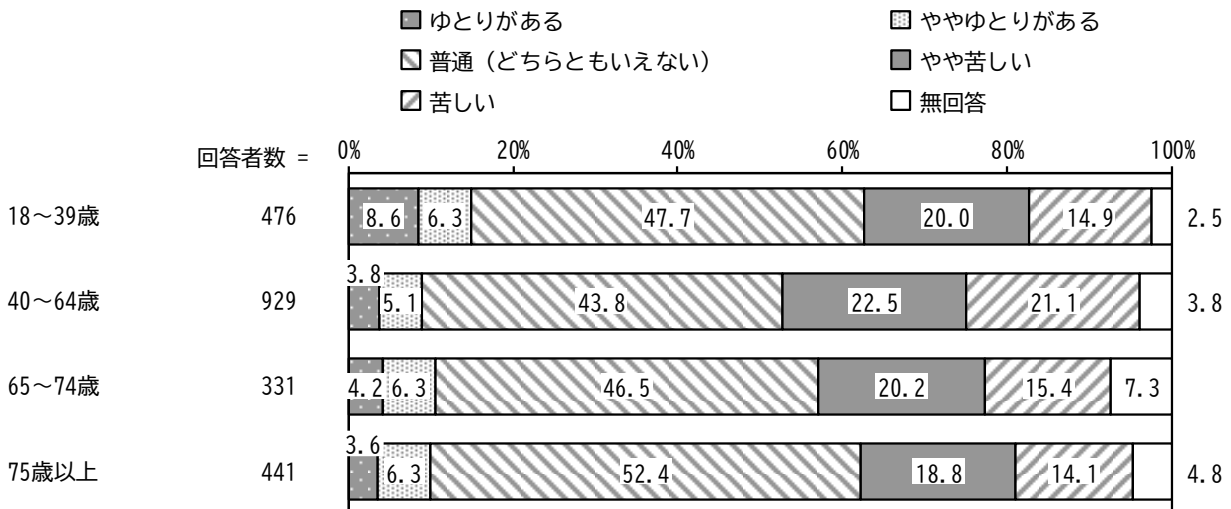
問 29 現在の暮らし向き（家計の状況）について、どう感じていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「ゆとりがある」「ややゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”の割合が10.6%、「やや苦しい」「苦しい」を合わせた“苦しい”の割合が38.1%となっています。



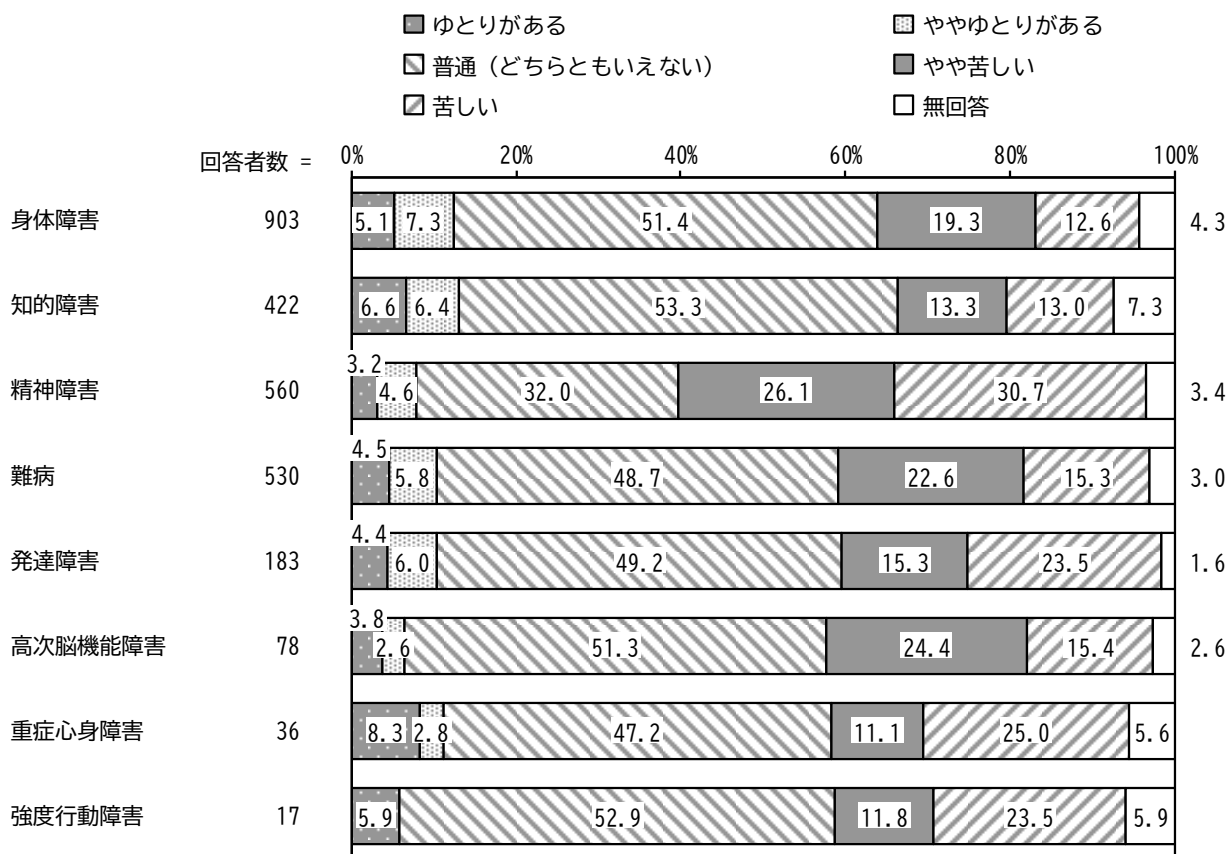
【年齢別】

年齢別にみると、「75歳以上」から「40～64歳」まで年齢が下がるほど“苦しい”の割合が高くなっています。



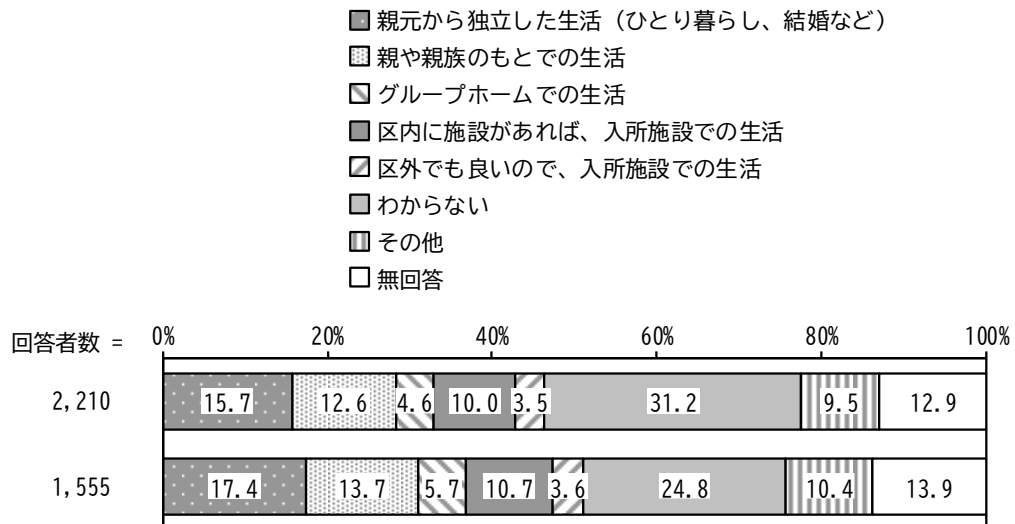
【障害種別】

障害種別にみると、精神障害で“苦しい”の割合が高くなっています。



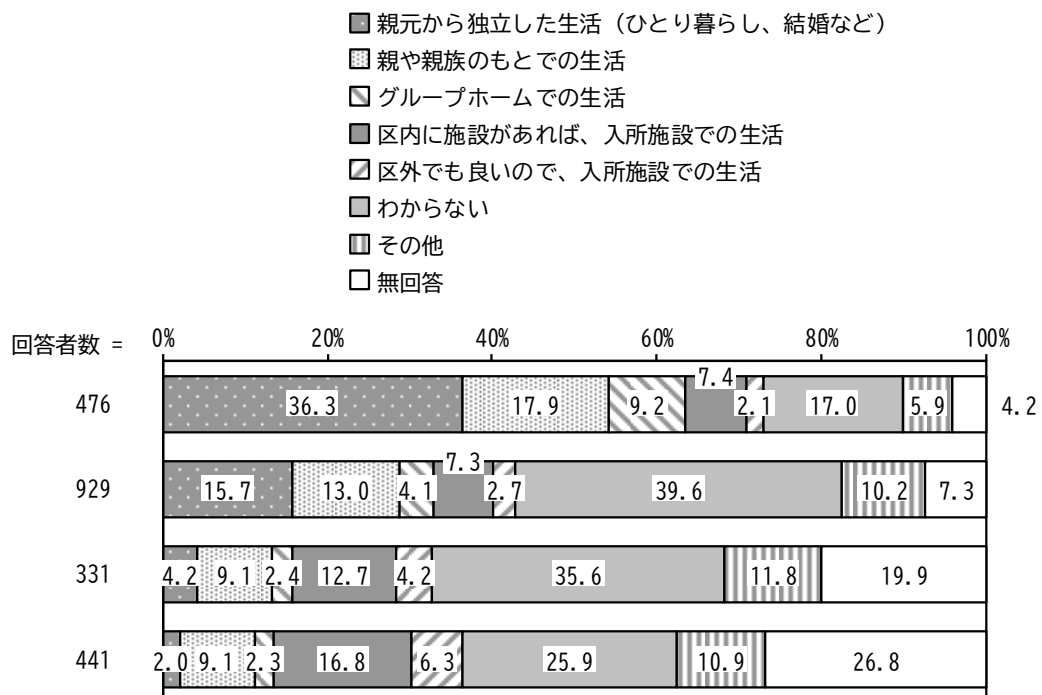
問30 あなた（ご本人）は、将来どのような暮らしを希望していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。※今の暮らしを続けていきたい方は、今の状況をお答えください。

「親元から独立した生活（ひとり暮らし、結婚など）」の割合が15.7%と最も高く、次いで「親や親族のもとでの生活」の割合が12.6%、「区内に施設があれば、入所施設での生活」の割合が10.0%となっています。



【年齢別】

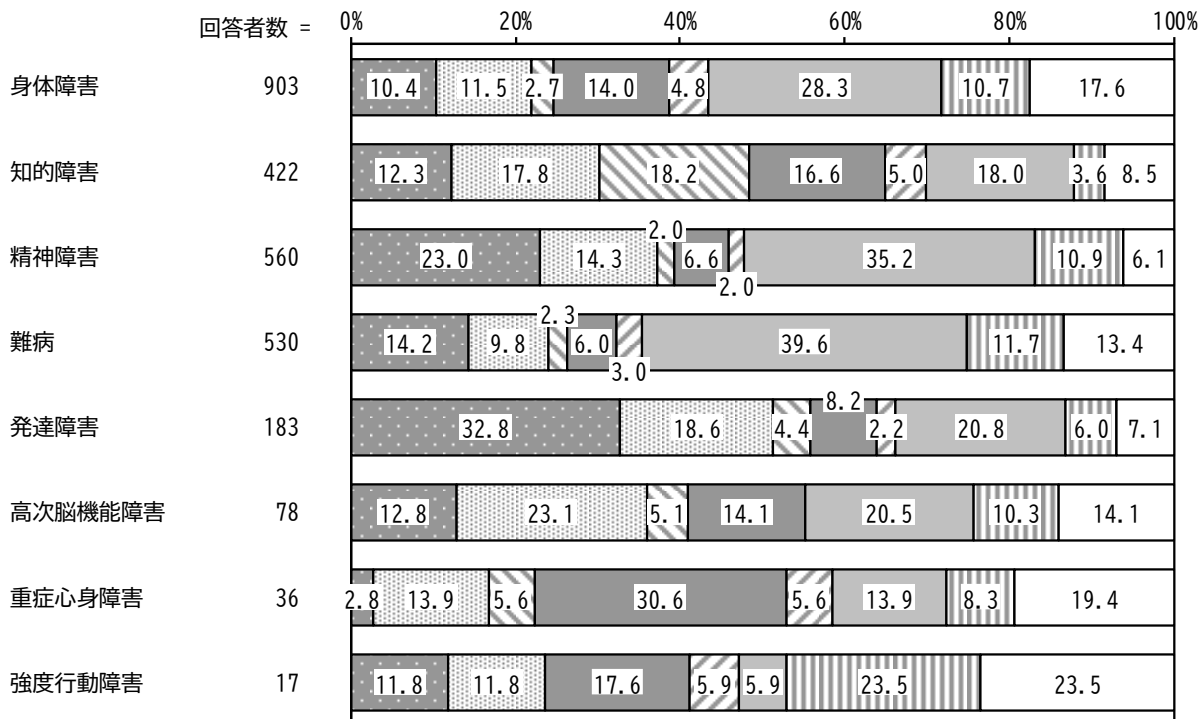
年齢別にみると、年齢が下がるほど「親元から独立した生活（ひとり暮らし、結婚など）」「親や親族のもとでの生活」の割合が高い傾向にあり、「40～64歳」から75歳以上まで年齢が上がるほど「区内に施設があれば、入所施設での生活」の割合が高くなっています。



【障害種別】

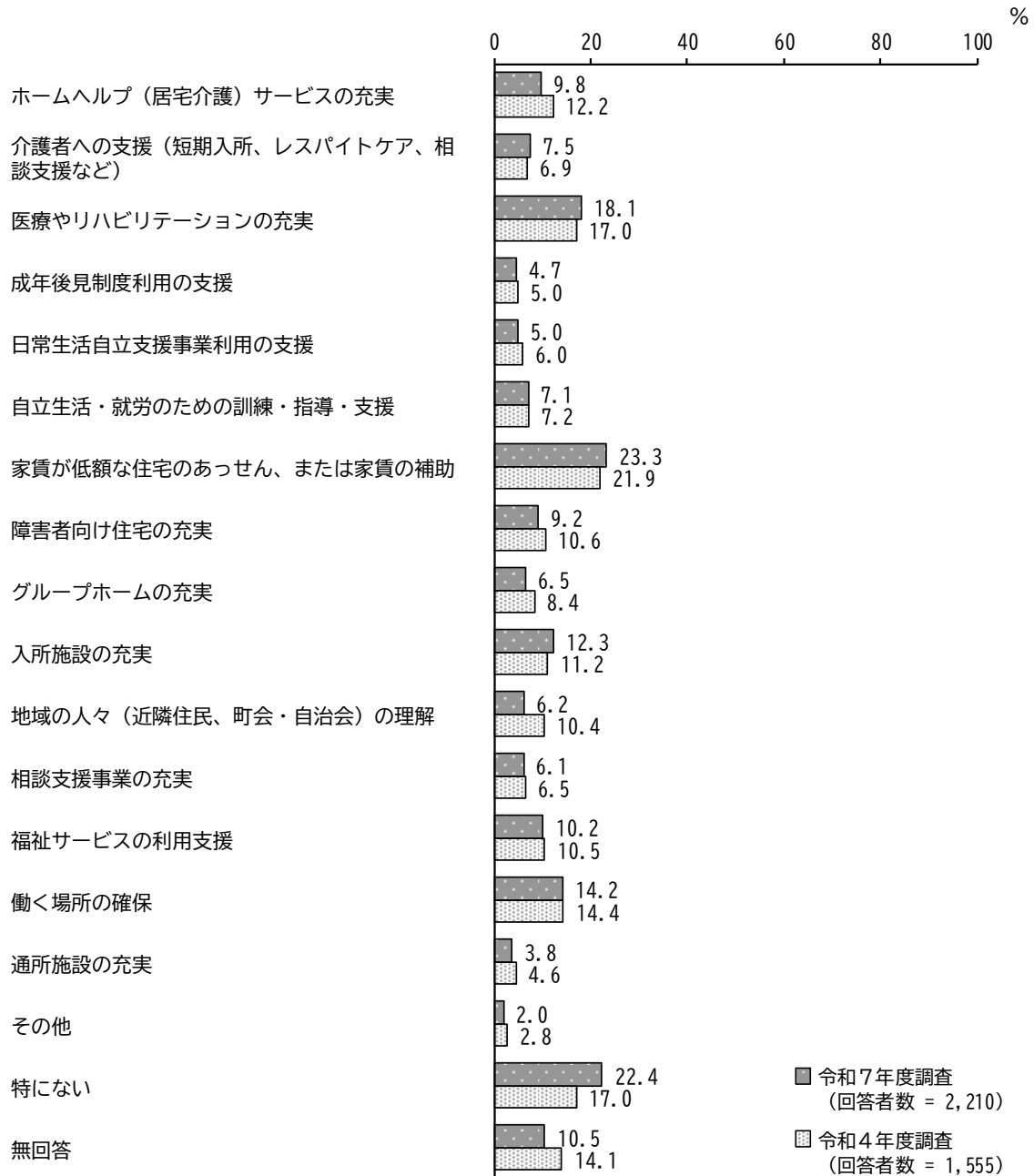
障害種別にみると、発達障害で「親元から独立した生活（ひとり暮らし、結婚など）」、高次脳機能障害で「親や親族のもとでの生活」、知的障害で「グループホームでの生活」、重症心身障害で「区内に施設があれば、入所施設での生活」の割合が高くなっています。

- 親元から独立した生活（ひとり暮らし、結婚など）
- 親や親族のもとでの生活
- グループホームでの生活
- 区内に施設があれば、入所施設での生活
- 区外でも良いので、入所施設での生活
- わからない
- その他
- 無回答



問31 あなた（ご本人）が希望する暮らしをするために必要なことは、何ですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「家賃が低額な住宅のあっせん、または家賃の補助」の割合が23.3%と最も高く、次いで「医療やリハビリテーションの充実」の割合が18.1%、「働く場所の確保」の割合が14.2%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「ホームヘルプ（居宅介護）サービスの充実」「医療やリハビリテーションの充実」の割合が高く、「家賃が低額な住宅のあっせん、または家賃の補助」「働く場所の確保」の割合が低く、「40～64歳」から「75歳以上」まで年齢が上がるほど「介護者への支援（短期入所、レスパイトケア、相談支援など）」「入所施設の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	ホームヘルプ（居宅介護）サービスの充実	介護者への支援（短期入所、レスパイトケア、相談支援など）	医療やリハビリテーションの充実	成年後見制度利用の支援	日常生活自立支援事業利用の支援	自立生活・就労のための訓練・指導・支援	家賃が低額な住宅のあっせん、または家賃の補助	障害者向け住宅の充実	グループホームの充実
全体	2,210	9.8	7.5	18.1	4.7	5.0	7.1	23.3	9.2	6.5
18～39歳	476	6.3	10.3	9.5	7.4	6.5	12.2	31.1	10.5	13.0
40～64歳	929	6.4	4.5	17.1	5.7	5.2	8.2	27.7	9.4	6.5
65～74歳	331	11.5	6.9	23.6	1.8	4.5	2.4	13.9	10.0	2.4
75歳以上	441	19.3	11.1	24.5	1.8	3.6	2.5	12.9	7.3	2.9

区分	入所施設の充実	地域の人々（近隣住民、町会・自治会）の理解	相談支援事業の充実	福祉サービスの利用支援	働く場所の確保	通所施設の充実	その他	特になし	無回答
全体	12.3	6.2	6.1	10.2	14.2	3.8	2.0	22.4	10.5
18～39歳	13.2	7.6	8.0	10.9	20.8	5.5	2.1	17.9	6.9
40～64歳	10.2	6.9	7.3	8.8	20.2	2.7	2.3	22.6	7.9
65～74歳	11.2	4.2	3.0	11.5	5.1	3.6	1.8	29.9	12.7
75歳以上	17.5	5.0	4.1	11.6	1.6	4.3	1.6	21.5	17.0

【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害、強度行動障害で「ホームヘルプ（居宅介護）サービスの充実」、重症心身障害で「介護者への支援（短期入所、レスパイトケア、相談支援など）」「入所施設の充実」、高次脳機能障害で「医療やリハビリテーションの充実」、発達障害で「自立生活・就労のための訓練・指導・支援」「働く場所の確保」、精神障害で「家賃が低額な住宅のあっせん、または家賃の補助」、強度行動障害で「障害者向け住宅の充実」、知的障害で「グループホームの充実」の割合が高くなっています。

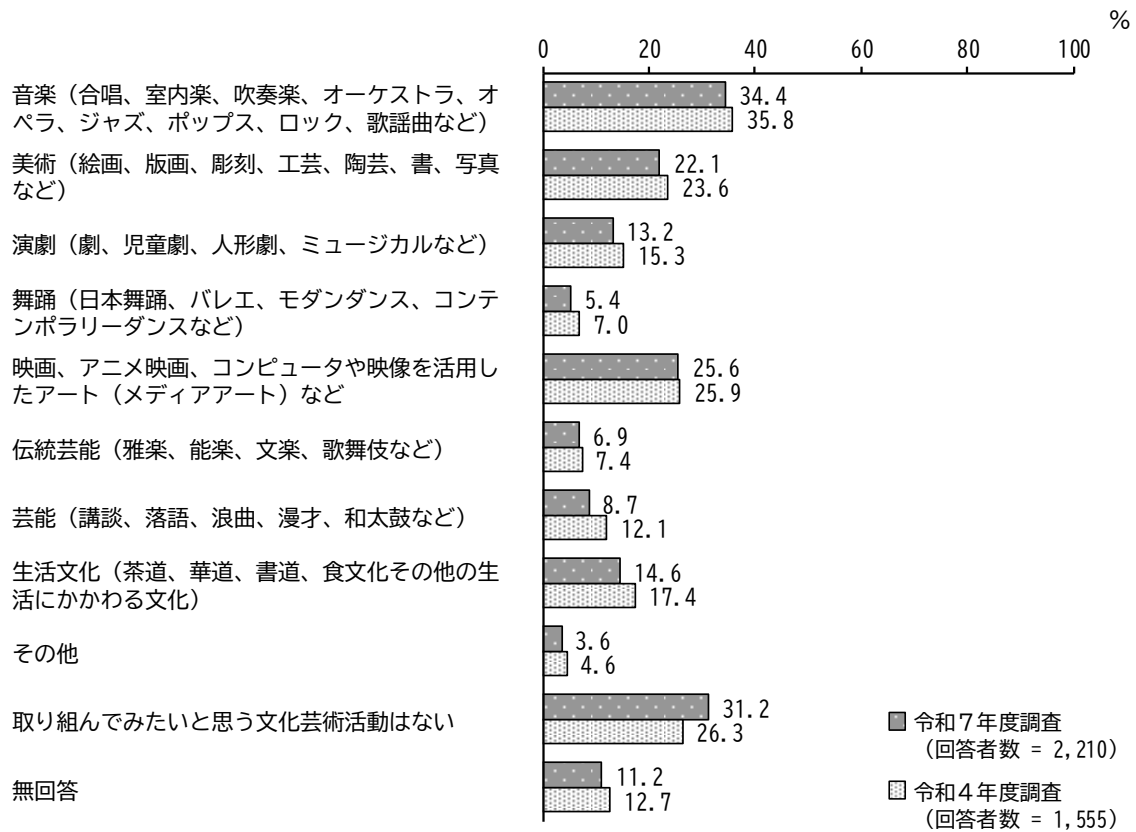
単位：％

区分	回答者数（件）	ホームヘルプ（居宅介護）サービスの充実	介護者への支援（短期入所、レスパイトケア、相談支援など）	医療やリハビリテーションの充実	成年後見制度利用の支援	日常生活自立支援事業利用の支援	自立生活・就労のための訓練・指導・支援	家賃が低額な住宅のあっせん、または家賃の補助	障害者向け住宅の充実	グループホームの充実
全体	2,210	9.8	7.5	18.1	4.7	5.0	7.1	23.3	9.2	6.5
身体障害	903	14.2	11.6	24.5	3.2	3.2	4.1	16.9	11.0	3.8
知的障害	422	8.1	15.2	8.3	12.8	3.8	6.9	15.9	12.3	23.7
精神障害	560	8.8	3.0	13.9	5.2	9.3	13.2	34.5	8.9	4.1
難病	530	8.9	5.1	23.2	3.2	3.4	5.7	22.5	5.8	2.8
発達障害	183	6.0	6.6	7.7	9.8	9.3	18.0	31.1	11.5	12.0
高次脳機能障害	78	7.7	10.3	43.6	3.8	6.4	16.7	21.8	14.1	7.7
重症心身障害	36	22.2	27.8	19.4	5.6	5.6	2.8	11.1	19.4	5.6
強度行動障害	17	23.5	5.9	0.0	11.8	5.9	0.0	11.8	23.5	5.9

区分	入所施設の充実	地域の人々（近隣住民、町会・自治会）の理解	相談支援事業の充実	福祉サービスの利用	働く場所の確保	通所施設の充実	その他	特にない	無回答
全体	12.3	6.2	6.1	10.2	14.2	3.8	2.0	22.4	10.5
身体障害	15.0	5.5	4.0	11.1	8.6	3.8	2.1	23.5	12.1
知的障害	26.5	10.4	8.1	10.2	9.7	7.6	1.7	14.2	9.7
精神障害	6.6	8.0	8.8	10.5	20.9	3.4	2.9	18.0	9.1
難病	8.5	3.0	5.1	9.8	14.0	2.6	2.1	29.1	8.9
発達障害	13.7	11.5	12.0	12.0	25.1	6.0	2.2	10.9	7.1
高次脳機能障害	11.5	5.1	2.6	2.6	14.1	10.3	3.8	9.0	12.8
重症心身障害	41.7	11.1	0.0	2.8	2.8	5.6	2.8	13.9	11.1
強度行動障害	29.4	11.8	5.9	5.9	0.0	5.9	5.9	5.9	29.4

問 32 あなた（ご本人）が取り組んでみたい（参加したい、鑑賞したい、体験したい）と思う文化芸術活動は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「音楽（合唱、室内楽、吹奏楽、オーケストラ、オペラ、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」の割合が 34.4%と最も高く、次いで「映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など」の割合が 25.6%、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）」の割合が 22.1%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「音楽（合唱、室内楽、吹奏楽、オーケストラ、オペラ、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）」「演劇（劇、児童劇、人形劇、ミュージカルなど）」「映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など」の割合が高く、「65～74歳」から「18～39歳」まで年齢が下がるほど「生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活にかかわる文化）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	音楽（合唱、室内楽、吹奏楽、オーケストラ、オペラ、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）	演劇（劇、児童劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など
全体	2,210	34.4	22.1	13.2	5.4	25.6
18～39歳	476	43.3	27.9	17.2	8.8	39.5
40～64歳	929	36.8	24.0	16.1	5.7	30.1
65～74歳	331	26.9	20.2	8.8	3.0	14.8
75歳以上	441	25.6	14.3	6.3	2.9	9.5

区分	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才、和太鼓など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活にかかわる文化）	その他	取り組んでみたいと思う文化芸術活動はない	無回答
全体	6.9	8.7	14.6	3.6	31.2	11.2
18～39歳	7.6	9.5	17.4	4.8	24.8	6.1
40～64歳	7.9	9.5	15.2	3.3	31.1	8.0
65～74歳	6.3	8.5	12.7	2.7	36.6	13.0
75歳以上	5.0	7.0	12.2	3.4	35.4	21.1

【障害種別】

障害種別にみると、精神障害で「音楽（合唱、室内楽、吹奏楽、オーケストラ、オペラ、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」、発達障害で「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）」「映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など」「芸能（講談、落語、浪曲、漫才、和太鼓など）」の割合が高くなっています。

単位：％

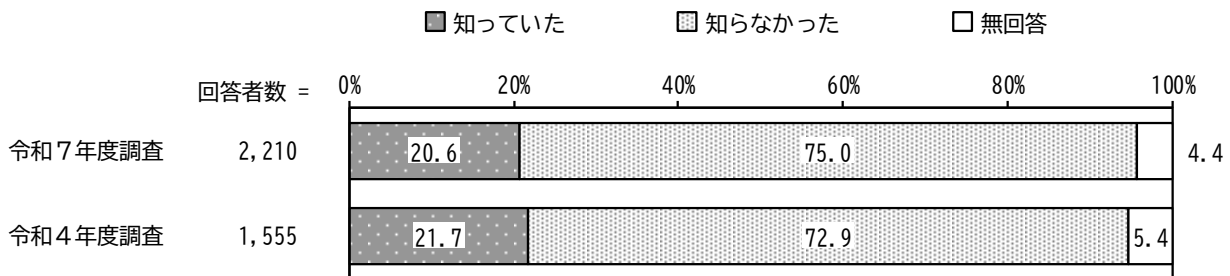
区分	回答者数（件）	音楽（合唱、室内楽、吹奏楽、オーケストラ、オペラ、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）	演劇（劇、児童劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など
全体	2,210	34.4	22.1	13.2	5.4	25.6
身体障害	903	30.5	20.9	11.8	4.5	19.5
知的障害	422	32.0	15.4	12.1	3.8	26.1
精神障害	560	39.8	24.6	14.8	6.4	33.2
難病	530	38.7	26.2	16.6	6.0	26.6
発達障害	183	39.3	30.1	16.9	7.7	43.7
高次脳機能障害	78	35.9	21.8	14.1	9.0	21.8
重症心身障害	36	38.9	13.9	13.9	5.6	16.7
強度行動障害	17	23.5	11.8	5.9	0.0	0.0

区分	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才、和太鼓など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活にかかわる文化）	その他	取り組んでみたいと思う文化芸術活動はない	無回答
全体	6.9	8.7	14.6	3.6	31.2	11.2
身体障害	6.6	9.3	15.1	2.8	32.9	13.8
知的障害	1.4	6.2	4.5	4.7	32.7	14.5
精神障害	9.5	10.2	15.4	5.7	30.9	6.1
難病	7.2	7.4	17.7	1.9	28.5	8.9
発達障害	8.7	13.7	17.5	7.7	25.7	4.4
高次脳機能障害	5.1	11.5	14.1	5.1	32.1	20.5
重症心身障害	2.8	5.6	5.6	5.6	30.6	19.4
強度行動障害	0.0	5.9	0.0	17.6	29.4	29.4

(7) 災害時の支援について

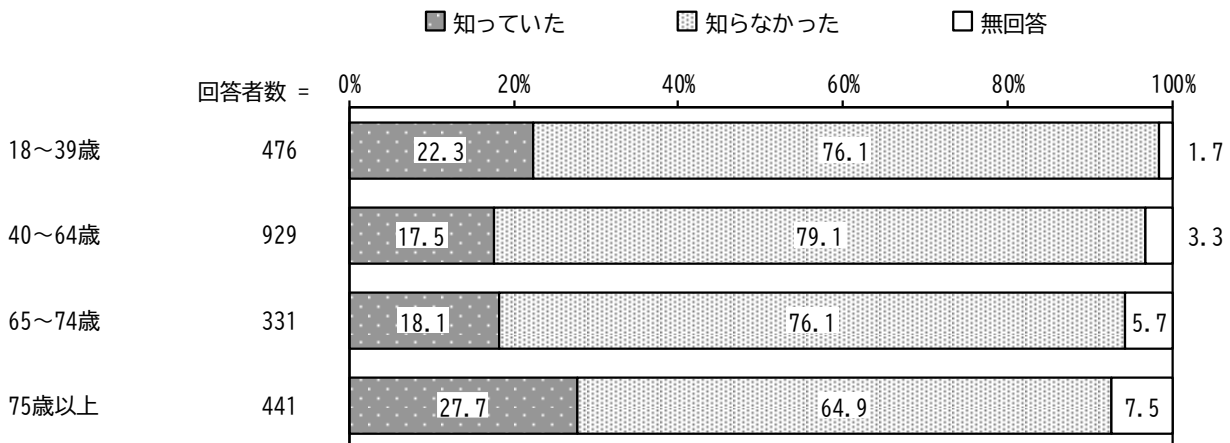
問 33 区では、災害が起きた時に避難することが難しい方、希望する方の情報を掲載した「避難行動要支援者名簿」を作成し、区役所や消防署、警察などで共有して災害時に役立てることとしています。この名簿について知っていましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「知っていた」の割合が20.6%、「知らなかった」の割合が75.0%となっています。



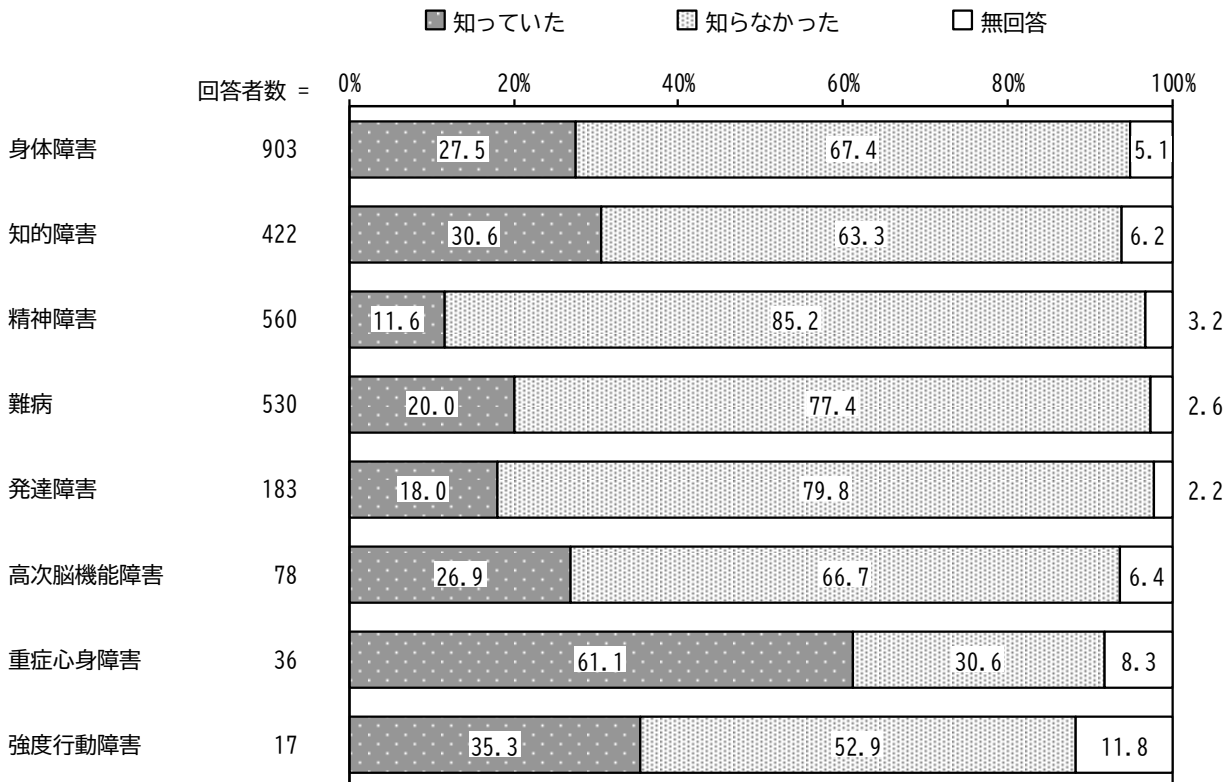
【年齢別】

年齢別にみると、「40～64歳」から「75歳以上」まで年齢が上がるほど「知っていた」の割合が高くなっています。



【障害種別】

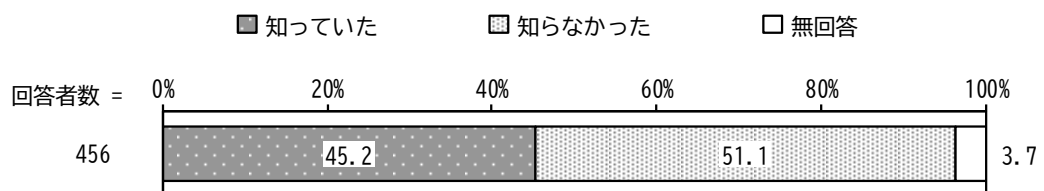
障害種別にみると、重症心身障害で「知っていた」、精神障害で「知らなかった」の割合が高くなっています。



問 33 で「知っていた」に○をつけた方にうかがいます。

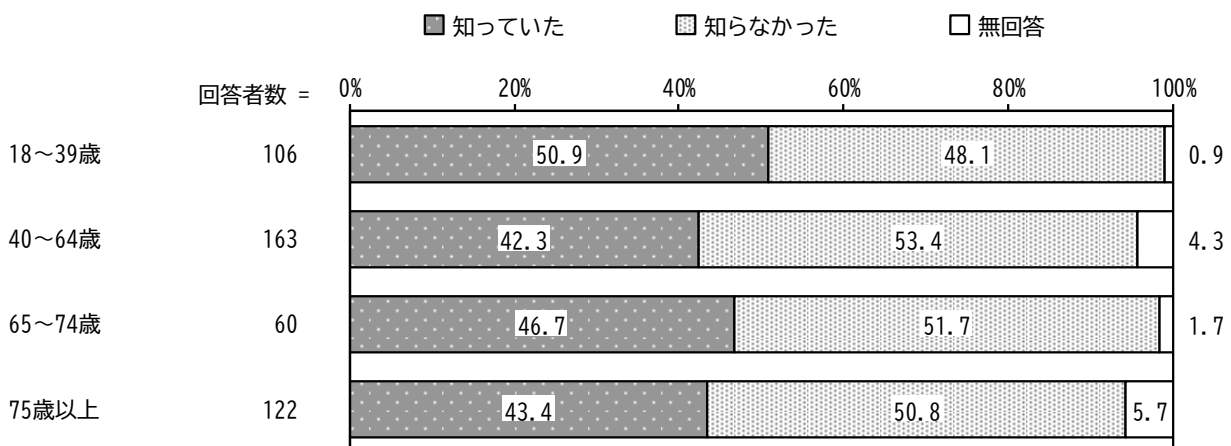
問 33-1 「避難行動要支援者名簿」に掲載された方は、地域の災害協力隊や福祉専門職（相談支援専門員等）の訪問や調査を経て、個々の状況に応じた避難方法や支援を計画する「個別避難計画」を作成してもらい、拠点避難所に名簿と計画（写）を設置します。「個別避難計画」について知っていましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「知っていた」の割合が45.2%、「知らなかった」の割合が51.1%となっています。



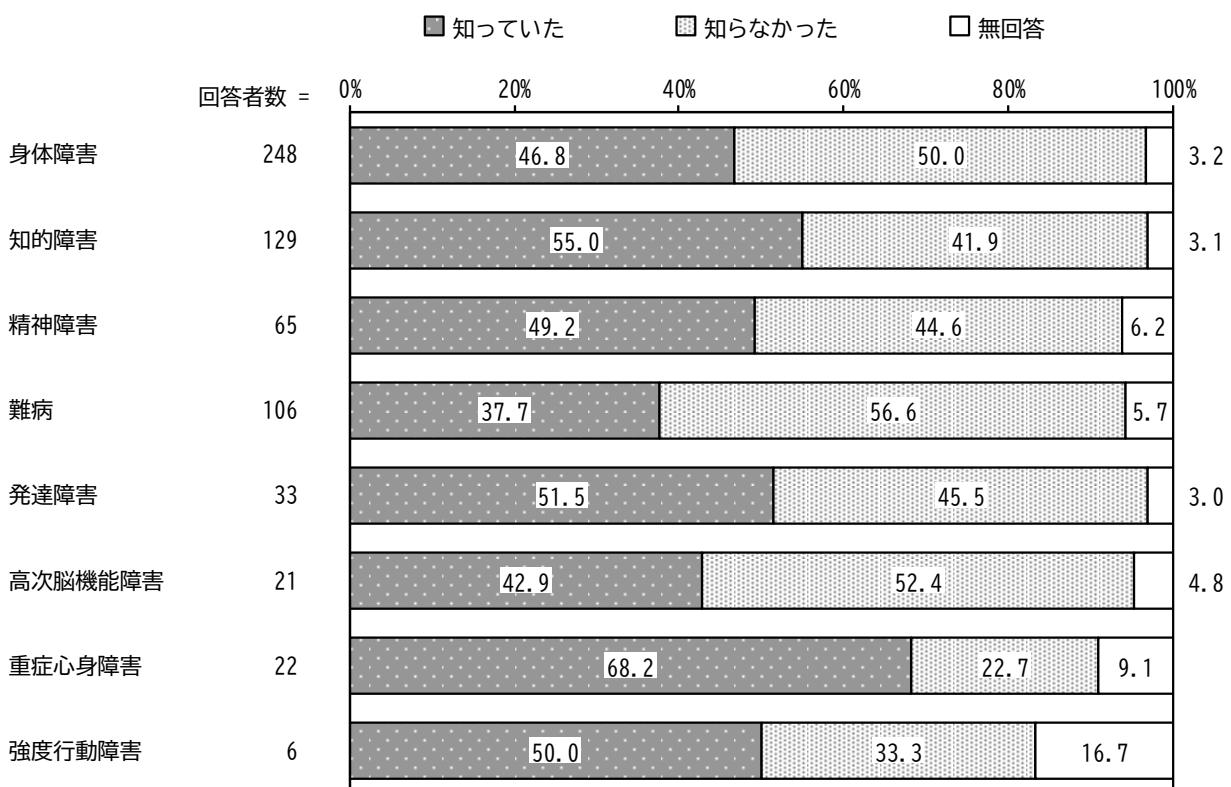
【年齢別】

年齢別にみると、「18～39歳」で「知っていた」の割合が高くなっています。



【障害種別】

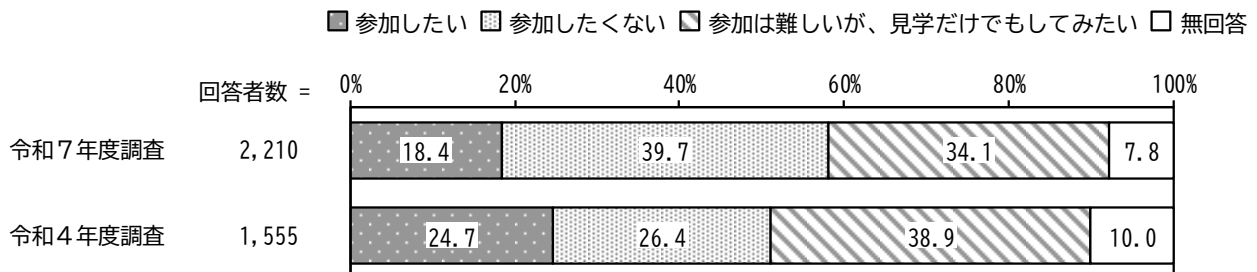
障害種別にみると、重症心身障害で「知っていた」の割合が高くなっています。



問 34 地域（町会・自治会）の防災訓練に参加してみたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

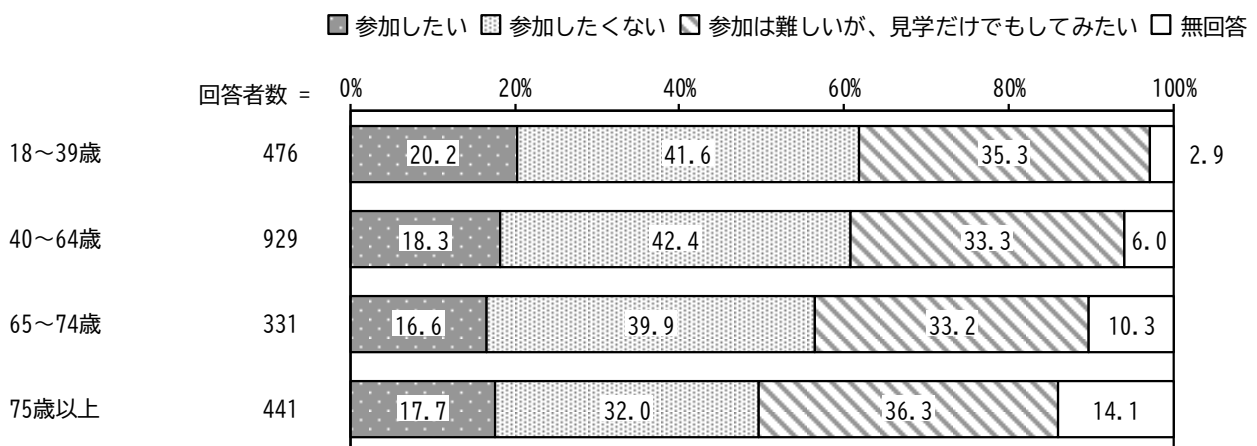
「参加したい」の割合が18.4%、「参加したくない」の割合が39.7%、「参加は難しいが、見学だけでもしてみたい」の割合が34.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「参加したくない」の割合が増加しています。一方、「参加したい」の割合が減少しています。



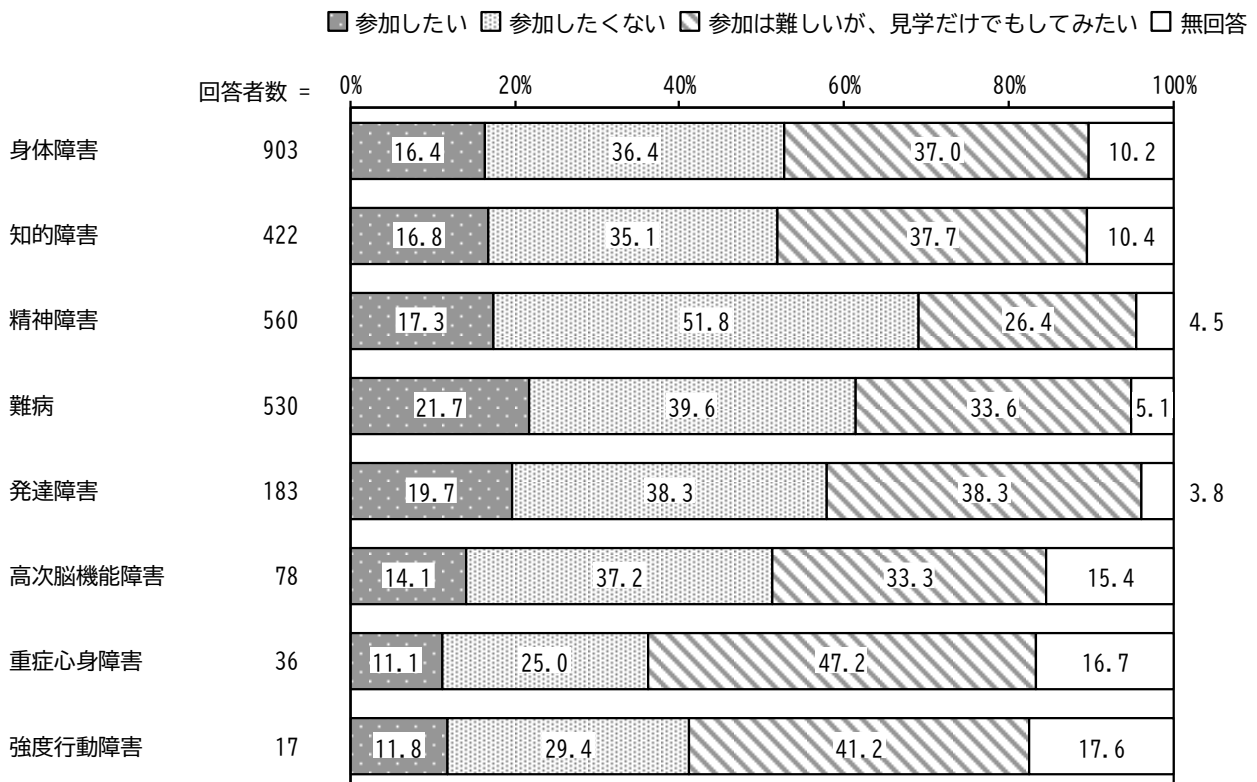
【年齢別】

年齢別にみると、「75歳以上」から「40～64歳」まで年齢が下がるほど「参加したくない」の割合が高くなっています。



【障害種別】

障害種別にみると、精神障害で「参加したくない」、重症心身障害で「参加は難しいが、見学だけでもしてみたい」の割合が高くなっています。



問 34 で「参加したくない」に○をつけた方にうかがいます。

問 34-1 参加したくないと思われる理由を記入してください。

・参加が面倒・億劫であることについて(111 件)

参加が大変なので

・移動・歩行・外出の困難について(102 件)

移動が困難

・人間関係・近所付き合いの煩わしさについて(99 件)

あまり地域の方と接点がないから

・身体的負担・体力不足について(97 件)

以前に防災訓練には参加していたが、今は体力がない。

・障害・病気・体調面の不安について(85 件)

本人の参加も見学も難しいため。家族が参加や見学をするのは可能。

・見知らぬ人・集団・人混みへの苦手意識について(85 件)

知らない人との集まりに参加するのは気が引ける。

・参加時間の確保・多忙・スケジュール調整について(78 件)

時間に制約がある

・コミュニケーション・意思疎通の困難さについて(39 件)

他者とのコミュニケーションが困難なため

・職場・施設・マンション等で既に訓練済みであることについて(36 件)

マンションで防災訓練は行われているため

・精神的負担・パニック・ストレスについて(34 件)

本人を連れて参加は難しく、参加する事による後の精神状態の変化でパニック等につながる事もあるため

・訓練内容の実用性・意義への疑問について(33 件)

参加しても災害が防げないのではと思っているから

・自治会・町会などの組織に対する不満・不信感について(26 件)

自治会がどこまで機能しているか全く分からないから

・障害への周囲の無理解・偏見・視線について(25 件)

障害への理解が足りないと思うから

・訓練への関心・興味のなさについて(23 件)

興味がないため

・介助者・支援者・同行者の不在について(20 件)

家族や支援者がいないと参加できないから。

・参加によって周囲へ迷惑をかける懸念について(18 件)

迷惑をかける可能性があるため

・情報不足・参加方法や内容が不明であることについて(16 件)

いつ行われているのか分からない

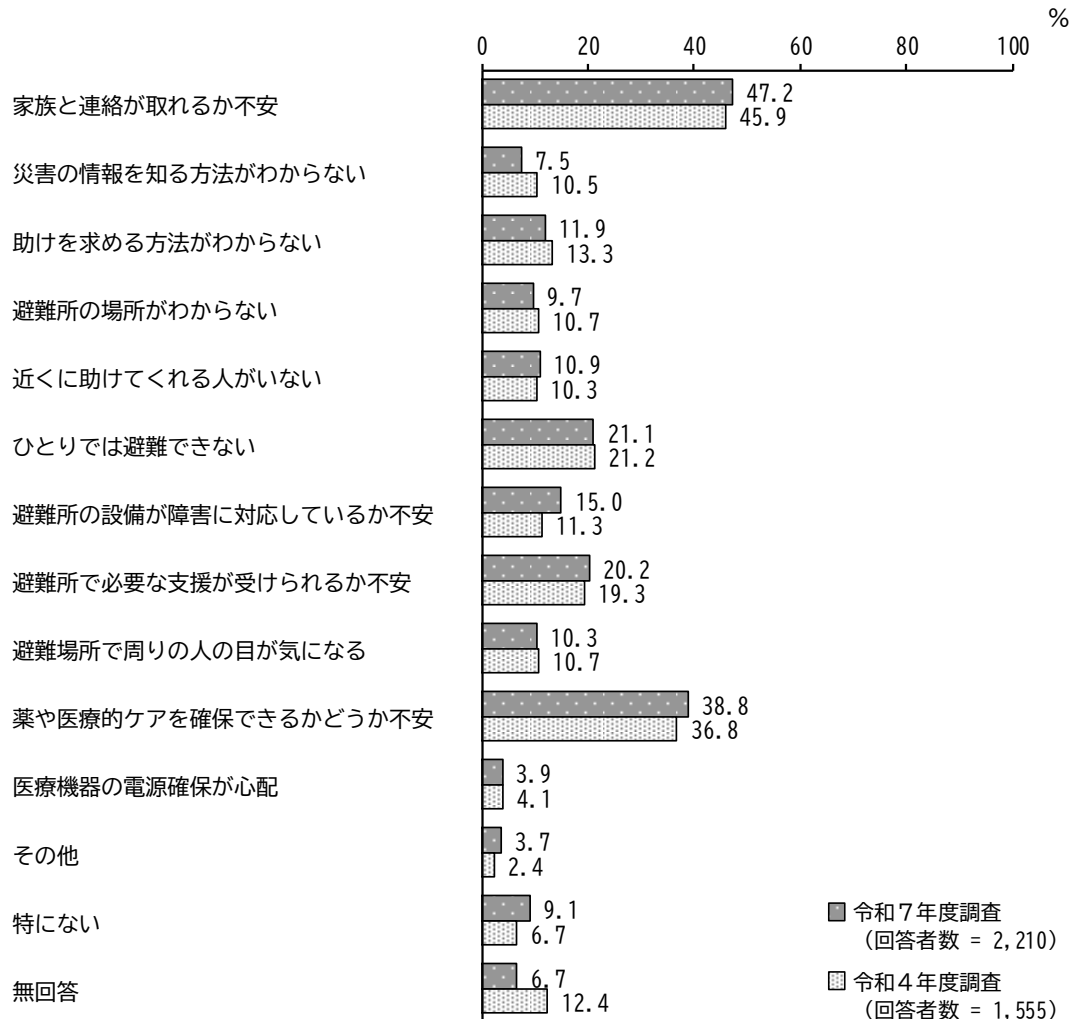
・感染症やケガなど二次的リスクの懸念について(10 件)

避難訓練などで後ろから押されそうになるから

・その他(33 件)

問 35 あなた（ご本人）が、地震などの災害が発生した時に困ることや不安なことは何ですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「家族と連絡が取れるか不安」の割合が 47.2%と最も高く、次いで「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」の割合が 38.8%、「ひとりでは避難できない」の割合が 21.1%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「家族と連絡が取れるか不安」「避難場所で周りの人の目が気になる」の割合が高く、「40～64歳」から「75歳以上」まで年齢が上がるほど「ひとりでは避難できない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	家族と連絡が取れるか不安	災害の情報を知ることがわからない	助けを求める方法がわからない	避難所の場所がわからない	近くに助けをくれる人がいない	ひとりでは避難できない	避難所の設備が障害に対応しているか不安
全体	2,210	47.2	7.5	11.9	9.7	10.9	21.1	15.0
18～39歳	476	56.3	7.8	14.3	10.1	8.4	25.6	15.1
40～64歳	929	49.6	7.9	12.5	9.4	12.4	14.1	13.5
65～74歳	331	40.8	6.3	7.3	10.6	9.1	19.3	17.8
75歳以上	441	38.1	7.0	11.8	9.3	11.3	32.7	16.6

区分	避難所で必要な支援が受けられるか不安	避難場所で周りの人の目が気になる	薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安	医療機器の電源確保が心配	その他	特になし	無回答
全体	20.2	10.3	38.8	3.9	3.7	9.1	6.7
18～39歳	18.7	15.5	33.4	3.4	4.8	6.7	4.4
40～64歳	19.3	12.4	43.2	4.1	4.4	9.8	5.4
65～74歳	25.1	5.7	44.4	6.0	1.8	10.3	7.6
75歳以上	21.1	3.9	32.0	2.7	2.7	9.5	10.7

【障害種別】

障害種別にみると、強度行動障害で「助けを求める方法がわからない」「ひとりでは避難できない」、重症心身障害で「避難所の設備が障害に対応しているか不安」「医療機器の電源確保が心配」、高次脳機能障害で「避難所で必要な支援が受けられるか不安」、発達障害で「避難場所で周りの人の目が気になる」、難病で「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」の割合が高くなっています。

単位：%

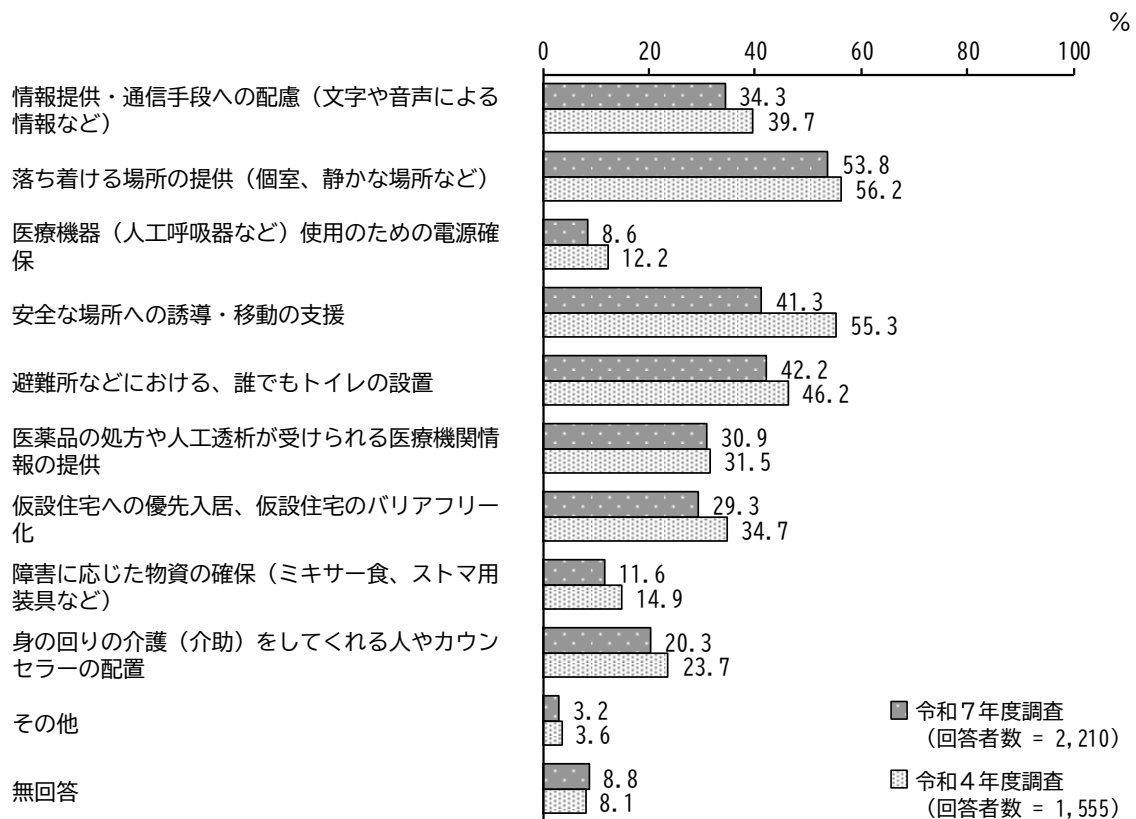
区分	回答者数(件)	家族と連絡が取れるか不安	災害の情報を知る方法がわからない	助けを求める方法がわからない	避難所の場所がわからない	近くに助けしてくれる人がいない	ひとりでは避難できない	避難所の設備が障害に対応しているか不安
全体	2,210	47.2	7.5	11.9	9.7	10.9	21.1	15.0
身体障害	903	41.3	7.2	11.8	8.6	8.7	27.6	20.7
知的障害	422	50.2	7.8	18.5	11.8	7.8	41.2	16.1
精神障害	560	48.2	7.5	13.9	10.9	16.1	12.5	11.4
難病	530	49.6	4.9	6.6	7.7	8.5	11.7	10.9
発達障害	183	51.9	9.8	14.8	12.6	12.6	20.2	13.1
高次脳機能障害	78	38.5	3.8	15.4	7.7	7.7	26.9	23.1
重症心身障害	36	25.0	0.0	8.3	2.8	2.8	41.7	27.8
強度行動障害	17	23.5	0.0	23.5	5.9	0.0	47.1	5.9

区分	避難所で必要な支援が受けられるか不安	避難場所で周りの人の目が気になる	薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安	医療機器の電源確保が心配	その他	特にない	無回答
全体	20.2	10.3	38.8	3.9	3.7	9.1	6.7
身体障害	22.6	6.0	33.7	5.3	2.8	10.0	7.9
知的障害	19.7	16.1	17.5	2.6	2.6	5.9	9.5
精神障害	19.6	16.4	46.3	2.9	5.0	7.9	6.4
難病	22.3	6.2	57.5	5.5	5.1	8.3	4.3
発達障害	21.3	21.9	30.1	0.5	6.0	11.5	3.8
高次脳機能障害	32.1	2.6	44.9	7.7	6.4	10.3	5.1
重症心身障害	25.0	0.0	22.2	13.9	0.0	5.6	19.4
強度行動障害	17.6	11.8	17.6	5.9	0.0	5.9	29.4

問 36 災害時には、どのような支援が必要ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「落ち着ける場所の提供（個室、静かな場所など）」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「避難所などにおける、誰でもトイレの設置」の割合が 42.2%、「安全な場所への誘導・移動の支援」の割合が 41.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「情報提供・通信手段への配慮（文字や音声による情報など）」「安全な場所への誘導・移動の支援」「仮設住宅への優先入居、仮設住宅のバリアフリー化」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「情報提供・通信手段への配慮（文字や音声による情報など）」「避難所などにおける、誰でもトイレの設置」の割合が高く、「落ち着ける場所の提供（個室、静かな場所など）」の割合が低く、「40～64歳」から「75歳以上」まで年齢が上がるほど「安全な場所への誘導・移動の支援」「身の回りの介護（介助）をしてくれる人やカウンセラーの配置」の割合が高く、「医薬品の処方や人工透析が受けられる医療機関情報の提供」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	情報提供・通信手段への配慮（文字や音声による情報など）	落ち着ける場所の提供（個室、静かな場所など）	医療機器（人工呼吸器など）使用のための電源確保	安全な場所への誘導・移動の支援	避難所などにおける、誰でもトイレの設置	医薬品の処方や人工透析が受けられる医療機関情報の提供	仮設住宅への優先入居、仮設住宅のバリアフリー化	障害に応じた物資の確保（ミキサー食、ストマ用器具など）	身の回りの介護（介助）をしてくれる人やカウンセラーの配置	その他	無回答
全体	2,210	34.3	53.8	8.6	41.3	42.2	30.9	29.3	11.6	20.3	3.2	8.8
18～39歳	476	29.4	64.3	9.5	44.7	36.6	29.6	24.8	13.7	20.6	2.9	5.5
40～64歳	929	34.9	56.9	8.0	36.7	41.9	37.7	33.3	10.7	17.2	3.4	7.5
65～74歳	331	36.6	47.4	7.6	39.0	45.6	28.4	25.1	11.2	17.5	3.0	10.6
75歳以上	441	36.7	41.7	9.3	50.3	46.7	20.9	29.3	12.0	29.0	3.2	13.2

【障害種別】

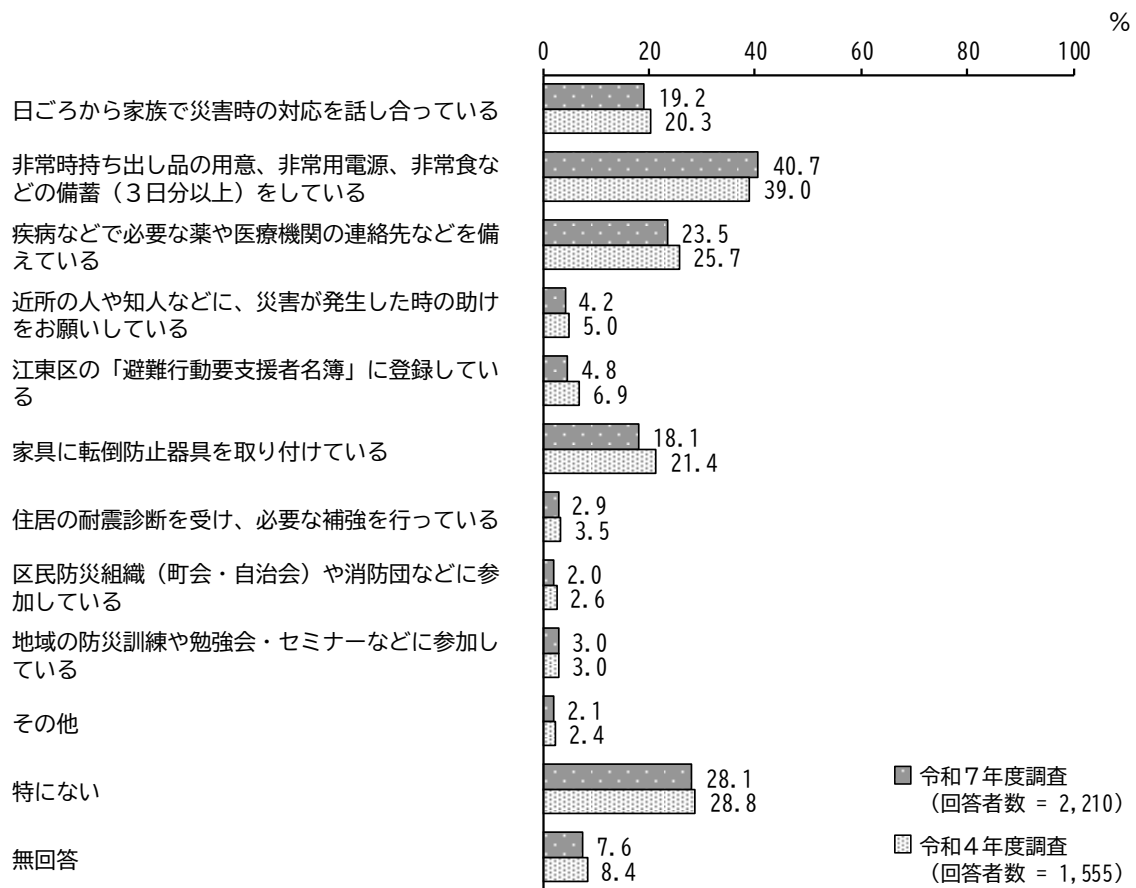
障害種別にみると、精神障害、発達障害で「落ち着ける場所の提供（個室、静かな場所など）」、重症心身障害で「医療機器（人工呼吸器など）使用のための電源確保」「障害に応じた物資の確保（ミキサー食、ストマ用装具など）」、知的障害、高次脳機能障害で「安全な場所への誘導・移動の支援」、高次脳機能障害で「避難所などにおける、誰でもトイレの設置」、難病で「医薬品の処方や人工透析が受けられる医療機関情報の提供」、高次脳機能障害、重症心身障害で「仮設住宅への優先入居、仮設住宅のバリアフリー化」、強度行動障害で「身の回りの介護（介助）をしてくれる人やカウンセラーの配置」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	情報提供・通信手段への配慮（文字や音声による情報など）	落ち着ける場所の提供（個室、静かな場所など）	医療機器（人工呼吸器など）使用のための電源確保	安全な場所への誘導・移動の支援	避難所などにおける、誰でもトイレの設置	医薬品の処方や人工透析が受けられる医療機関情報の提供	仮設住宅への優先入居、仮設住宅のバリアフリー化	障害に応じた物資の確保（ミキサー食、ストマ用装具など）	身の回りの介護（介助）をしてくれる人やカウンセラーの配置	その他	無回答
全体	2,210	34.3	53.8	8.6	41.3	42.2	30.9	29.3	11.6	20.3	3.2	8.8
身体障害	903	40.1	46.6	10.7	46.4	46.0	26.4	33.2	15.5	26.7	3.2	8.4
知的障害	422	29.4	58.8	6.6	55.9	42.2	14.9	28.4	15.2	31.8	3.8	10.7
精神障害	560	30.9	68.8	7.5	38.0	38.9	38.4	29.1	8.4	19.8	3.4	6.4
難病	530	30.6	47.4	10.4	30.6	44.9	44.0	27.0	10.4	13.8	3.4	7.7
発達障害	183	32.8	69.9	7.7	47.0	38.3	29.5	27.9	10.9	28.4	5.5	4.4
高次脳機能障害	78	35.9	60.3	11.5	57.7	53.8	33.3	41.0	14.1	29.5	5.1	9.0
重症心身障害	36	30.6	52.8	25.0	50.0	44.4	36.1	41.7	38.9	55.6	11.1	11.1
強度行動障害	17	23.5	41.2	17.6	52.9	29.4	23.5	29.4	23.5	58.8	11.8	11.8

問37 あなた（ご本人）は、災害に対してどのような備えをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「非常時持ち出し品の用意、非常用電源、非常食などの備蓄（3日以上）をしている」の割合が40.7%と最も高く、次いで「疾病などで必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている」の割合が23.5%、「日ごろから家族で災害時の対応を話し合っている」の割合が19.2%となっています。



※令和4年度調査では、「非常時持ち出し品の用意、非常用電源、非常食などの備蓄（3日以上）をしている」が「非常時持ち出し品の用意、非常食などの備蓄（3日分程度）をしている」となっていました。

【年齢別】

年齢別にみると、「18～39歳」から「65～74歳」まで年齢が上がるほど「疾病などで必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている」の割合が高く、「非常時持ち出し品の用意、非常用電源、非常食などの備蓄（3日以上）をしている」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	日ごろから家族で災害時の対応を話し合っている	非常時持ち出し品の用意、非常用電源、非常食などの備蓄(3日以上)をしている	疾病などで必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている	近所の人や知人などに、災害が発生した時の助けをお願いしている	江東区の「避難行動要支援者名簿」に登録している	家具に転倒防止器具を取り付けている
全体	2,210	19.2	40.7	23.5	4.2	4.8	18.1
18～39歳	476	20.6	43.9	21.4	4.2	8.6	15.5
40～64歳	929	19.2	41.2	23.4	4.0	3.2	18.3
65～74歳	331	17.2	39.3	26.9	3.9	2.1	18.4
75歳以上	441	20.0	38.8	24.0	4.5	6.1	21.5

区分	住居の耐震診断を受けて、必要な補強を行っている	区民防災組織(町会・自治会)や消防団などに参加している	地域の防災訓練や勉強会・セミナーなどに参加している	その他	特にない	無回答
全体	2.9	2.0	3.0	2.1	28.1	7.6
18～39歳	1.5	0.8	2.9	2.3	29.4	3.4
40～64歳	2.9	1.9	2.5	2.3	28.5	6.7
65～74歳	2.7	2.1	2.7	1.8	31.4	7.3
75歳以上	4.5	3.4	4.3	1.8	23.4	12.2

【障害種別】

障害種別にみると、難病で「非常時持ち出し品の用意、非常用電源、非常食などの備蓄（3日分以上）をしている」「疾病などで必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている」「家具に転倒防止器具を取り付けている」、重症心身障害で「近所の人や知人などに、災害が発生した時の助けをお願いしている」「江東区の「避難行動要支援者名簿」に登録している」の割合が高くなっています。

単位：%

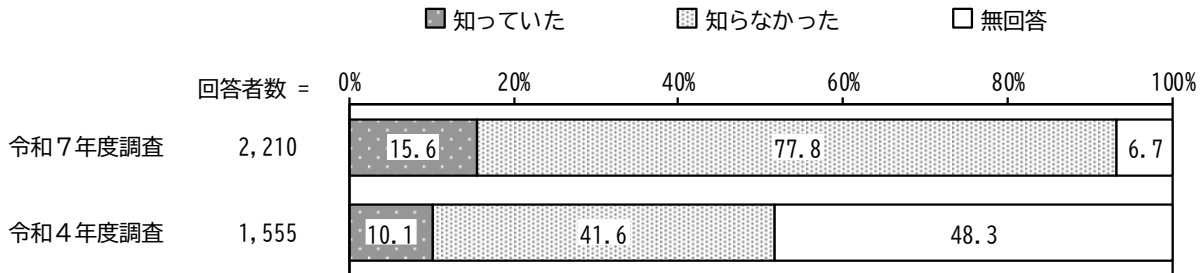
区分	回答者数（件）	日ごろから家族で災害時の対応を話し合っている	非常時持ち出し品の用意、非常用電源、非常食などの備蓄（3日分以上）をしている	疾病などで必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている	近所の人や知人などに、災害が発生した時の助けをお願いしている	江東区の「避難行動要支援者名簿」に登録している	家具に転倒防止器具を取り付けている
全体	2,210	19.2	40.7	23.5	4.2	4.8	18.1
身体障害	903	20.6	42.5	24.7	5.2	7.2	20.6
知的障害	422	17.3	38.9	14.7	7.6	11.1	13.5
精神障害	560	16.4	36.3	22.7	3.6	1.8	12.7
難病	530	20.9	50.9	33.4	3.0	2.3	25.1
発達障害	183	20.8	41.5	21.3	6.6	4.9	14.2
高次脳機能障害	78	19.2	30.8	28.2	3.8	6.4	16.7
重症心身障害	36	11.1	41.7	25.0	22.2	30.6	8.3
強度行動障害	17	17.6	47.1	29.4	5.9	5.9	5.9

区分	住居の耐震診断を受けている	区民防災組織（町会・自治会）や消防団などに参加している	地域の防災訓練や勉強会・セミナーなどに参加している	その他	特になし	無回答
全体	2.9	2.0	3.0	2.1	28.1	7.6
身体障害	3.9	2.4	3.9	1.8	25.4	8.7
知的障害	1.9	1.7	3.3	3.1	29.1	10.0
精神障害	2.3	1.4	3.2	3.2	34.8	6.1
難病	2.3	2.8	2.1	1.7	21.1	4.2
発達障害	2.7	2.2	4.4	3.3	32.2	4.4
高次脳機能障害	1.3	0.0	3.8	2.6	32.1	10.3
重症心身障害	0.0	2.8	5.6	2.8	19.4	19.4
強度行動障害	0.0	0.0	5.9	11.8	11.8	17.6

(8) 障害者施策について

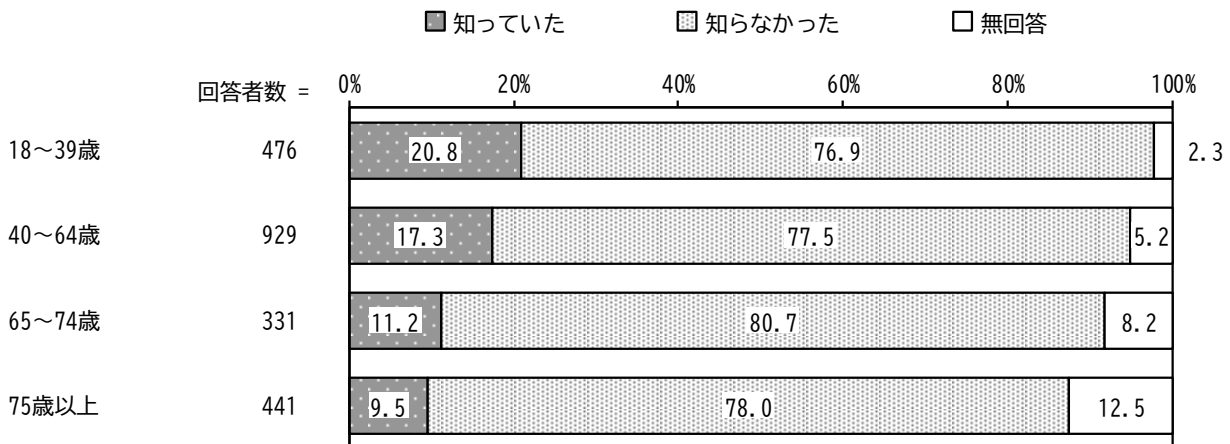
問 38 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(障害者差別解消法)が改正され、令和6年4月から事業者による障害者への合理的配慮の提供が義務となりました。このことを知っていましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「知っていた」の割合が15.6%、「知らなかった」の割合が77.8%となっています。
令和4年度調査と比較すると、「知らなかった」の割合が増加しています。



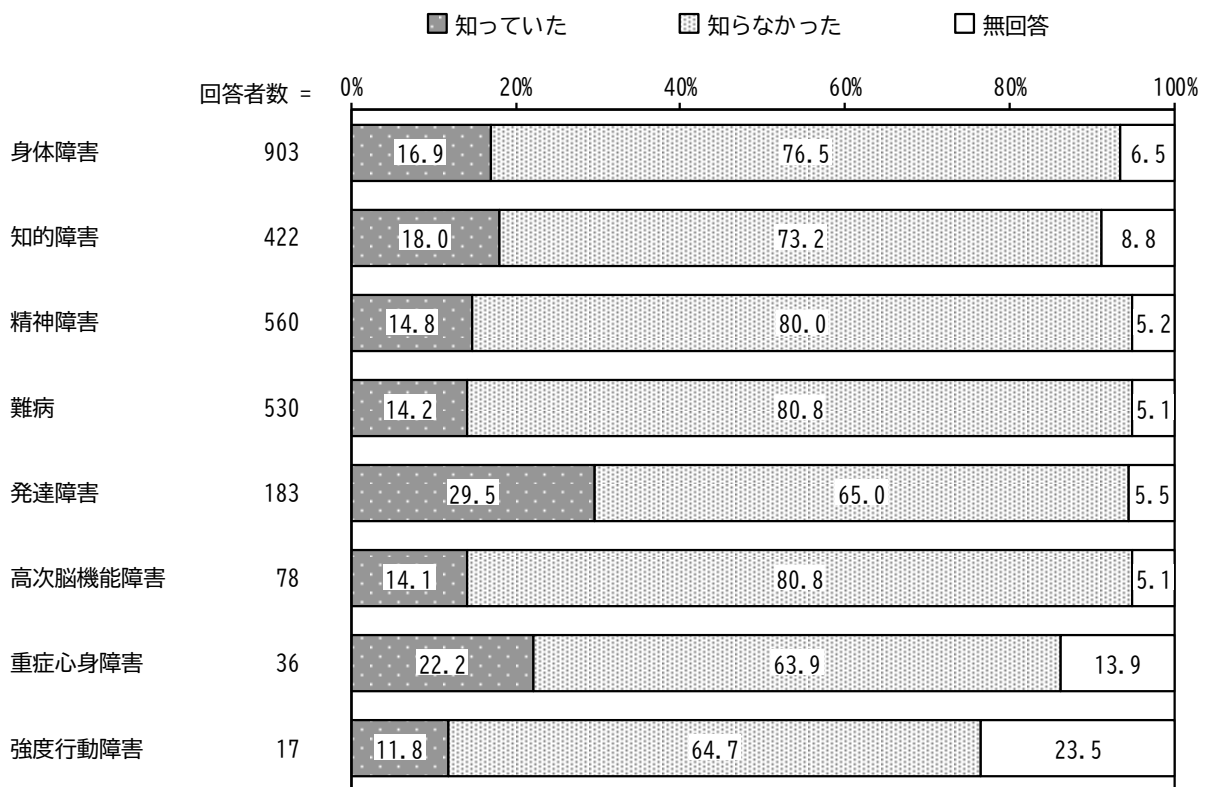
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「知っていた」の割合が高くなっています。



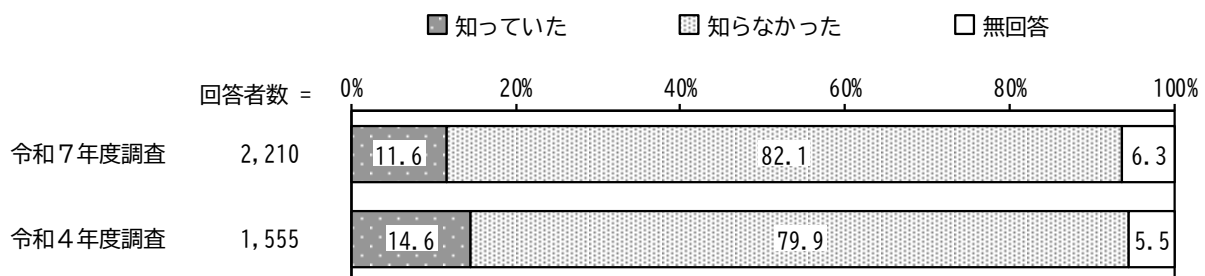
【障害種別】

障害種別にみると、発達障害で「知っていた」の割合が高くなっています。



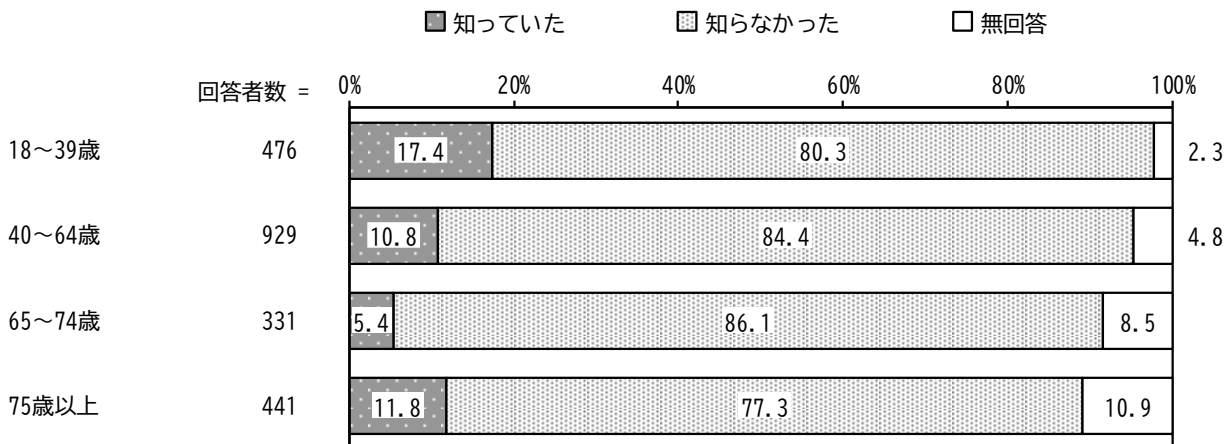
問 39 区では、「障害者虐待防止センター」を障害者支援課の中に設置し、虐待の通報受付や、虐待防止のための相談などを行っています。このことを知っていましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「知っていた」の割合が11.6%、「知らなかった」の割合が82.1%となっています。



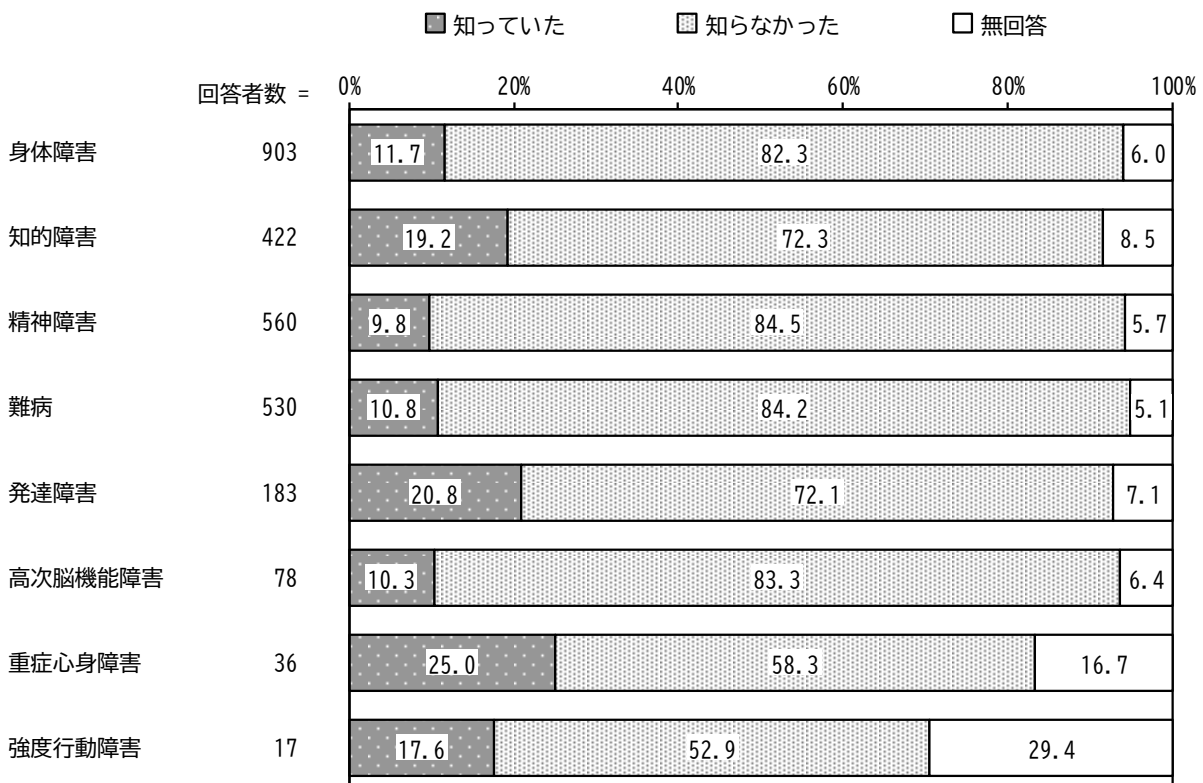
【年齢別】

年齢別にみると、「18～39歳」から「65～74歳」まで年齢が上がるほど「知らなかった」の割合が高くなっています。



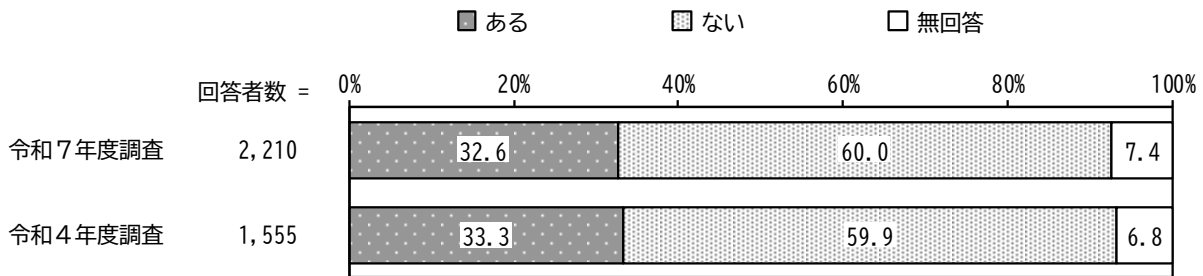
【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「知っていた」の割合が高くなっています。



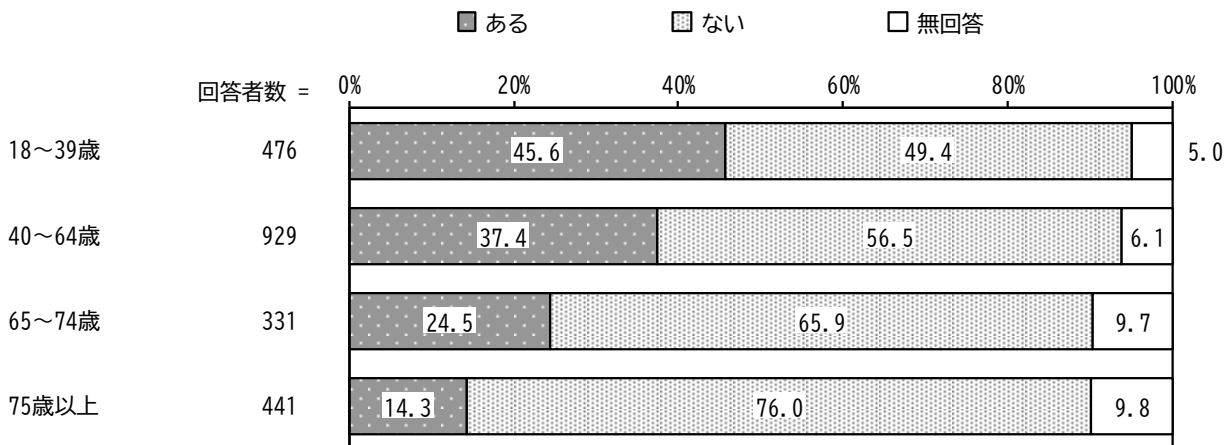
問 40 あなた（ご本人）は、これまでに差別をされたと感じた経験はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「ある」の割合が32.6%、「ない」の割合が60.0%となっています。



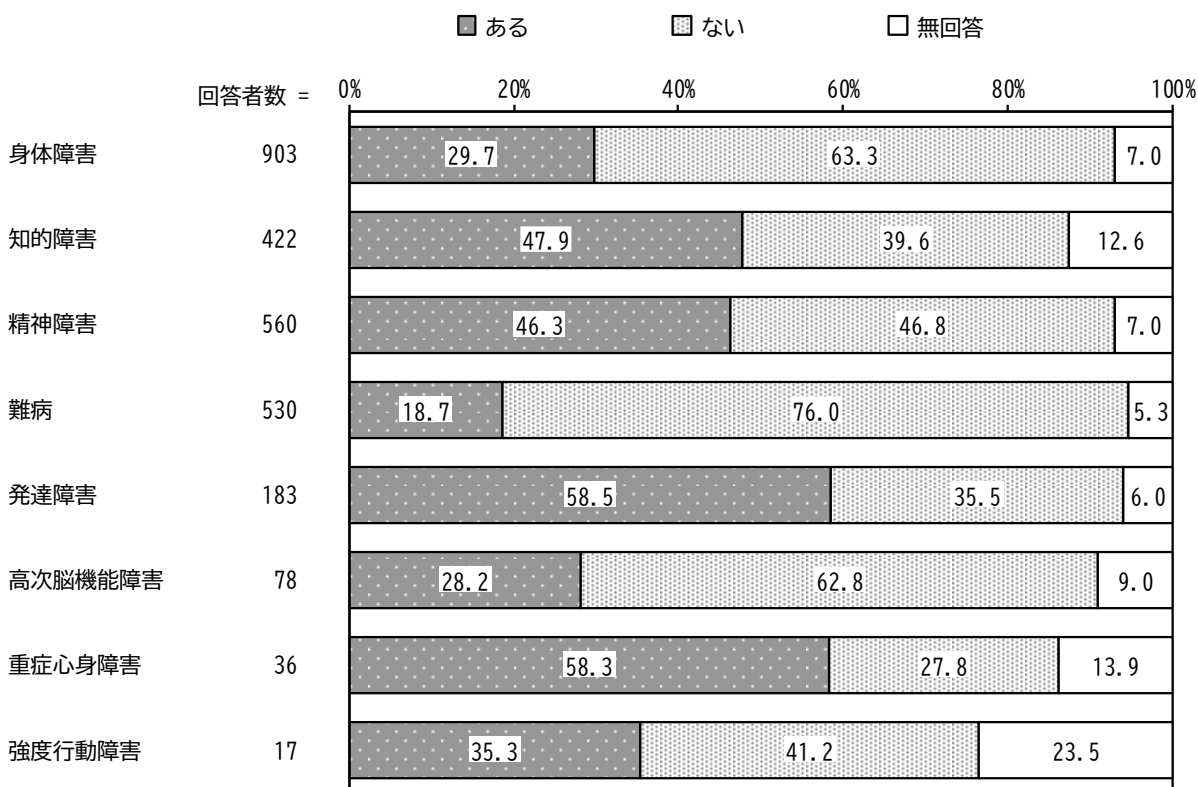
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「ない」の割合が高くなっています。



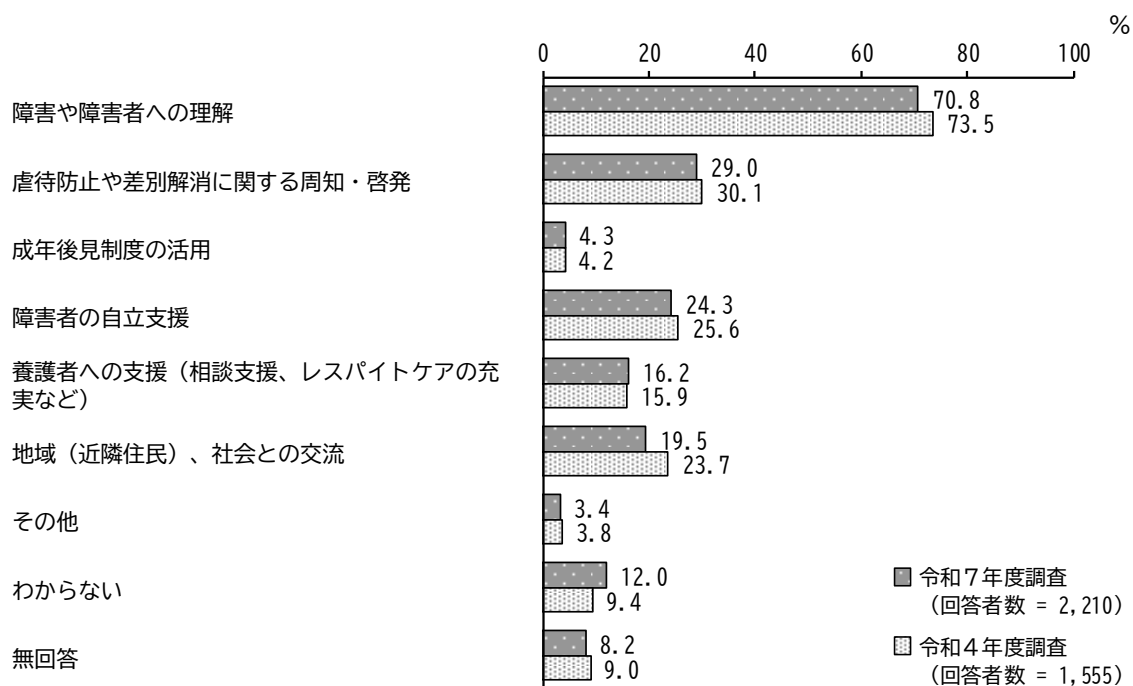
【障害種別】

障害種別にみると、発達障害、重症心身障害で「ある」、難病で「ない」の割合が高くなっています。



問 41 障害者への虐待や差別を防ぐには、何が必要だと思いますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「障害や障害者への理解」の割合が70.8%と最も高く、次いで「虐待防止や差別解消に関する周知・啓発」の割合が29.0%、「障害者の自立支援」の割合が24.3%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「障害や障害者への理解」の割合が高く、「75歳以上」から「40～64歳」まで年齢が下がるほど「虐待防止や差別解消に関する周知・啓発」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	障害や障害者への理解	虐待防止や差別解消に関する周知・啓発	成年後見制度の活用	障害者の自立支援	養護者への支援(相談支援、レスパイトケアの充実など)	地域(近隣住民)、社会との交流	その他	わからない	無回答
全体	2,210	70.8	29.0	4.3	24.3	16.2	19.5	3.4	12.0	8.2
18～39歳	476	78.6	32.1	4.6	26.1	18.9	20.2	4.2	9.9	3.8
40～64歳	929	74.1	33.4	5.8	25.5	15.8	19.7	4.3	11.6	5.4
65～74歳	331	65.0	26.0	2.1	22.1	10.6	18.1	2.4	14.8	11.5
75歳以上	441	61.0	19.7	2.7	22.0	19.0	19.3	0.9	13.8	15.0

【障害種別】

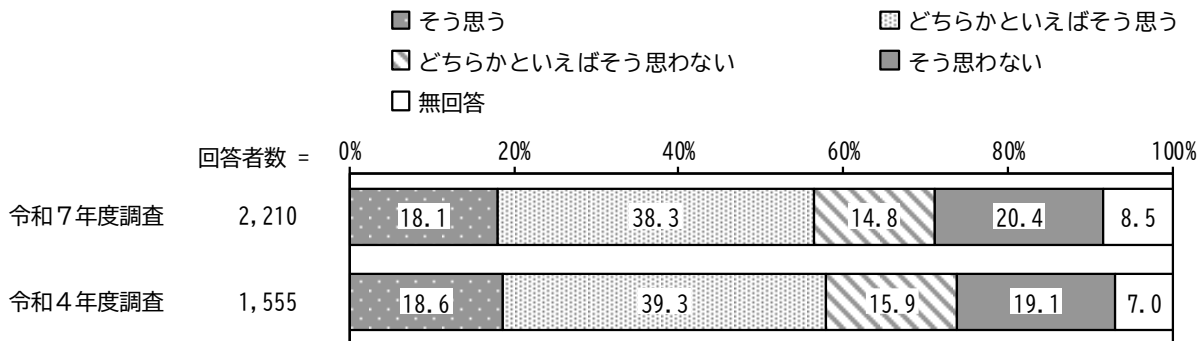
障害種別にみると、発達障害で「障害や障害者への理解」「障害者の自立支援」、重症心身障害で「虐待防止や差別解消に関する周知・啓発」「成年後見制度の活用」「地域(近隣住民)、社会との交流」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	障害や障害者への理解	虐待防止や差別解消に関する周知・啓発	成年後見制度の活用	障害者の自立支援	養護者への支援(相談支援、レスパイトケアの充実など)	地域(近隣住民)、社会との交流	その他	わからない	無回答
全体	2,210	70.8	29.0	4.3	24.3	16.2	19.5	3.4	12.0	8.2
身体障害	903	70.4	26.5	3.7	22.8	14.6	19.6	3.1	11.7	9.4
知的障害	422	71.8	31.8	8.5	22.0	20.6	22.5	3.1	11.1	9.2
精神障害	560	71.8	32.5	5.4	30.7	12.0	17.7	4.5	11.3	7.1
難病	530	71.1	29.2	2.8	20.0	20.2	18.9	3.2	12.6	6.8
発達障害	183	77.6	33.9	6.0	33.9	19.7	19.1	8.7	6.0	7.1
高次脳機能障害	78	74.4	26.9	5.1	25.6	17.9	20.5	9.0	6.4	10.3
重症心身障害	36	72.2	36.1	11.1	8.3	19.4	27.8	2.8	2.8	16.7
強度行動障害	17	41.2	5.9	0.0	23.5	17.6	11.8	11.8	11.8	29.4

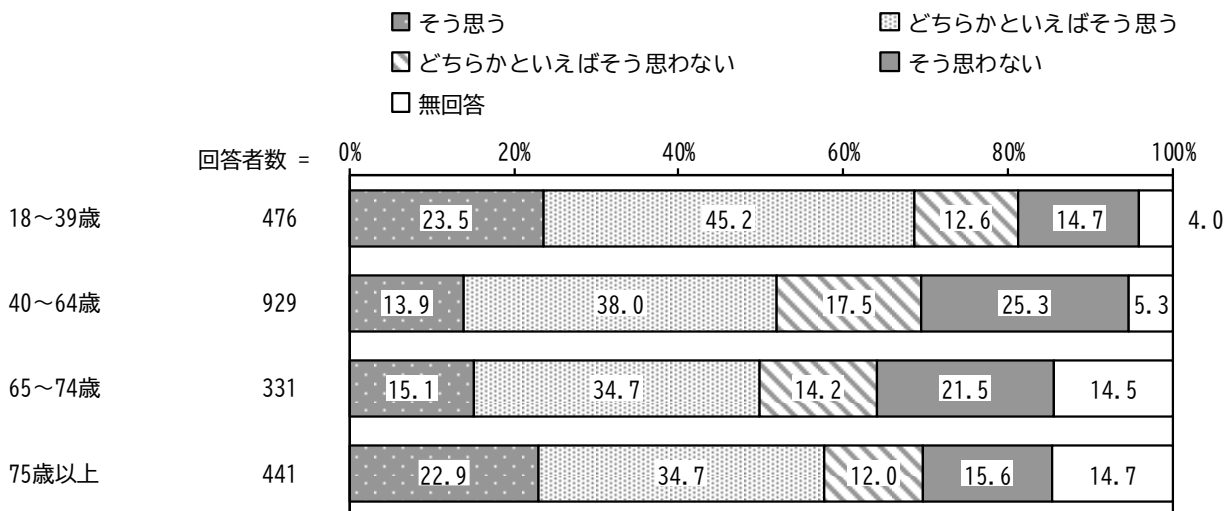
問42 あなた（ご本人）は、日常生活の中で周囲から配慮されていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が56.4%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が35.2%となっています。



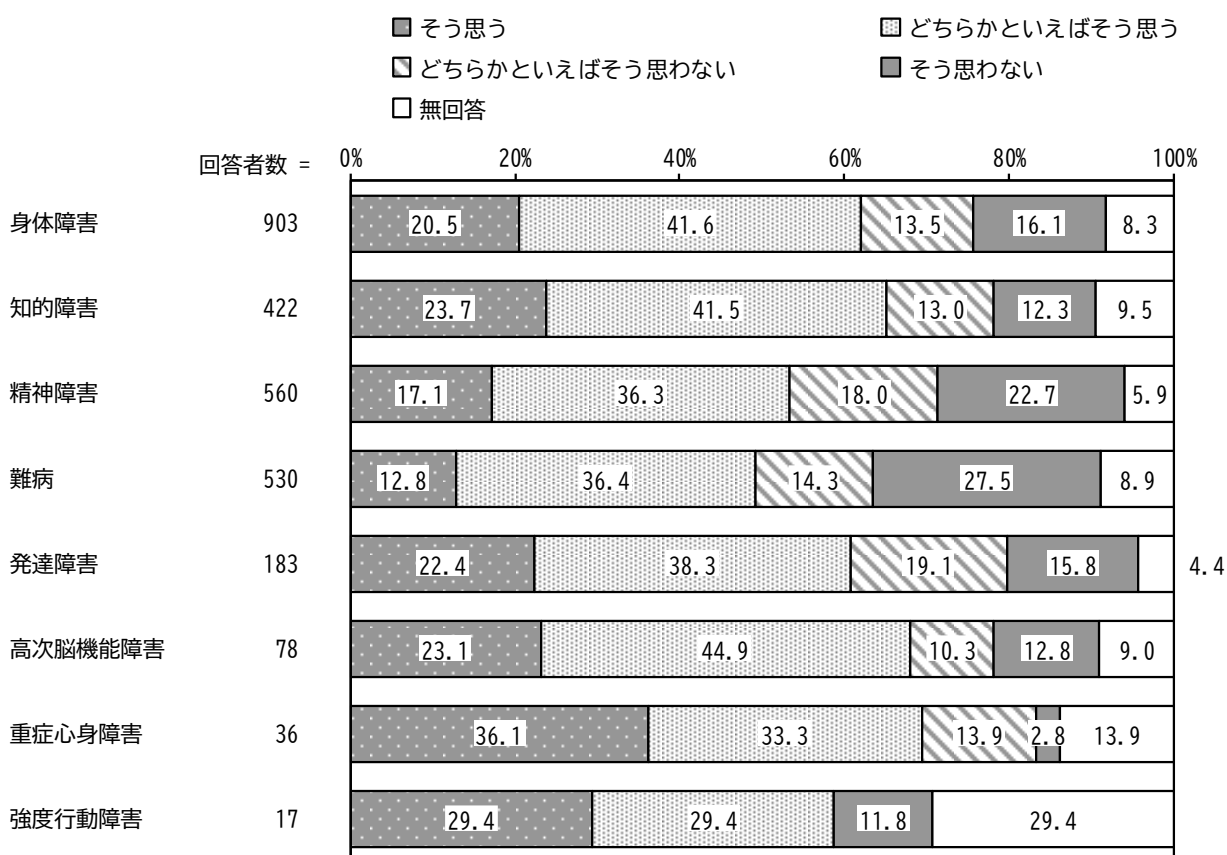
【年齢別】

年齢別にみると、75歳以上から「40～64歳」まで年齢が下がるほど“そう思わない”の割合が高くなっています。



【障害種別】

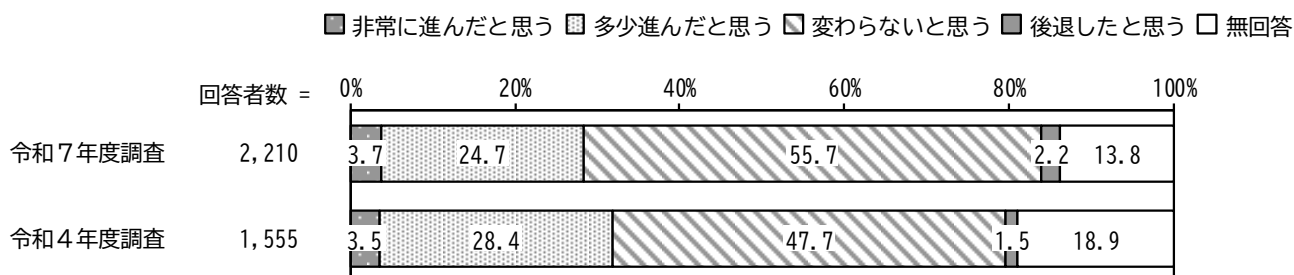
障害種別にみると、高次脳機能障害、重症心身障害で“そう思う”の割合が高くなっています。



問43 令和4年ごろ（3年ほど前）と比べて、江東区の障害者施策は充実したと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

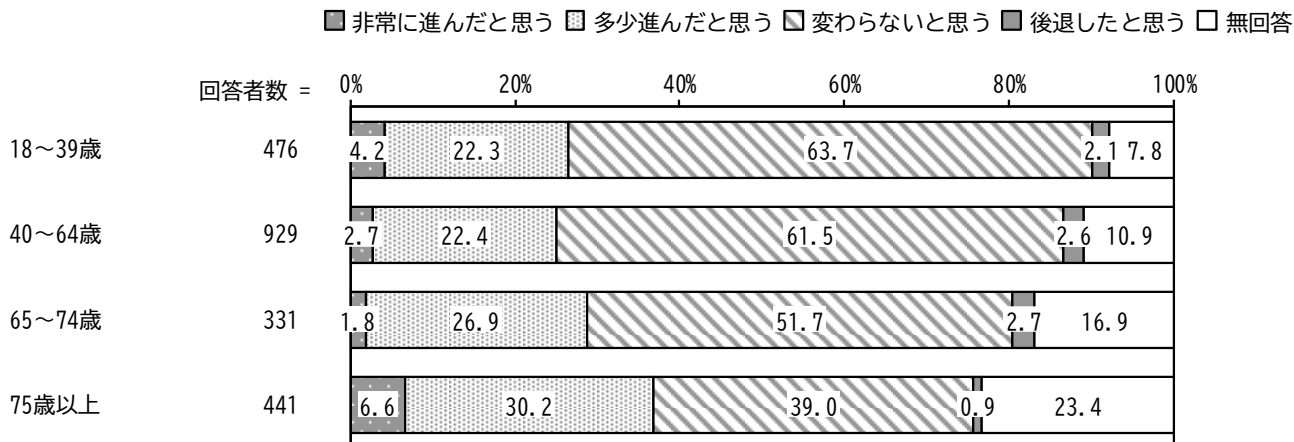
「変わらないと思う」の割合が55.7%と最も高く、次いで「多少進んだと思う」の割合が24.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「変わらないと思う」の割合が増加しています。



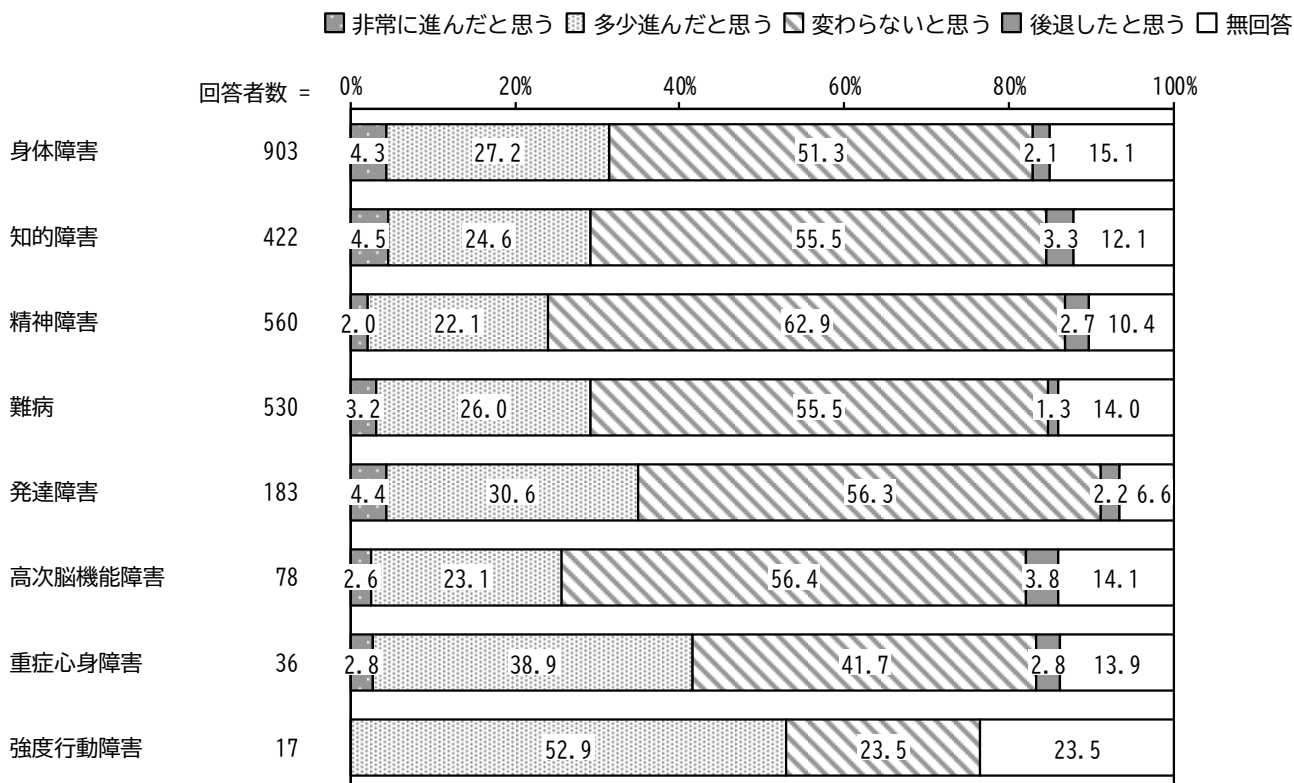
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「多少進んだと思う」の割合が高く、「変わらないと思う」の割合が低くなっています。



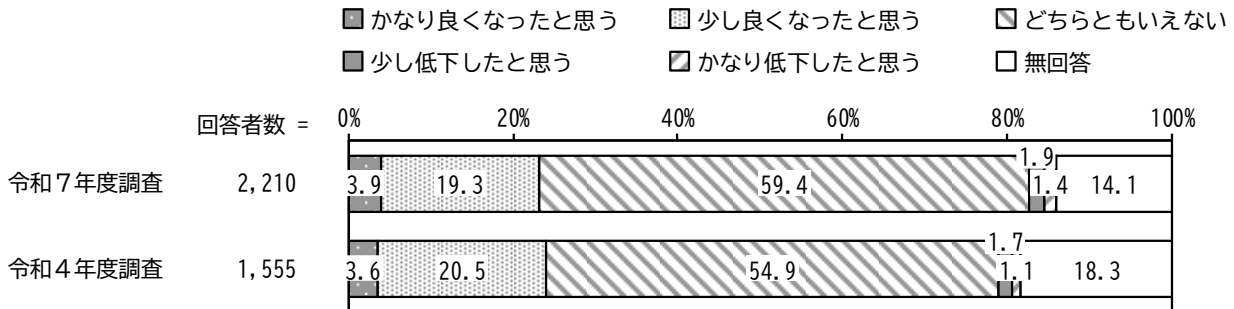
【障害種別】

障害種別にみると、強度行動障害で「多少進んだと思う」の割合が高く、「変わらないと思う」の割合が低くなっています。



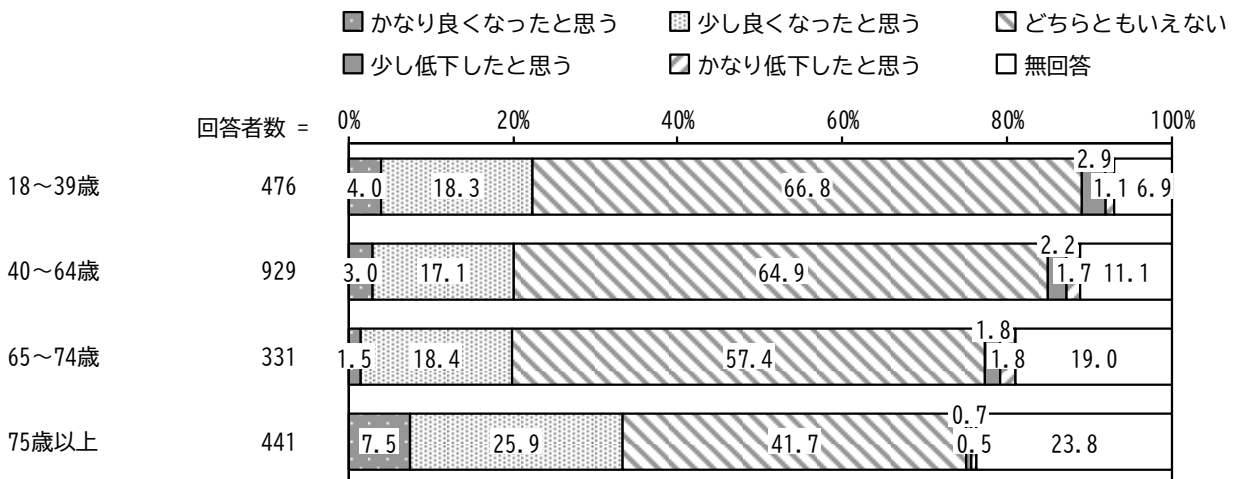
問 44 江東区の福祉サービスは、令和4年ごろ（3年ほど前）と比べて、変化していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「かなり良くなったと思う」「少し良くなったと思う」を合わせた“良くなった”の割合が23.2%、「少し低下したと思う」「かなり低下したと思う」を合わせた“低下した”の割合が3.3%となっています。



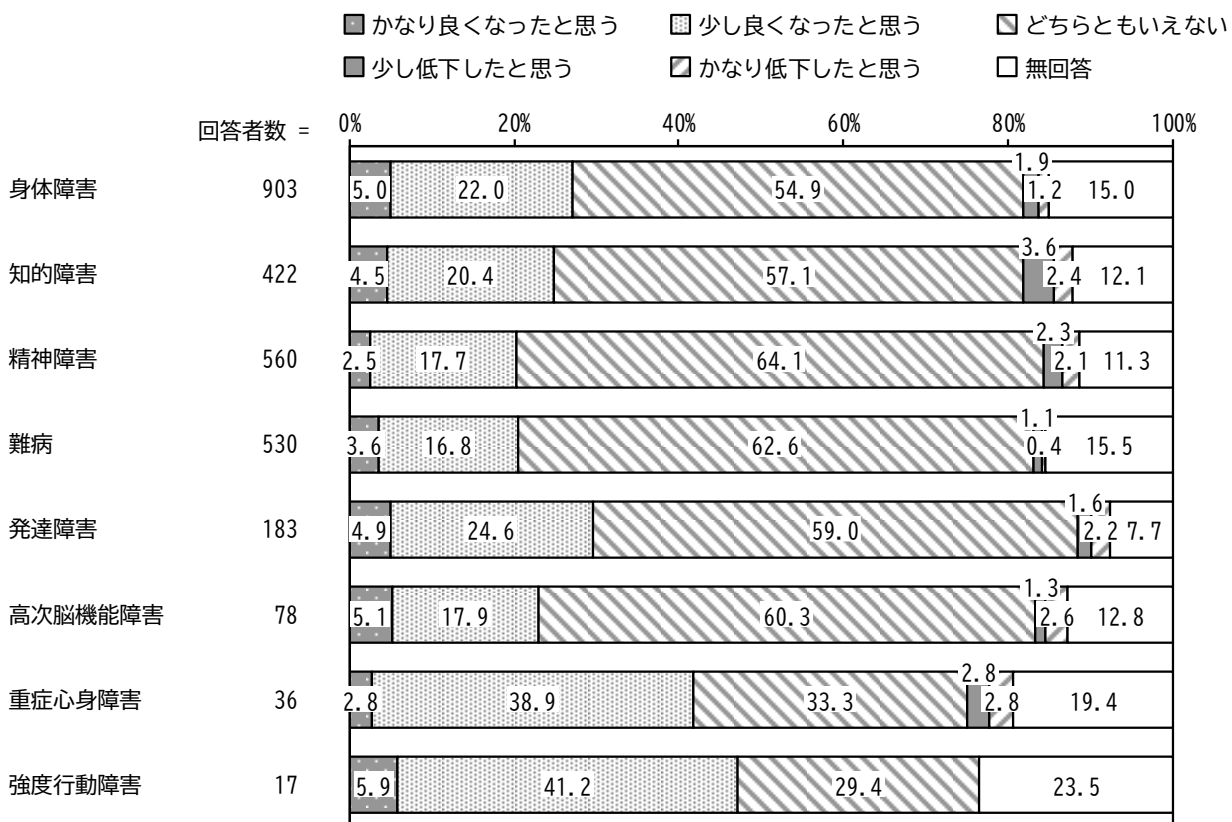
【年齢別】

年齢別にみると、「75歳以上」で“良くなった”の割合が高くなっています。



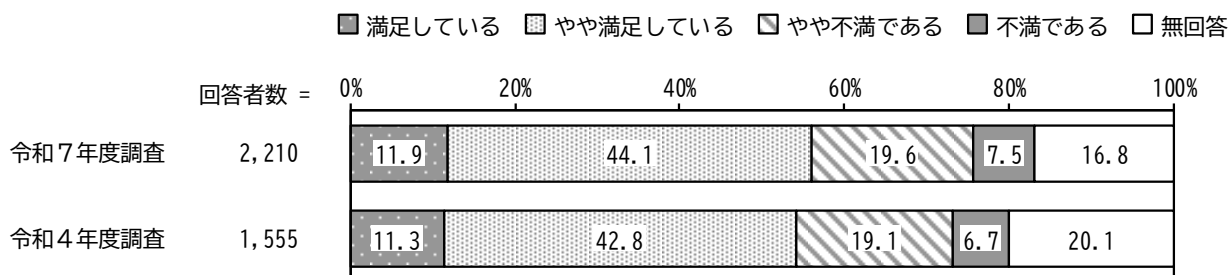
【障害種別】

障害種別にみると、強度行動障害で“良くなった”の割合が高くなっています。



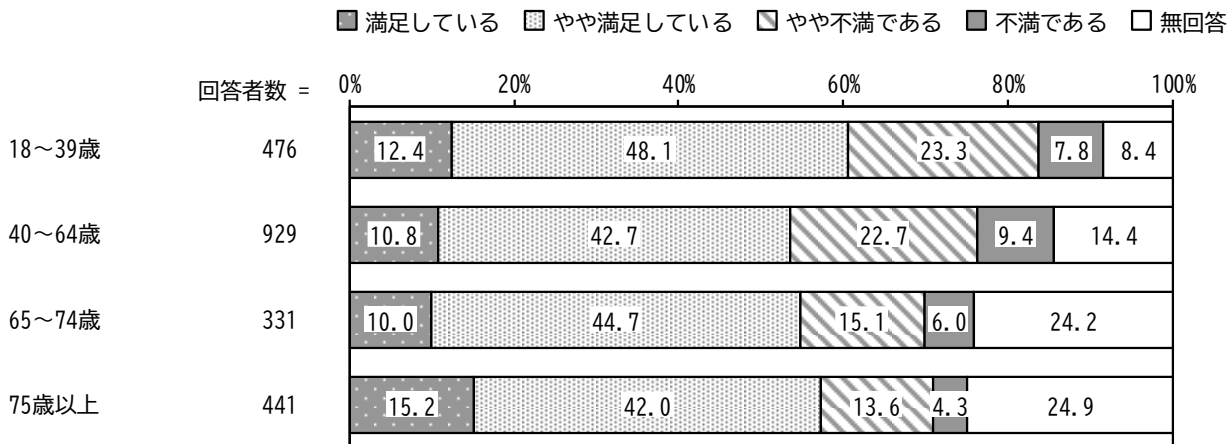
問 45 あなた（ご本人）は、障害者支援施策に満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「満足している」「やや満足している」を合わせた“満足している”の割合が 56.0%、「やや不満である」「不満である」を合わせた“不満である”の割合が 27.1%となっています。



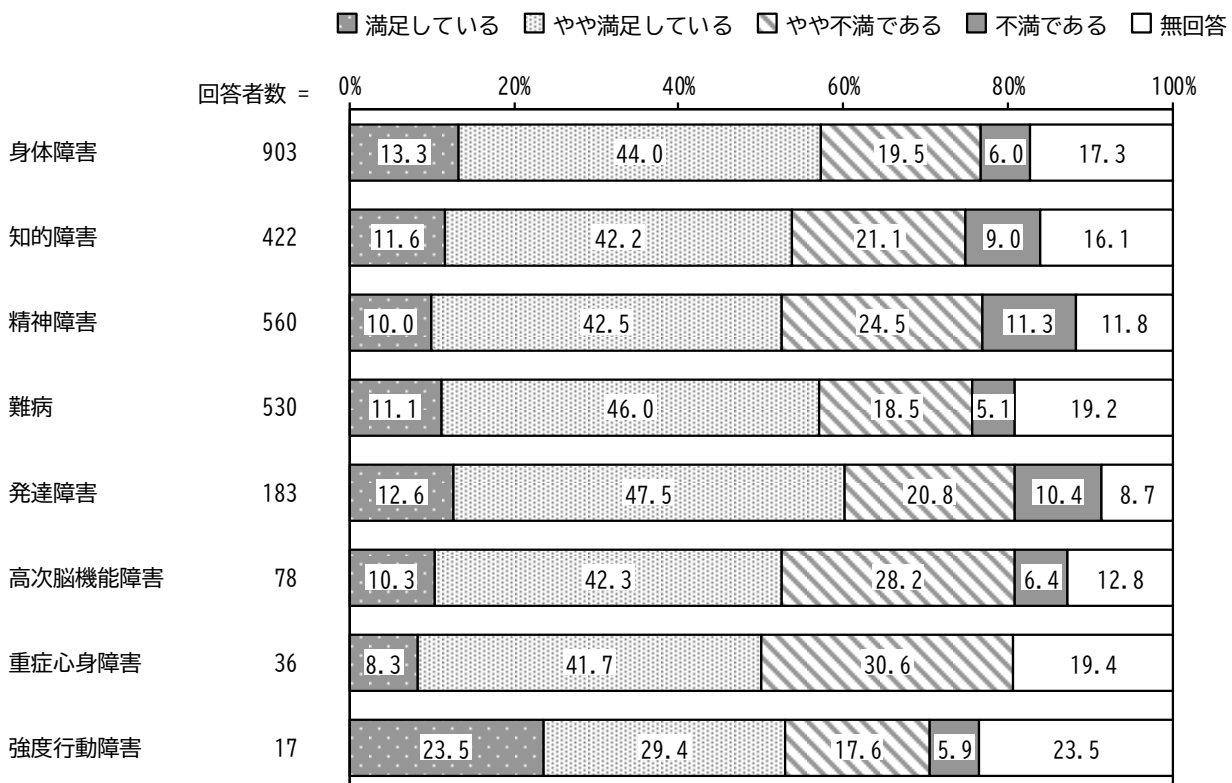
【年齢別】

年齢別にみると、「75歳以上」から「40～64歳」まで年齢が下がるほど“不満である”の割合が高くなっています。



【障害種別】

障害種別にみると、精神障害、高次脳機能障害で“不満である”の割合が高くなっています。



問 46 あなた（ご本人）が、周りの人から助けってもらったり、してもらってうれしかったことがあれば記入してください。

・公共交通機関での配慮・席譲りについて(94件)

バス等の公共交通機関の利用において周囲の手助けがある。

・障害や病気に対する理解・普通に接することについて(52件)

障害があるなしではなくて、普通に接してもらえる（健常者と変わりなく）ことがいちばん嬉しい。精神障害だと腫れもの扱いされるときがあってそれがすごく嫌なので。

・外出先での声かけ・見守り・道案内について(46件)

信号「青になりましたよ」「渡れますよ」と声をかけてもらえる様になりました。とても助かりますし、嬉しいです。

・外出先での物理的サポート（荷物・車いす・ドア開け等）について(45件)

段差のあるところで、進んで手伝いをかけてでてくれた人がいた。頼んでやってもらうことはあったが、これはうれしい。

・相談・精神的サポート・傾聴について(36件)

話を聞いてもらうこと。真剣に向き合ってもらうこと。

・職場・就労先での配慮・サポートについて(34件)

仕事中、困っている時にサポートしてくれる人がいるので安心できる。

・福祉サービス・福祉従事者からの支援・配慮について(34件)

病院へ行く日等はヘルパーさんが少し早く来て下さる時があります。とても助かります。ヘルパーさんに感謝を申しあげます。ヘルパーさんに会うのが楽しみです。

・転倒・体調不良・緊急時の救護について(32件)

急病時、救急車を呼んでもらった。

・家族・親族からの支援・配慮について(30件)

息子、娘達が色々気遣ってくれています。

・地域・ご近所づきあい（挨拶・声かけ等）について(28件)

地域の方々からいつも声をかけてもらう事が多く、気にかけてもらってる事を強く感じ有難く思っている。

・コミュニケーション・情報保障（筆談・代筆等）について(21件)

うまく言いたいことを表せなくてうろたえているところを、相手に汲みとってもらえて代弁してもらえたとき。

・ヘルプマークへの理解と配慮について(20件)

ヘルプマークを付けていることによって、周りの人から助けってもらったりしたことです。

・行政・役所窓口での対応・支援について(19件)

手帳や自立支援の更新手続きで区役所に行くたび優しく対応してもらっているので助かっています。いつもありがとうございます。

・医療機関・医療従事者からの支援・配慮について(18件)

地域のクリニックを利用した際、通院の頻度をゆるやかにしてもらった。すごく助かった。

・日常生活の支援（家事・買い物等）について(17件)

家の中の整理整頓。

・経済的支援・公的制度の利用について(15件)

障害手当をもらえたり無料バス券とか経済的な支援は助かる。

・施設や設備（エレベーター、バリアフリー等）の配慮について(15件)

玄関階段に手すりをつけてもらった。

・友人・知人からの支援・配慮について(13件)

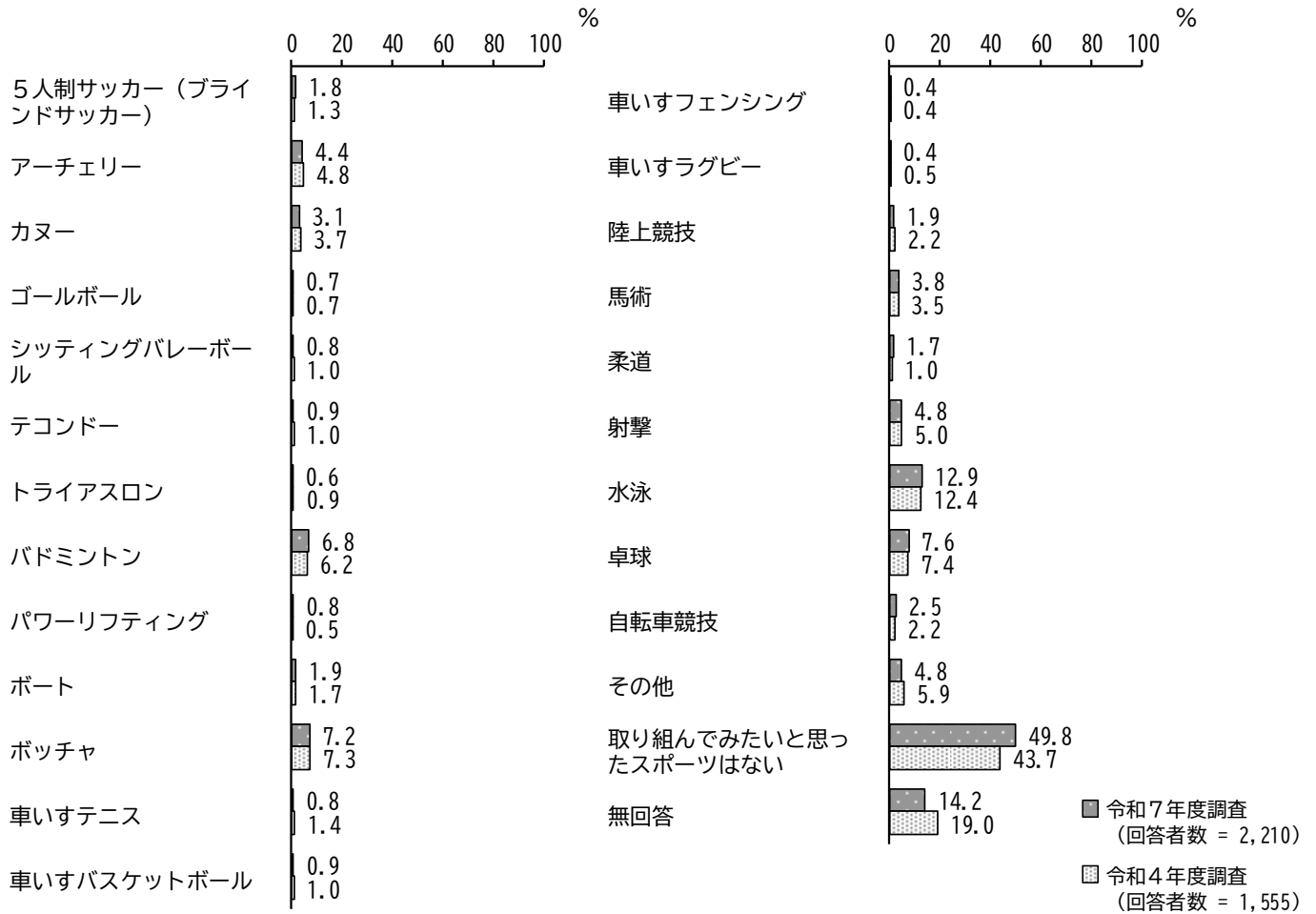
色々友人から助けもらっています！

・その他について(49件)

(9) 障害者スポーツについて

問 47 以下のスポーツのうち、取り組んでみたいと思ったスポーツは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「水泳」の割合が12.9%と最も高くなっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「バドミントン」「ボッチャ」「水泳」「卓球」の割合が高い傾向にあります。

単位：%

区分	回答者数 (件)	5人制サッカー (フラインドサッカー)	アーチェリー	カヌー	ゴルフ	シッティング バレーボール	テコンドー	トライアスロン	バドミントン	パワーリフティング	ボート	ボッチャ	車いすテニス
全体	2,210	1.8	4.4	3.1	0.7	0.8	0.9	0.6	6.8	0.8	1.9	7.2	0.8
18～39歳	476	3.4	6.1	4.4	1.9	0.8	1.7	1.1	11.6	1.1	2.5	13.7	2.1
40～64歳	929	2.3	5.4	4.2	0.6	1.2	1.1	0.8	7.6	1.1	2.8	6.5	0.5
65～74歳	331	0.0	1.5	1.8	0.0	0.6	0.0	0.0	3.9	0.6	0.6	4.8	0.3
75歳以上	441	0.2	2.7	0.2	0.0	0.0	0.2	0.2	2.7	0.0	0.0	3.4	0.2

区分	車いすバスケットボール	車いすフェンシング	車いすラグビー	陸上競技	馬術	柔道	射撃	水泳	卓球	自転車競技	その他	取り組んでみたいと思 ったスポーツはない	無回答
全体	0.9	0.4	0.4	1.9	3.8	1.7	4.8	12.9	7.6	2.5	4.8	49.8	14.2
18～39歳	1.3	0.8	0.6	3.8	5.7	3.6	6.3	18.5	10.3	4.0	5.5	41.4	8.2
40～64歳	1.1	0.3	0.5	2.0	5.3	1.7	6.0	13.8	7.9	3.2	5.9	51.0	9.0
65～74歳	0.6	0.0	0.0	1.2	0.3	0.3	2.4	11.5	8.5	1.2	4.8	52.0	17.8
75歳以上	0.5	0.2	0.2	0.5	1.4	0.7	2.0	5.7	4.3	0.0	1.8	55.1	27.7

【障害種別】

障害種別にみると、知的障害、重症心身障害で「ボッチャ」の割合が高くなっています。

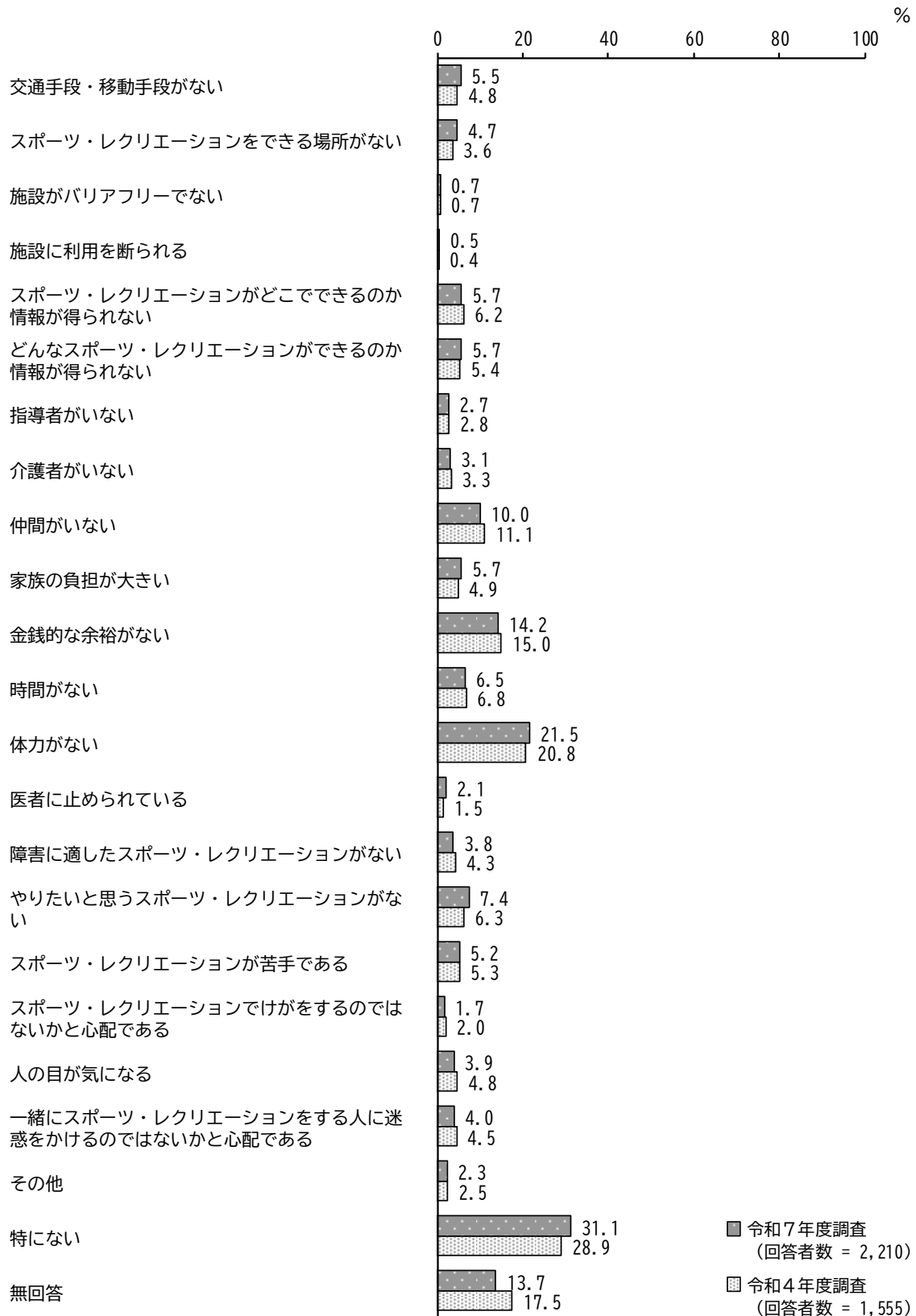
単位：％

区分	回答者数(件)	5人制サッカー(ブラインドサッカー)	アーチェリー	カヌー	ゴルフボール	シッティングバレーボール	テコンドー	トライアスロン	バドミントン	パワーリフティング	ボート	ボッチャ	車いすテニス
全体	2,210	1.8	4.4	3.1	0.7	0.8	0.9	0.6	6.8	0.8	1.9	7.2	0.8
身体障害	903	1.0	4.4	2.7	0.3	0.7	0.6	0.3	4.3	0.6	1.8	7.2	0.6
知的障害	422	3.3	1.7	2.6	1.9	0.9	0.7	0.7	7.6	0.5	1.4	15.9	1.4
精神障害	560	2.3	6.1	4.3	1.3	0.9	1.3	0.7	8.6	0.7	2.7	6.4	0.7
難病	530	0.8	4.2	3.4	0.6	0.6	0.6	0.8	6.6	0.8	1.5	4.9	0.4
発達障害	183	2.7	7.1	6.6	2.7	1.1	1.1	1.1	9.8	1.1	4.9	9.8	1.1
高次脳機能障害	78	1.3	6.4	3.8	2.6	2.6	1.3	0.0	3.8	2.6	3.8	6.4	0.0
重症心身障害	36	0.0	2.8	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	2.8	13.9	2.8
強度行動障害	17	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0

区分	車いすバスケットボール	車いすフェンシング	車いすラグビー	陸上競技	馬術	柔道	射撃	水泳	卓球	自転車競技	その他	取り組んでみたいと思 ったスポーツはない	無回答
全体	0.9	0.4	0.4	1.9	3.8	1.7	4.8	12.9	7.6	2.5	4.8	49.8	14.2
身体障害	0.9	0.4	0.3	1.4	2.5	1.4	3.9	11.8	6.6	2.2	4.9	50.6	16.2
知的障害	1.2	0.7	0.5	3.3	2.4	1.4	2.6	15.9	8.3	2.8	5.7	41.7	18.5
精神障害	0.5	0.2	0.2	2.1	6.1	3.0	6.4	14.6	11.1	2.7	6.3	49.8	7.5
難病	0.6	0.2	0.2	1.9	4.2	1.3	5.8	11.9	4.7	2.6	3.6	53.6	14.3
発達障害	1.1	0.5	0.5	4.4	6.6	4.4	9.3	14.8	9.8	4.4	8.2	42.1	8.7
高次脳機能障害	2.6	1.3	1.3	2.6	6.4	0.0	7.7	10.3	10.3	1.3	9.0	48.7	12.8
重症心身障害	2.8	2.8	0.0	2.8	2.8	0.0	5.6	2.8	2.8	0.0	8.3	44.4	27.8
強度行動障害	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	11.8	47.1	23.5

問 48 あなた（ご本人）が、スポーツ・レクリエーションを行う際に困っていることは何ですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「体力がない」の割合が21.5%と最も高く、次いで「金銭的な余裕がない」の割合が14.2%、「仲間がない」の割合が10.0%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「時間がない」「やりたいと思うスポーツ・レクリエーションがない」の割合が高い傾向にあり、「75歳以上」から「40～64歳」まで年齢が下がるほど「金銭的な余裕がない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	交通手段・移動手段がない	スポーツ・レクリエーションをできる場所がない	施設がバリアフリーでない	施設に利用を断られる	スポーツ・レクリエーションがどこでもできるのか情報が得られない	どんなスポーツ・レクリエーションができるのか情報が得られない	指導者がいない
全体	2,210	5.5	4.7	0.7	0.5	5.7	5.7	2.7
18～39歳	476	5.9	8.4	0.6	0.6	9.2	6.9	2.9
40～64歳	929	5.2	4.4	0.8	0.5	5.8	6.1	3.3
65～74歳	331	5.4	4.2	1.2	0.0	5.1	6.6	2.1
75歳以上	441	5.9	1.6	0.5	0.9	2.0	2.9	1.6

区分	介護者がいない	仲間がいない	家族の負担が大きい	金銭的な余裕がない	時間がない	体力がない	医者に止められている	障害に適したスポーツ・レクリエーションがない
全体	3.1	10.0	5.7	14.2	6.5	21.5	2.1	3.8
18～39歳	6.1	14.5	10.9	14.7	10.3	16.8	1.1	5.7
40～64歳	2.0	10.4	3.7	18.3	8.2	23.8	2.6	2.7
65～74歳	2.4	5.7	3.0	10.6	2.7	22.7	2.7	4.2
75歳以上	2.7	7.5	6.1	7.3	0.9	21.5	1.8	3.6

区分	やりたいと思うスポーツ・レクリエーションがない	スポーツ・レクリエーションが苦手である	スポーツ・レクリエーションだけがするのではないかと心配である	人の目が気になる	一緒にスポーツ・レクリエーションをする人に迷惑をかけるのではないかと心配である	その他	特になし	無回答
全体	7.4	5.2	1.7	3.9	4.0	2.3	31.1	13.7
18～39歳	10.7	7.4	1.9	5.9	5.5	1.9	27.3	6.9
40～64歳	7.1	5.0	1.7	5.5	4.3	3.3	30.9	10.8
65～74歳	8.5	5.4	1.8	1.2	3.0	0.9	36.0	13.6
75歳以上	4.1	3.2	1.6	0.9	2.7	1.8	32.4	26.3

【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「交通手段・移動手段がない」「介護者がいない」、発達障害で「スポーツ・レクリエーションをできる場所がない」、強度行動障害で「施設に利用を断られる」、精神障害で「スポーツ・レクリエーションがどこでできるのか情報が得られない」「金銭的な余裕がない」、精神障害、発達障害で「仲間がいない」、知的障害、発達障害、強度行動障害で「家族の負担が大きい」、精神障害、難病、強度行動障害で「体力がない」、高次脳機能障害、強度行動障害で「障害に適したスポーツ・レクリエーションがない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	交通手段・移動手段がない	スポーツ・レクリエーションをできる場所がない	施設がバリアフリーでない	施設に利用を断られる	施設に利用できる情報が得られない	スポーツ・レクリエーションがどこでできるのか情報が得られない	どんなスポーツ・レクリエーションができるのか情報が得られない	指導者がいない
全体	2,210	5.5	4.7	0.7	0.5	5.7	5.7	2.7	
身体障害	903	7.0	4.1	1.4	1.0	4.8	5.1	2.7	
知的障害	422	6.4	4.0	0.2	0.5	5.7	6.6	4.3	
精神障害	560	5.5	5.7	0.0	0.9	10.7	10.0	3.9	
難病	530	4.3	3.8	0.6	0.4	4.3	4.2	2.3	
発達障害	183	3.8	10.4	0.0	1.1	7.1	9.3	2.7	
高次脳機能障害	78	5.1	3.8	1.3	1.3	5.1	6.4	3.8	
重症心身障害	36	11.1	5.6	0.0	0.0	5.6	5.6	2.8	
強度行動障害	17	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0	5.9	5.9	

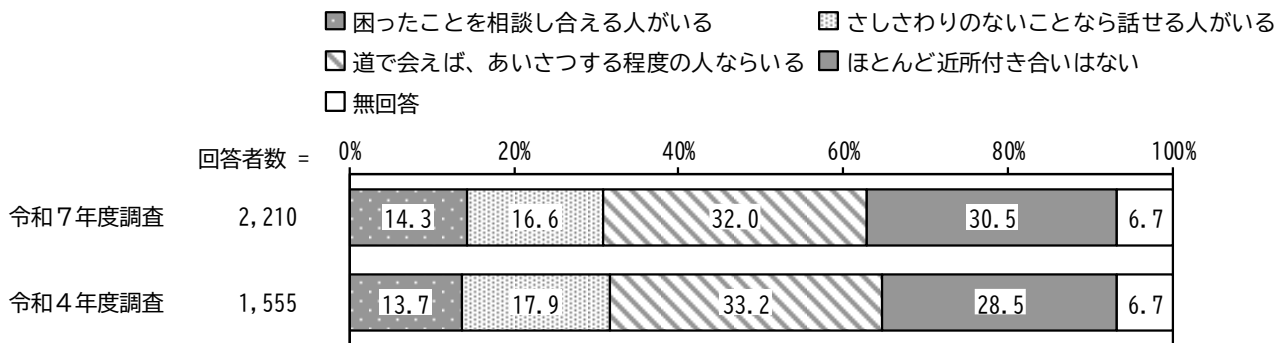
区分	介護者がいない	仲間がいない	家族の負担が大きい	金銭的な余裕がない	時間がない	体力がない	医師に止められている	障害に適したスポーツ・レクリエーションがない
全体	3.1	10.0	5.7	14.2	6.5	21.5	2.1	3.8
身体障害	4.2	6.8	6.8	9.5	5.1	20.9	2.3	5.9
知的障害	9.0	9.0	14.5	7.1	2.4	10.9	0.7	4.7
精神障害	1.6	16.8	3.9	27.7	7.9	29.5	2.3	2.5
難病	1.7	6.2	2.8	12.1	9.1	27.0	3.8	3.2
発達障害	4.4	19.7	14.8	21.3	9.8	21.3	0.5	2.2
高次脳機能障害	2.6	9.0	6.4	15.4	5.1	25.6	2.6	12.8
重症心身障害	13.9	0.0	8.3	11.1	2.8	16.7	2.8	8.3
強度行動障害	5.9	11.8	11.8	5.9	0.0	29.4	5.9	11.8

区分	やりたいと思うスポーツ・レクリエーションがない	スポーツ・レクリエーションが苦手である	スポーツ・レクリエーションだけがするのではないかと心配である	人の目が気になる	一緒にスポーツ・レクリエーションをする人に迷惑をかけるのではないかと心配である	その他	特にない	無回答
全体	7.4	5.2	1.7	3.9	4.0	2.3	31.1	13.7
身体障害	5.5	3.8	2.0	2.8	4.1	2.7	31.5	15.8
知的障害	10.7	6.2	1.4	4.7	6.4	2.1	29.9	16.4
精神障害	9.5	6.1	1.3	7.1	4.8	1.8	22.9	8.4
難病	5.8	4.5	1.9	2.3	2.3	2.3	34.5	13.2
発達障害	8.7	9.8	1.1	8.2	7.1	3.8	24.0	6.0
高次脳機能障害	6.4	3.8	3.8	1.3	2.6	5.1	24.4	14.1
重症心身障害	0.0	0.0	2.8	0.0	8.3	2.8	22.2	30.6
強度行動障害	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	17.6	29.4

(10) 共生社会について

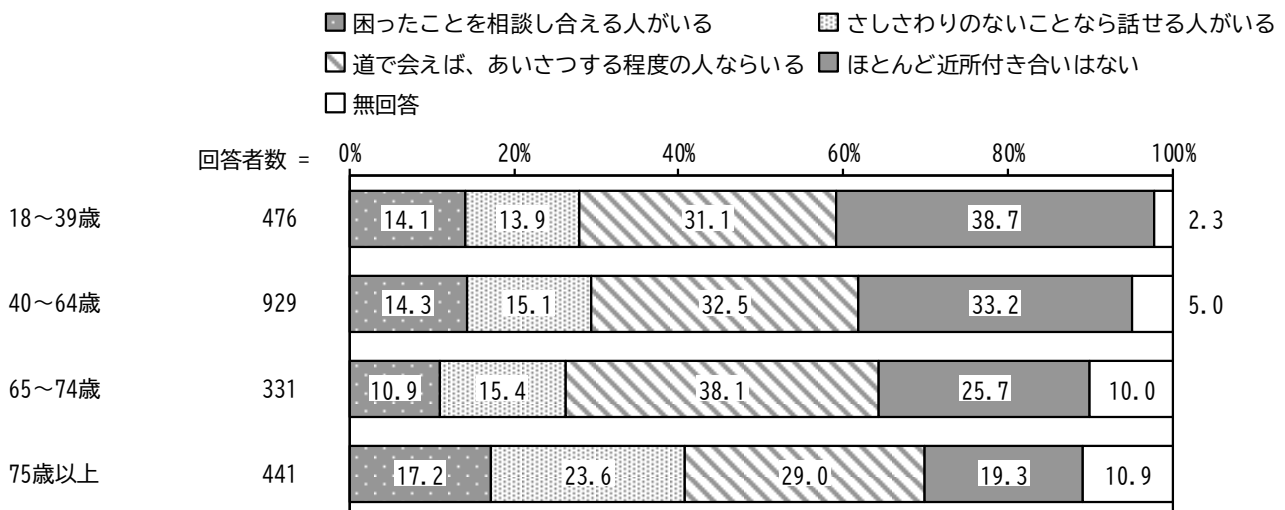
問 49 ご家庭とご近所とのお付き合いは、どの程度ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「道で会えば、あいさつする程度の人ならいる」の割合が 32.0%と最も高く、次いで「ほとんど近所付き合いはない」の割合が 30.5%、「さしさわりのないことなら話せる人がいる」の割合が 16.6%となっています。



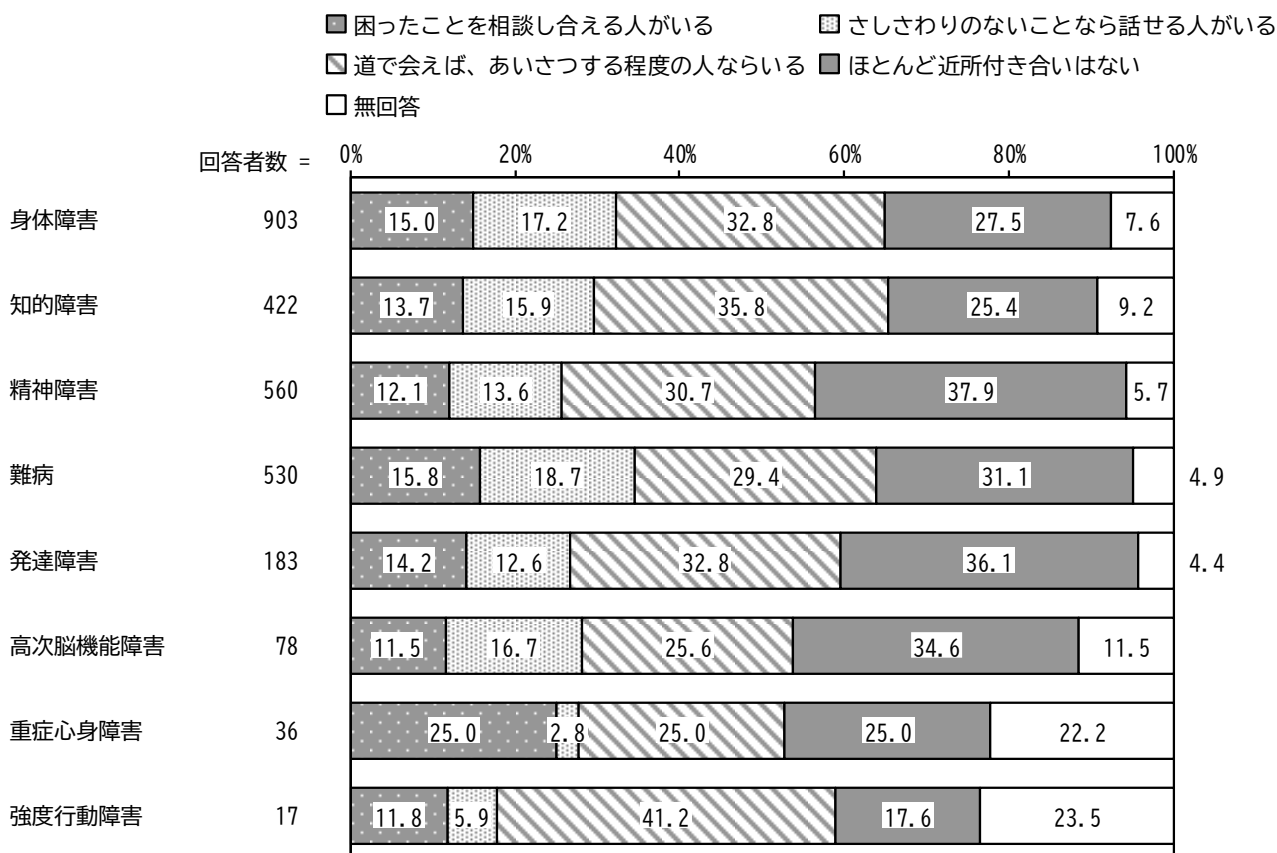
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「さしさわりのないことなら話せる人がいる」の割合が高い傾向にあり、「ほとんど近所付き合いはない」の割合が低く、「18～39歳」から「65～74歳」まで年齢が上がるほど「道で会えば、あいさつする程度の人ならいる」の割合が高くなっています。



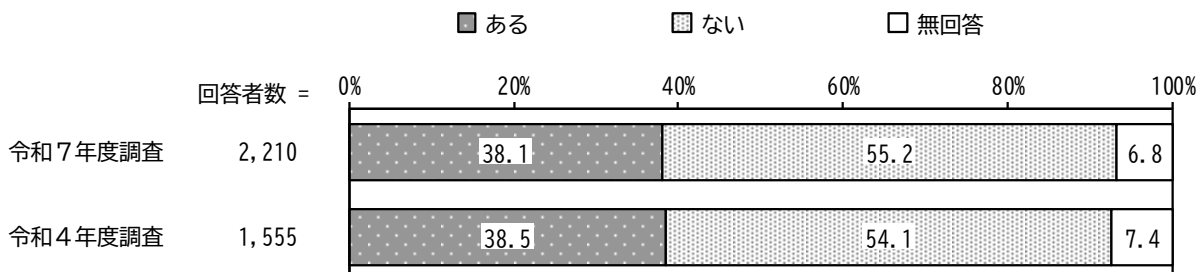
【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「困ったことを相談し合える人がいる」の割合が高く、重症心身障害で「さしさわりのないことなら話せる人がいる」、強度行動障害で「ほとんど近所付き合いはない」の割合が低くなっています。



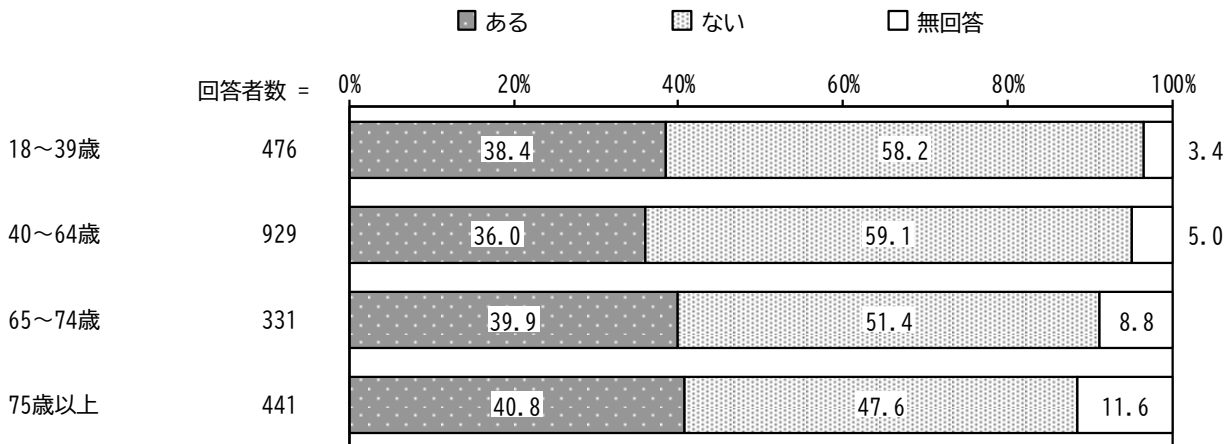
問 50 あなた（ご本人）は、今まで外出先で困ったとき、知らない方から手助けや配慮をしてもらった経験がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「ある」の割合が38.1%、「ない」の割合が55.2%となっています。



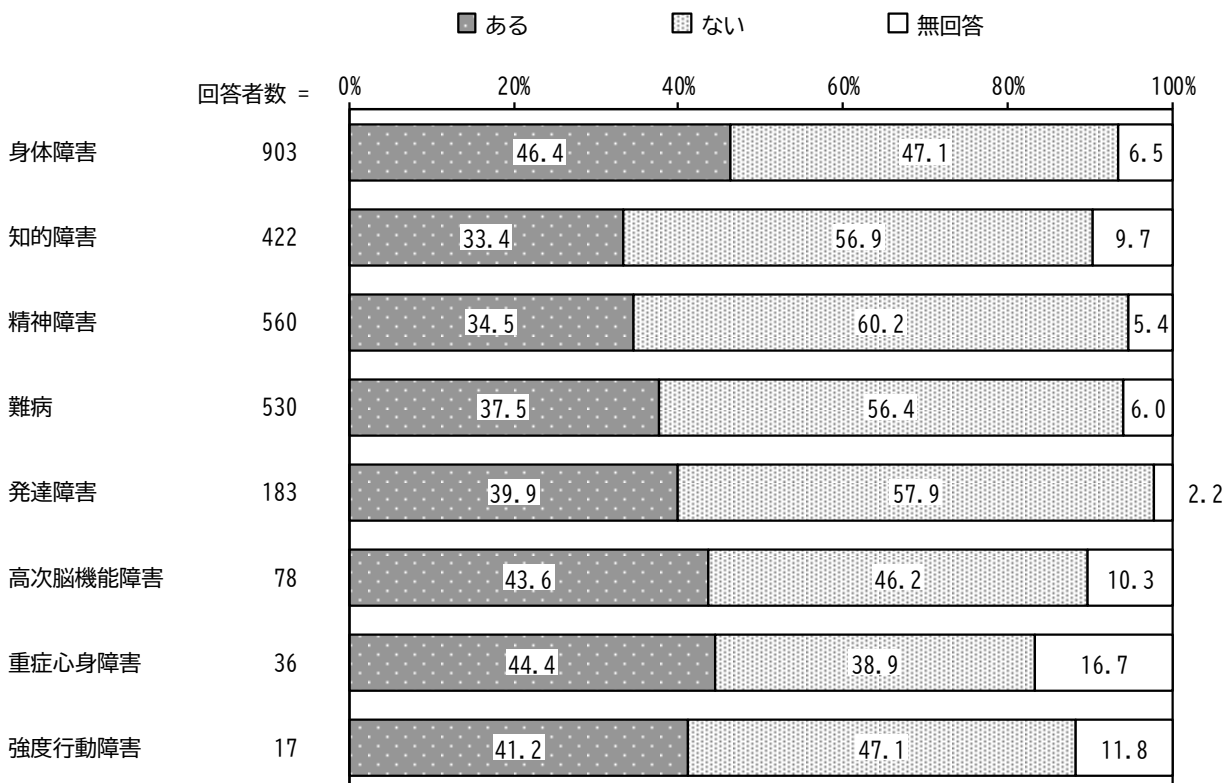
【年齢別】

年齢別にみると、「40～64歳」から「75歳以上」まで年齢が上がるほど「ある」の割合が高くなっています。



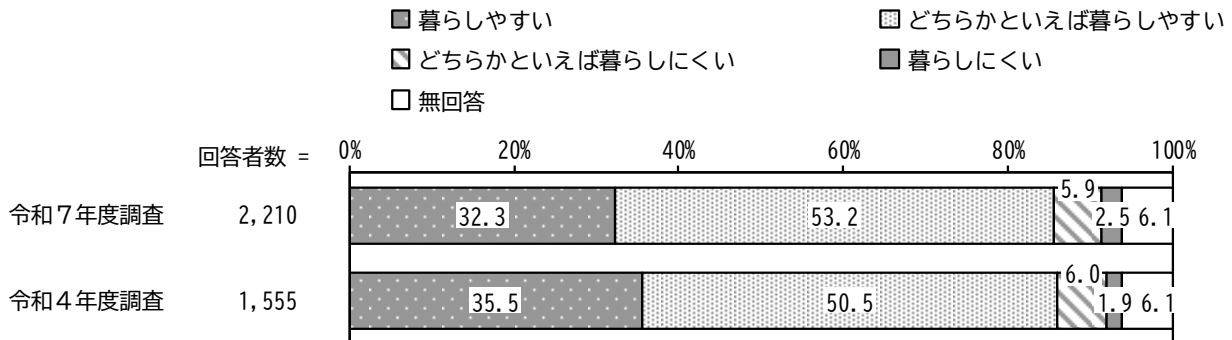
【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「ない」の割合が低くなっています。



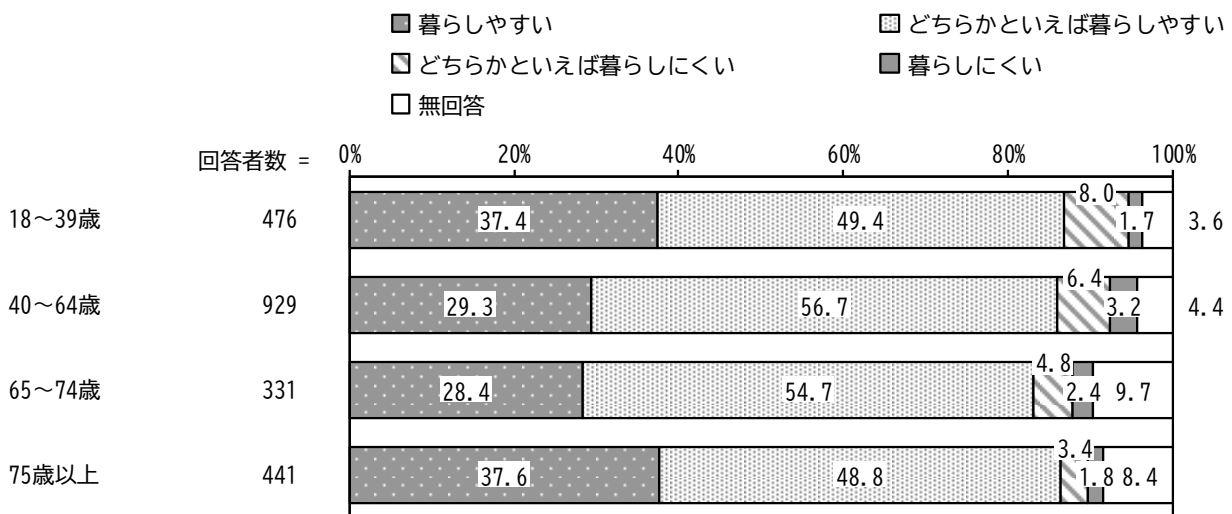
問51 あなた（ご本人）にとって、江東区での暮らしはいかがですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「暮らしやすい」「どちらかといえば暮らしやすい」を合わせた「暮らしやすい」の割合が85.5%、「どちらかといえば暮らしにくい」「暮らしにくい」を合わせた「暮らしにくい」の割合が8.4%となっています。



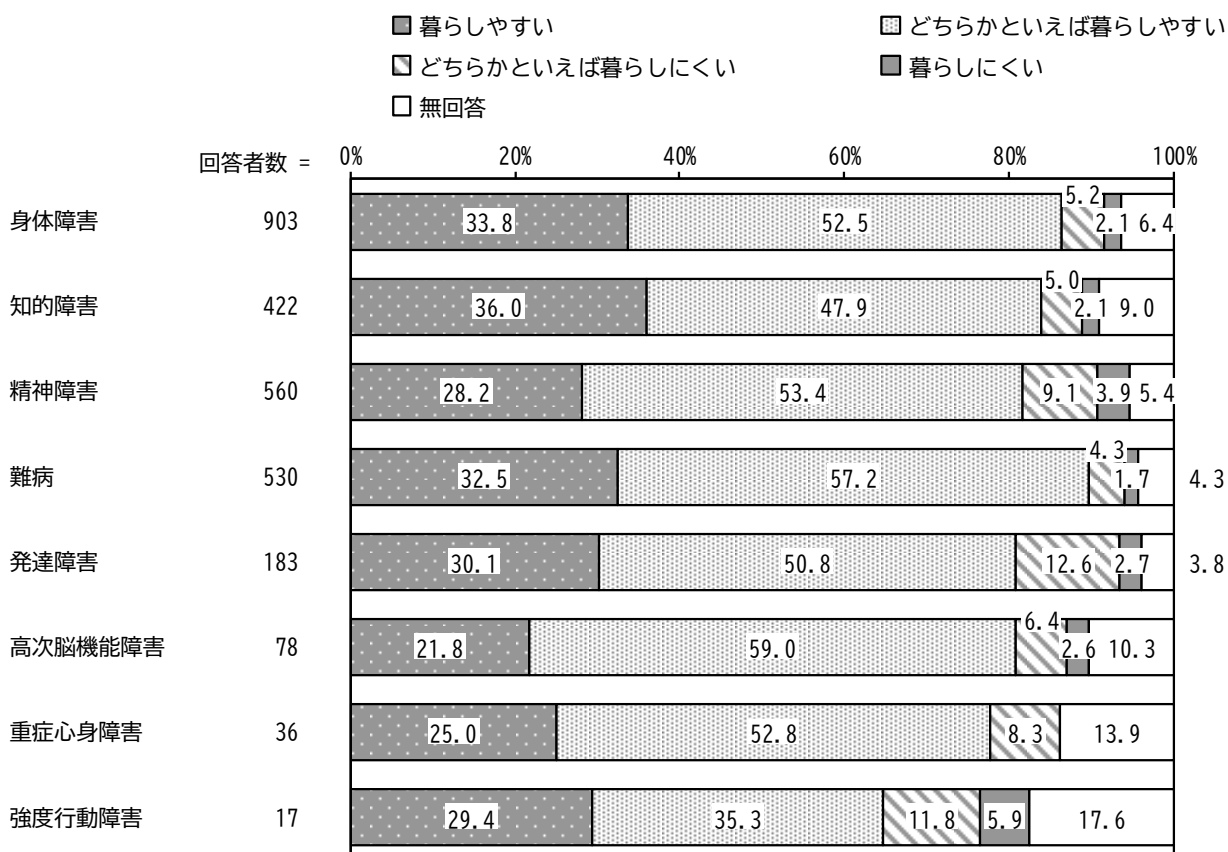
【年齢別】

年齢別にみると、「75歳以上」から「40～64歳」まで年齢が下がるほど「どちらかといえば暮らしやすい」の割合が高くなっています。



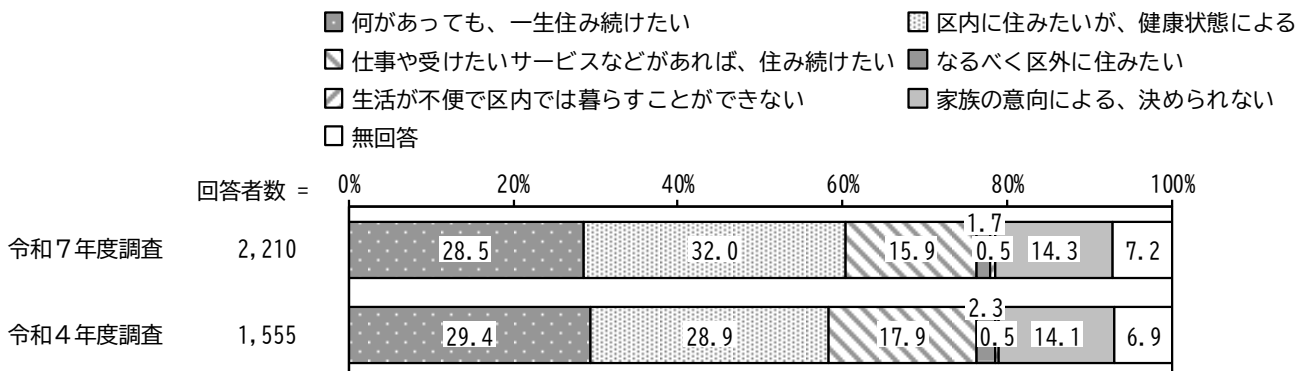
【障害種別】

障害種別にみると、強度行動障害で“暮らしやすい”の割合が低くなっています。



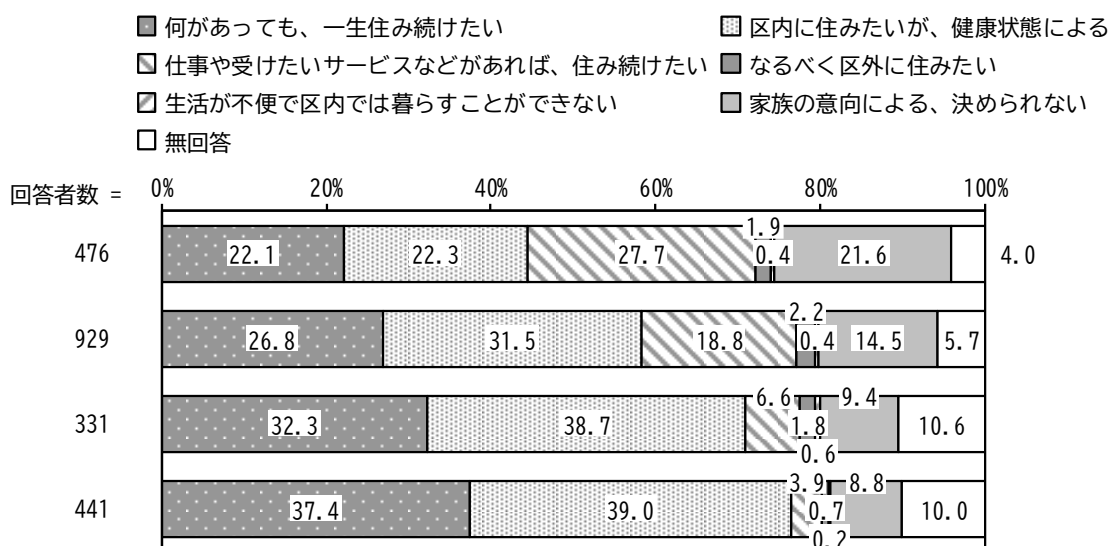
問 52 あなた（ご本人）は、江東区に住み続けたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「区内に住みたいが、健康状態による」の割合が 32.0%と最も高く、次いで「何があっても、一生住み続けたい」の割合が 28.5%、「仕事や受けたいサービスなどがあれば、住み続けたい」の割合が 15.9%となっています。



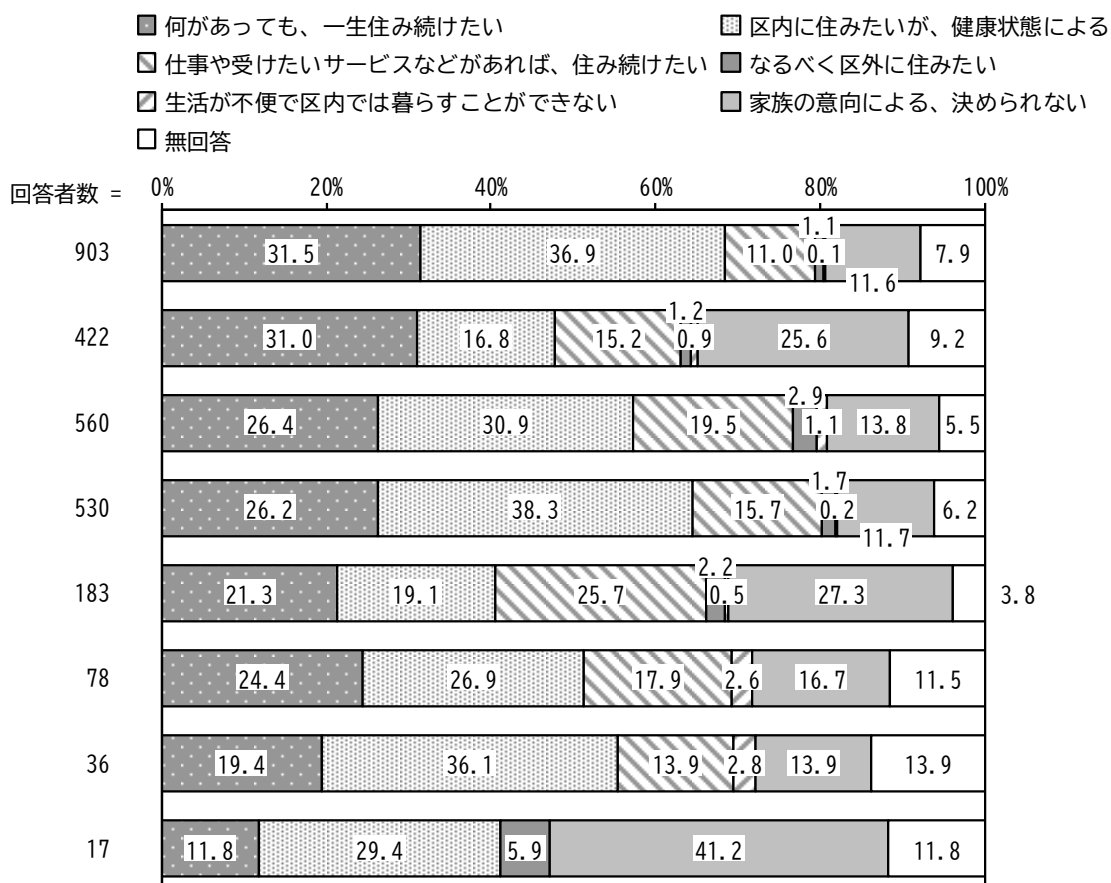
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「何があっても、一生住み続けたい」「区内に住みたいが、健康状態による」の割合が高く、「仕事や受けたいサービスなどがあれば、住み続けたい」「家族の意向による、決められない」の割合が低くなっています。



【障害種別】

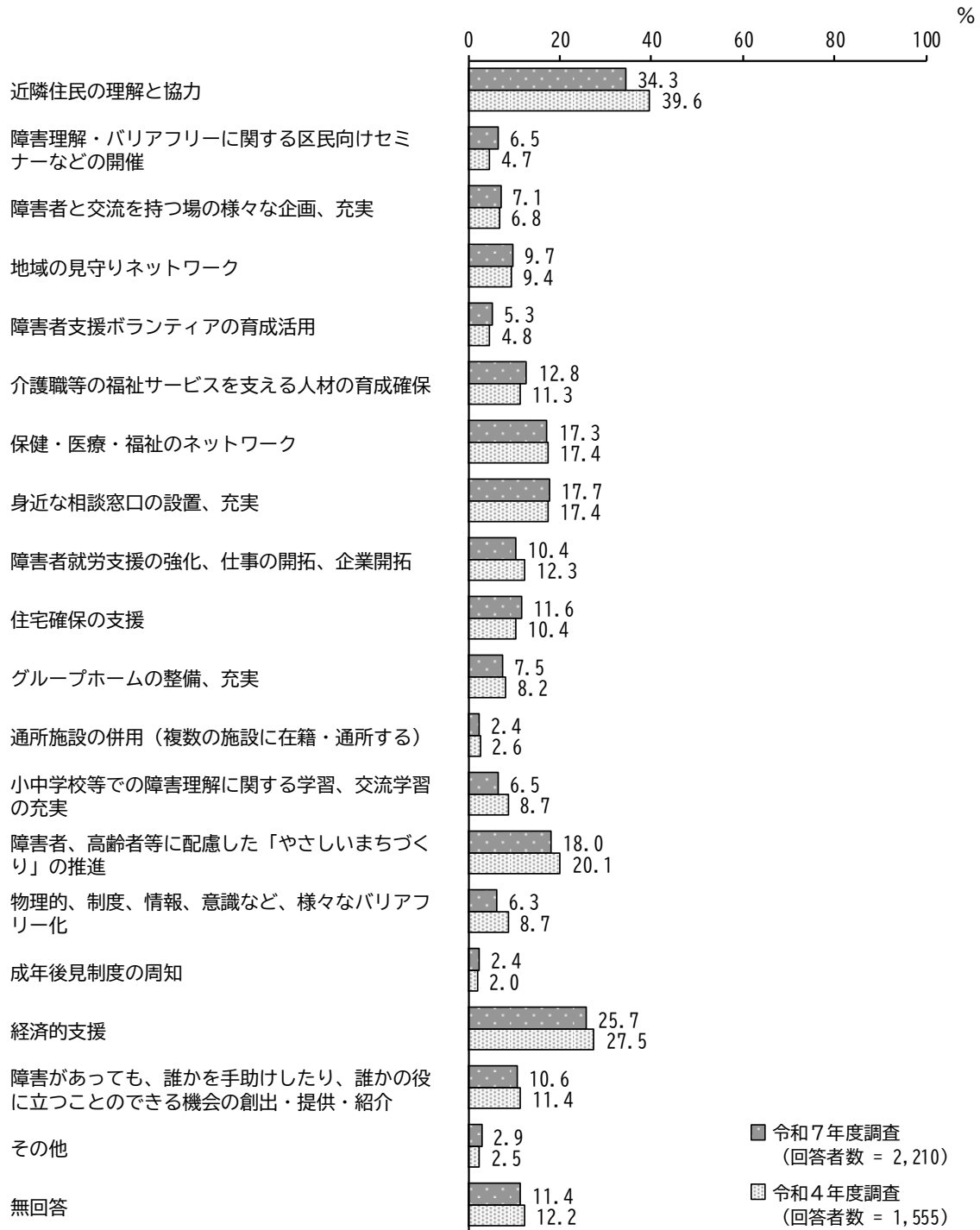
障害種別にみると、強度行動障害で「家族の意向による、決められない」の割合が高く、強度行動障害で「何があっても、一生住み続けたい」、知的障害、発達障害で「区内に住みたいが、健康状態による」の割合が低くなっています。



問 53 障害のある人もない人も、共に生活できる地域社会の実現のためにはどのようなことが大切だと考えますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「近隣住民の理解と協力」の割合が34.3%と最も高く、次いで「経済的支援」の割合が25.7%、「障害者、高齢者等に配慮した「やさしいまちづくり」の推進」の割合が18.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「近隣住民の理解と協力」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「障害者就労支援の強化、仕事の開拓、企業開拓」「小中学校等での障害理解に関する学習、交流学習の充実」の割合が高く、「障害者、高齢者等に配慮した「やさしいまちづくり」の推進」の割合が低く、「75歳以上」から「40～64歳」まで年齢が下がるほど「保健・医療・福祉のネットワーク」「住宅確保の支援」「経済的支援」の割合が高く、「近隣住民の理解と協力」「介護職等の福祉サービスを支える人材の育成確保」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	近隣住民の理解と協力	障害理解・バリアフリーに関する区民向けセミナーなどの開催	障害者と交流を持つ場の様々な企画 充実	地域の見守りネットワーク	障害者支援ボランティアの育成活用	介護職等の福祉サービスを支える人材の育成確保
全体	2,210	34.3	6.5	7.1	9.7	5.3	12.8
18～39歳	476	32.8	8.0	11.1	8.4	5.3	13.4
40～64歳	929	32.9	6.9	7.3	9.9	5.4	10.1
65～74歳	331	33.2	5.4	4.2	7.9	7.6	14.5
75歳以上	441	40.8	4.5	5.2	12.5	3.6	17.2

区分	保健・医療・福祉のネットワーク	身近な相談窓口の設置、充実	障害者就労支援の強化、仕事の開拓、企業開拓	住宅確保の支援	グループホームの整備、充実	通所施設の併用(複数の施設に在籍・通所する)	小中学校等での障害理解に関する学習、交流学習の充実
全体	17.3	17.7	10.4	11.6	7.5	2.4	6.5
18～39歳	13.0	16.6	19.7	10.9	14.7	4.4	11.3
40～64歳	21.1	18.6	11.6	13.9	7.0	1.6	5.8
65～74歳	19.3	18.7	3.9	11.2	2.4	0.9	4.5
75歳以上	12.9	16.1	2.3	8.2	4.5	3.2	4.3

区分	障害者、高齢者等に配慮した「やさしいまちづくり」の推進	物理的、制度的、情報、意識など、様々なバリアフリー化	成年後見制度の周知	経済的支援	障害があっても、誰かを手助けしたり、誰かの役に立つことのできる機会の創出・提供・紹介	その他	無回答
全体	18.0	6.3	2.4	25.7	10.6	2.9	11.4
18～39歳	11.8	4.8	3.4	29.2	12.0	4.6	5.3
40～64歳	15.6	7.8	2.7	30.9	10.1	3.4	8.6
65～74歳	24.5	8.8	1.5	18.7	10.3	1.8	13.6
75歳以上	25.9	3.2	1.6	16.3	10.0	0.9	20.2

【障害種別】

障害種別にみると、強度行動障害で「近隣住民の理解と協力」、重症心身障害で「介護職等の福祉サービスを支える人材の育成確保」「通所施設の併用（複数の施設に在籍・通所する）」、発達障害で「障害者就労支援の強化、仕事の開拓、企業開拓」、知的障害で「グループホームの整備、充実」の割合が高くなっています。

単位：％

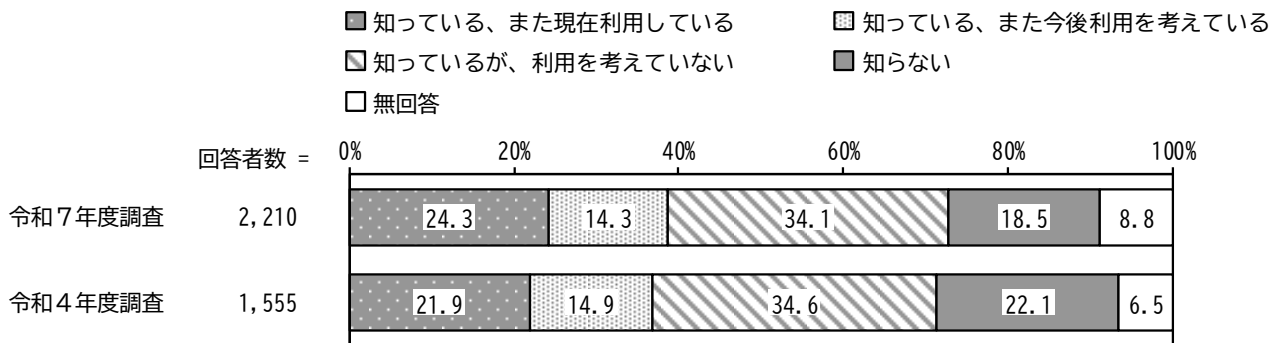
区分	回答者数 (件)	近隣住民の理解と協力	障害理解・バリアフリーに関する区民向けセミナーなどの開催	障害者と交流を持つ場の様々な企画、充実	地域の見守りネットワーク	障害者支援ボランティアの育成活用	介護職等の福祉サービスを支える人材の育成確保
全体	2,210	34.3	6.5	7.1	9.7	5.3	12.8
身体障害	903	36.9	8.2	6.0	10.5	5.8	16.4
知的障害	422	38.2	4.7	9.2	8.5	6.9	14.7
精神障害	560	31.3	5.9	8.9	7.1	5.4	9.3
難病	530	31.5	7.4	5.1	10.8	4.0	14.3
発達障害	183	34.4	8.7	8.7	7.1	5.5	8.7
高次脳機能障害	78	26.9	5.1	6.4	9.0	2.6	19.2
重症心身障害	36	30.6	5.6	11.1	2.8	2.8	30.6
強度行動障害	17	47.1	0.0	11.8	5.9	0.0	11.8

区分	保健・医療・福祉のネットワーク	身近な相談窓口の設置、充実	障害者就労支援の強化、仕事の開拓、企業開拓	住宅確保の支援	グループホームの整備、充実	通所施設の併用（複数の施設に在籍・通所する）	小中学校等での障害理解に関する学習、交流学習の充実
全体	17.3	17.7	10.4	11.6	7.5	2.4	6.5
身体障害	15.9	17.7	5.4	10.2	5.2	3.0	6.5
知的障害	8.8	12.6	11.1	10.4	25.1	5.2	5.5
精神障害	19.6	20.2	17.1	15.5	5.2	0.9	6.3
難病	25.3	18.7	8.1	10.0	4.0	1.7	7.2
発達障害	14.2	15.8	24.6	15.3	9.8	3.8	10.4
高次脳機能障害	15.4	21.8	15.4	6.4	5.1	7.7	5.1
重症心身障害	11.1	2.8	2.8	5.6	16.7	16.7	5.6
強度行動障害	11.8	11.8	0.0	5.9	5.9	5.9	5.9

区分	障害者、高齢者等に配慮した「やさしいまちづくり」の推進	物理的、制度的、情報、意識など、様々なバリアフリー化	成年後見制度の周知	経済的支援	障害があっても、誰かを手助けしたり、誰かの役に立つことのできる機会の創出・提供・紹介	その他	無回答
全体	18.0	6.3	2.4	25.7	10.6	2.9	11.4
身体障害	22.8	8.5	2.2	19.9	10.2	2.8	12.0
知的障害	18.7	3.6	5.7	19.9	10.2	3.6	11.4
精神障害	15.5	5.0	1.8	34.3	10.5	3.4	10.4
難病	14.9	8.5	1.1	29.6	11.5	2.6	9.1
発達障害	13.1	4.4	4.4	32.2	13.7	4.4	7.1
高次脳機能障害	11.5	6.4	5.1	33.3	11.5	3.8	15.4
重症心身障害	19.4	5.6	0.0	19.4	8.3	2.8	13.9
強度行動障害	17.6	5.9	5.9	23.5	0.0	17.6	17.6

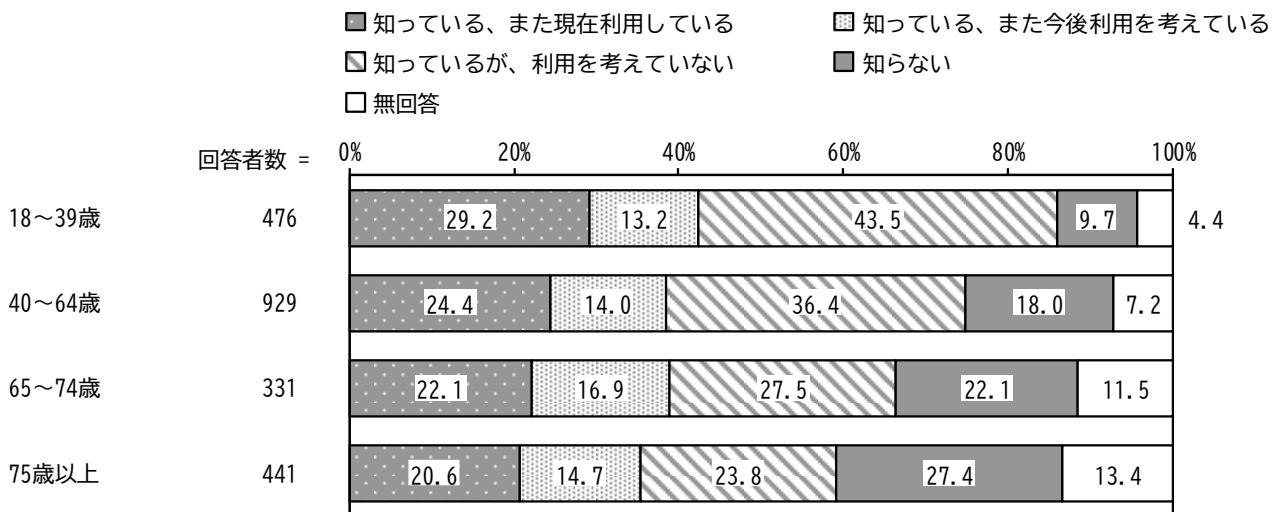
問 54 あなた（ご本人）は、ヘルプマークを知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「知っているが、利用を考えていない」の割合が 34.1%と最も高く、次いで「知っている、また現在利用している」の割合が 24.3%、「知らない」の割合が 18.5%となっています。



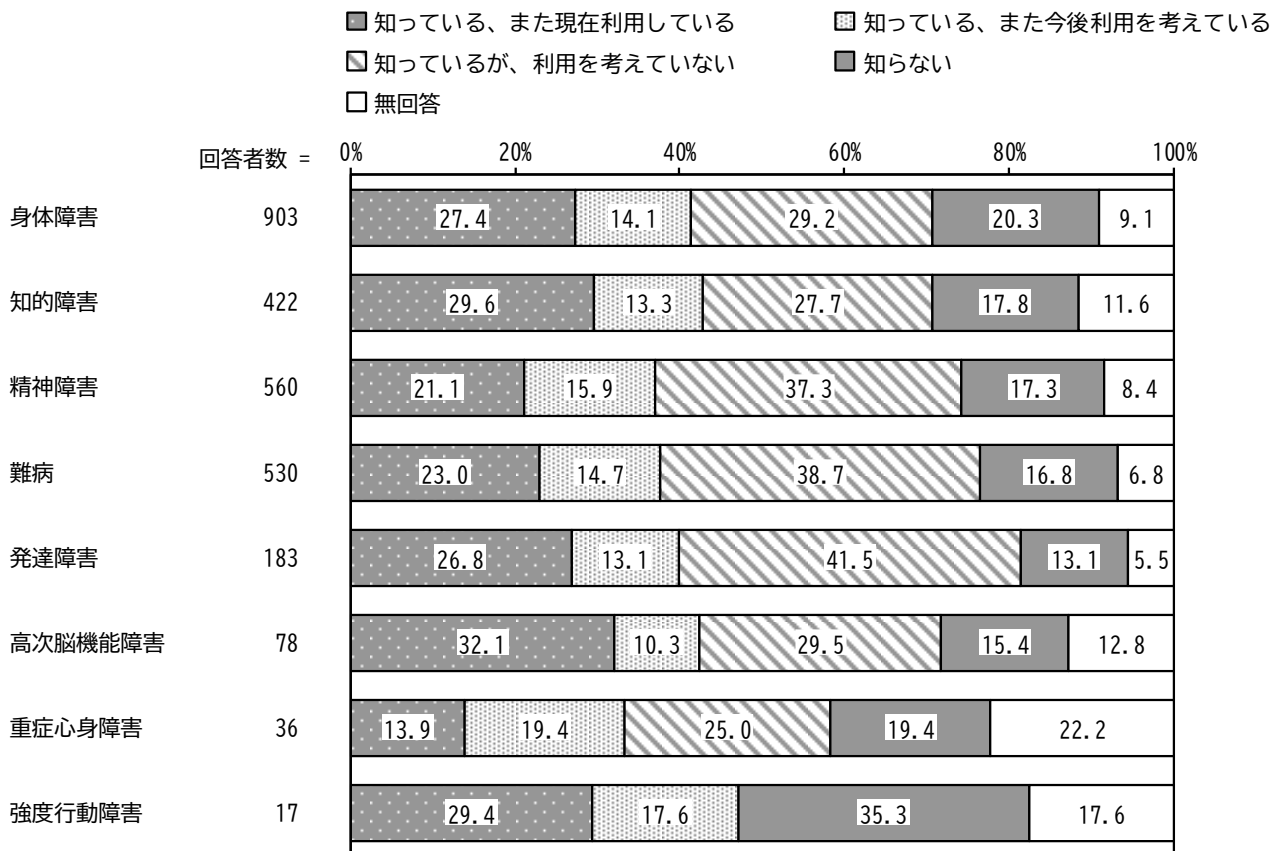
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「知っている、また現在利用している」「知っているが、利用を考えていない」の割合が高く、「知らない」の割合が低くなっています。



【障害種別】

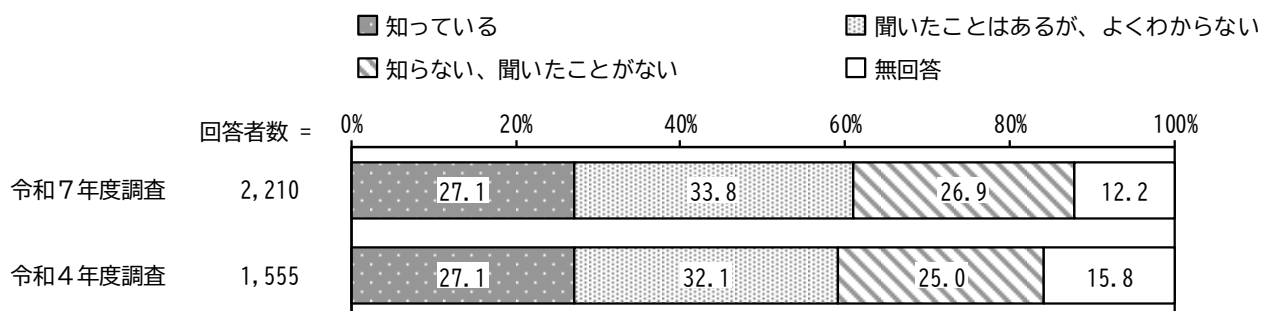
障害種別にみると、強度行動障害で「知らない」の割合が高く、重症心身障害で「知っている、また現在利用している」の割合が低くなっています。



問 55 あなた（ご本人）は、成年後見制度、日常生活自立支援事業について知っていますか。それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

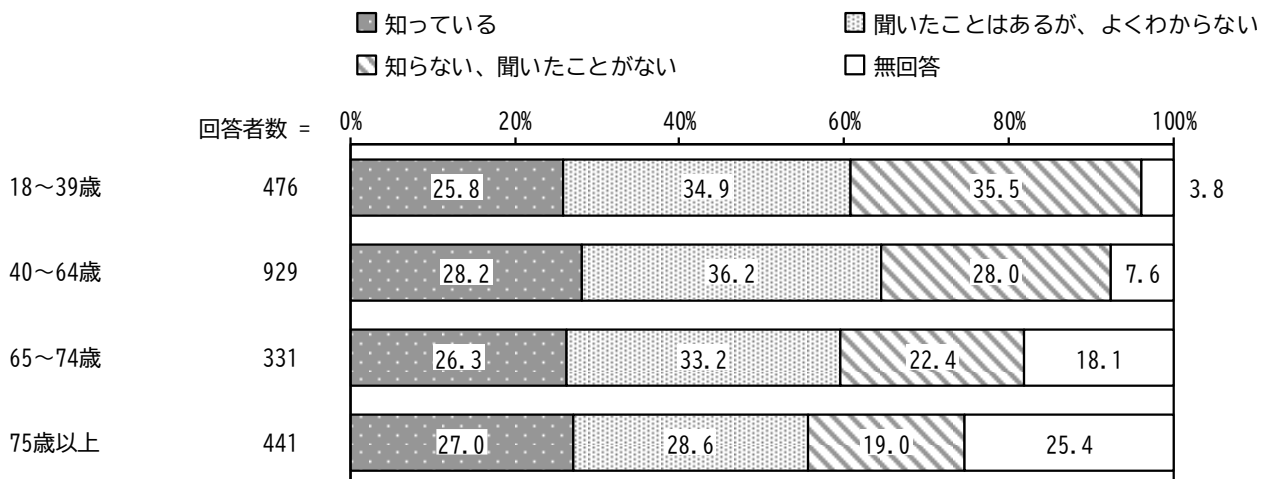
ア) 成年後見制度

「知っている」の割合が27.1%、「聞いたことはあるが、よくわからない」の割合が33.8%、「知らない、聞いたことがない」の割合が26.9%となっています。



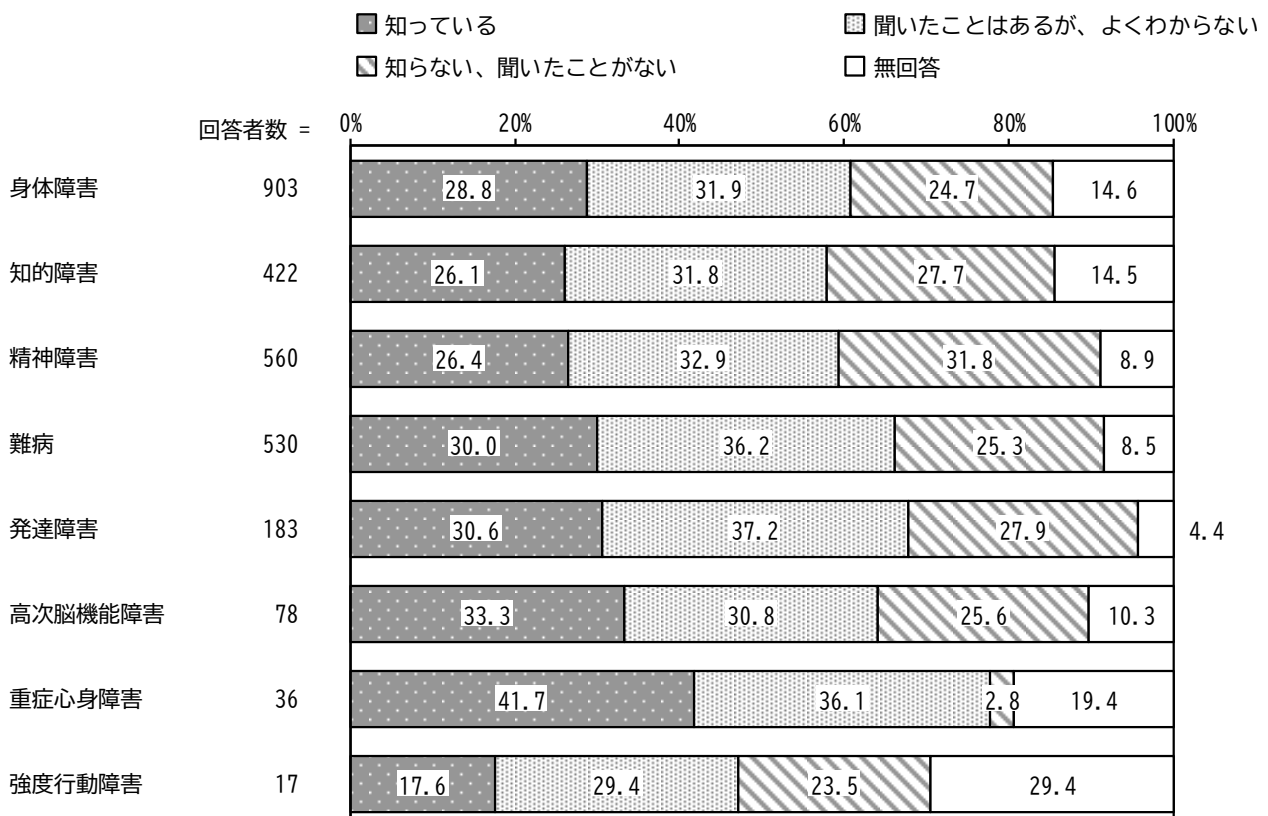
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「知らない、聞いたことがない」の割合が高くなっています。



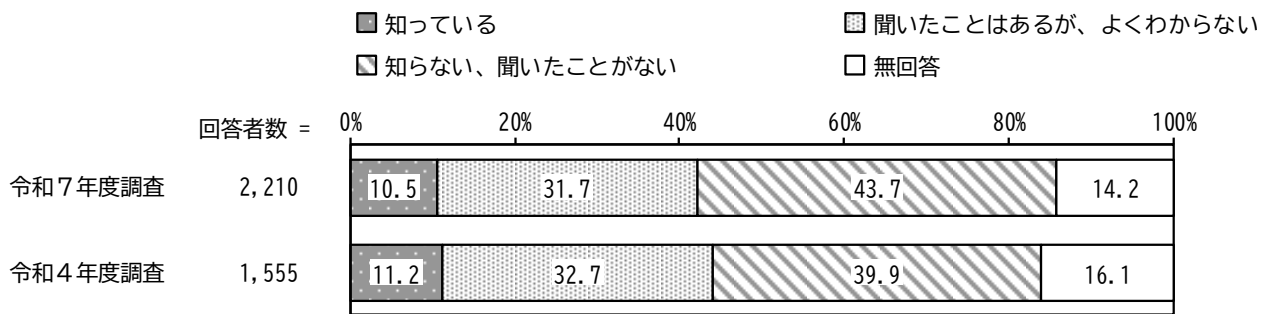
【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「知っている」の割合が高く、「知らない、聞いたことがない」の割合が低くなっています。



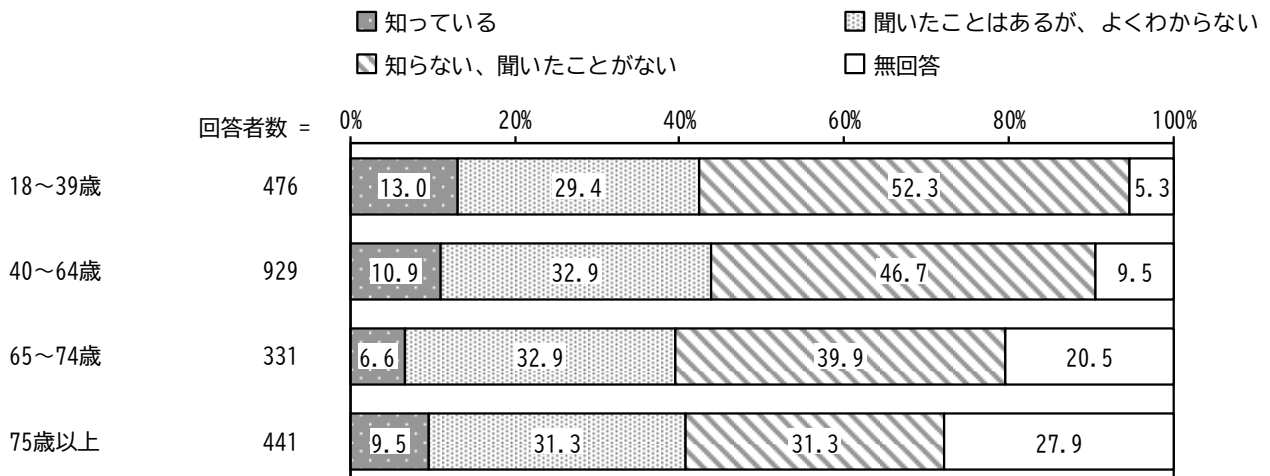
イ) 日常生活自立支援事業

「知っている」の割合が10.5%、「聞いたことはあるが、よくわからない」の割合が31.7%、「知らない、聞いたことがない」の割合が43.7%となっています。



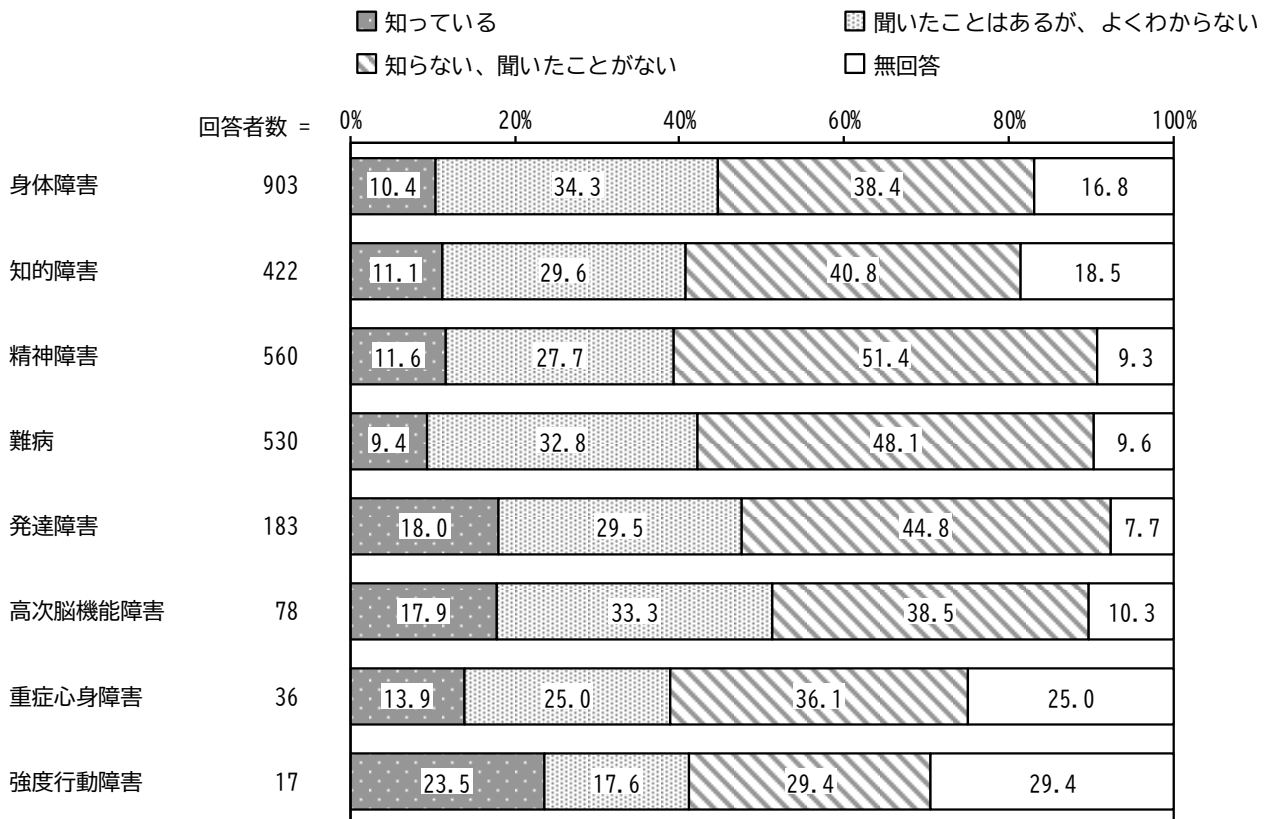
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「知らない、聞いたことがない」の割合が高くなっています。



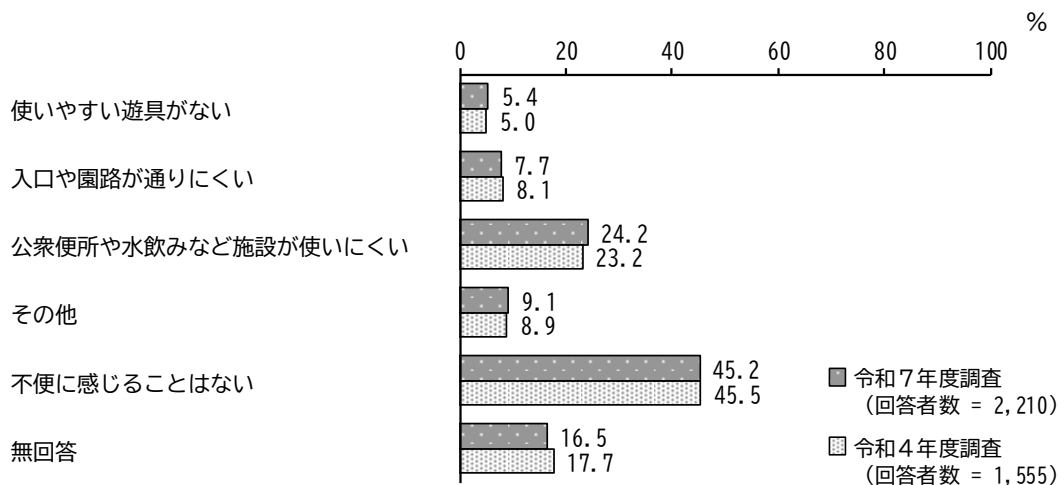
【障害種別】

障害種別にみると、強度行動障害で「知っている」の割合が高く、「聞いたことはあるが、よくわからない」「知らない、聞いたことがない」の割合が低くなっています。



問 56 あなた（ご本人）が公園で不便に感じていることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「使いやすい遊具がない」の割合が5.4%、「入口や園路が通りにくい」の割合が7.7%、「公衆便所や水飲みなど施設が使いにくい」の割合が24.2%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「公衆便所や水飲みなど施設が使いにくい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	使 い や す い 遊 具 が な い	入 口 や 園 路 が 通 り に く い	公 衆 便 所 や 水 飲 み な ど 施 設 が 使 い に く い	そ の 他	不 便 に 感 じ る こ と は な い	無 回 答
全 体	2,210	5.4	7.7	24.2	9.1	45.2	16.5
18～39歳	476	8.2	6.3	27.5	8.2	51.5	9.2
40～64歳	929	4.5	8.6	26.2	9.4	47.8	11.5
65～74歳	331	3.6	8.5	23.0	10.3	39.9	21.5
75歳以上	441	5.4	7.3	17.5	8.6	38.1	29.9

【障害種別】

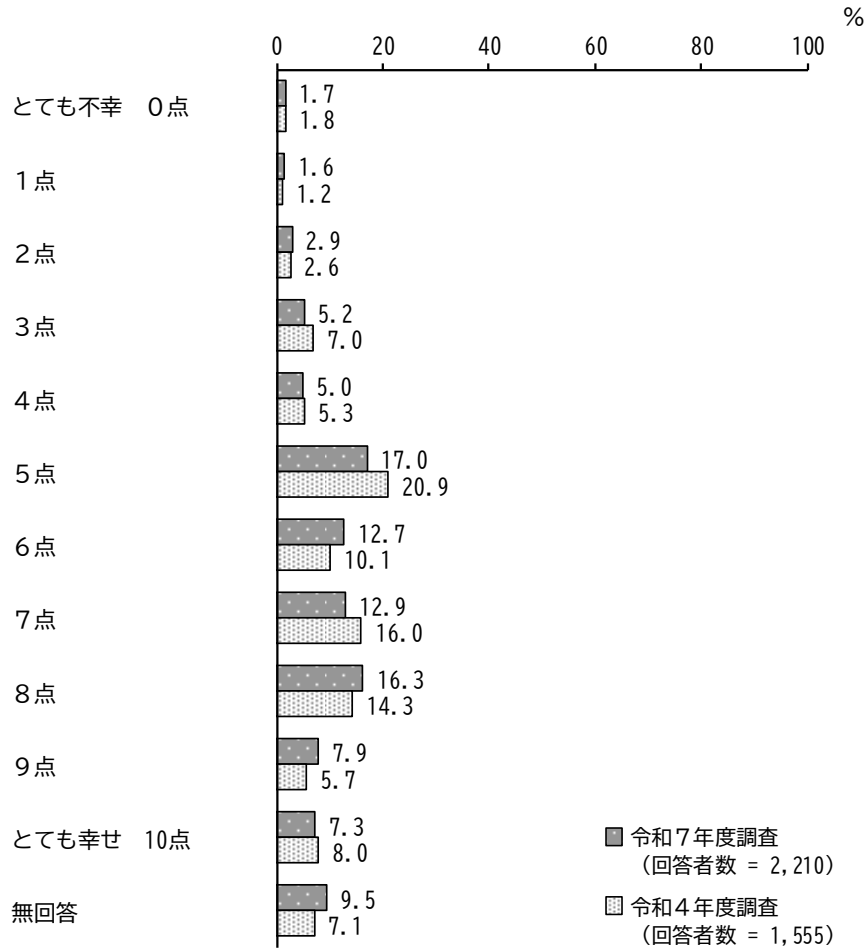
障害種別にみると、重症心身障害で「使いやすい遊具がない」「入口や園路が通りにくい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	使 い や す い 遊 具 が な い	入 口 や 園 路 が 通 り に く い	公 衆 便 所 や 水 飲 み な ど 施 設 が 使 い に く い	そ の 他	不 便 に 感 じ る こ と は な い	無 回 答
全 体	2,210	5.4	7.7	24.2	9.1	45.2	16.5
身体障害	903	6.0	11.6	23.7	10.6	40.4	18.1
知的障害	422	9.2	7.1	22.5	5.0	45.0	22.0
精神障害	560	4.6	6.6	26.8	10.5	45.2	12.7
難病	530	4.3	6.4	24.2	9.1	47.7	14.5
発達障害	183	6.6	5.5	32.2	11.5	45.4	9.8
高次脳機能障害	78	2.6	15.4	26.9	10.3	41.0	14.1
重症心身障害	36	16.7	25.0	25.0	2.8	25.0	30.6
強度行動障害	17	5.9	5.9	17.6	5.9	35.3	35.3

問 57 あなた（ご本人）は、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、0点から10点までのいずれか1つに○をつけてください。

「5点」の割合が17.0%と最も高く、次いで「8点」の割合が16.3%、「7点」の割合が12.9%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「5点」の割合が高い傾向にあり、「18～39歳」から「65～74歳」まで年齢が上がるほど「7点」の割合が高く、「6点」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	とても不幸 0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	とても幸せ 10点	無回答
全体	2,210	1.7	1.6	2.9	5.2	5.0	17.0	12.7	12.9	16.3	7.9	7.3	9.5
18～39歳	476	0.6	1.7	2.9	4.4	5.3	12.6	15.8	11.8	17.6	9.0	9.0	9.2
40～64歳	929	2.5	2.4	3.9	6.0	5.8	17.4	13.0	12.7	15.5	7.4	6.4	7.0
65～74歳	331	1.5	0.9	2.7	6.6	4.5	17.2	10.6	16.3	17.2	6.6	6.0	9.7
75歳以上	441	1.4	0.5	0.9	2.7	3.9	20.9	10.9	12.0	17.0	8.4	8.6	12.9

【障害種別】

障害種別にみると、強度行動障害で「1点」「9点」、高次脳機能障害で「3点」、高次脳機能障害、重症心身障害で「5点」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	とても不幸 0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	とても幸せ 10点	無回答
全体	2,210	1.7	1.6	2.9	5.2	5.0	17.0	12.7	12.9	16.3	7.9	7.3	9.5
身体障害	903	1.2	1.2	1.3	4.7	4.2	17.9	11.2	14.0	17.7	9.0	7.8	9.9
知的障害	422	1.7	0.5	1.4	2.4	4.5	17.1	10.0	12.1	17.1	6.6	10.7	16.1
精神障害	560	3.8	3.9	7.3	9.3	8.0	17.7	13.6	10.7	10.4	4.3	4.3	6.8
難病	530	1.1	0.4	2.5	4.3	3.6	15.5	15.1	14.0	19.6	9.6	6.8	7.5
発達障害	183	0.5	4.4	4.4	3.3	7.7	13.1	16.9	13.1	18.0	3.8	7.1	7.7
高次脳機能障害	78	3.8	0.0	3.8	10.3	3.8	23.1	9.0	10.3	15.4	3.8	5.1	11.5
重症心身障害	36	0.0	2.8	5.6	0.0	2.8	22.2	5.6	11.1	13.9	5.6	5.6	25.0
強度行動障害	17	5.9	11.8	0.0	0.0	0.0	17.6	0.0	0.0	11.8	17.6	0.0	35.3

問 58 江東区の障害者施策について、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

・経済的支援・金銭的負担軽減について(92件)

金銭的な支援（金銭面の支給や税制、保険料の減免など）

・相談体制・窓口対応・情報提供について(77件)

相談の内容でたらい回しにしない専門窓口を作って欲しい

・移動・交通機関・バリアフリーについて(63件)

点字ブロックをふやして欲しい。交通信号に音つきをふやして欲しい。歩道上の電柱やポールを整理して欲しい。

・施設・グループホーム・住居について(57件)

区内にグループホームが少ないので、もっとあれば良いと思う。

・区や支援者への感謝・現状の満足について(45件)

江東区障害支援課の方々、深川保健相談所の方々、海辺長寿サポートセンターの方々、皆さんに感謝しております。

・障害や難病の理解促進・啓発について(41件)

外から見てわからない障害者もいます。一見、元気そうに見えても、無理してることもあります。周りへの周知をもっとしてほしい。見てわかる障害者や、高齢者（高齢でもすごく元気で健康な人もいるのに）に対してだけ周りからの配慮があるのは不満に感じる。

・就労・日中活動について(40件)

就労移行支援事業所に通所していたが、福祉の専門家はいるが、就職活動の専門家がいなかった。

・手帳・受給者証の制度・手続きについて(40件)

手続きを豊洲出張で完結するようにお願いしたい。

・難病に対する支援・配慮について(31件)

難病患者にも、障害者と同等の支援をして欲しい。

・医療・リハビリ・医療的ケアについて(28件)

豊洲文化センターにおいてリハビリ運動などの活動が少ない。ほとんどが東陽町方面で移動できないので。豊洲内でのリハビリ、コミュニティーなど回数も含めて増してほしい。時間、曜日などが合わず参加できないです。

・介護者・家族への支援について(28件)

障害者本人に都営交通無料乗車券の配布はあるが、介護者にも配布をしてほしい。他の自治体では介護者にも提供しています。

・アンケートそのものへの意見・不満について(28件)

別の問いでも記入しましたが、単身住まいの障害者にこのようなアンケートは難しいので、ところどころ空白がありますがご理解ください。

・高齢化に伴う支援・介護保険との連携について(27件)

今はよいが、今後、介護が必要になった時の不安がある。

・精神障害・発達障害に対する支援について(24件)

メンタル障害に対する支援、サポートの強化。

・余暇・スポーツ・文化活動について(23件)

もし障害の程度が同じくらいの人と集まって交流できる場があったら、利用したいと思います。障害の有無はあまり関係なく、仲間を作りたいです。

・ヘルパー・訪問介護・居宅介護について(16件)

通院に付き添いが必要ですが、そういうサービスがあるのか？あるとすれば利用する方法は？等の情報を得る手段がわからない。

・公園・トイレ等の公共設備について(11件)

公園のトイレをウォシュレットにしてほしい。施設内でもトイレにウォシュレットの設備を増やしてほしい。

・災害時の支援・避難について(4件)

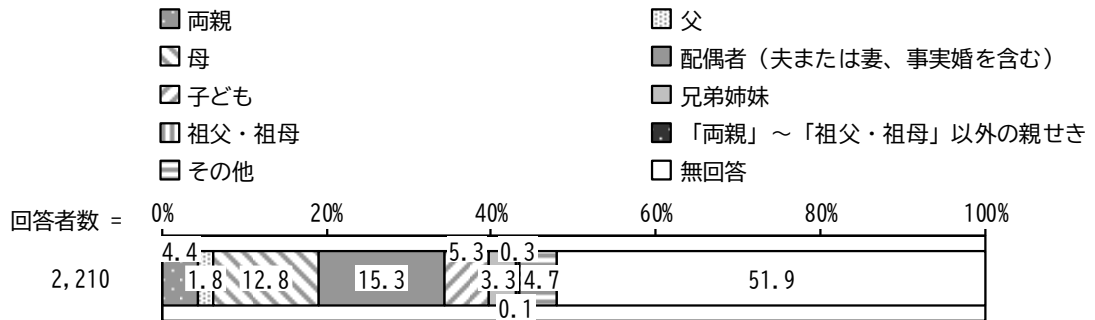
透析患者の災害時の避難について、情報が得られるようにしていただきたい。

・その他について(21件)

(11) 介護者について

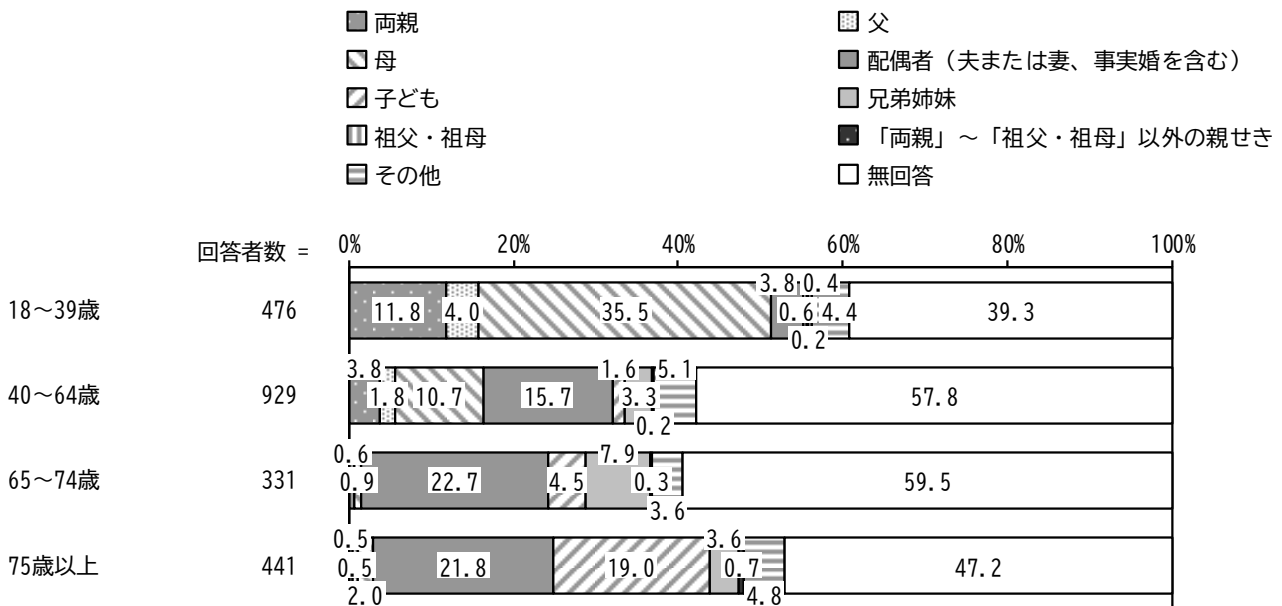
問 59 主たる介護者の方の続柄（ご本人様から見た関係）と年齢、1日の平均的な介護の時間数について、お聞きします。続柄は、あてはまるもの1つに○をつけてください。年齢と1日の平均的な介護の時間数は、それぞれ記入してください。

「配偶者（夫または妻、事実婚を含む）」の割合が15.3%と最も高く、次いで「母」の割合が12.8%となっています。



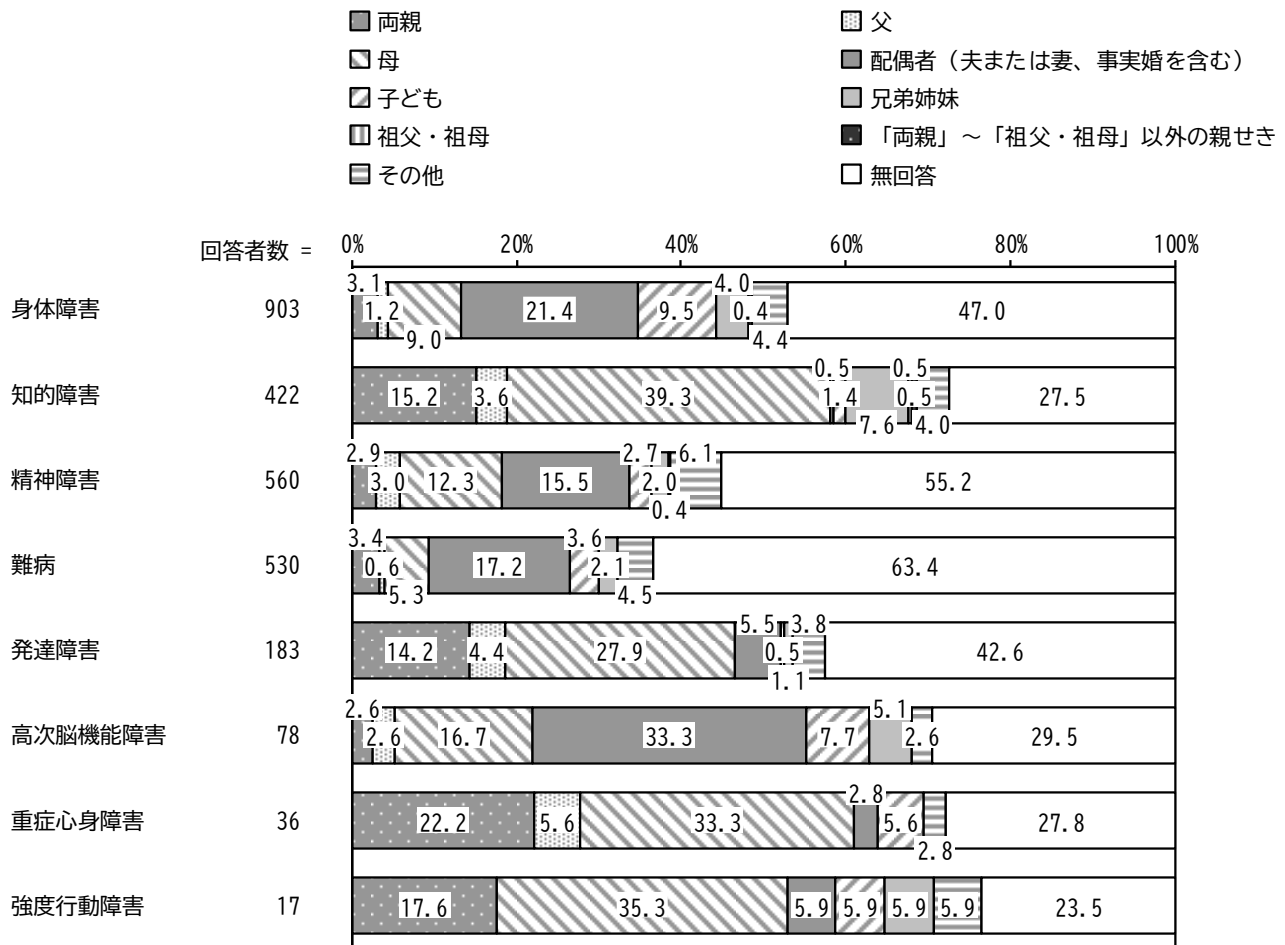
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「子ども」の割合が高く、「両親」の割合が低く、「18～39歳」から「65～74歳」まで年齢が上がるほど「配偶者（夫または妻、事実婚を含む）」の割合が高く、「母」の割合が低くなっています。



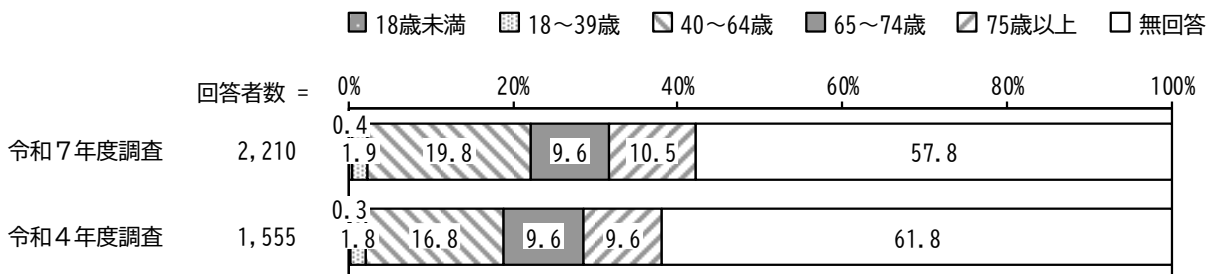
【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「両親」、知的障害で「母」、高次脳機能障害で「配偶者（夫または妻、事実婚を含む）」の割合が高くなっています。



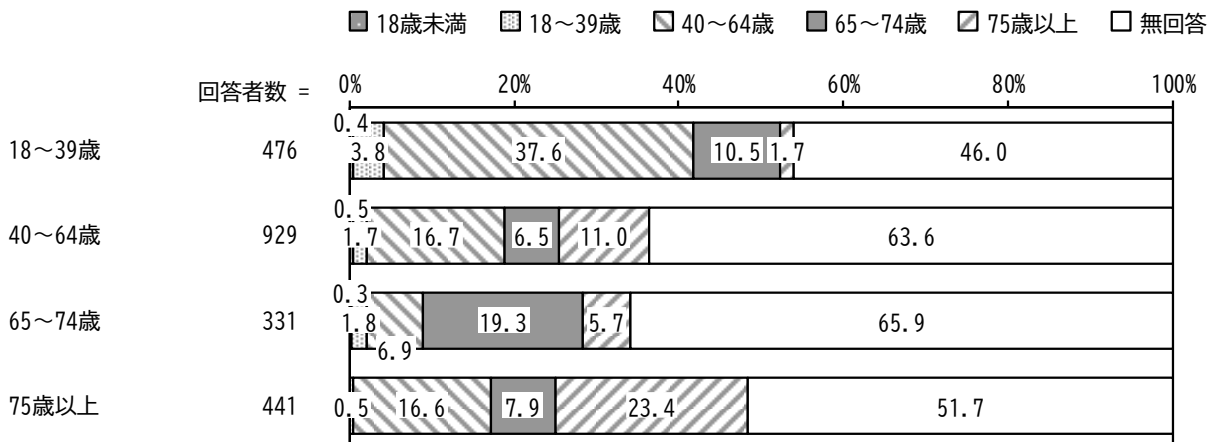
ア) 介護者の年齢

「40～64歳」の割合が19.8%と最も高く、次いで「75歳以上」の割合が10.5%となっています。



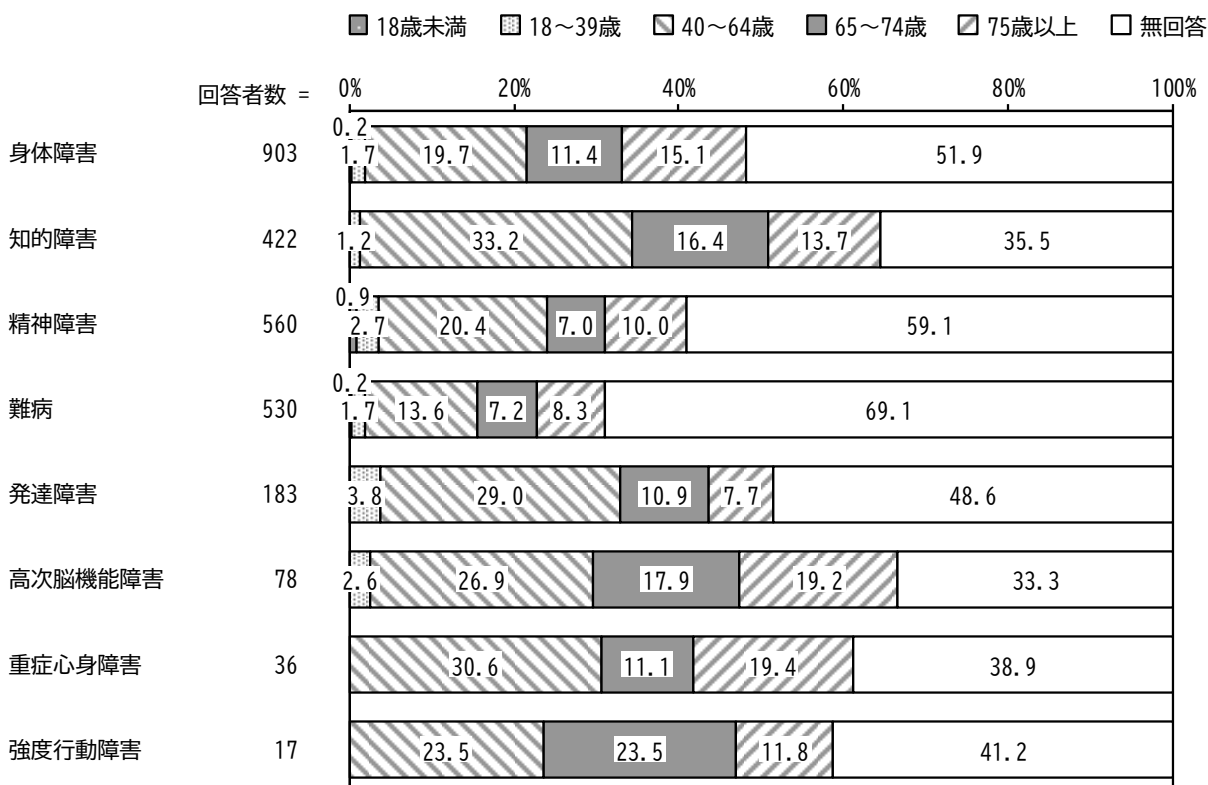
【年齢別】

年齢別にみると、「65～74歳」から「18～39歳」まで年齢が下がるほど「40～64歳」の割合が高くなっています。また、「75歳以上」で「75歳以上」の割合が高くなっています。



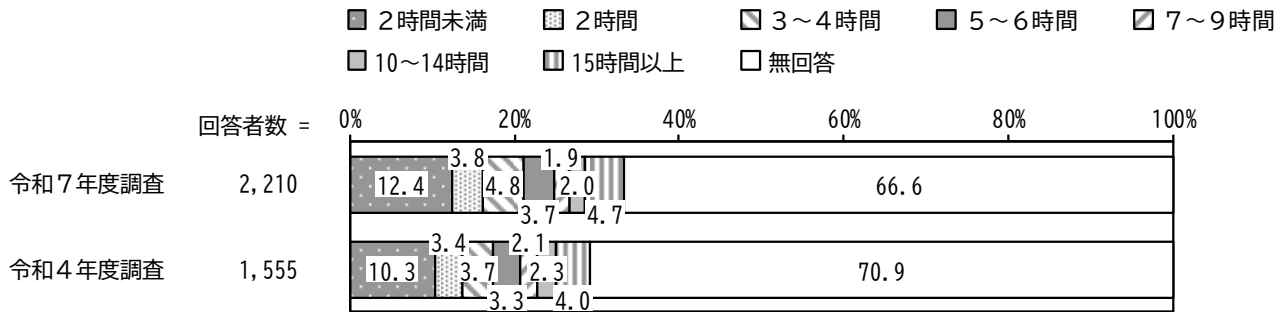
【障害種別】

障害種別にみると、知的障害、重症心身障害で「40～64歳」、強度行動障害で「65～74歳」、高次脳機能障害、重症心身障害で「75歳以上」の割合が高くなっています。



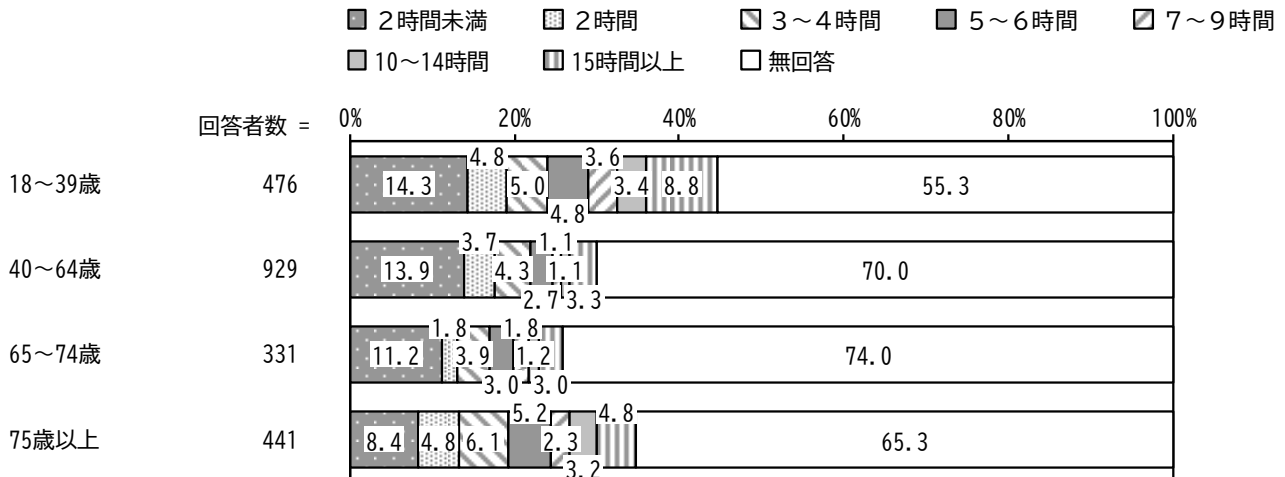
イ) 1日の介護時間

「2時間未満」の割合が12.4%と最も高くなっています。



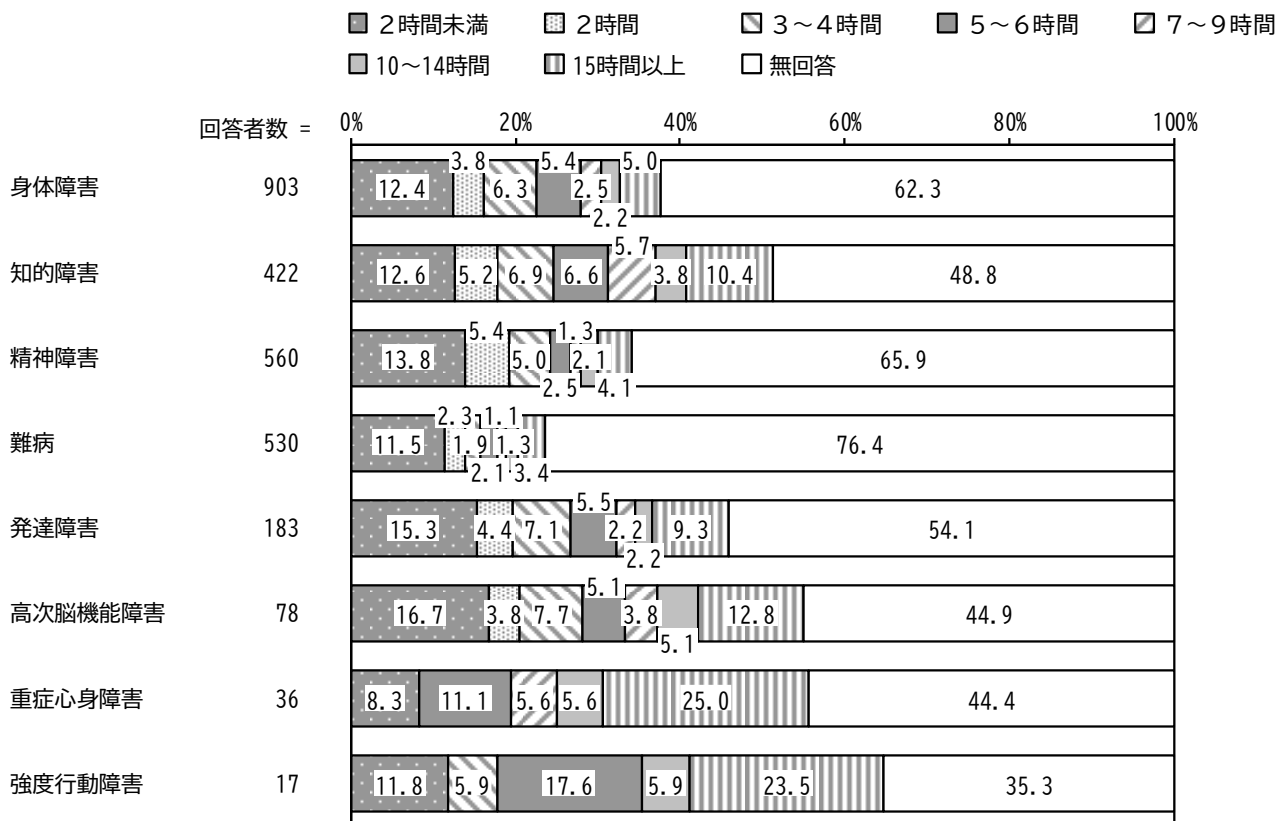
【年齢別】

年齢別にみると、「75歳以上」から「40~64歳」まで年齢が下がるほど「2時間未満」の割合が高くなっています。



【障害種別】

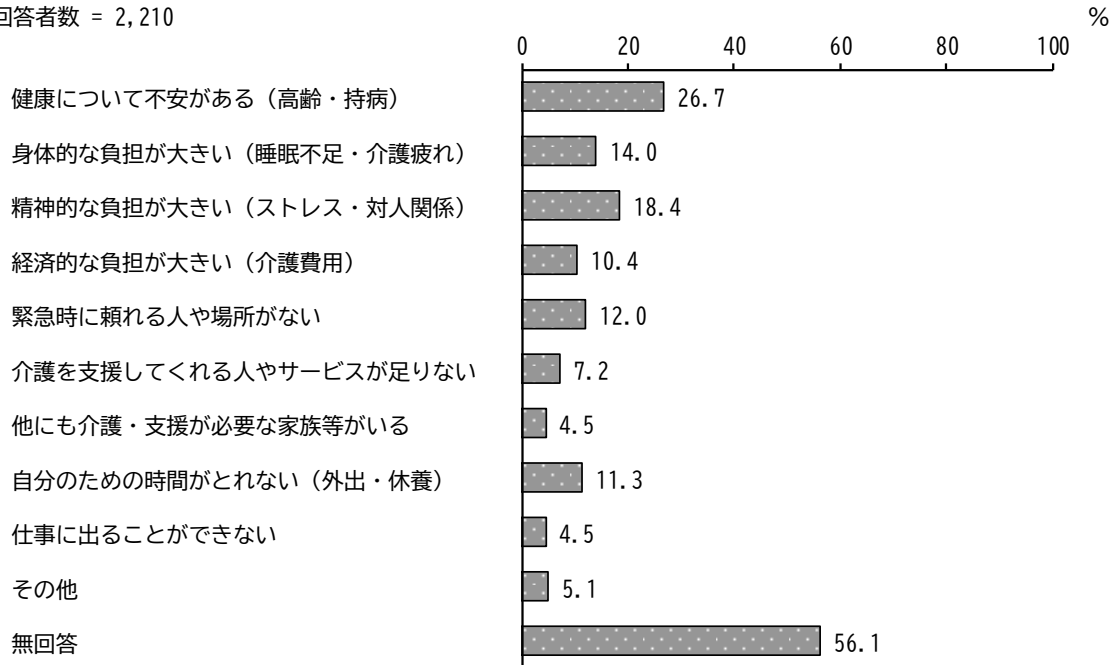
障害種別にみると、強度行動障害で「5～6時間」、重症心身障害、強度行動障害で「15 時間以上」の割合が高くなっています。



問 60 介護をするにあたり、どのような悩みや不安がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「健康について不安がある（高齢・持病）」の割合が26.7%と最も高く、次いで「精神的な負担が大きい（ストレス・対人関係）」の割合が18.4%、「身体的な負担が大きい（睡眠不足・介護疲れ）」の割合が14.0%となっています。

回答者数 = 2,210



【年齢別】

年齢別にみると、「65～74 歳」から「18～39 歳」まで年齢が下がるほど「健康について不安がある（高齢・持病）」「身体的な負担が大きい（睡眠不足・介護疲れ）」「精神的な負担が大きい（ストレス・対人関係）」「緊急時に頼れる人や場所がない」「介護を支援してくれる人やサービスが足りない」「自分のための時間がとれない（外出・休養）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	健康について不安がある (高齢・持病)	身体的な負担が大きい (睡眠不足・介護疲れ)	精神的な負担が大きい (ストレス・対人関係)	経済的な負担が大きい (介護費用)	緊急時に頼れる人や場所がない	介護を支援してくれる人やサービスが足りない	他にも介護・支援が必要な家族等がいる	自分のための時間がとれない (外出・休養)	仕事に出ることができない	その他	無回答
全体	2,210	26.7	14.0	18.4	10.4	12.0	7.2	4.5	11.3	4.5	5.1	56.1
18～39歳	476	29.0	19.5	25.0	9.2	19.3	11.3	5.9	15.5	7.8	6.7	46.2
40～64歳	929	23.1	10.7	15.4	9.6	10.0	6.4	4.3	8.7	3.0	5.4	61.1
65～74歳	331	23.0	10.6	12.7	7.9	8.8	4.8	3.6	8.2	3.0	4.5	64.4
75歳以上	441	36.3	18.1	22.2	15.4	10.9	6.6	4.1	15.0	5.0	3.4	49.2

【障害種別】

障害種別にみると、強度行動障害で「健康について不安がある（高齢・持病）」「身体的な負担が大きい（睡眠不足・介護疲れ）」「精神的な負担が大きい（ストレス・対人関係）」「自分のための時間がとれない（外出・休養）」、高次脳機能障害で「経済的な負担が大きい（介護費用）」「介護を支援してくれる人やサービスが足りない」、知的障害、強度行動障害で「緊急時に頼れる人や場所がない」の割合が高くなっています。

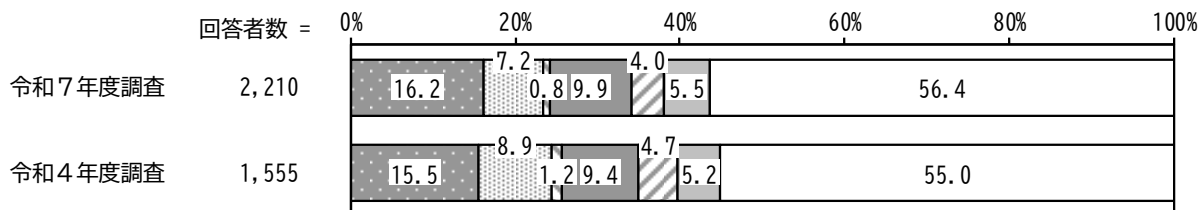
単位：％

区分	回答者数（件）	健康について不安がある（高齢・持病）	身体的な負担が大きい（睡眠不足・介護疲れ）	精神的な負担が大きい（ストレス・対人関係）	経済的な負担が大きい（介護費用）	緊急時に頼れる人や場所がない	介護を支援してくれる人やサービスが足りない	他にも介護・支援が必要な家族等がいる	自分のための時間がとれない（外出・休養）	仕事に出ることができない	その他	無回答
全体	2,210	26.7	14.0	18.4	10.4	12.0	7.2	4.5	11.3	4.5	5.1	56.1
身体障害	903	32.0	18.8	20.6	12.0	13.4	8.5	6.0	13.7	6.3	5.8	50.7
知的障害	422	46.4	26.3	30.1	9.2	26.1	15.9	7.6	21.1	8.3	5.0	32.5
精神障害	560	24.1	13.6	23.0	12.9	12.1	5.9	4.8	12.0	2.9	4.3	57.5
難病	530	17.0	9.1	10.2	7.0	6.8	3.8	2.6	7.0	2.3	5.5	67.9
発達障害	183	31.7	20.2	30.1	8.7	21.3	9.3	8.2	16.9	5.5	6.0	45.9
高次脳機能障害	78	47.4	28.2	32.1	24.4	14.1	17.9	9.0	33.3	10.3	5.1	35.9
重症心身障害	36	61.1	50.0	33.3	11.1	22.2	11.1	8.3	27.8	8.3	2.8	33.3
強度行動障害	17	76.5	58.8	58.8	17.6	23.5	11.8	11.8	47.1	5.9	0.0	23.5

問 61 あなた（介護者）が、病気やけがで長期間（おおむね3か月程度）介護できなくなった場合、どのような対応を考えていますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

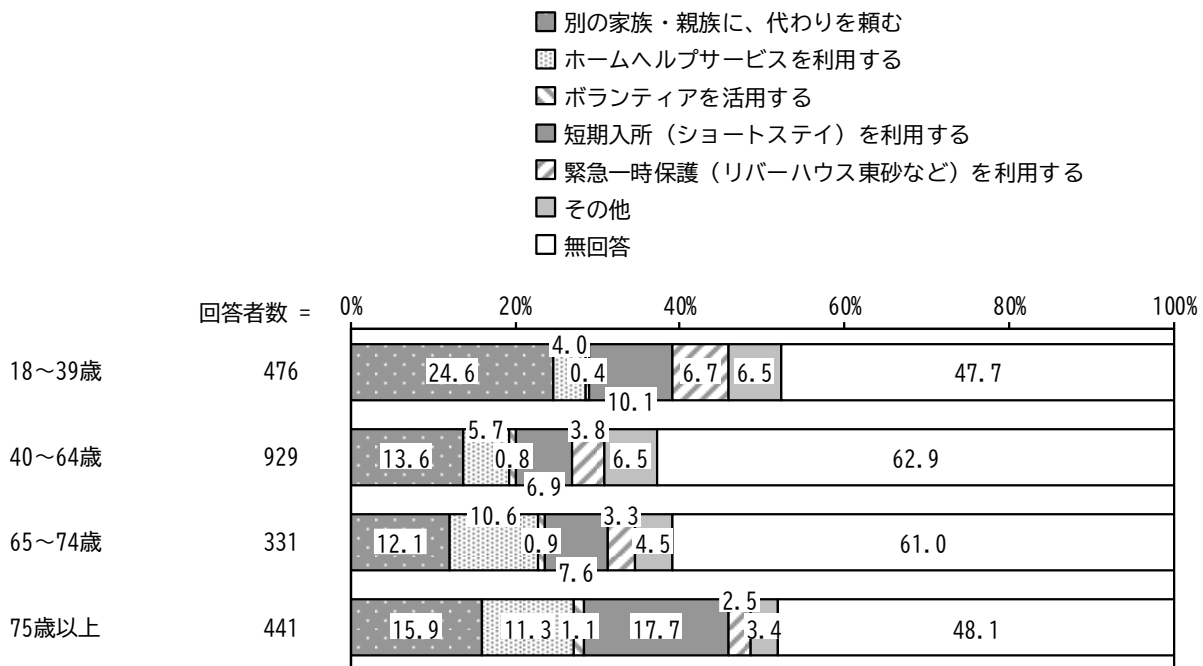
「別の家族・親族に、代わりに頼む」の割合が16.2%と最も高くなっています。

- 別の家族・親族に、代わりに頼む
- ▨ ホームヘルプサービスを利用する
- ▩ ボランティアを活用する
- 短期入所（ショートステイ）を利用する
- ▨ 緊急一時保護（リバーハウス東砂など）を利用する
- その他
- 無回答



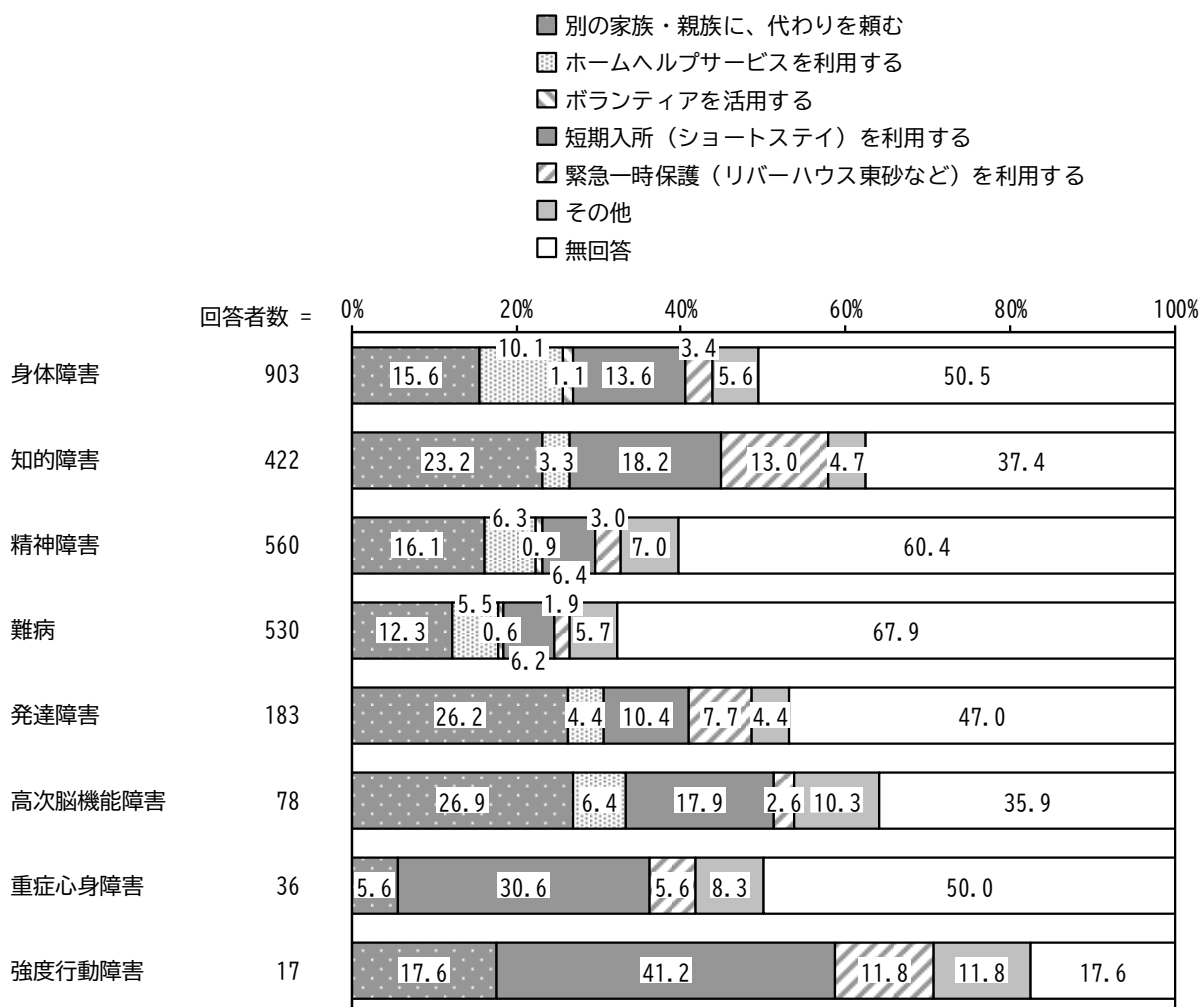
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「ホームヘルプサービスを利用する」の割合が高く、「40～64歳」から「75歳以上」まで年齢が上がるほど「短期入所（ショートステイ）を利用する」の割合が高くなっています。



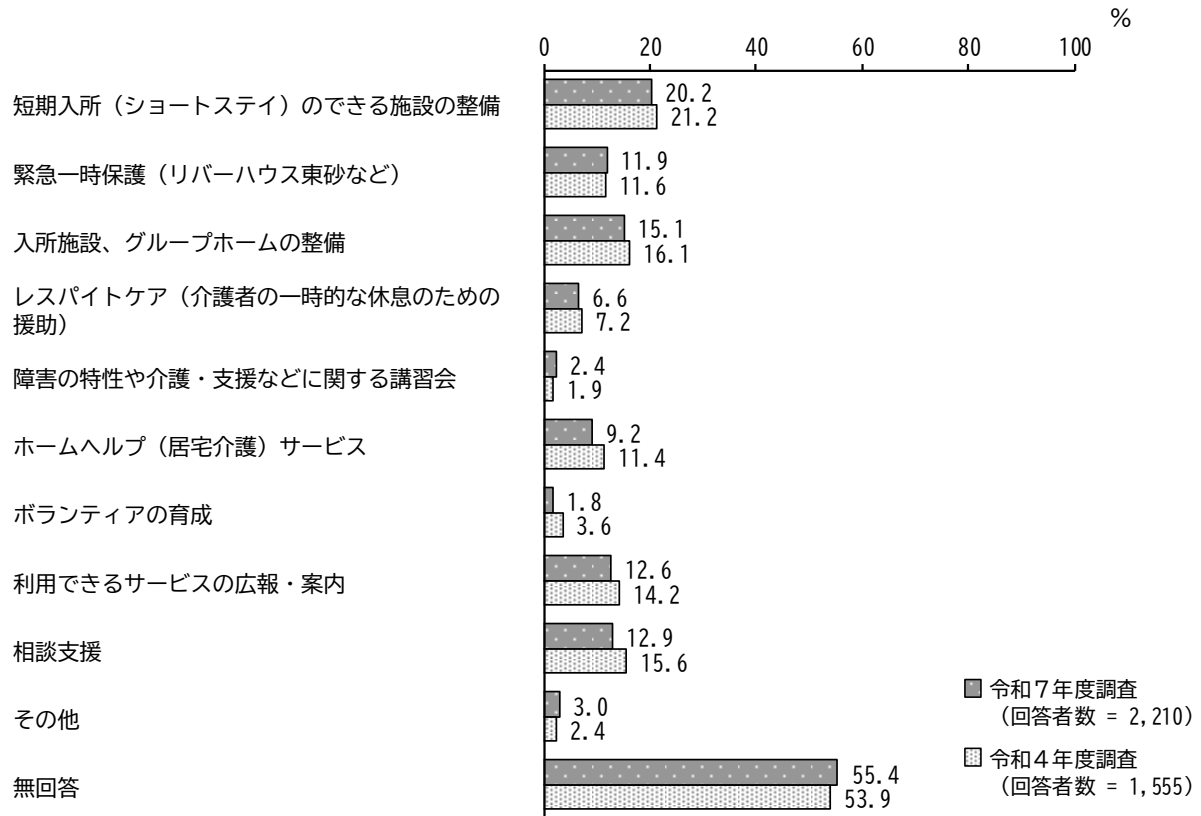
【障害種別】

障害種別にみると、発達障害、高次脳機能障害で「別の家族・親族に、代わりを頼む」、強度行動障害で「短期入所（ショートステイ）を利用する」、知的障害、強度行動障害で「緊急一時保護（リバーハウス東砂など）を利用する」の割合が高くなっています。



問 62 家族で介護する方への支援策として、今後充実してほしいことは何ですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「短期入所（ショートステイ）のできる施設の整備」の割合が 20.2%と最も高く、次いで「入所施設、グループホームの整備」の割合が 15.1%、「相談支援」の割合が 12.9%となっています。



※令和4年度調査では、「障害の特性や介護・支援などに関する講習会」が「障害の特性や介護（介助）などに関する講習会」となっていました。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「ホームヘルプ（居宅介護）サービス」の割合が高く、「40～64歳」から「75歳以上」まで年齢が上がるほど「短期入所（ショートステイ）のできる施設の整備」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	短期入所（ショートステイ）のできる施設の整備	緊急一時保護（リバーハウス東砂など）	入所施設、グループホームの整備	レスパイトケア（介護者の一時的な休息のための援助）	障害の特性や介護・支援などに関する講習会	ホームヘルプ（居宅介護）サービス	ボランティアの育成	利用できるサービスの広報・案内	相談支援	その他	無回答
全体	2,210	20.2	11.9	15.1	6.6	2.4	9.2	1.8	12.6	12.9	3.0	55.4
18～39歳	476	23.3	17.9	22.9	9.2	3.4	6.5	2.3	14.7	15.8	4.0	44.7
40～64歳	929	15.2	10.0	12.5	4.6	1.8	7.5	1.2	10.4	11.7	3.0	62.2
65～74歳	331	17.2	7.9	9.7	4.2	2.4	9.1	2.7	15.1	12.4	2.7	60.7
75歳以上	441	30.2	12.7	16.8	9.8	2.5	15.2	1.6	13.8	13.2	2.3	48.1

【障害種別】

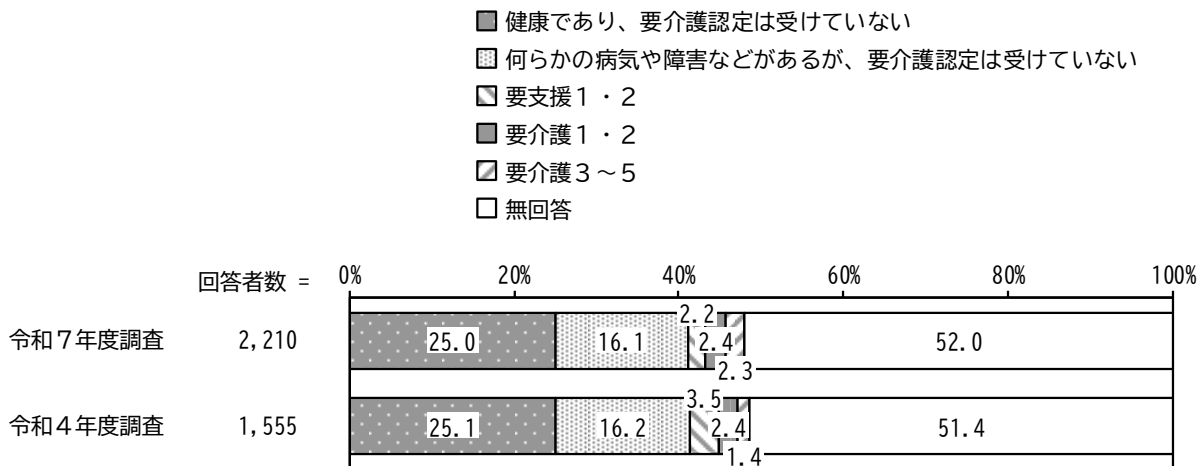
障害種別にみると、重症心身障害で「短期入所（ショートステイ）のできる施設の整備」「レスパイトケア（介護者の一時的な休息のための援助）」、知的障害で「緊急一時保護（リバーハウス東砂など）」、知的障害、強度行動障害で「入所施設、グループホームの整備」、高次脳機能障害で「利用できるサービスの広報・案内」、高次脳機能障害、強度行動障害で「相談支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	短期入所（ショートステイ）のできる施設の整備	緊急一時保護（リバーハウス東砂など）	入所施設、グループホームの整備	レスパイトケア（介護者の一時的な休息のための援助）	障害の特性や介護・支援などに関する講習会	ホームヘルプ（居宅介護）サービス	ボランティアの育成	利用できるサービスの広報・案内	相談支援	その他	無回答
全体	2,210	20.2	11.9	15.1	6.6	2.4	9.2	1.8	12.6	12.9	3.0	55.4
身体障害	903	24.9	13.3	15.7	8.5	2.8	12.2	2.0	13.2	12.5	3.3	51.2
知的障害	422	36.5	28.7	38.4	11.1	3.3	6.6	1.7	15.6	16.4	2.8	30.8
精神障害	560	14.1	8.6	10.4	6.1	3.4	8.8	2.0	12.1	16.1	3.0	58.0
難病	530	14.3	7.2	8.3	5.5	1.7	8.5	1.9	9.4	9.1	2.8	67.5
発達障害	183	25.7	18.6	20.8	10.9	4.4	7.1	1.6	20.8	17.5	2.2	45.9
高次脳機能障害	78	25.6	14.1	11.5	10.3	5.1	14.1	2.6	26.9	24.4	6.4	37.2
重症心身障害	36	41.7	25.0	33.3	25.0	5.6	5.6	0.0	8.3	2.8	2.8	38.9
強度行動障害	17	35.3	17.6	41.2	11.8	11.8	5.9	0.0	23.5	23.5	11.8	29.4

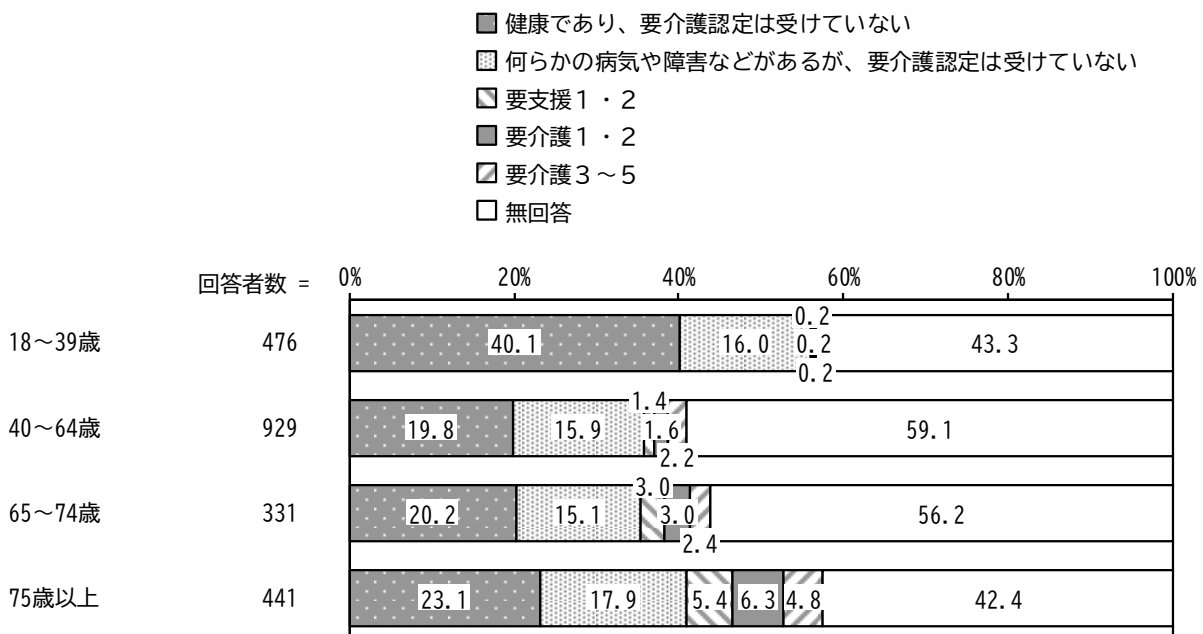
問 63 主な介護者の方は要介護認定を受けていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「健康であり、要介護認定は受けていない」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「何らかの病気や障害などがあるが、要介護認定は受けていない」の割合が 16.1%となっています。



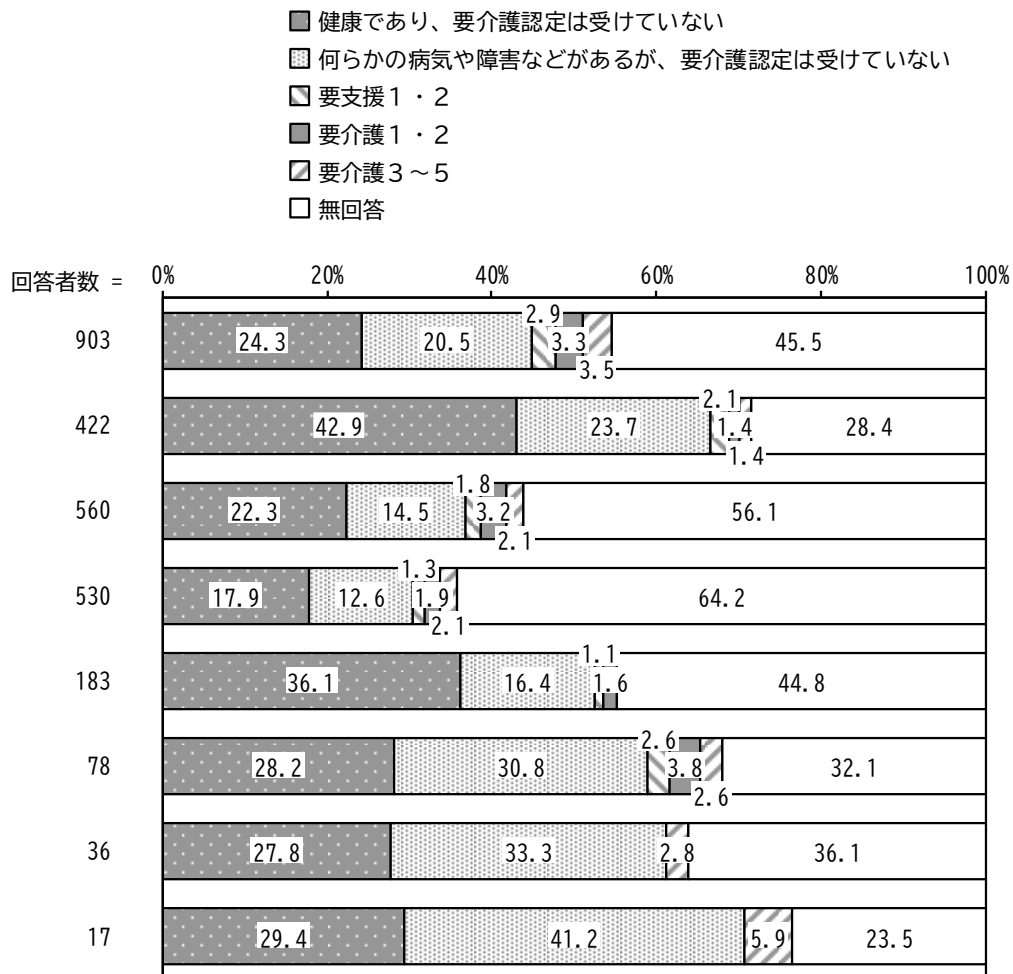
【年齢別】

年齢別にみると、「18～39歳」で「健康であり、要介護認定は受けていない」の割合が高くなっています。



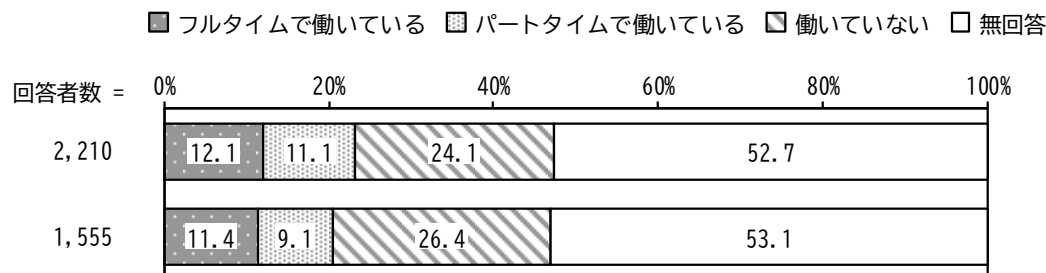
【障害種別】

障害種別にみると、知的障害で「健康であり、要介護認定は受けていない」、強度行動障害で「何らかの病気や障害などがあるが、要介護認定は受けていない」の割合が高くなっています。



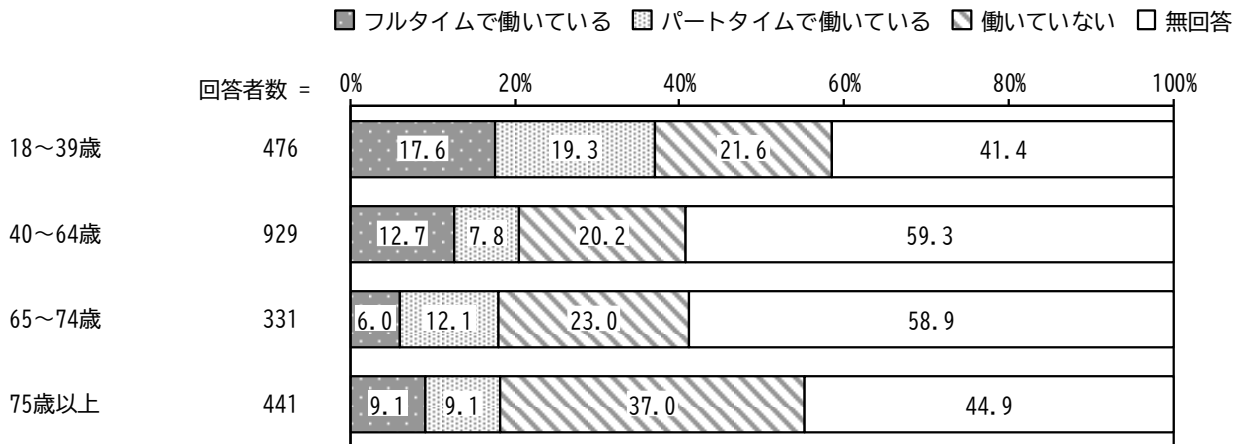
問 64 主な介護者の方の現在の勤務形態は何ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「フルタイムで働いている」の割合が12.1%、「パートタイムで働いている」の割合が11.1%、「働いていない」の割合が24.1%となっています。



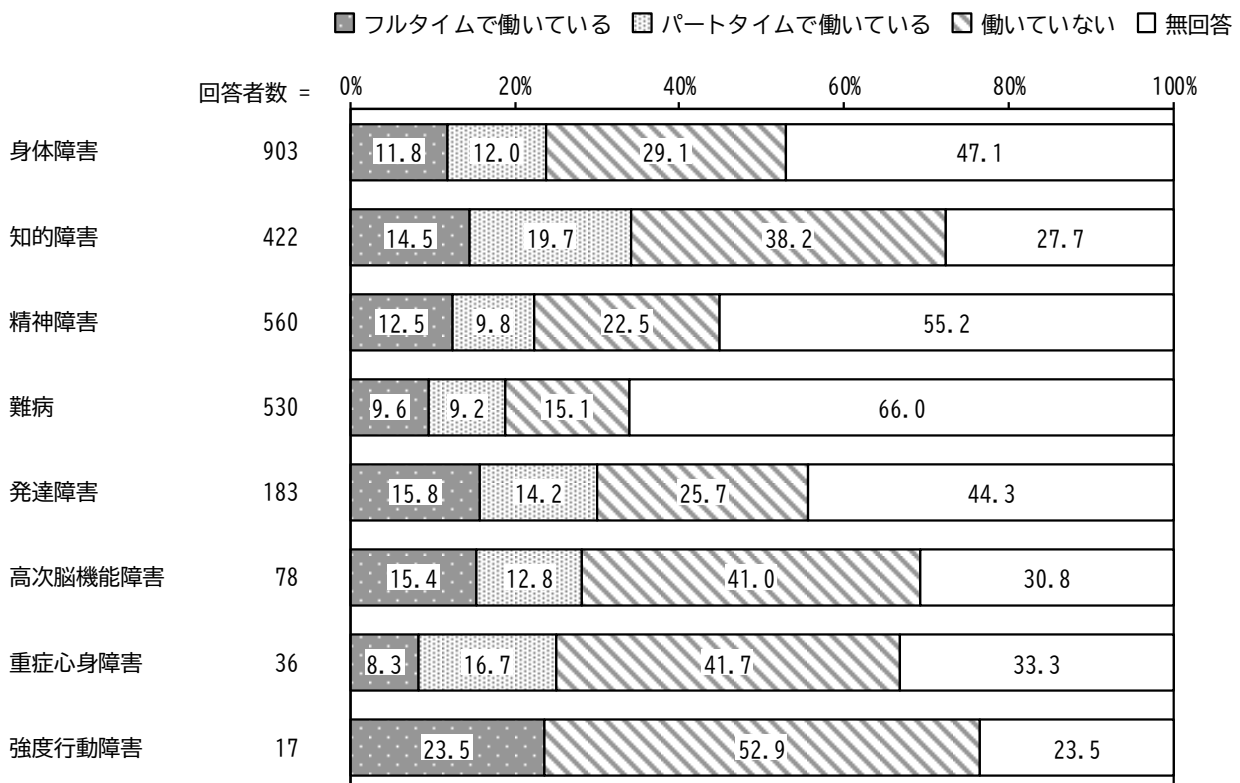
【年齢別】

年齢別にみると、「40～64歳」から「75歳以上」まで年齢が上がるほど「働いていない」の割合が高くなっています。



【障害種別】

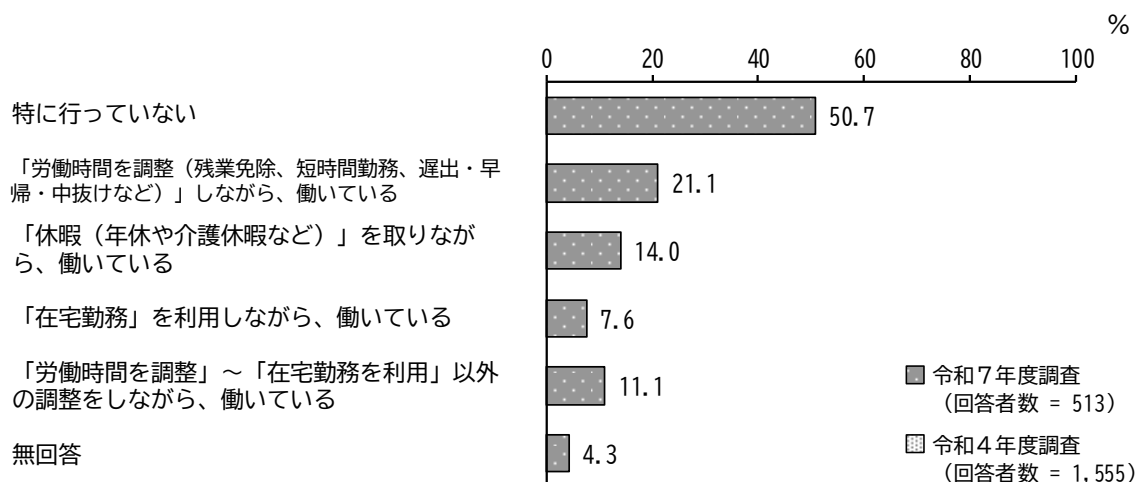
障害種別にみると、強度行動障害で「フルタイムで働いている」「働いていない」の割合が高くなっています。



問 64 で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」に○をつけた方にかがいます。

問 64-1 主な介護者の方は、介護にあたって、働き方についての調整などを行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）」しながら、働いている」の割合が 21.1%と最も高く、次いで「休暇（年休や介護休暇など）」を取りながら、働いている」の割合が 14.0%、「労働時間を調整」～「在宅勤務を利用」以外の調整をしながら、働いている」の割合が 11.1%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、「40～64歳」から「75歳以上」まで年齢が上がるほど「労働時間を調整」～「在宅勤務を利用」以外の調整をしながら、働いている」の割合が高く、「40～64歳」から「75歳以上」まで年齢が上がるほど「労働時間を調整」～「在宅勤務を利用」以外の調整をしながら、働いている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	特に行っていない	「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）」しながら、働いている	「休暇（年休や介護休暇など）」を取りながら、働いている	「在宅勤務」を利用しながら、働いている	「労働時間を調整」～「在宅勤務を利用」以外の調整をしながら、働いている	無回答
全体	513	50.7	21.1	14.0	7.6	11.1	4.3
18～39歳	176	45.5	26.1	13.1	7.4	12.5	4.0
40～64歳	190	58.9	17.9	14.2	7.4	5.8	5.3
65～74歳	60	51.7	15.0	13.3	5.0	16.7	3.3
75歳以上	80	41.3	21.3	16.3	10.0	17.5	2.5

【障害種別】

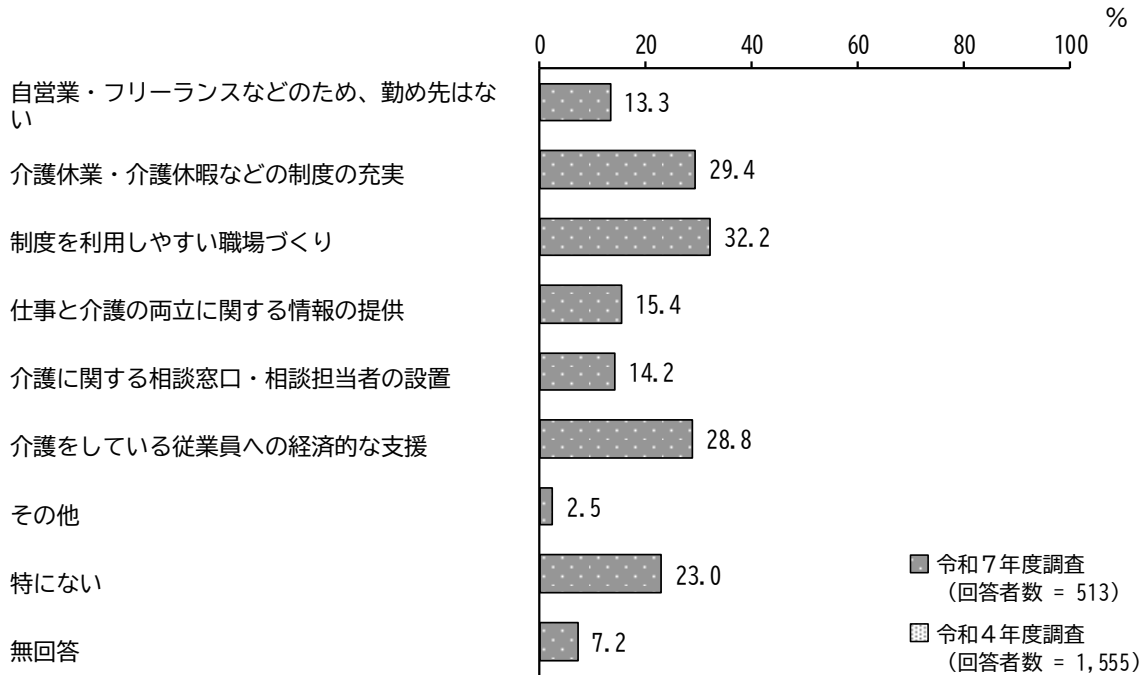
障害種別にみると、知的障害、高次脳機能障害で「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）」しながら、働いている」、難病、発達障害で「休暇（年休や介護休暇など）」を取りながら、働いている」、高次脳機能障害で「在宅勤務」を利用しながら、働いている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	特に行っていない	「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）」しながら、働いている	「休暇（年休や介護休暇など）」を取りながら、働いている	「在宅勤務」を利用しながら、働いている	「労働時間を調整」「在宅勤務を利用」以外の調整をしながら、働いている	無回答
全体	513	50.7	21.1	14.0	7.6	11.1	4.3
身体障害	215	49.3	21.4	13.0	6.0	14.9	2.8
知的障害	144	43.8	29.9	13.9	6.9	11.8	5.6
精神障害	125	49.6	22.4	13.6	9.6	9.6	4.0
難病	100	49.0	20.0	20.0	10.0	11.0	2.0
発達障害	55	52.7	23.6	20.0	5.5	14.5	1.8
高次脳機能障害	22	40.9	31.8	18.2	13.6	13.6	0.0
重症心身障害	9	11.1	33.3	11.1	22.2	33.3	0.0
強度行動障害	4	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

問 64-2 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「制度を利用しやすい職場づくり」の割合が 32.2%と最も高く、次いで「介護休業・介護休暇などの制度の充実」の割合が 29.4%、「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が 28.8%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、「18～39歳」から「65～74歳」まで年齢が上がるほど「自営業・フリーランスなどのため、勤め先はない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自営業・フリーランスなどのため、勤め先はない	介護休業・介護休暇などの制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特になし	無回答
全体	513	13.3	29.4	32.2	15.4	14.2	28.8	2.5	23.0	7.2
18～39歳	176	8.5	25.6	30.1	14.8	13.1	30.1	5.1	26.1	7.4
40～64歳	190	13.2	31.6	37.9	16.8	16.8	30.5	0.5	23.2	3.2
65～74歳	60	21.7	25.0	23.3	13.3	8.3	18.3	0.0	23.3	16.7
75歳以上	80	18.8	36.3	30.0	13.8	15.0	31.3	3.8	15.0	7.5

【障害種別】

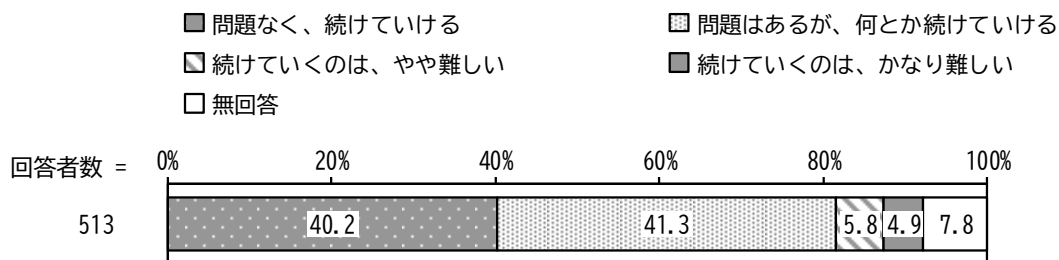
障害種別にみると、高次脳機能障害で「介護休業・介護休暇などの制度の充実」、発達障害で「制度を利用しやすい職場づくり」、精神障害、発達障害、高次脳機能障害で「仕事と介護の両立に関する情報の提供」、精神障害、発達障害で「介護に関する相談窓口・相談担当者の設置」、発達障害、高次脳機能障害で「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	先はなさない	自営業・フリーランスなどのため、勤め	介護休業・介護休暇などの制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特になし	無回答
全体	513	13.3	29.4	32.2	15.4	14.2	28.8	2.5	23.0	7.2	
身体障害	215	17.2	34.0	32.1	14.9	15.3	27.0	2.8	19.1	7.9	
知的障害	144	10.4	25.0	30.6	13.2	10.4	28.5	2.8	25.0	8.3	
精神障害	125	13.6	27.2	34.4	20.8	19.2	34.4	2.4	20.8	7.2	
難病	100	16.0	32.0	32.0	10.0	19.0	20.0	2.0	22.0	5.0	
発達障害	55	12.7	30.9	47.3	23.6	20.0	38.2	7.3	12.7	3.6	
高次脳機能障害	22	18.2	45.5	36.4	22.7	18.2	36.4	4.5	9.1	4.5	
重症心身障害	9	44.4	11.1	11.1	11.1	11.1	33.3	11.1	0.0	0.0	
強度行動障害	4	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	

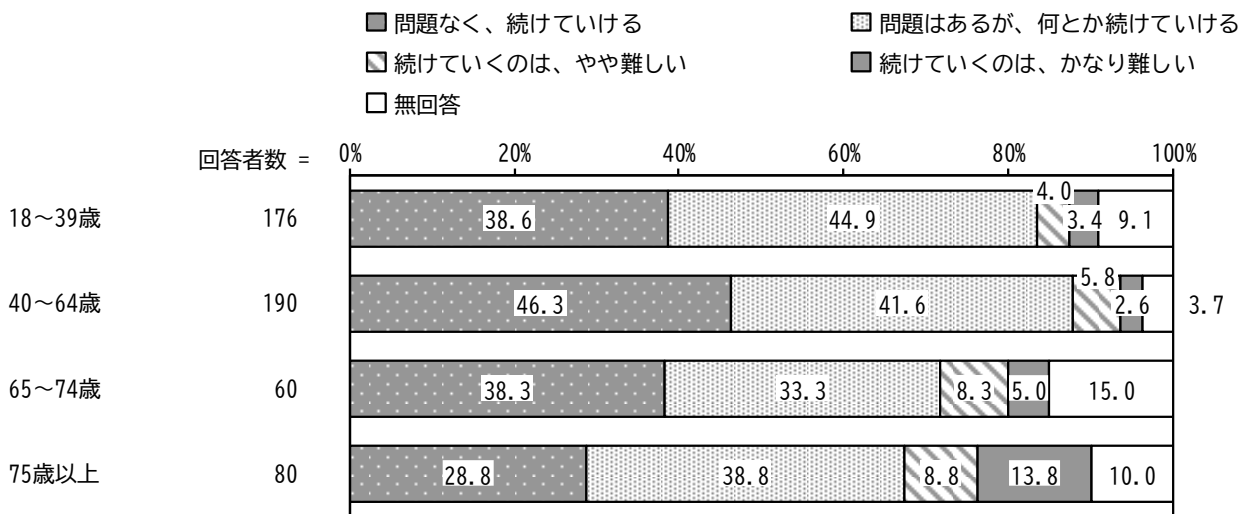
問 64-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が 41.3%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の割合が 40.2%となっています。



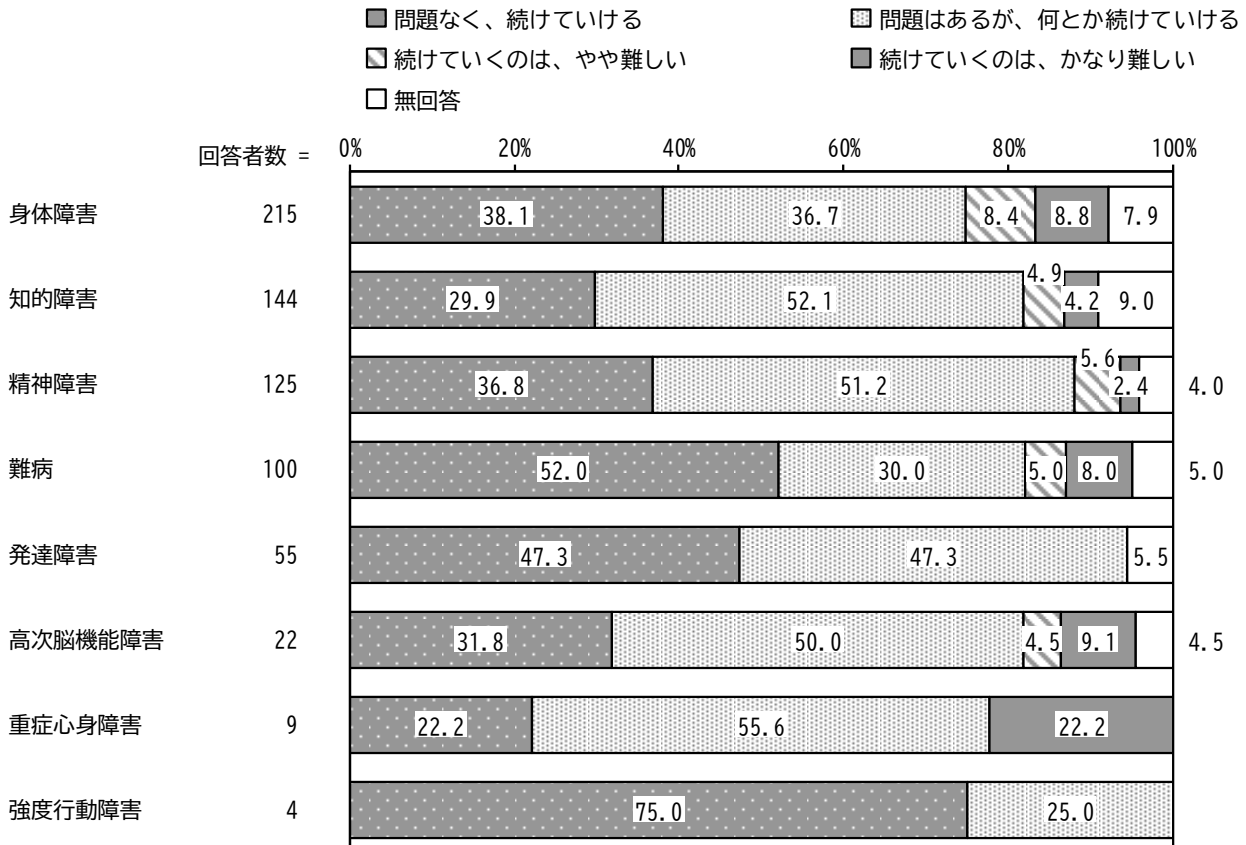
【年齢別】

年齢別にみると、「40～64歳」から「75歳以上」まで年齢が上がるほど「続けていくのは、かなり難しい」の割合が高く、「問題なく、続けていける」の割合が低く、「65～74歳」から「18～39歳」まで年齢が下がるほど「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が高くなっています。



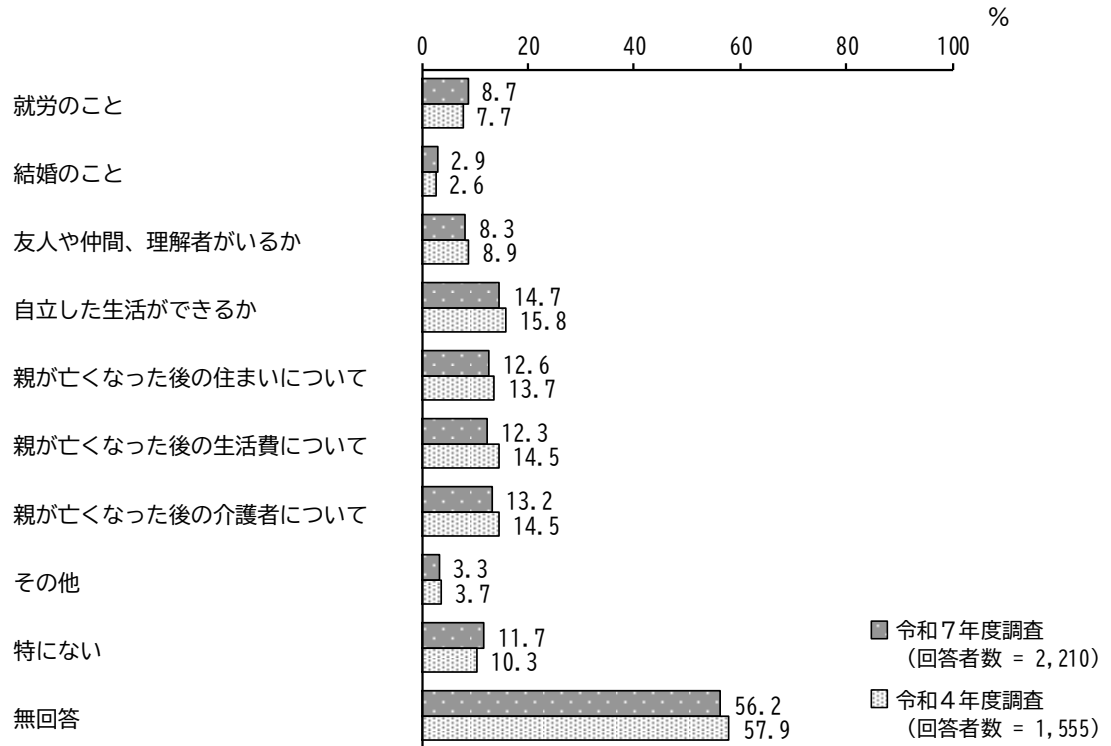
【障害種別】

障害種別にみると、難病で「問題なく、続けていける」、知的障害で「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が高くなっています。



問 65 あなた（介護者）が介護している人の将来のことで不安に思うことはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「自立した生活ができるか」の割合が 14.7%と最も高く、次いで「親が亡くなった後の介護者について」の割合が 13.2%、「親が亡くなった後の住まいについて」の割合が 12.6%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「就労のこと」「友人や仲間、理解者がいるか」「自立した生活ができるか」の割合が高い傾向にあり、「65～74歳」から「18～39歳」まで年齢が下がるほど「親が亡くなった後の住まいについて」「親が亡くなった後の生活費について」「親が亡くなった後の介護者について」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	就労のこと	結婚のこと	友人や仲間、理解者がいるか	自立した生活ができるか	親が亡くなった後の住まいについて	親が亡くなった後の生活費について	親が亡くなった後の介護者について	その他	特にない	無回答
全体	2,210	8.7	2.9	8.3	14.7	12.6	12.3	13.2	3.3	11.7	56.2
18～39歳	476	18.9	8.2	20.4	26.7	33.2	32.1	35.3	2.1	5.0	41.2
40～64歳	929	8.6	2.2	5.8	13.2	9.3	10.3	10.7	3.3	9.5	59.7
65～74歳	331	2.7	0.3	4.8	10.6	2.1	2.4	2.1	3.9	16.3	63.1
75歳以上	441	2.7	0.7	3.2	8.2	5.4	2.5	3.2	4.5	20.0	59.0

【障害種別】

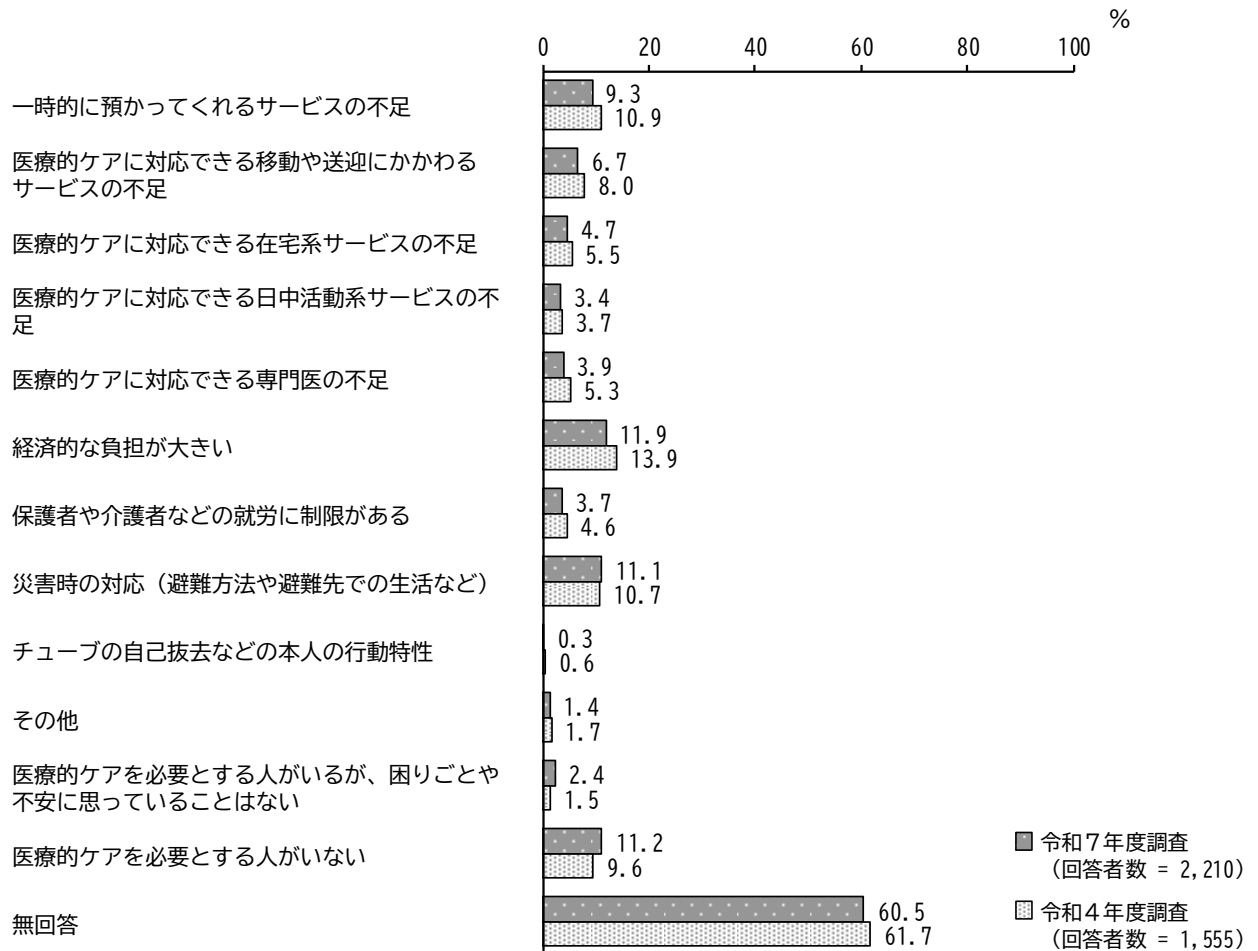
障害種別にみると、発達障害で「就労のこと」、知的障害で「友人や仲間、理解者がいるか」、強度行動障害で「自立した生活ができるか」、知的障害、強度行動障害で「親が亡くなった後の住まいについて」「親が亡くなった後の生活費について」、知的障害、重症心身障害で「親が亡くなった後の介護者について」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	就労のこと	結婚のこと	友人や仲間、理解者がいるか	自立した生活ができるか	親が亡くなった後の住まいについて	親が亡くなった後の生活費について	親が亡くなった後の介護者について	その他	特にない	無回答
全体	2,210	8.7	2.9	8.3	14.7	12.6	12.3	13.2	3.3	11.7	56.2
身体障害	903	5.6	1.4	5.9	12.7	10.2	9.3	11.4	4.2	15.5	53.7
知的障害	422	13.0	4.5	19.0	24.6	40.8	36.7	45.7	4.3	5.7	29.6
精神障害	560	13.4	4.8	10.0	20.9	11.8	14.1	11.3	3.4	9.5	56.1
難病	530	4.9	1.5	4.0	8.7	4.2	5.3	5.7	2.8	10.8	68.7
発達障害	183	21.9	11.5	18.0	27.9	31.7	31.1	33.9	3.3	2.2	44.3
高次脳機能障害	78	11.5	5.1	12.8	24.4	9.0	10.3	15.4	6.4	14.1	41.0
重症心身障害	36	5.6	5.6	2.8	8.3	27.8	19.4	47.2	5.6	2.8	33.3
強度行動障害	17	0.0	5.9	17.6	35.3	41.2	35.3	41.2	5.9	5.9	17.6

問 66 あなた（介護者）が、医療的ケアを必要とする人の介護について、困りごとや不安に思っていることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「経済的な負担が大きい」の割合が 11.9%と最も高く、次いで「災害時の対応（避難方法や避難先での生活など）」の割合が 11.1%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「医療的ケアに対応できる移動や送迎にかかわるサービスの不足」の割合が高く、「40～64歳」から「75歳以上」まで年齢が上がるほど「災害時の対応（避難方法や避難先での生活など）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	一時的に預かってくれるサービスの不足	医療的ケアに対応できる移動や送迎にかかわるサービスの不足	医療的ケアに対応できる在宅系サービスの不足	医療的ケアに対応できる日中活動系サービスの不足	医療的ケアに対応できる専門医の不足	経済的な負担が大きい	保護者や介護者などの就労に制限がある	災害時の対応(避難方法や避難先での生活など)	チューブの自己抜去などの本人の行動特性	その他	医療的ケアを必要とする人がいるが、困りごとや不安に思っていることはない	医療的ケアを必要とする人がいない	無回答
全体	2,210	9.3	6.7	4.7	3.4	3.9	11.9	3.7	11.1	0.3	1.4	2.4	11.2	60.5
18～39歳	476	8.4	4.2	3.8	4.0	3.6	10.7	4.8	12.6	0.4	1.9	2.1	23.1	49.6
40～64歳	929	8.3	5.9	4.8	3.0	3.7	11.9	3.3	8.6	0.3	1.3	2.0	9.0	64.7
65～74歳	331	8.2	6.9	4.2	2.7	3.9	10.0	2.1	9.1	0.0	1.8	2.7	6.9	64.7
75歳以上	441	13.6	10.7	6.1	4.3	4.5	14.5	4.3	16.1	0.5	1.1	3.6	6.8	59.2

【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「一時的に預かってくれるサービスの不足」「医療的ケアに対応できる日中活動系サービスの不足」「保護者や介護者などの就労に制限がある」「災害時の対応（避難方法や避難先での生活など）」、高次脳機能障害で「医療的ケアに対応できる在宅系サービスの不足」「経済的な負担が大きい」、重症心身障害、強度行動障害で「チューブの自己抜去などの本人の行動特性」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	一時的に預かってくれるサービスの不足	医療的ケアに対応できる移動や送迎にかかわるサービスの不足	医療的ケアに対応できる在宅系サービスの不足	医療的ケアに対応できる日中活動系サービスの不足	医療的ケアに対応できる専門医の不足	経済的な負担が大きい	保護者や介護者などの就労に制限がある	災害時の対応（避難方法や避難先での生活など）	チューブの自己抜去などの本人の行動特性	その他	医療的ケアを必要とする人がいるが、困りごとや不安に思っていることはない	医療的ケアを必要とする人がいない	無回答
全体	2,210	9.3	6.7	4.7	3.4	3.9	11.9	3.7	11.1	0.3	1.4	2.4	11.2	60.5
身体障害	903	12.4	10.2	6.1	4.5	5.3	12.4	5.6	15.0	0.3	1.7	2.8	9.4	56.7
知的障害	422	14.0	6.6	4.5	4.5	4.0	13.5	4.5	15.6	0.9	0.9	2.1	23.2	42.4
精神障害	560	7.1	5.5	4.8	3.8	3.9	14.3	3.8	9.6	0.4	2.1	2.5	9.1	61.3
難病	530	7.5	6.0	4.2	3.0	3.8	8.1	3.0	9.4	0.2	1.5	0.8	7.9	70.4
発達障害	183	9.3	5.5	2.7	3.3	3.3	9.8	6.0	14.2	1.1	1.6	2.2	19.7	52.5
高次脳機能障害	78	7.7	10.3	10.3	7.7	3.8	19.2	11.5	21.8	1.3	1.3	1.3	11.5	47.4
重症心身障害	36	25.0	11.1	5.6	11.1	5.6	16.7	16.7	30.6	5.6	0.0	5.6	11.1	47.2
強度行動障害	17	11.8	5.9	0.0	5.9	0.0	11.8	5.9	23.5	5.9	5.9	11.8	5.9	35.3